

## 第2章 調査結果の詳細

### I. 在宅の方を対象とした調査

---



# 1 集計の概要

## (1) 配布・回収状況

在宅の方を対象とした調査の配布・回収状況は以下のようになっています。

### 【配布・回収状況】

配布・回収状況	配布数	回収数	回収率
合計	4,797	2,836	59.1%
身体障害※	3,351	1,759	52.5%
知的障害※	705	386	54.8%
精神障害※	1,386	489	35.3%
難病・その他※	705	587	83.3%

※重複障害を含めて計上しています。

## (2) 障害・疾患別の集計について

在宅の方を対象とした調査では、全体の集計に加えて、回答者を6つの障害・疾患に分けた障害・疾患別の分析を行っています。障害・疾患別の集計の考え方は以下の通りです。

### 【障害・疾患別集計の考え方】

区分	対象となる回答者
① 身体障害	身体障害者手帳の所持者（問4で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方）。他の障害との重複を含む。
② 知的障害	愛の手帳の所持者（問4で「愛の手帳を持っている」と回答した方）。他の障害との重複を含む。
③ 精神障害	問8で「精神疾患（統合失調症、気分障害、神経症、依存症）」のいずれかに○を付けた方。
④ 発達障害	問8で「発達障害」に○を付けた方（※ただし、問4で「愛の手帳を持っている」と回答した方は含まない）。
⑤ 高次脳機能障害	問8で「高次脳機能障害」に○を付けた方。
⑥ 難病・特定疾患	問8で「難病・特定疾患」に○を付けた方。

### (3)集計項目

	項目名	掲載頁		項目名	掲載頁
問1	調査票の回答者	…5	問27	就労などをしていない理由	…68
問2	性別	…5	問28	一般就労するために必要なこと	…71
問3	年齢	…6	問29	余暇の過ごし方	…74
問4	手帳の所持状況	…7	問30	外出頻度	…76
	手帳の等級「身体障害者手帳」	…8	問31	外出に関して困っていること	…77
	手帳の等級「愛の手帳」	…8	問32	住まいの種類	…80
	手帳の等級「精神障害者保健福祉手帳」	…8	問33	住まいに関して困っていること	…82
	身体障害の種類	…9	問34	住まいに関して必要な支援	…85
問5	同居家族	…10	問35	「こころのバリアフリー」のために必要なこと	…87
問6	障害に最初に気づいた時期	…12	問36	①訪問系サービスの利用状況	…90
問7	障害に最初に気づいた時の相談相手	…14		②日中活動系サービスの利用状況	…91
問8	疾患や障害の有無	…18		③居住系サービスの利用状況	…93
問9	難病・特定疾患の病名、診断を受けてからの期間	…20		④補装具費の支給等の利用状況	…95
問10	障害福祉サービスの対象について	…22		⑤地域生活支援事業の利用状況	…95
問11	発達障害の診断名	…22		⑥日常生活のサービスの利用状況	…97
問12	発達障害に基づく問題に気づいた時期	…23		⑦就労に関する支援の利用状況	…98
問13	発達障害に基づく問題について	…23		⑧医療に関する支援の利用状況	…99
問14	高次脳機能障害の症状	…24		⑨精神障害者を対象とした支援の利用状況	…99
問15	受診している医療機関	…25		⑩難病患者に関する支援の利用状況	…100
問16	かかりつけ医の有無	…27		⑪その他サービスの利用状況	…101
問17	医療機関の受診状況	…28	問37	サービス利用に関して困っていること	…102
問18	介助や支援が必要なこと	…30	問38	介護保険の要支援・要介護認定の認定状況	…104
問19	主な介助者	…36	問39	サービス利用計画の作成について	…106
問20	介助者が介助・支援できなくなった場合	…39	問40	年収額	…109
問21	日常生活で困っていること	…42	問41	収入の内訳	…113
問22	困ったときの相談相手	…48	問42	災害発生時に困ることや不安なこと	…115
問23	気軽に相談するために必要なこと	…53	問43	災害に対する備え	…119
問24	福祉情報の入手先	…56	問44	今後の生活の希望	…121
問25	平日の過ごし方	…59	問45	重要だと思う施策	…123
問26	仕事をする上で困っていること	…65	問46	自由記述	…127

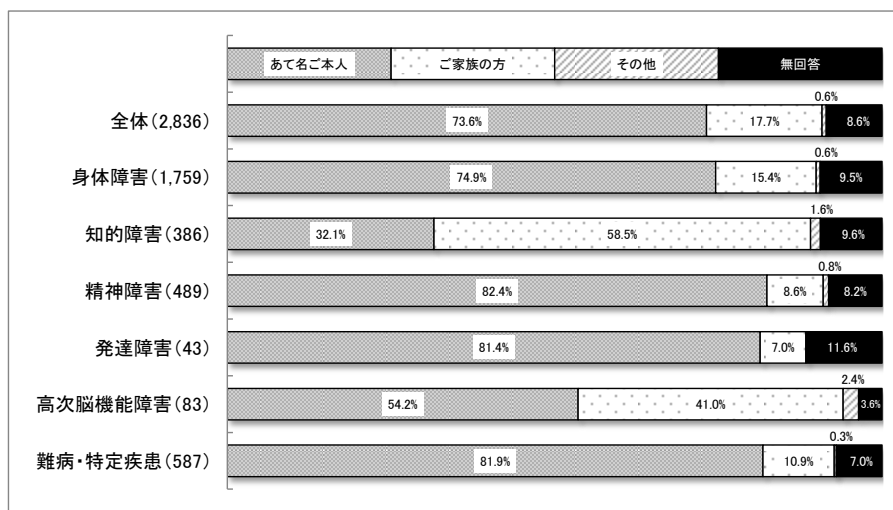
## 2 調査結果

### (1) 調査票の回答者

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。

全体では、「あて名ご本人」が73.6%、「ご家族の方」が17.7%となっています。障害別に見ると、知的障害及び高次脳機能障害では、「ご家族の方」が多くなっています。

(※グラフは、重複回答を含みます)

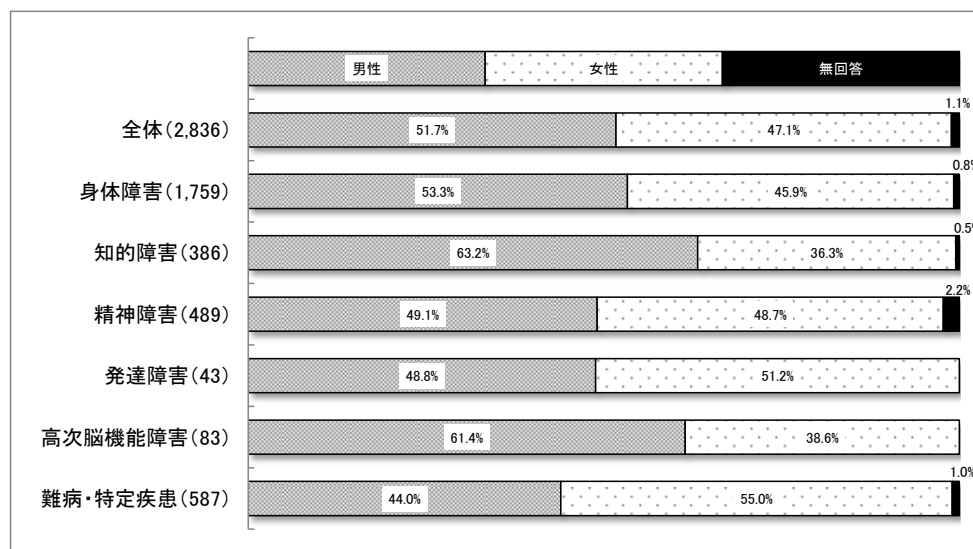


### 1) ご本人について

#### (1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。

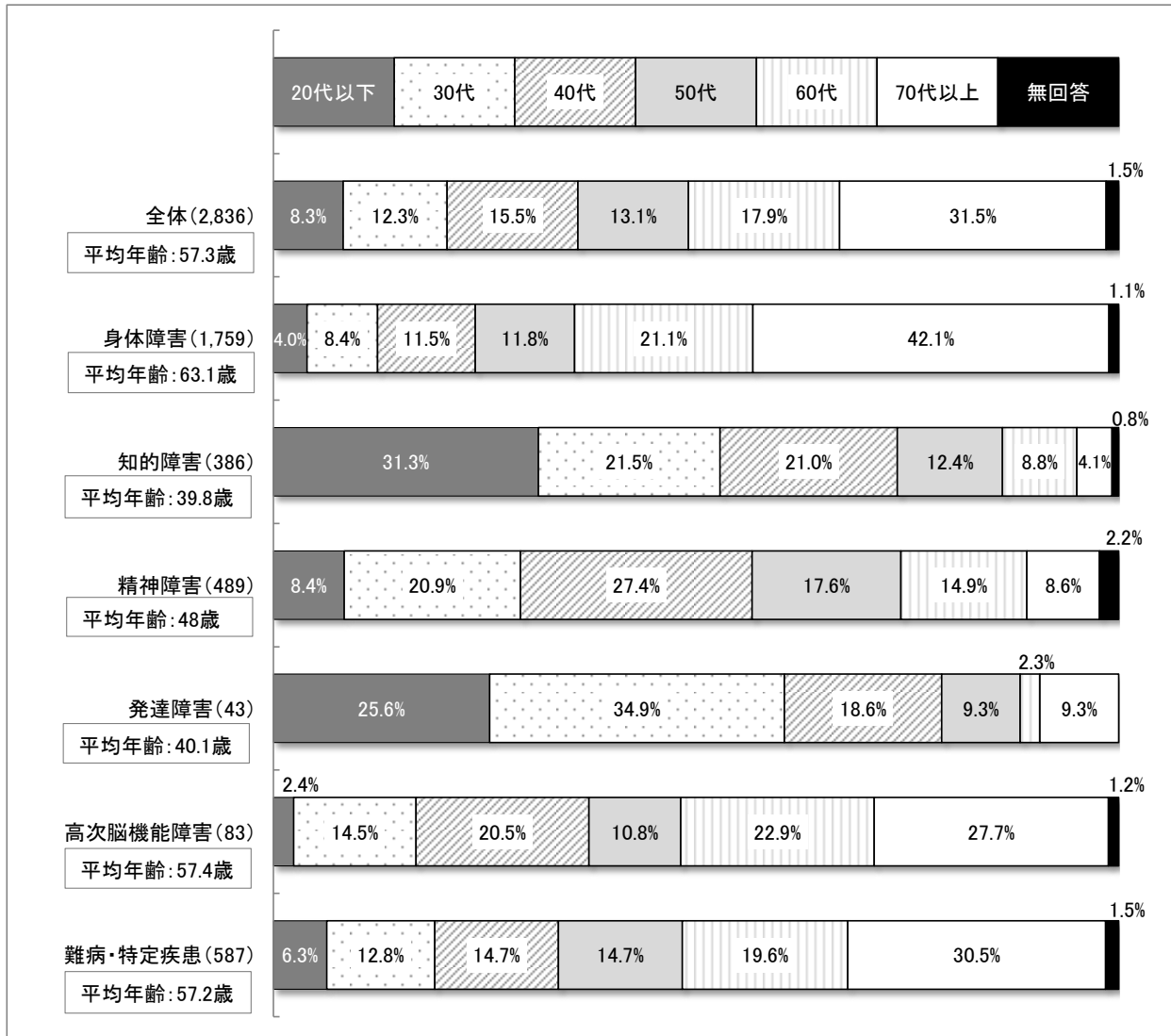
全体では、「男性」が51.7%、「女性」が47.1%となっています。障害別に見ると、知的障害及び高次脳機能障害では「男性」がやや多くなっています。



## (2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成25年11月1日現在の満年齢をお書きください。

全体では、「75歳以上」が24.1%と最も多く、次いで「40代」が15.5%、「50代」が13.1%となっています。障害別に見ると、身体障害では「75歳以上」が特に多く、知的障害では「20代以下」が、精神障害では「40代」が最も多くなっています。

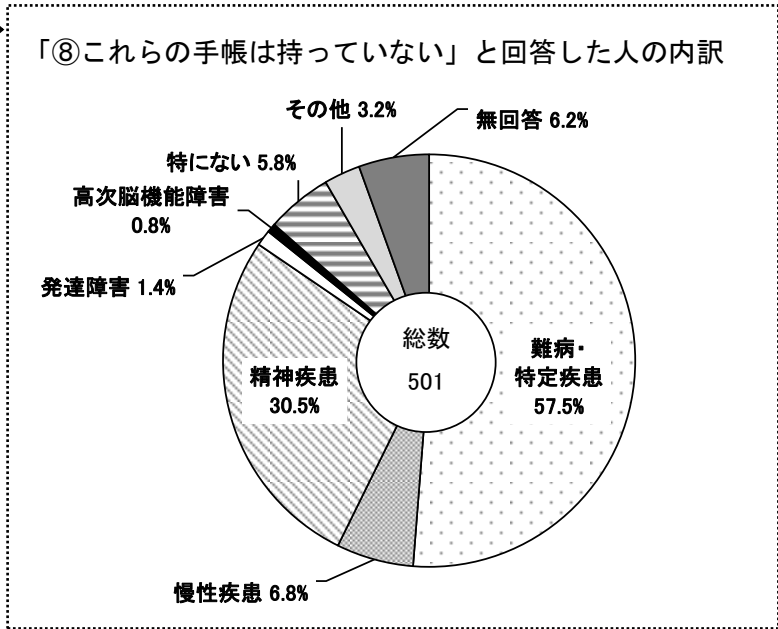
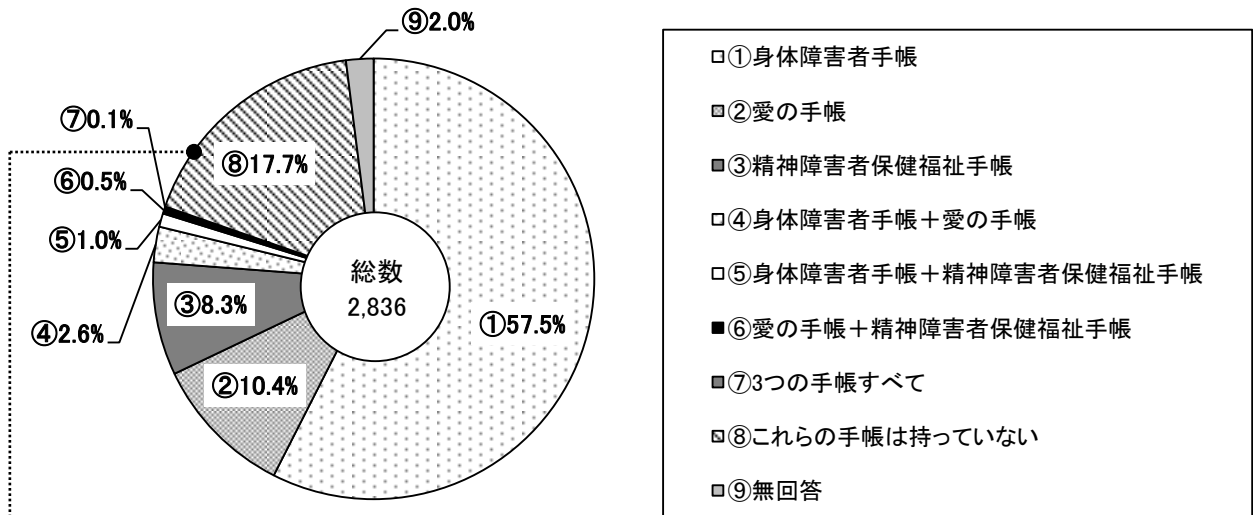


### (3)手帳の種類

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも〇をつけてください。

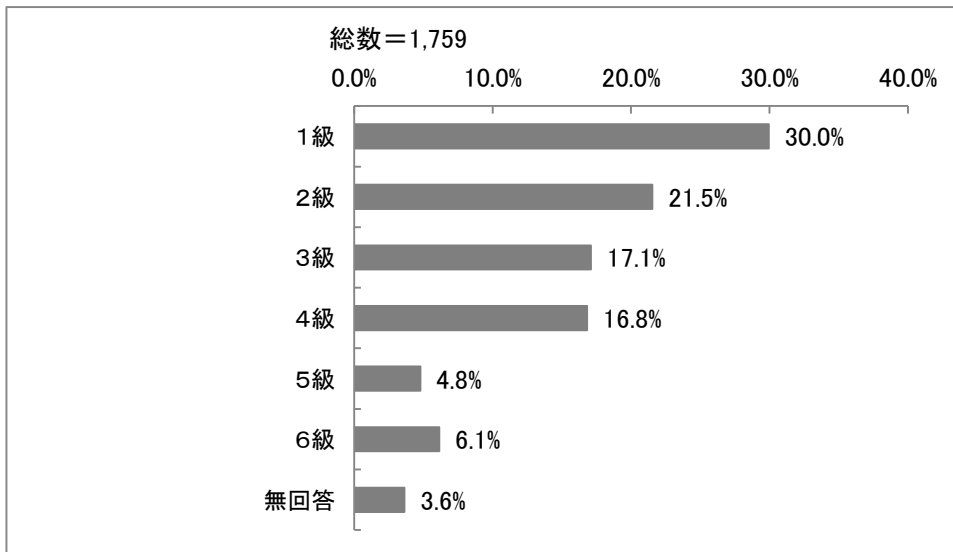
#### ①手帳の種類

「身体障害者手帳」が61.1%と最も多く、次いで「これらの手帳は持っていない」が17.7%、「愛の手帳」が13.5%となっています。



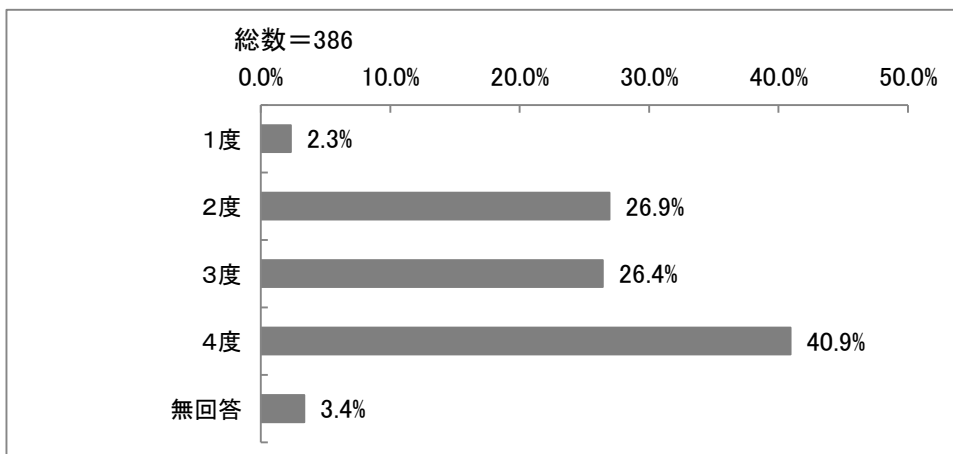
## ②身体障害者手帳の等級

「1級」が30.0%と最も多く、次いで「2級」が21.5%、「3級」と「4級」がほぼ17%ずつとなっています。



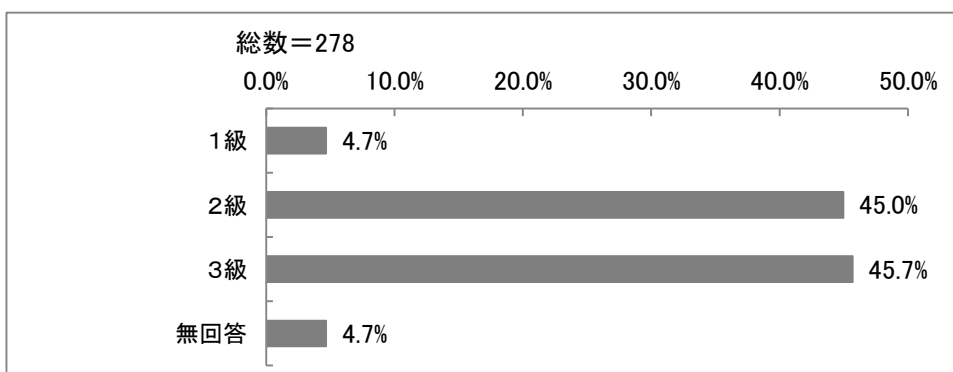
## ③愛の手帳の程度

「4度」が40.9%と最も多く、次いで「2度」が26.9%、「3度」が26.4%となっています。



## ④精神障害者保健福祉手帳の等級

「3級」が45.7%と最も多く、次いで「2級」が45.0%、「1級」が4.7%となっています。

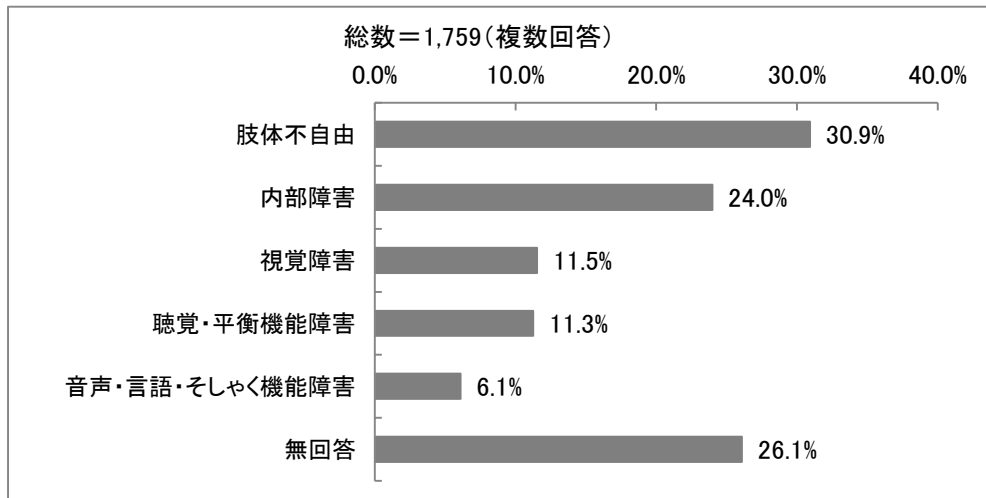




#### (4) 身体障害の種類

##### ⑤身体障害者手帳の種類

「肢体不自由」が30.9%と最も多く、次いで「内部障害」が24.0%、「視覚障害」が11.5%、「聴覚・平衡機能障害」が11.3%、「音声・言語・そしゃく機能障害」が6.1%となっています。

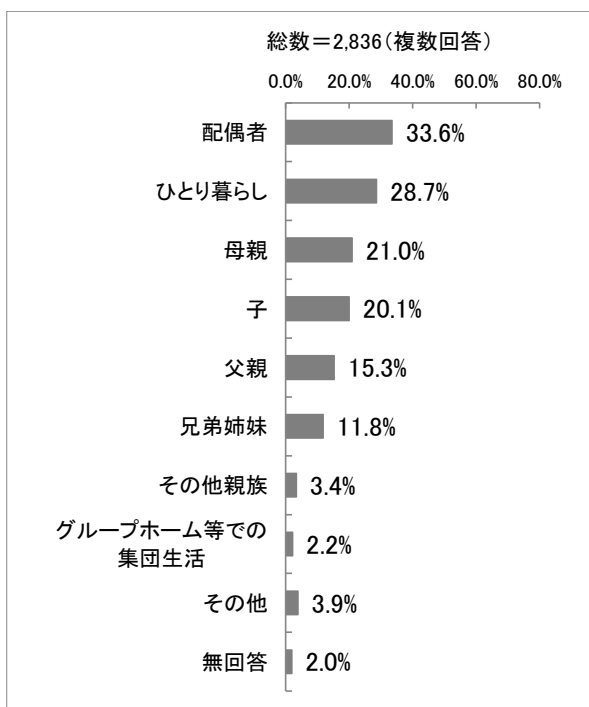


## (5) 同居家族

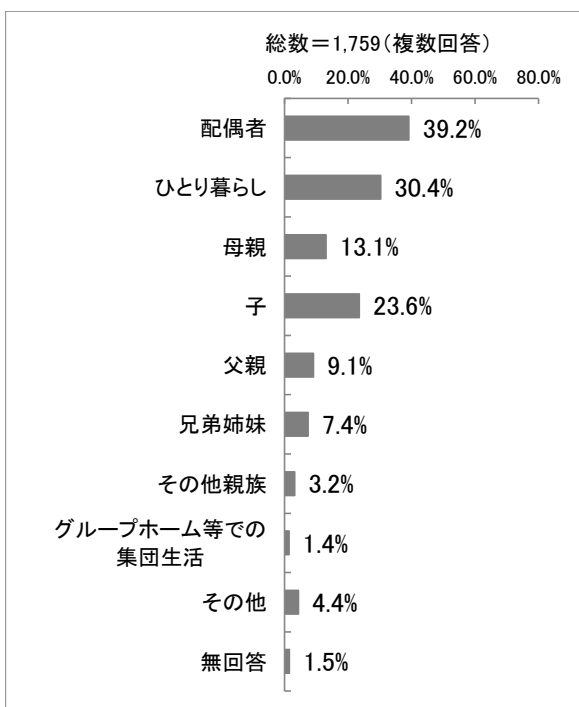
問5 あなたの同居家族をお聞きします。

全体では、「配偶者」が33.6%と最も多く、次いで「一人暮らし」が28.7%、「母親」が21.0%となっています。障害別に見ると、身体障害、高次脳機能障害、難病・特定疾患では「配偶者」が、精神障害では「ひとり暮らし」が、知的障害では「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が多くなっています。発達障害では「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」に加えて、「ひとり暮らし」も多くなっています。

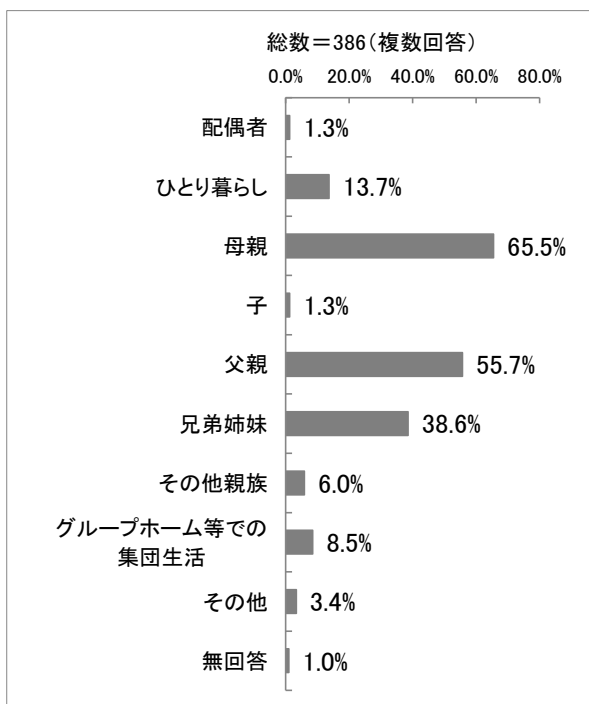
### ■全体



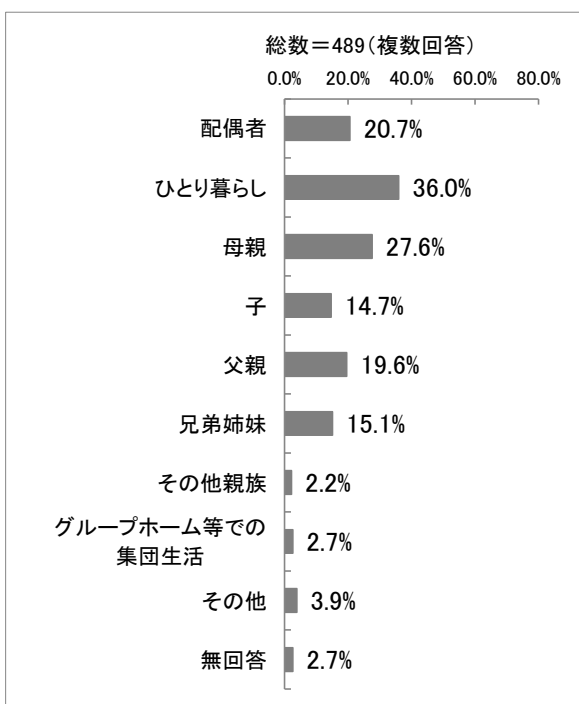
### ■身体障害



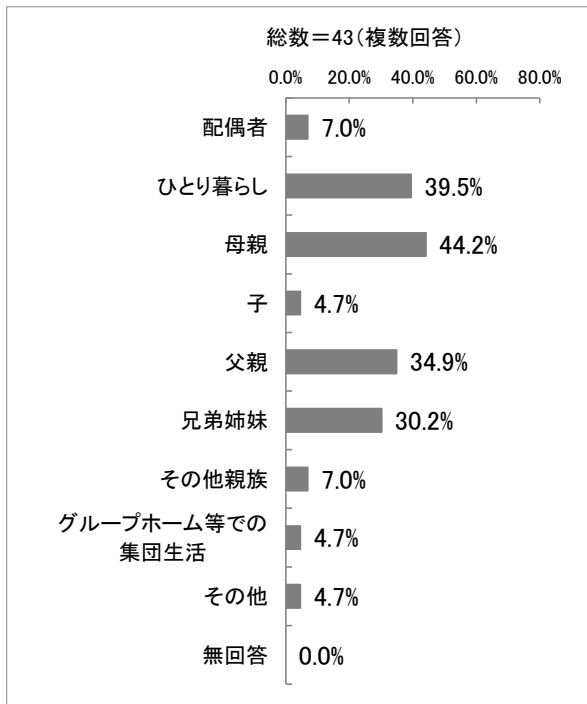
### ■知的障害



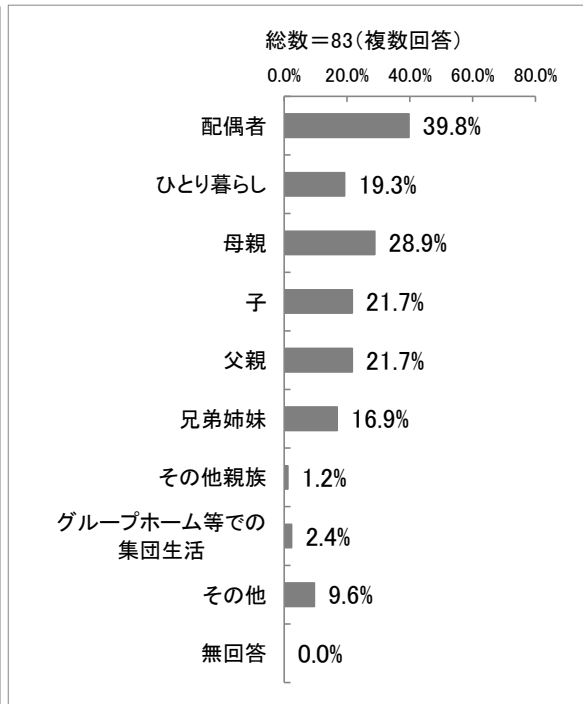
### ■精神障害



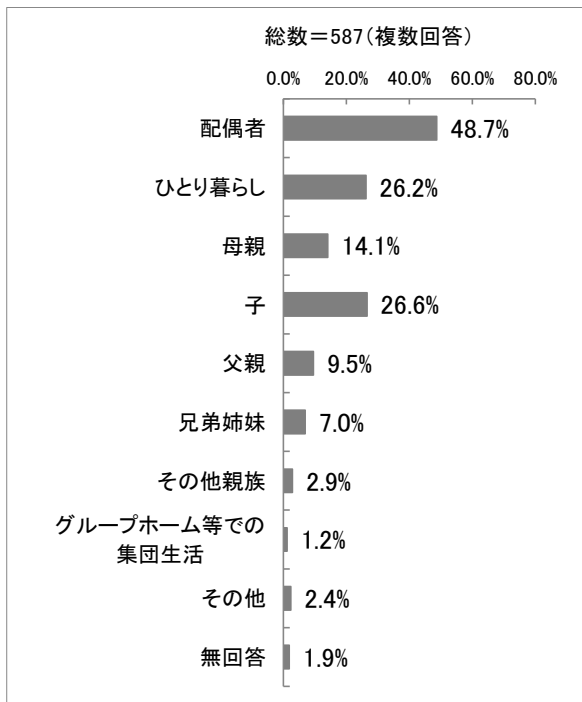
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 2) 障害と健康について

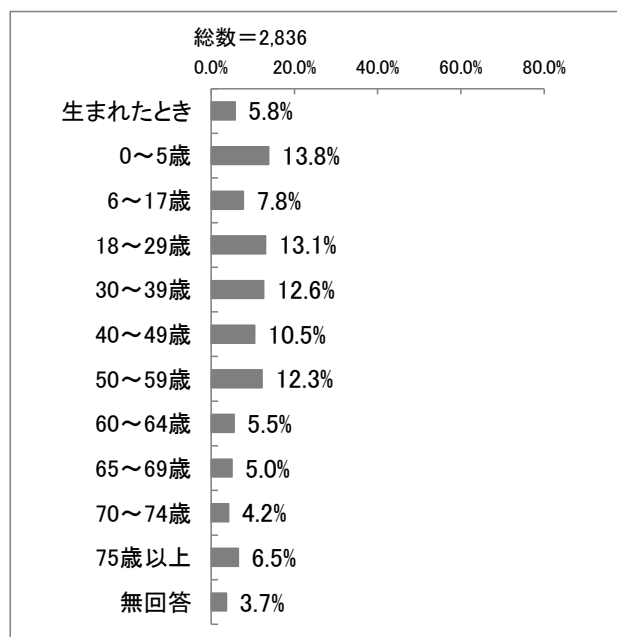
### (1) 障害に最初に気付いた時期

問6 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きします。

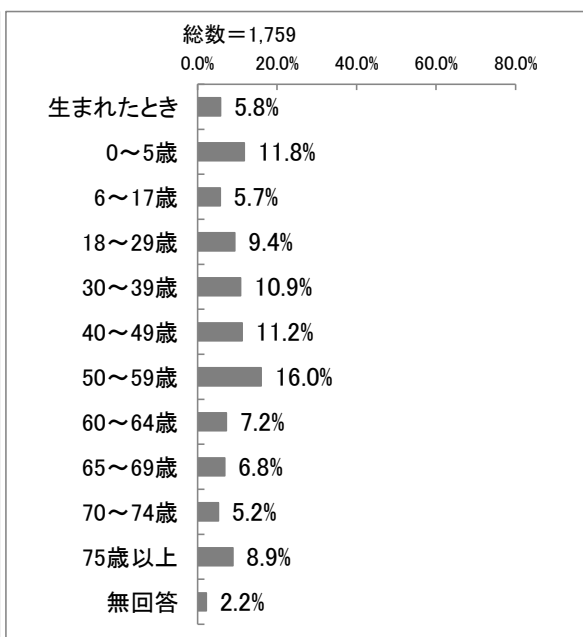
全体では「0～5歳」が13.8%、「18～29歳」が13.1%、「30～39歳」が12.6%となっています。障害別に見ると、身体障害では「50～59歳」等、壮年期と回答した人の割合が高くなっています。精神障害では「18～29歳」、「30～39歳」等、若い時期と回答した人の割合が高くなっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

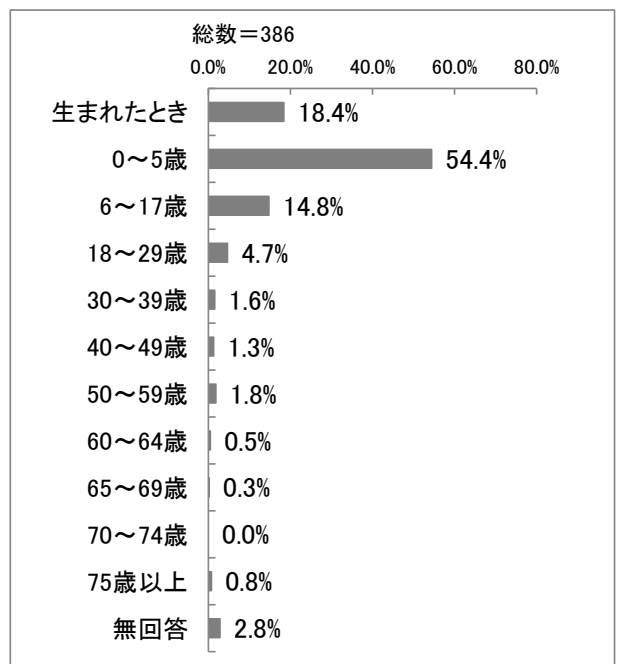
#### ■全体



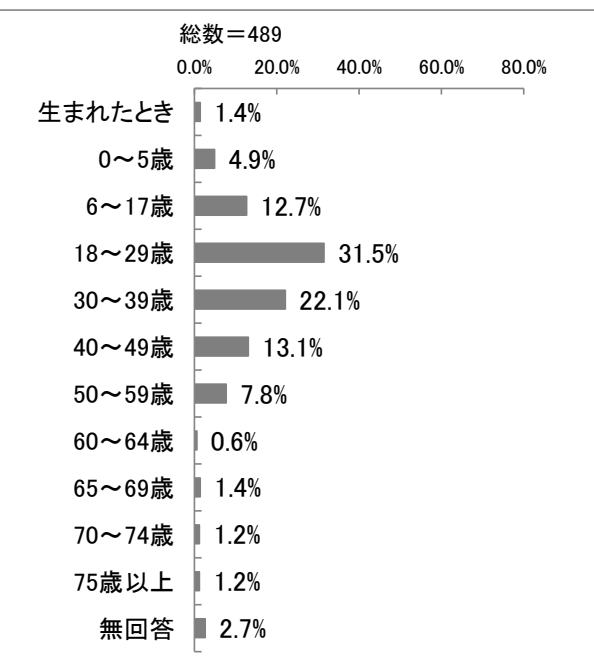
#### ■身体障害



#### ■知的障害

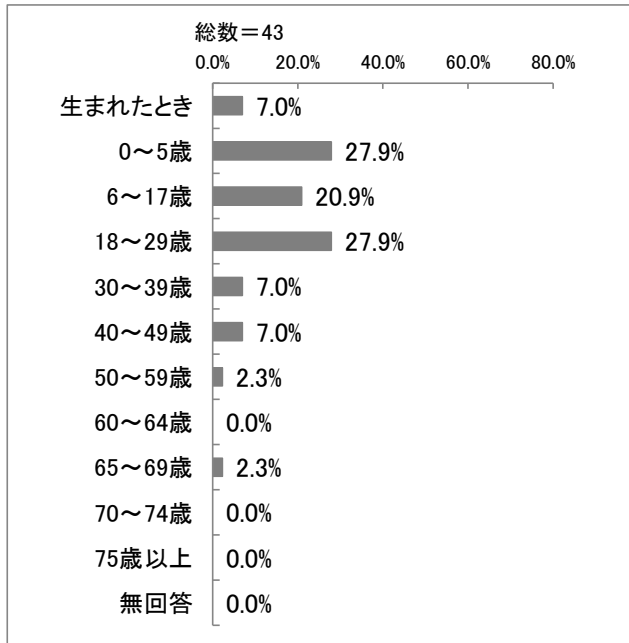


#### ■精神障害

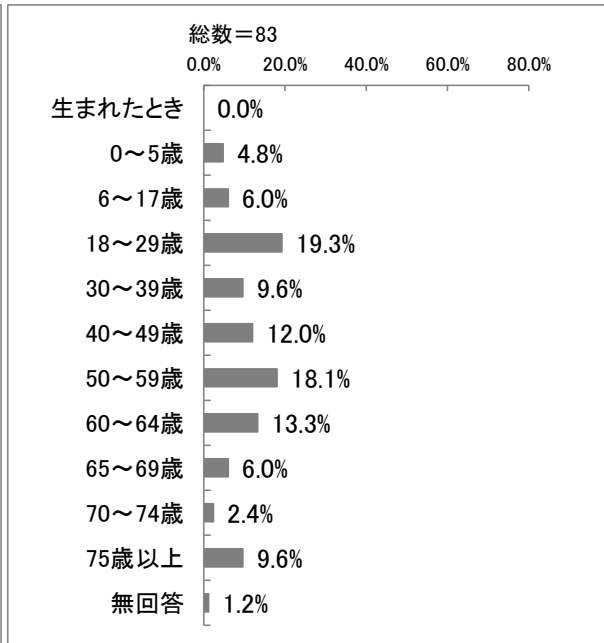


高次脳機能障害では「18～29歳」と、「50～59歳」、「60～64歳」の割合が高くなっており、受障時期のピークが2つあることがわかります。

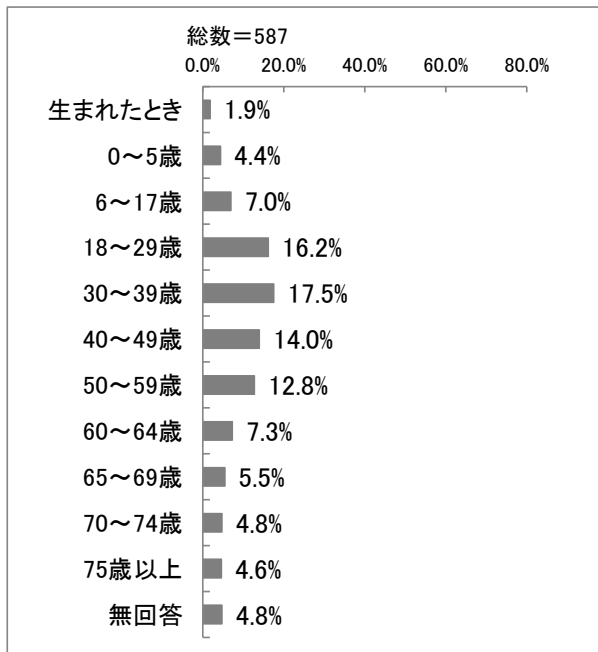
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

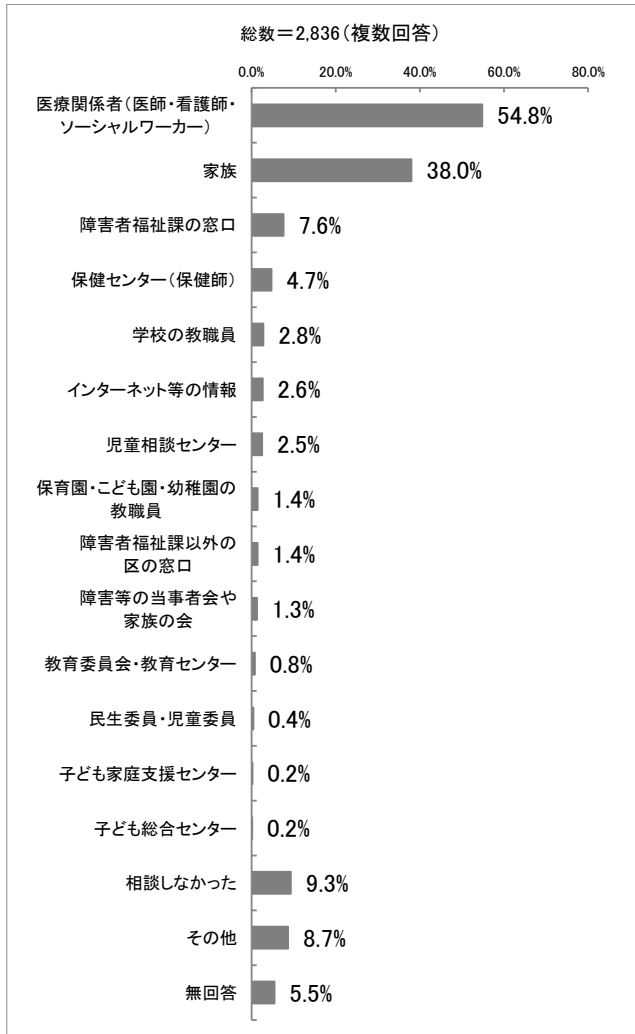


## (2) 障害に気付いたときの相談相手

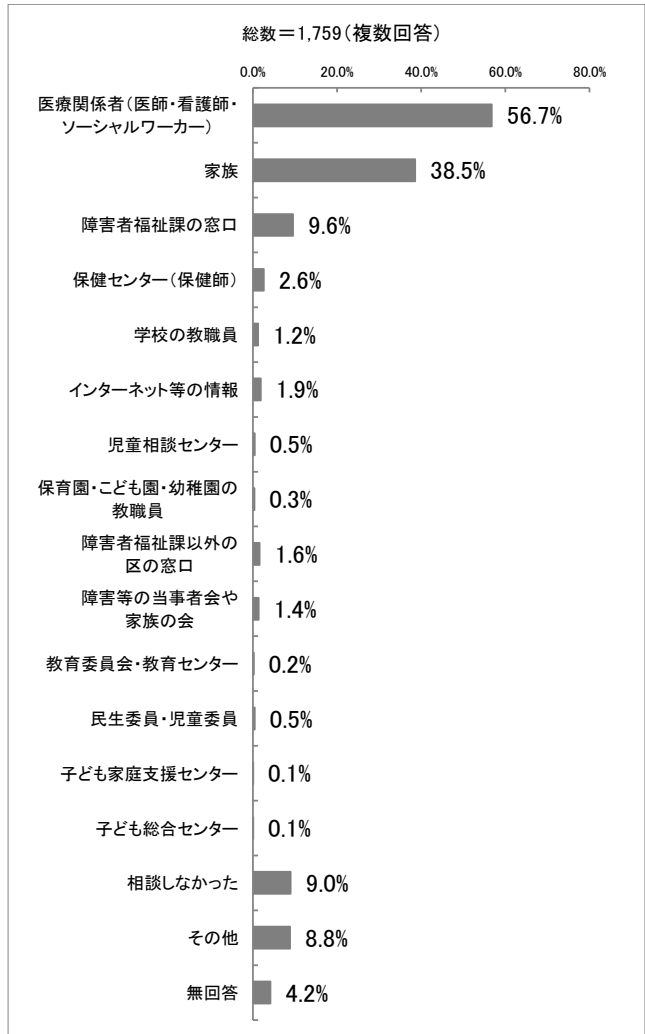
問7 そのとき、誰に相談しましたか。

全体では、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が54.8%、「家族」が38.0%となっています。障害別に見ると、知的障害では「児童相談センター」、「保健センター（保健師）」が、発達障害では「学校の教職員」が、高次脳機能障害では「障害者福祉課の窓口」が多くなっています。

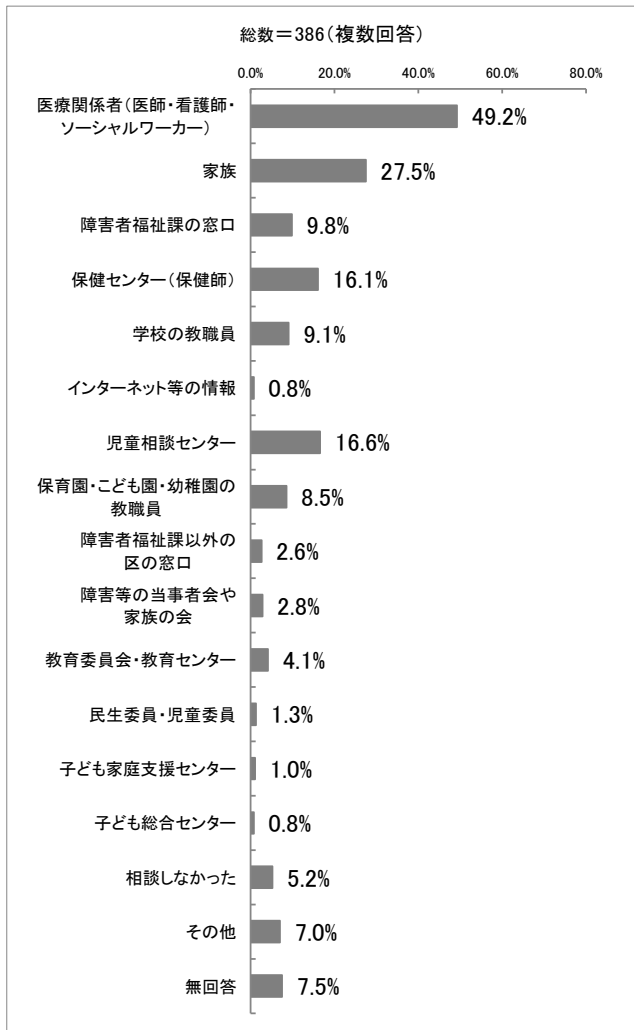
### ■全体



### ■身体障害



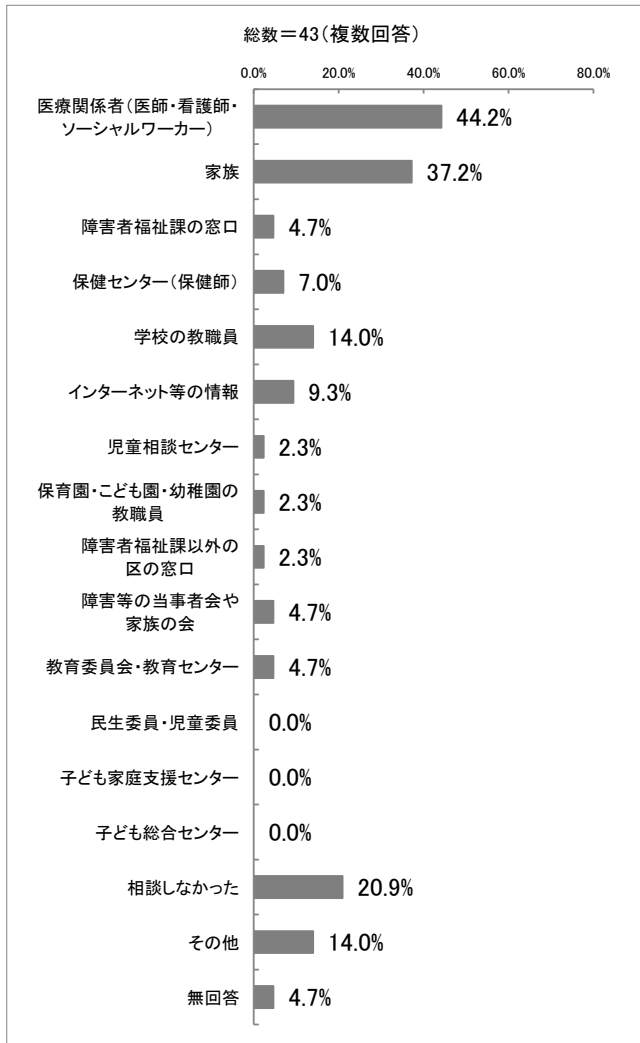
## 知的障害



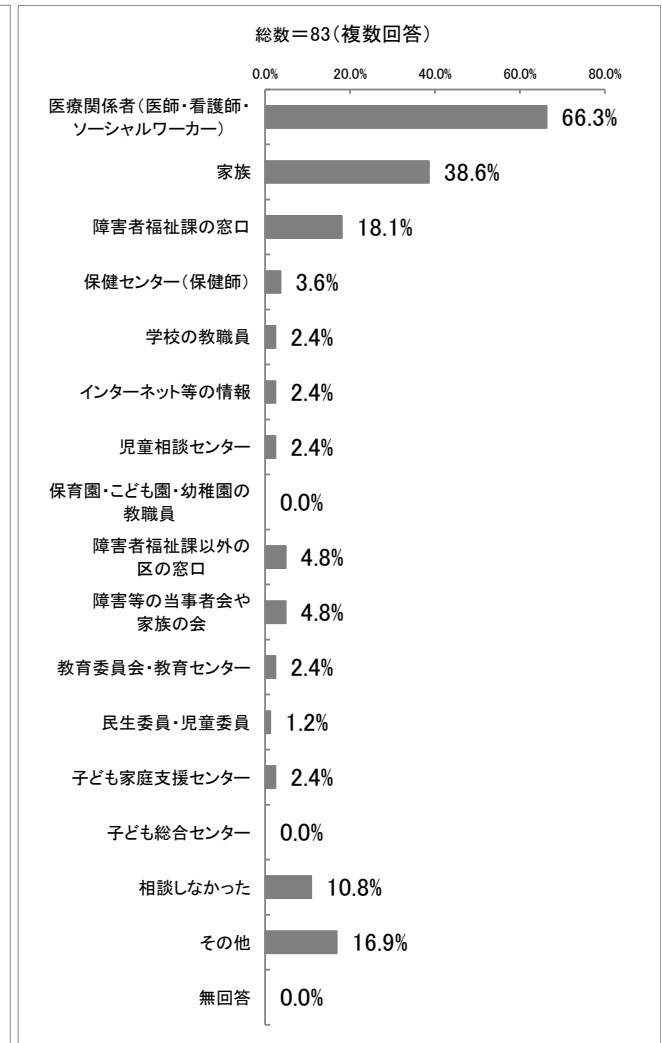
## 精神障害



## ■発達障害

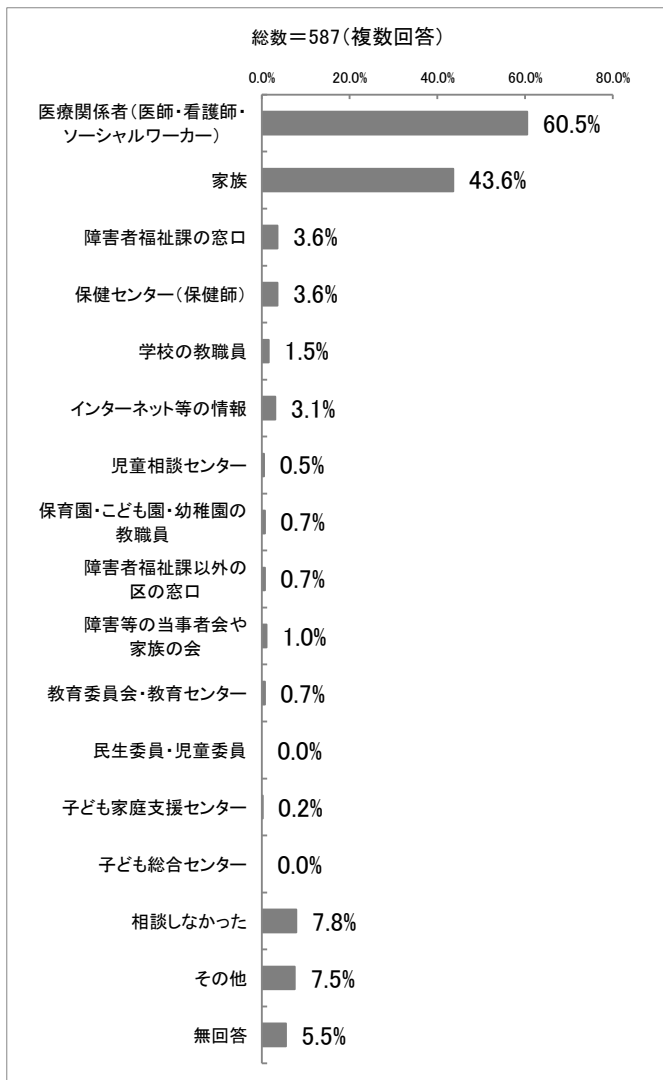


## ■高次脳機能障害





## ■難病・特定疾患

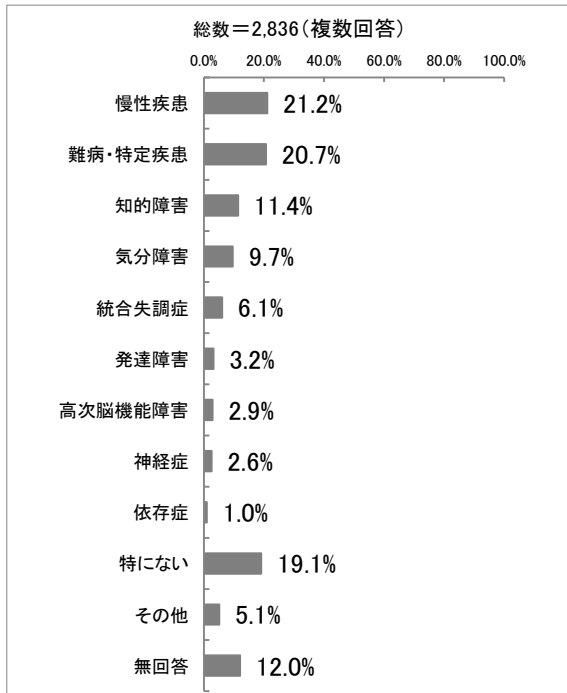


### (3) 疾患や障害の有無

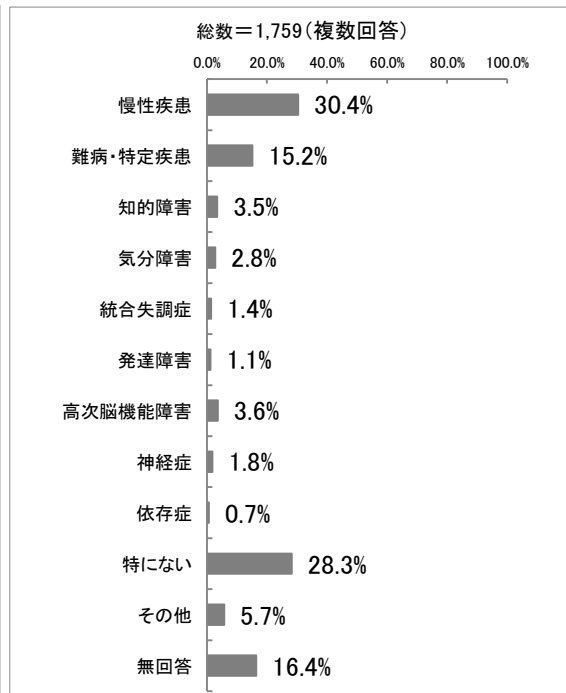
問8 あなたには、次の疾患や障害がありますか。

全体では、「慢性疾患」が21.2%、「難病・特定疾患」が20.7%、「知的障害」が11.4%となっています。

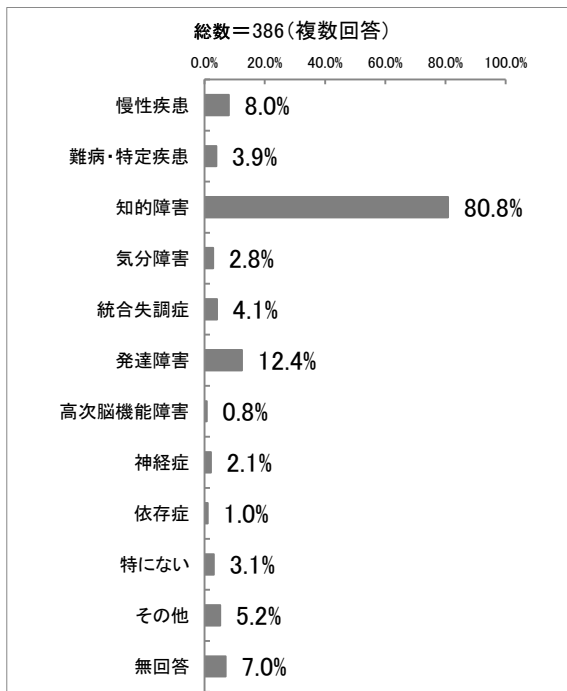
#### ■全体



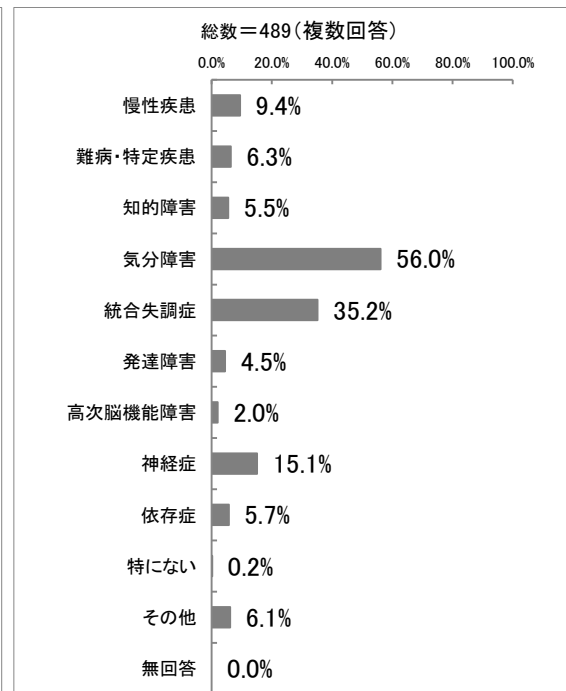
#### ■身体障害



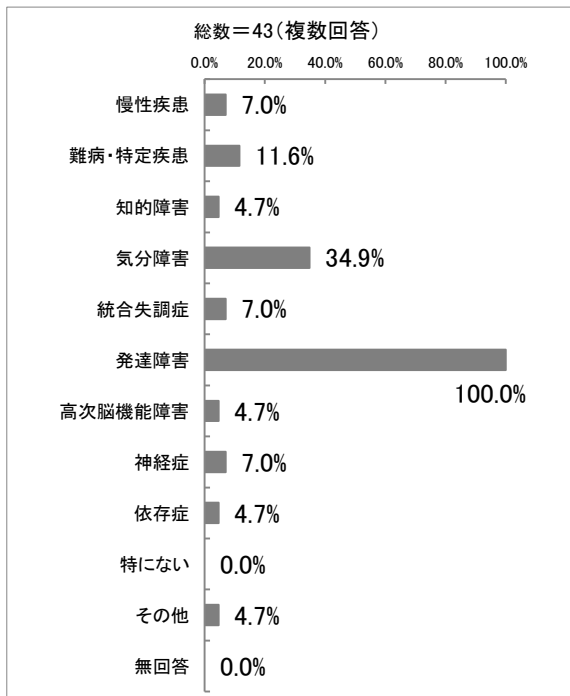
#### ■知的障害



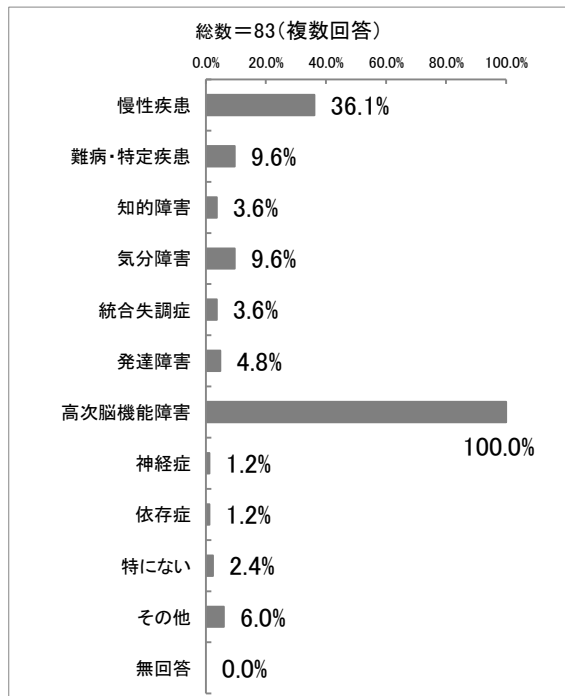
#### ■精神障害



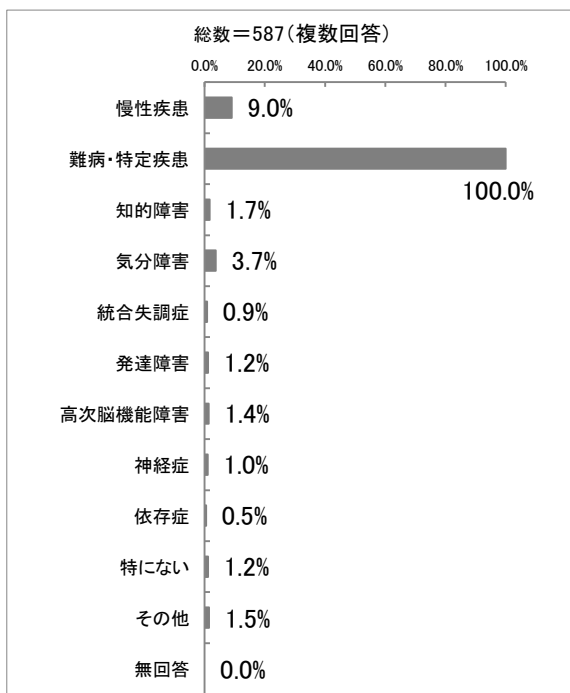
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



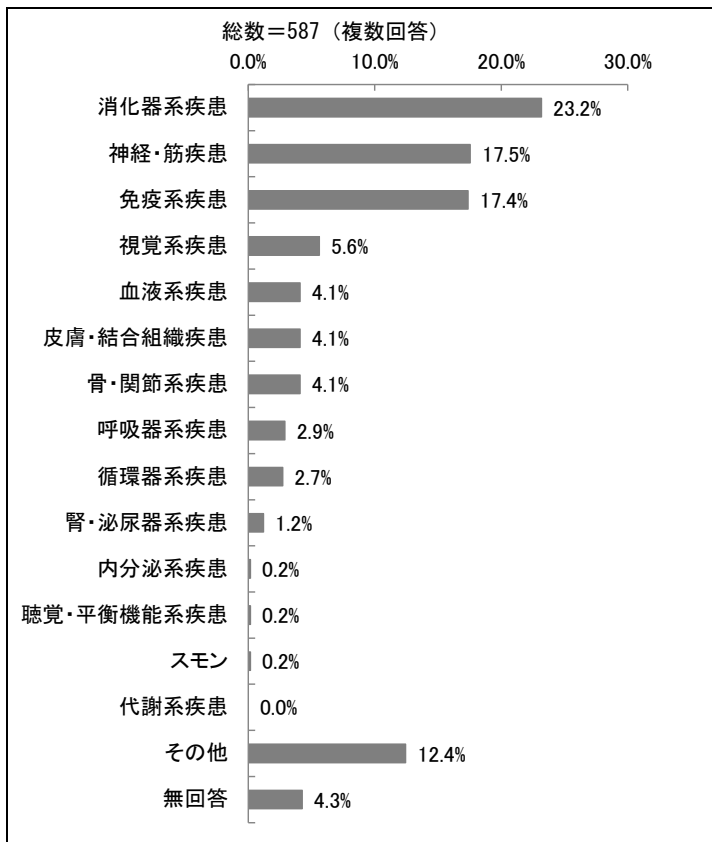
#### (4)難病・特定疾患について

問9 問8で「難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。

病名（東京都発行の難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されている病名）等をお答え下さい。

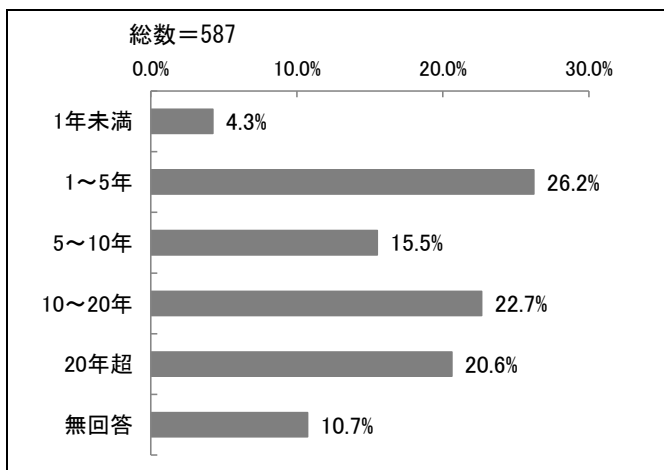
病名を分類すると、「消化器系疾患」が23.2%、「神経・筋疾患」が17.5%、「免疫系疾患」が17.4%となっています。また、診断を受けてからの期間は、「1～5年以下」が26.2%と最も多く、次いで「10～20年以下」が22.7%、「20年以上」が20.6%となっています。

##### ■病名



※集計にあたり、回答欄に記載された病名を、疾患群ごとに分類しています。各疾患群に含まれる主な病名については次頁をご覧ください。

##### ■診断を受けてからの期間



○参考

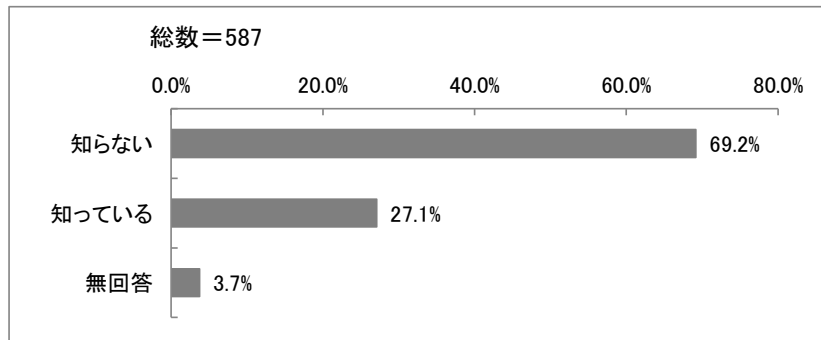
【疾患群別の主な難病・特定疾患名】

疾患群	当該疾患群に含まれる病名
血液系疾患	血栓性血小板減少性紫斑病、原発性免疫不全症候群、骨髄異形成症候群、骨髄線維症、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、特発性血小板減少性紫斑病 など
免疫系疾患	アレルギー性肉芽腫性血管炎、ウェグナー肉芽腫症、関節リウマチ、バージャー病、抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデス、ペーチェット病 など
内分泌系疾患	アジソン病、ADH 不適合分泌症候群、中枢性尿崩症、下垂体前葉機能低下症、グルココルチコイド抵抗症、原発性アルドステロン症、下垂体前葉機能低下症 など
代謝系疾患	アミロイド症、原発性高脂血症
神経・筋疾患	亜急性硬化性全脳炎、HTLV-1 関連脊髄症、球脊髄性筋萎縮症、ギラン・バレー症候群、筋萎縮性側索硬化症、クローウ・深瀬症候群、パーキンソン病 など
視覚系疾患	加齢性黄斑変性症、視神経症、網膜色素変性症
聴覚・平衡機能系疾患	遅発性内リンパ水腫、特発性両側性感音難聴、突発性難聴、メニエール病
循環器系疾患	拘束型心筋症、特発性拡張型心筋症、先天性 QT 延長症候群、肥大型心筋症
呼吸器系疾患	サルコイドーシス、特発性間質性肺炎、肺動脈性肺高血圧症、肥満低換気症候群、慢性血栓塞栓性肺高血圧症、ランゲルハンス細胞組織球症、リンパ管筋腫症 など
消化器系疾患	潰瘍性大腸炎、肝外門脈閉塞症、肝内結石症、クローン病、劇症肝炎、原発性硬化性胆管炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、特発性門脈圧亢進症 など
皮膚・結合組織疾患	強皮症、硬化性萎縮性苔癬、混合性結合組織病、神経線維腫症、スティーンヴンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、先天性魚鱗癬様紅皮症 など
骨・関節系疾患	黄色靭帯骨化症、後縦靭帯骨化症、広範脊柱管狭窄症、進行性骨化性線維形成異常症、特発性大腿骨頭壊死、汎発性特発性骨増殖症
腎・泌尿器系疾患	IgA 腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、難治性ネフローゼ症候群
スモン	スモン

問 10 **問8で「難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。**

平成25年4月から、障害福祉サービスの対象者に難病（130疾病）の方が追加されましたが、知っていますか。

「知らない」が69.2%、「知っている」が27.1%となっており、障害福祉サービスの対象に、難病が追加されたことを知らない人の割合が高くなっています。

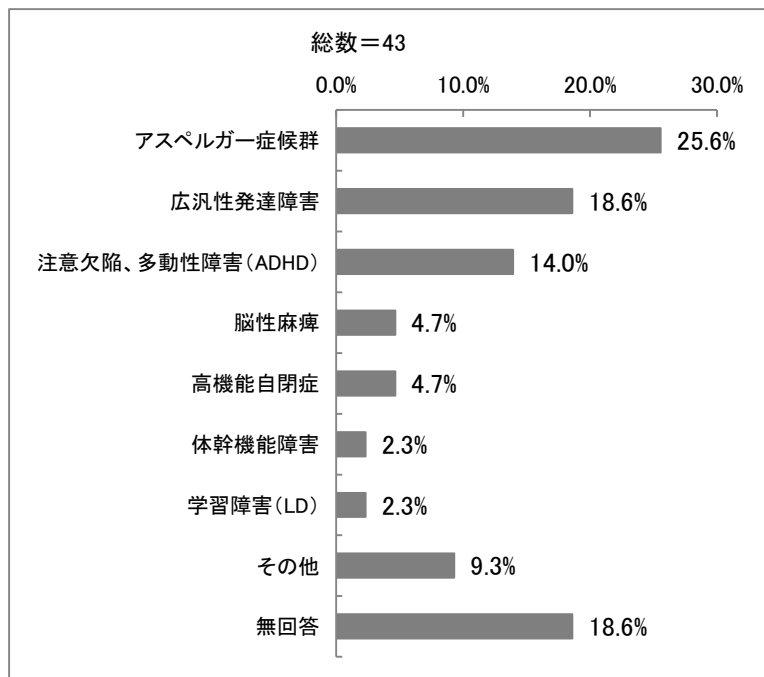


(5) 発達障害について

問 11 **問8で「発達障害」と回答された方にお聞きします。**

診断名をお答え下さい。例) 広汎性発達障害、学習障害 (LD) など

「アスペルガー症候群」が25.6%と最も多く、次いで「広汎性発達障害」が18.6%、「注意欠陥、多動性障害」が14.0%となっています。

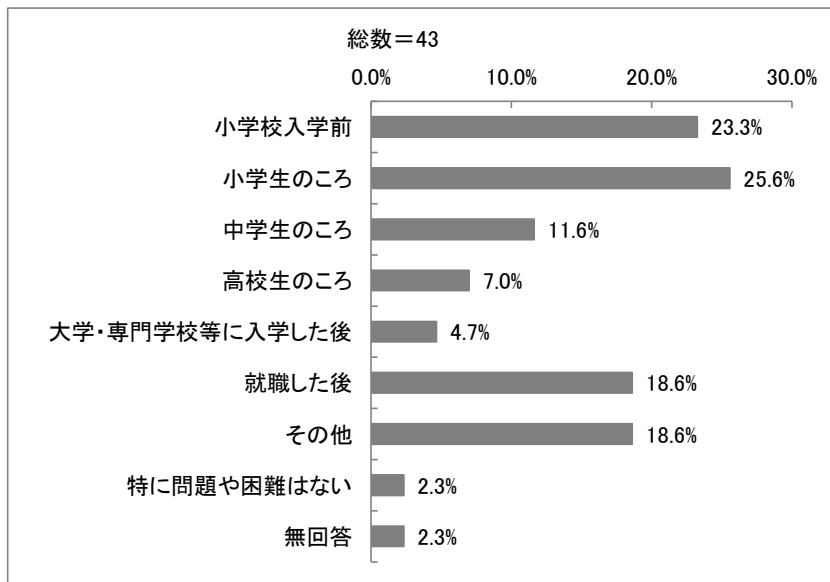


問 12 問8で「発達障害」と回答された方にお聞きします。

あなたご自身が、発達障害に基づく日常生活の問題や困難に気づいたのはいつごろですか。

「小学生のころ」が25.6%と最も多く、次いで「小学校入学前」が23.3%となっています。

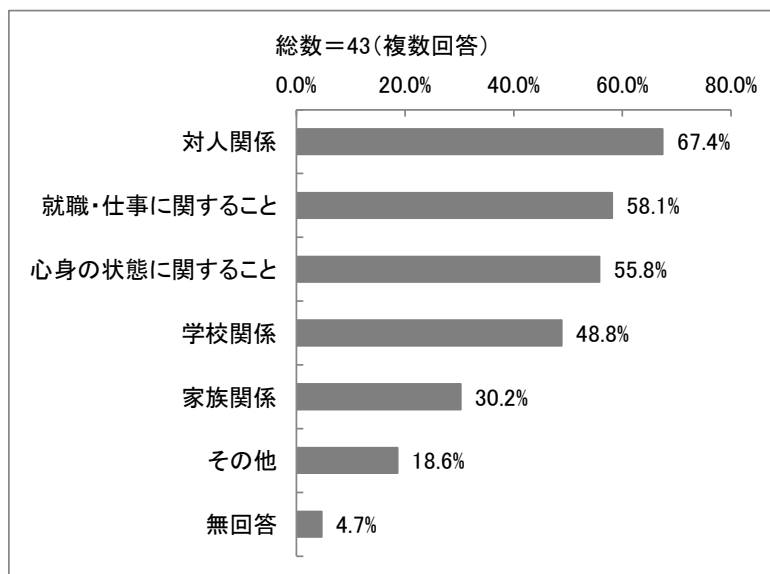
(※グラフは、重複回答を含みます)



問 13 問8で「発達障害」と回答された方にお聞きします。

それはどのような問題や困難でしたか。

「対人関係」が67.4%と最も多く、次いで「就職・仕事に関すること」が58.1%、「心身の状態に関すること」が55.8%となっています。

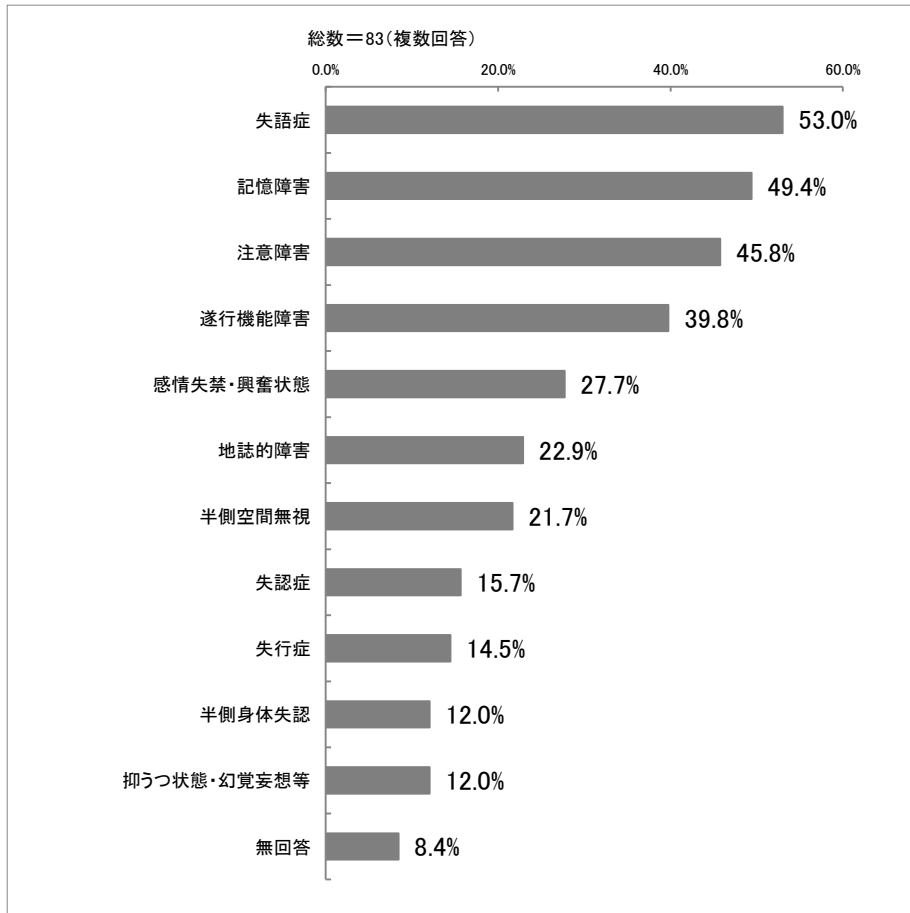


## (6)高次脳機能障害について

問 14 問8で「高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。

あなたには、次のような症状がありますか。

「失語症」が 53.0%と最も多く、次いで「記憶障害」が 49.4%、「注意障害」が 45.8%となっています。上位3つの症状は、いずれも 50%前後出現しており、重複障害があることがわかります。



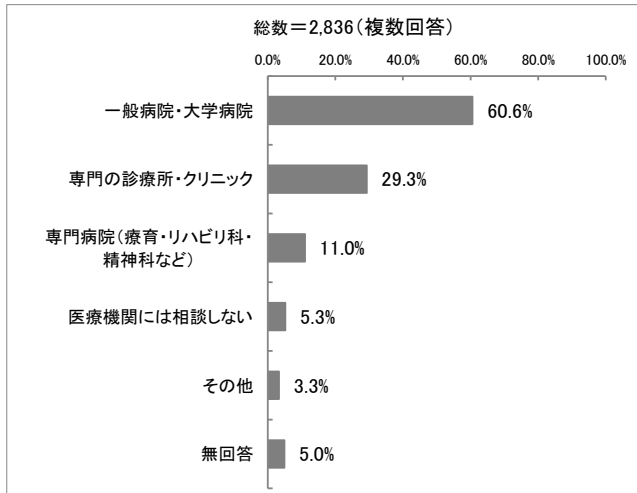


## (7) 受診している医療機関

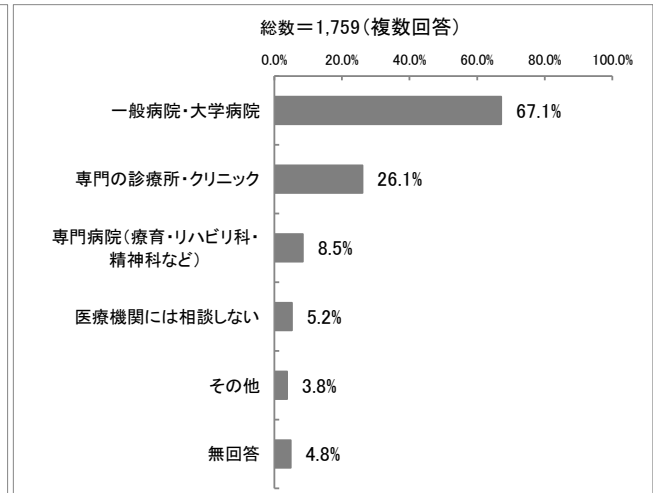
問 15 あなたは、障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。

全体では、「一般病院・大学病院」が60.6%、「専門の診療所・クリニック」が29.3%、「専門病院（療育・リハビリ科・精神科等）」が11.0%となっています。障害別に見ると、精神障害、発達障害では、「専門の診療所・クリニック」が多くなっています。

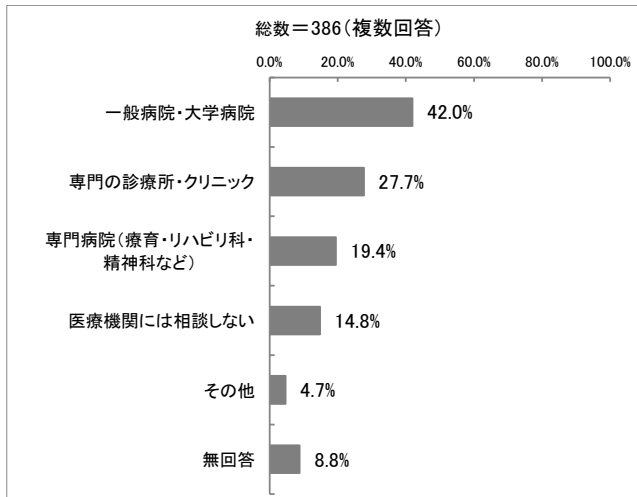
### ■全体



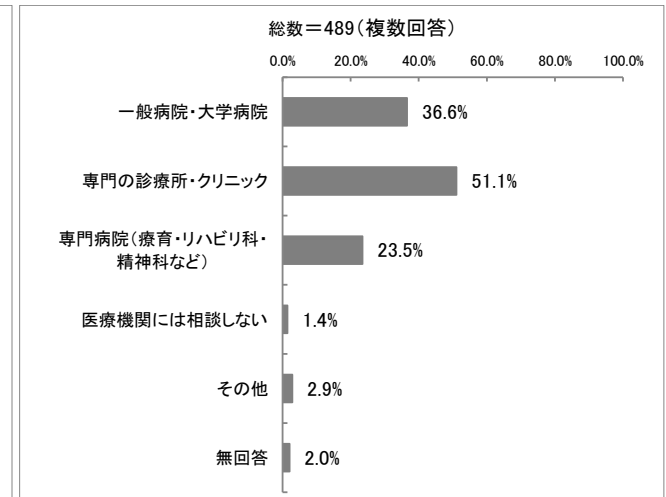
### ■身体障害



### ■知的障害

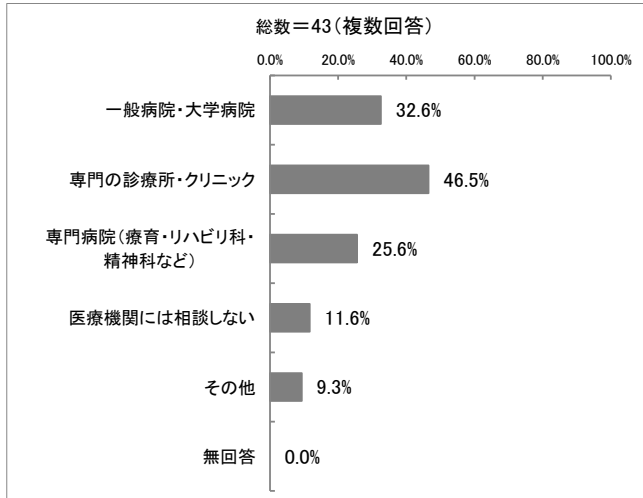


### ■精神障害

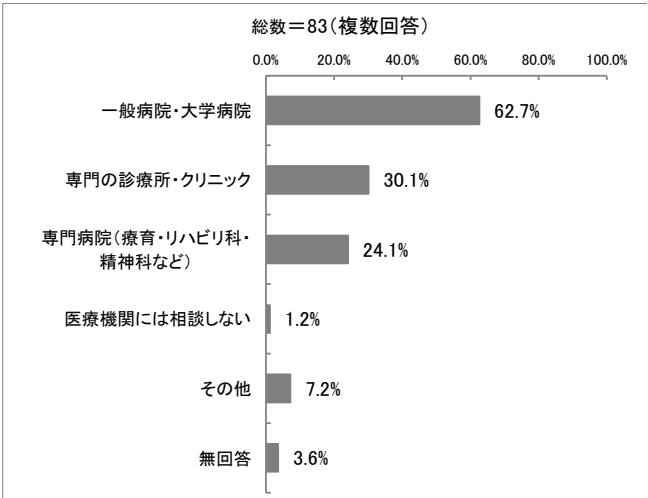


難病・特定疾患では「一般病院・大学病院」が特に多く、大規模な病院の専門医を受診している傾向がわかります。

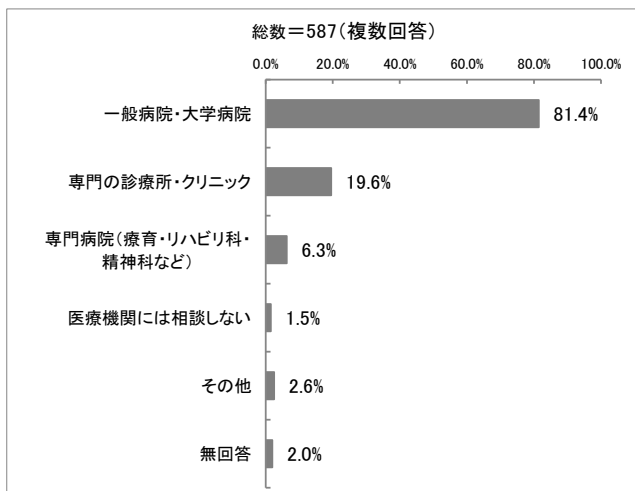
### ■発達障害



### ■高次脳機能障害



### ■難病・特定疾患

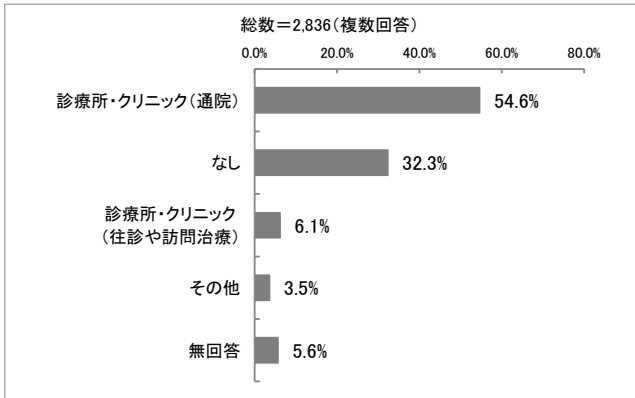


## (8) 診療所の「かかりつけ医」の有無

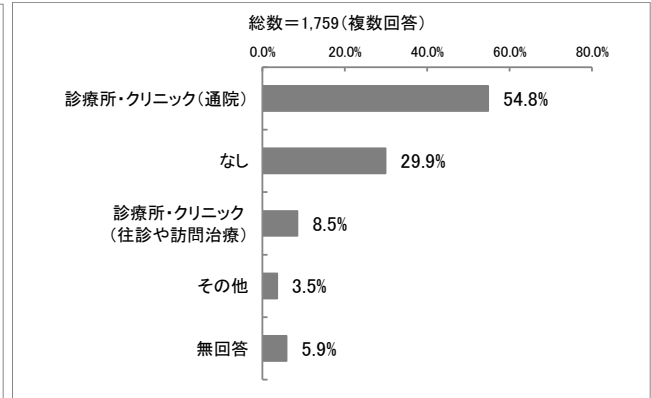
問 16 あなたは、問 15 の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所の「かかりつけ医」がいますか。

全体では、「診療所・クリニック（通院）」が 54.6%と最も多く、次いで「なし」が 32.3%、「診療所・クリニック（往診や訪問治療）」が 6.1%となっています。

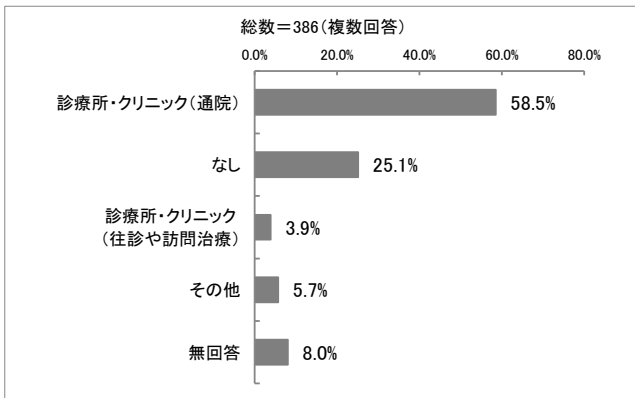
### ■全体



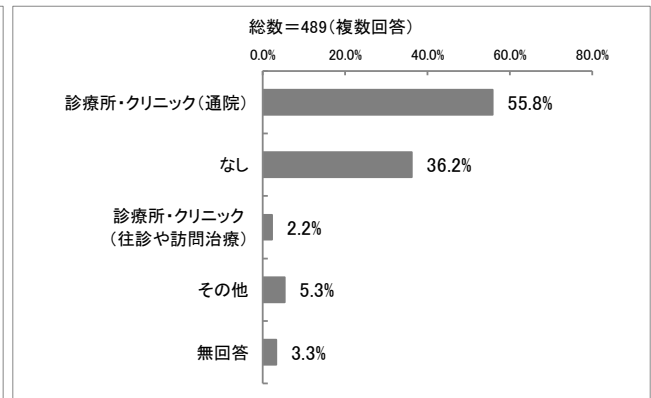
### ■身体障害



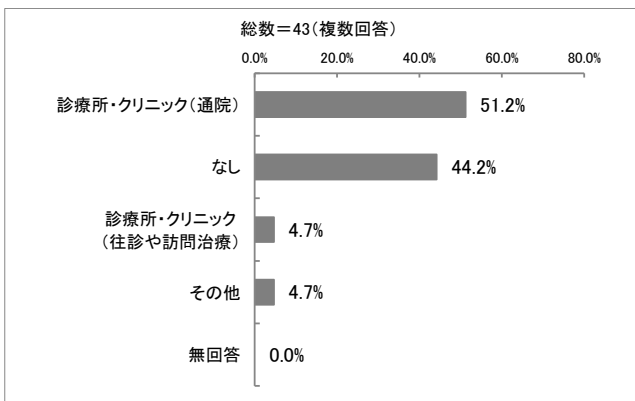
### ■知的障害



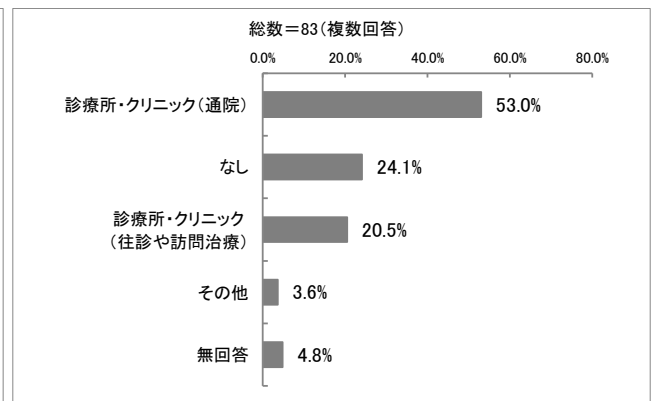
### ■精神障害



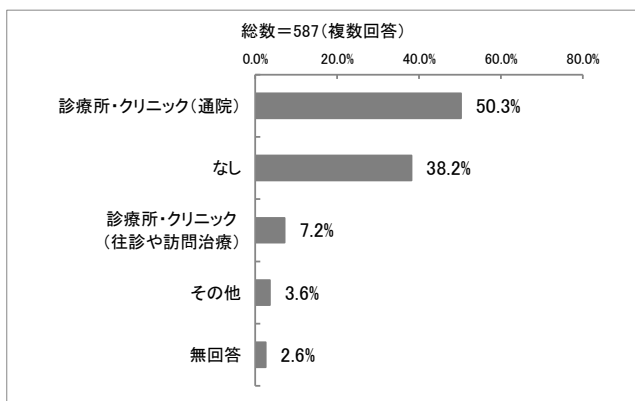
### ■発達障害



### ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患

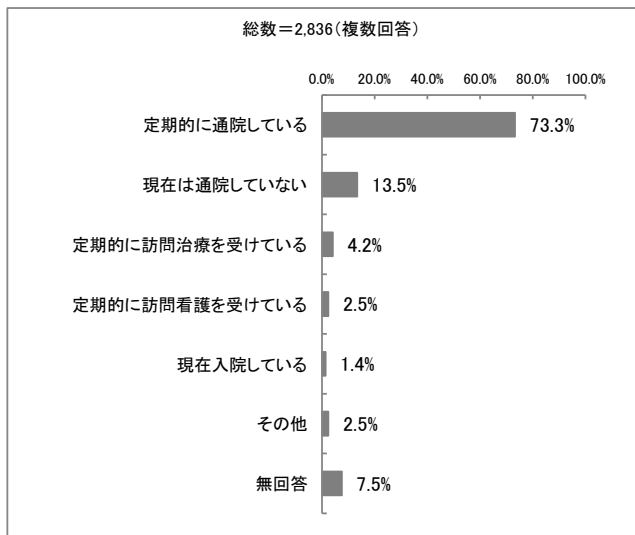


## (9) 医療機関の受診状況

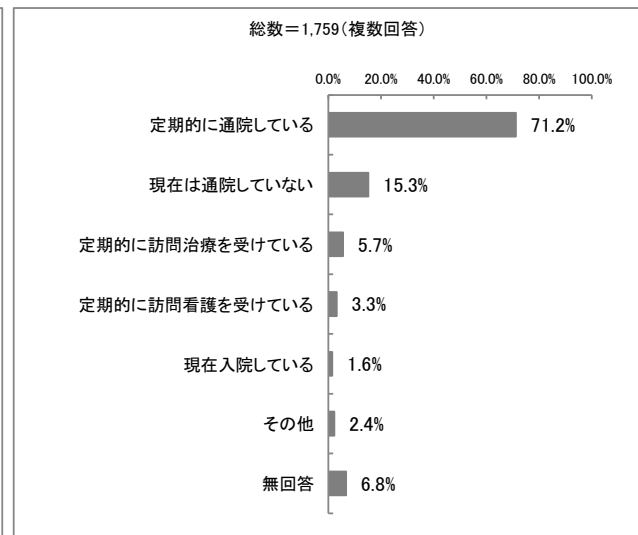
問 17 障害等について、受診状況等をお聞きします。

全体では、「定期的に通院している」が73.3%と最も多く、次いで「現在は通院していない」が13.5%、「定期的に訪問治療を受けている」が4.2%となっています。障害別に見ると、精神障害、難病・特定疾患では「定期的に通院している」が特に多くなっています。知的障害では「通院していない」がやや多くなっています。

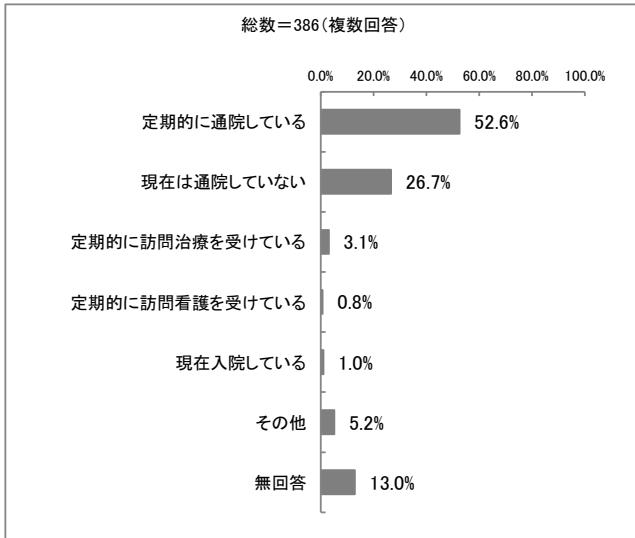
### ■全体



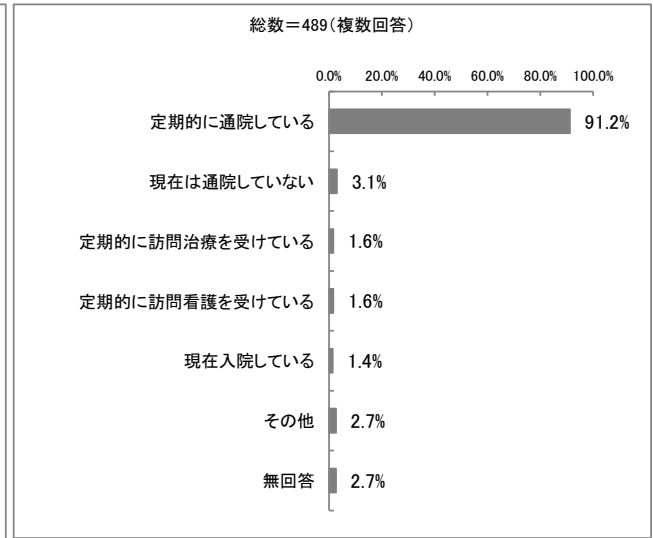
### ■身体障害



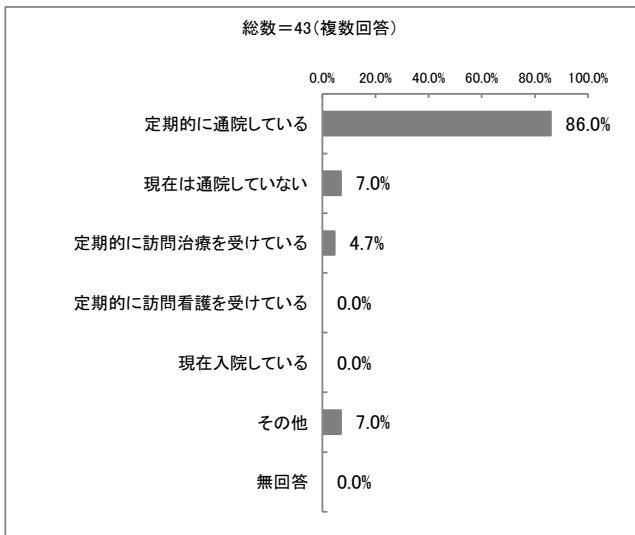
## 知的障害



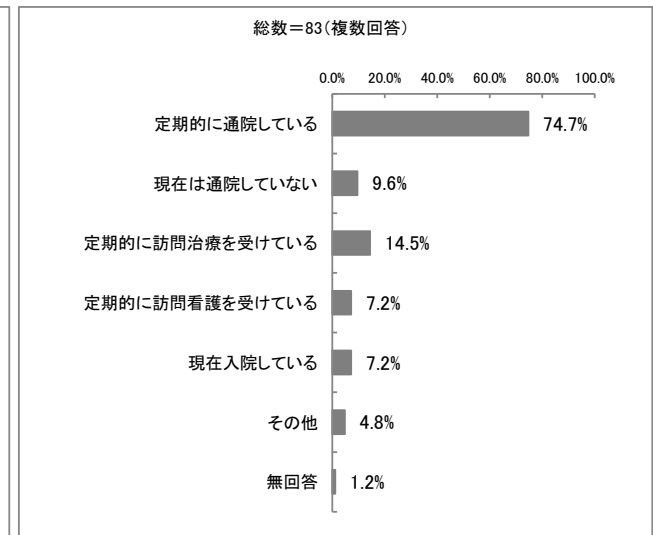
## 精神障害



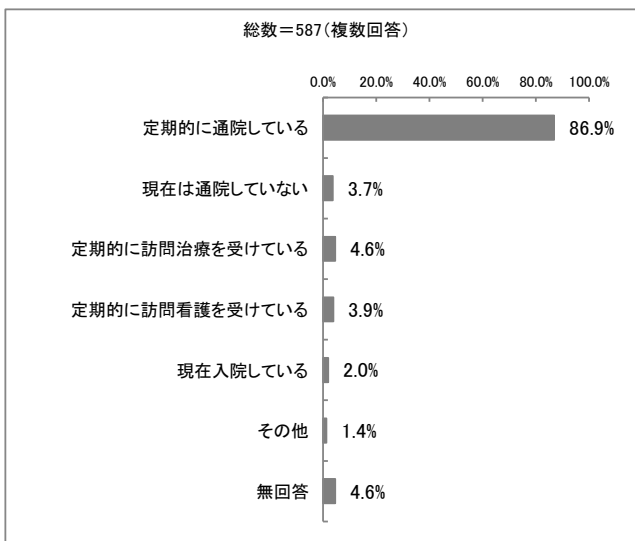
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## 難病・特定疾患

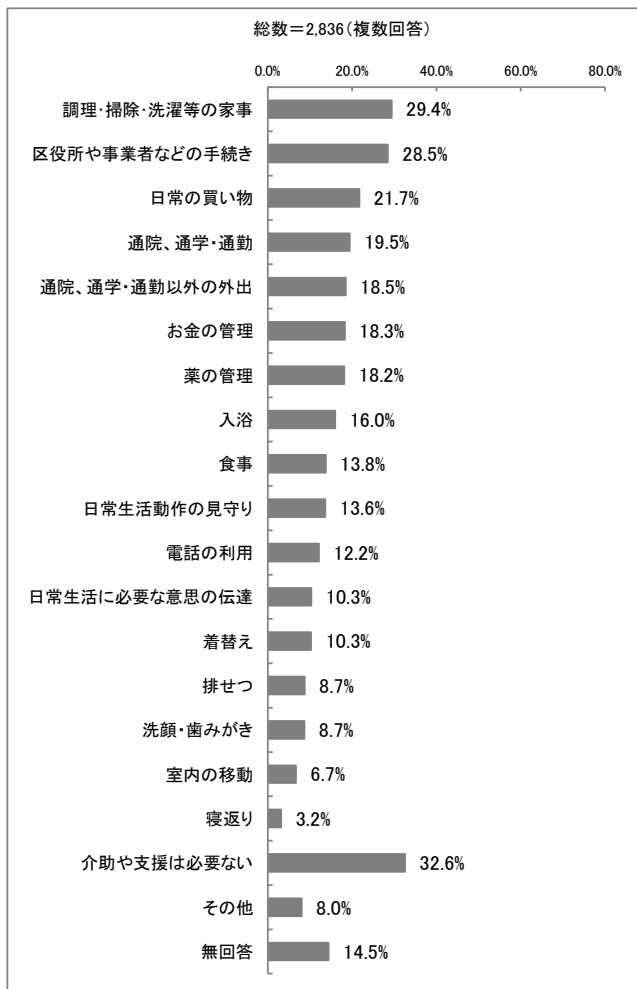


## (10) 介助や支援が必要なこと

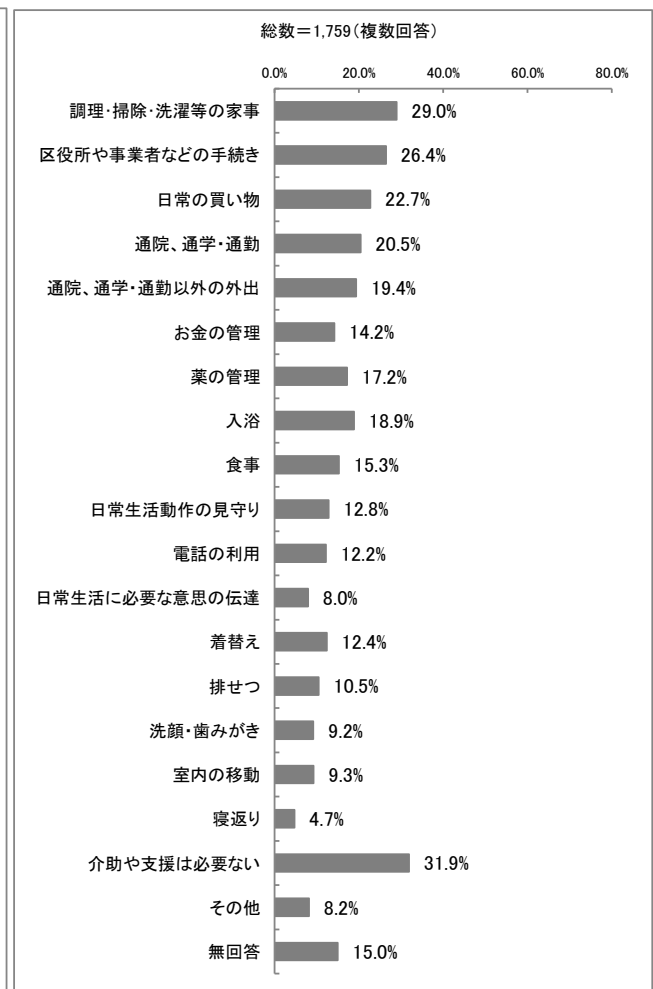
問 18 あなたは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。

全体では、「調理・掃除・洗濯等の家事」が 29.4%、「区役所や事業者等の手続き」が 28.5%、「日常の買い物」が 21.7%となっています。知的障害、高次脳機能障害では、ほとんどの項目で介助や支援が必要だと回答している人の割合が高くなっています。「介助や支援は必要ない」と回答している人の割合は、全体では 32.6%ですが、難病・特定疾患では 40.4%と、特に高くなっています。

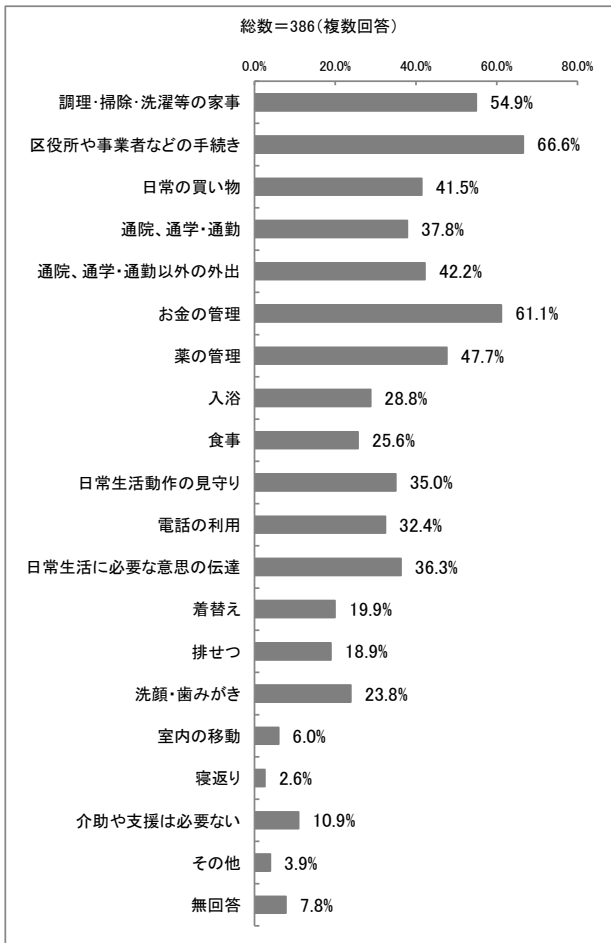
### ■全体



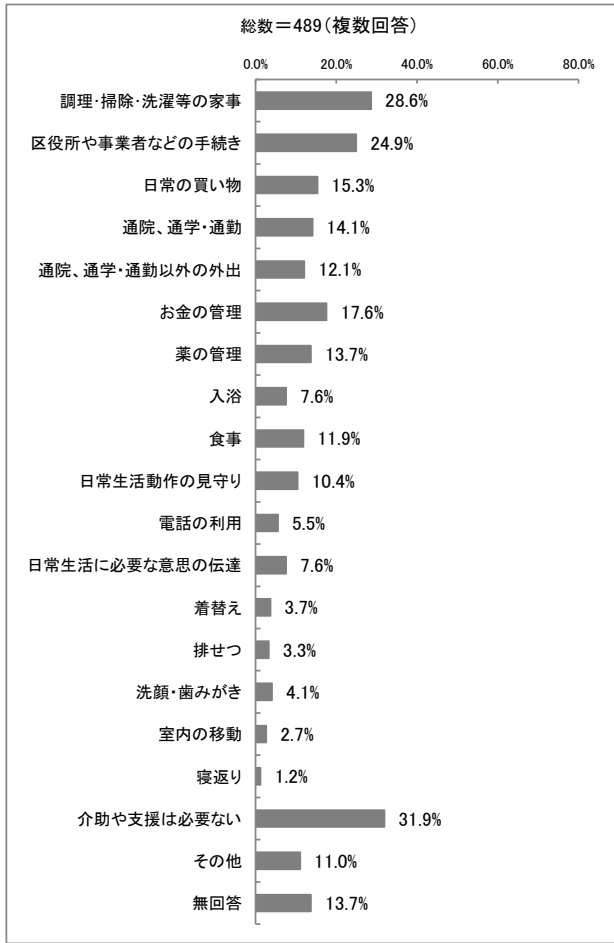
### ■身体障害



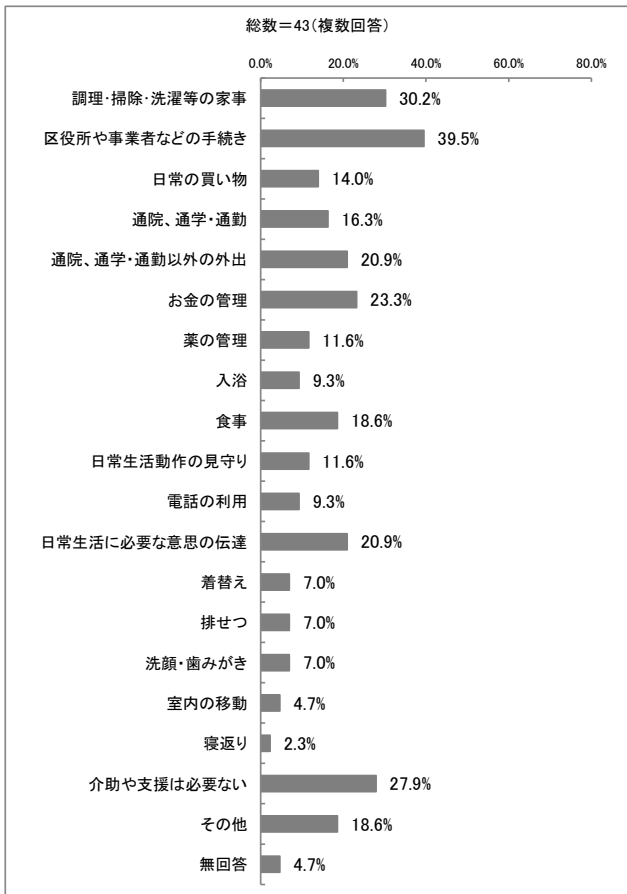
## 知的障害



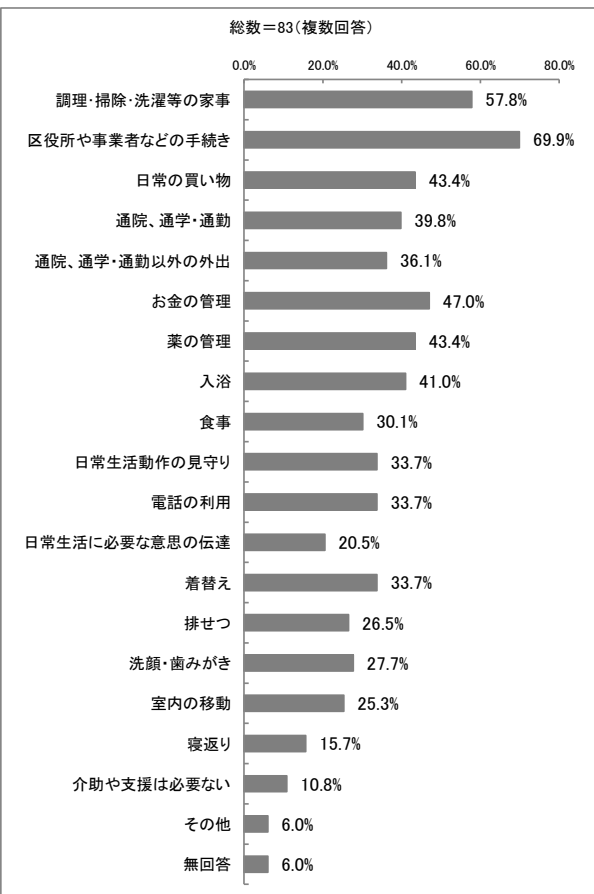
## 精神障害



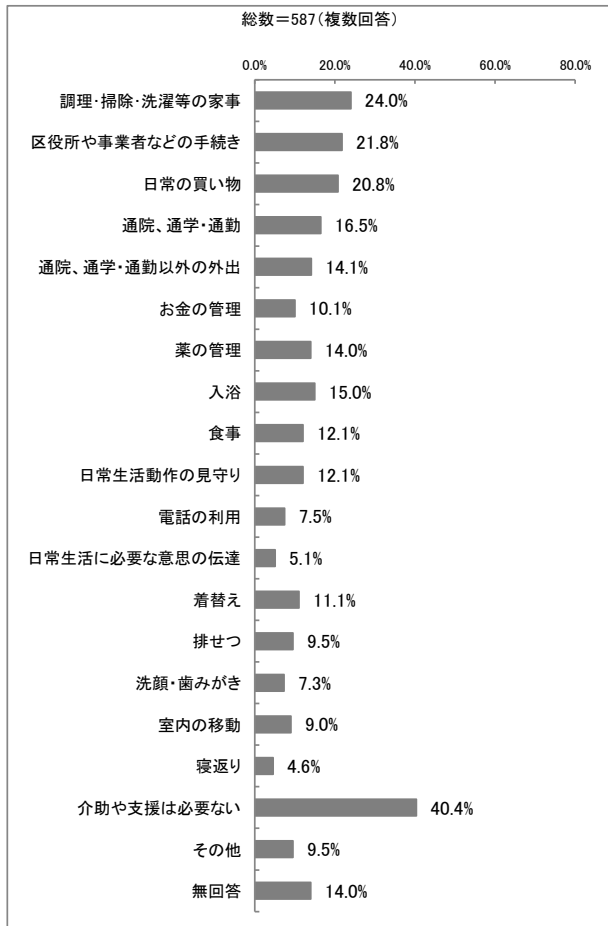
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患





## 介助や支援が必要なことと年齢

	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
食事	84 21.5%	115 29.5%	52 13.3%	132 33.8%	7 1.8%
排せつ	62 25.0%	53 21.4%	28 11.3%	101 40.7%	4 1.6%
入浴	92 20.3%	108 23.8%	57 12.6%	190 41.9%	7 1.5%
寝返り	13 14.4%	25 27.8%	16 17.8%	34 37.8%	2 2.2%
着替え	68 23.3%	67 22.9%	39 13.4%	114 39.0%	4 1.4%
調理・掃除・洗濯等の家事	202 24.2%	248 29.8%	109 13.1%	263 31.6%	11 1.3%
室内の移動	29 15.3%	40 21.2%	26 13.8%	90 47.6%	4 2.1%
洗顔・歯みがき	75 30.5%	63 25.6%	28 11.4%	77 31.3%	3 1.2%
電話の利用	100 29.0%	70 20.3%	47 13.6%	123 35.7%	5 1.4%
お金の管理	189 36.5%	133 25.7%	44 8.5%	144 27.8%	8 1.5%
日常の買い物	156 25.3%	146 23.7%	84 13.6%	221 35.9%	9 1.5%
通院、通学・通勤	139 25.2%	146 26.4%	60 10.9%	202 36.6%	5 0.9%
通院、通学・通勤以外の外出	155 29.5%	134 25.5%	63 12.0%	167 31.8%	6 1.1%
日常生活に必要な意思の伝達	120 41.0%	77 26.3%	25 8.5%	69 23.5%	2 0.7%
日常生活動作の見守り	125 32.3%	94 24.3%	44 11.4%	118 30.5%	6 1.6%
薬の管理	160 31.1%	121 23.5%	56 10.9%	173 33.6%	5 1.0%
区役所や事業者などの手続き	233 28.8%	212 26.2%	101 12.5%	248 30.7%	14 1.7%
介助や支援は必要ない	204 22.1%	447 48.4%	133 14.4%	129 14.0%	11 1.2%
その他	37 16.2%	90 39.5%	43 18.9%	53 23.2%	5 2.2%
無回答	42 10.2%	163 39.8%	85 20.7%	112 27.3%	8 2.0%

介助や支援が必要なことと身体障害の種類

	肢体不自由	音声・言語・そしゃく障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害	無回答
食事	121 37.6%	29 9.0%	36 11.2%	21 6.5%	43 13.4%	72 22.4%
排せつ	105 46.5%	23 10.2%	16 7.1%	14 6.2%	27 11.9%	41 18.1%
入浴	171 42.5%	40 10.0%	35 8.7%	23 5.7%	49 12.2%	84 20.9%
寝返り	61 56.5%	14 13.0%	2 1.9%	6 5.6%	8 7.4%	17 15.7%
着替え	124 45.9%	25 9.3%	23 8.5%	19 7.0%	27 10.0%	52 19.3%
調理・掃除・洗濯等の家事	230 38.5%	43 7.2%	75 12.5%	43 7.2%	86 14.4%	121 20.2%
室内の移動	94 47.2%	17 8.5%	19 9.5%	10 5.0%	24 12.1%	35 17.6%
洗顔・歯みがき	98 48.5%	22 10.9%	12 5.9%	16 7.9%	17 8.4%	37 18.3%
電話の利用	86 32.3%	34 12.8%	29 10.9%	60 22.6%	20 7.5%	37 13.9%
お金の管理	106 35.5%	26 8.7%	43 14.4%	27 9.0%	33 11.0%	64 21.4%
日常の買い物	188 40.2%	31 6.6%	65 13.9%	27 5.8%	60 12.8%	97 20.7%
通院、通学・通勤	156 37.1%	25 5.9%	64 15.2%	34 8.1%	55 13.1%	87 20.7%
通院、通学・通勤以外の外出	144 36.5%	21 5.3%	66 16.7%	33 8.4%	47 11.9%	84 21.3%
日常生活に必要な意思の伝達	59 33.1%	30 16.9%	13 7.3%	34 19.1%	15 8.4%	27 15.2%
日常生活動作の見守り	109 40.2%	22 8.1%	26 9.6%	27 10.0%	37 13.7%	50 18.5%
薬の管理	127 35.4%	28 7.8%	49 13.6%	27 7.5%	49 13.6%	79 22.0%
区役所や事業者などの手続き	177 32.5%	45 8.3%	94 17.2%	52 9.5%	65 11.9%	112 20.6%
介助や支援は必要ない	141 24.2%	20 3.4%	34 5.8%	62 10.7%	195 33.5%	130 22.3%
その他	44 26.5%	14 8.4%	16 9.6%	18 10.8%	33 19.9%	41 24.7%
無回答	66 22.4%	14 4.7%	39 13.2%	27 9.2%	64 21.7%	85 28.8%

## 介助や支援が必要なことと障害に気付いた時期

	0～17歳	18～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
全体	776 27.1%	1531 53.6%	262 9.2%	185 6.5%	105 3.7%
食事	134 34.1%	159 40.5%	45 11.5%	47 12.0%	8 2.0%
排せつ	97 38.6%	79 31.5%	30 12.0%	42 16.7%	3 1.2%
入浴	150 32.8%	168 36.7%	62 13.5%	71 15.5%	7 1.5%
寝返り	24 26.1%	38 41.3%	16 17.4%	12 13.0%	2 2.2%
着替え	104 35.3%	102 34.6%	42 14.2%	42 14.2%	5 1.7%
調理・掃除・洗濯等の家事	297 35.3%	360 42.8%	87 10.3%	83 9.9%	14 1.7%
室内の移動	44 22.9%	81 42.2%	28 14.6%	34 17.7%	5 2.6%
洗顔・歯みがき	118 47.2%	70 28.0%	28 11.2%	31 12.4%	3 1.2%
電話の利用	171 49.1%	93 26.7%	35 10.1%	44 12.6%	5 1.4%
お金の管理	266 51.1%	152 29.2%	42 8.1%	54 10.4%	7 1.3%
日常の買い物	176 30.8%	241 42.1%	69 12.1%	72 12.6%	14 2.4%
通院、通学・通勤	154 30.6%	217 43.1%	61 12.1%	65 12.9%	6 1.2%
通院、通学・通勤以外の外出	178 37.9%	177 37.7%	51 10.9%	58 12.3%	6 1.3%
日常生活に必要な医師の伝達	134 53.2%	71 28.2%	18 7.1%	27 10.7%	2 0.8%
日常生活動作の見守り	129 37.4%	119 34.5%	45 13.0%	45 13.0%	7 2.0%
薬の管理	169 36.7%	161 35.0%	57 12.4%	66 14.3%	7 1.5%
区役所や事業者などの手続き	284 38.3%	274 36.9%	77 10.4%	91 12.3%	16 2.2%
介助や支援は必要ない	164 18.5%	609 68.6%	69 7.8%	25 2.8%	21 2.4%
その他	47 21.2%	133 59.9%	22 9.9%	17 7.7%	3 1.4%
無回答	54 13.5%	218 54.4%	44 11.0%	29 7.2%	56 14.0%

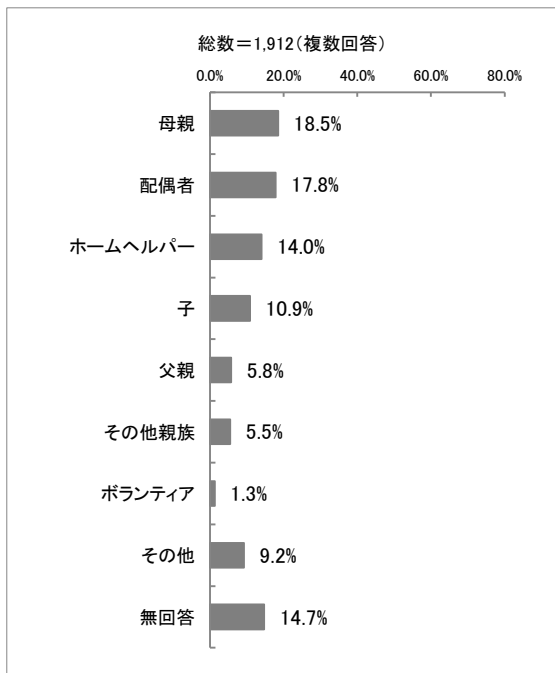
## (11) 主な介助者

問 19 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方(問 18 で「介助や支援は必要ない」以外の、いずれかの項目に○を付けた方)にお聞きします。

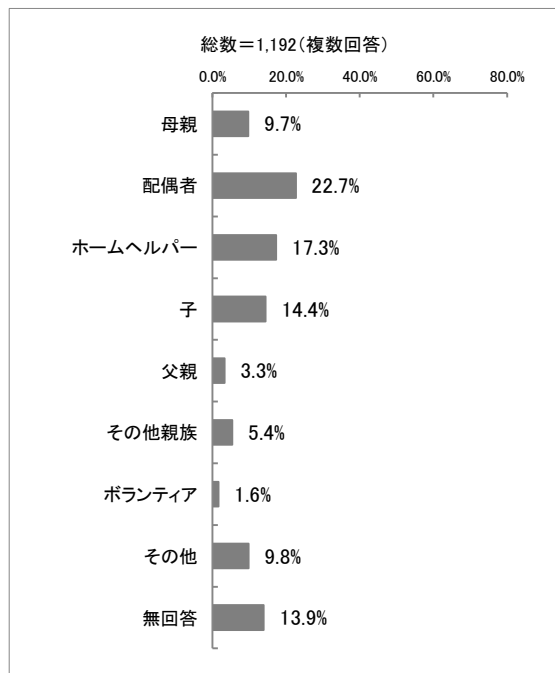
あなたを主に介助・支援している人はどなたですか。

知的障害では「母親」が62.8%と、特に多くなっています。身体障害、高次脳機能障害、難病・特定疾患では「配偶者」が最も多くなっています。

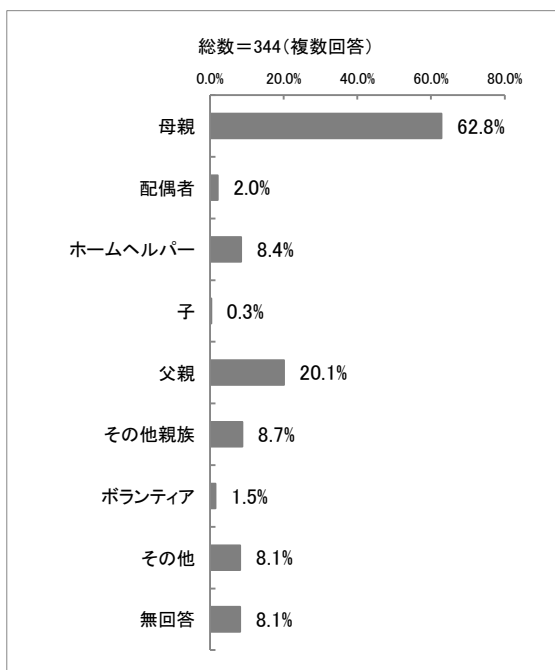
### ■全体



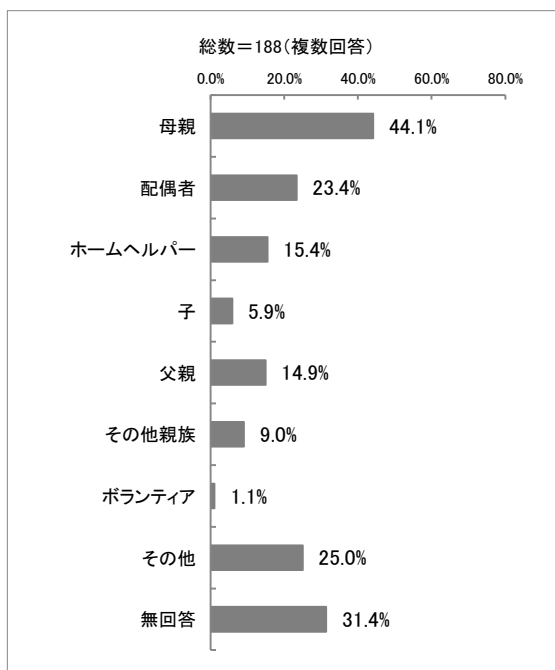
### ■身体障害



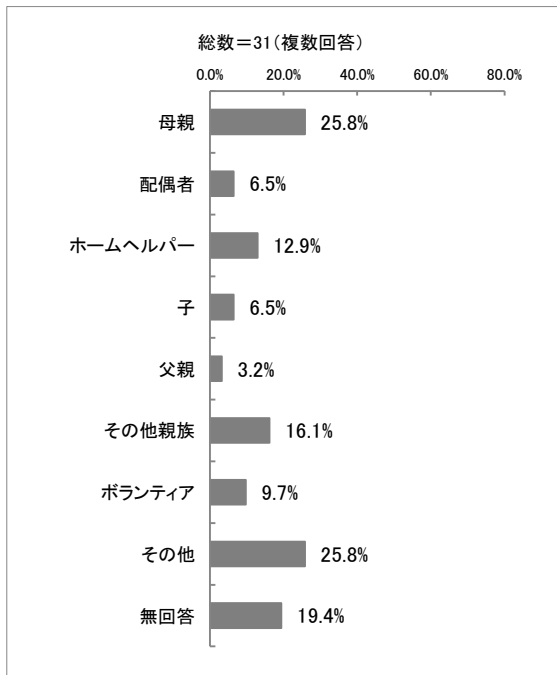
### ■知的障害



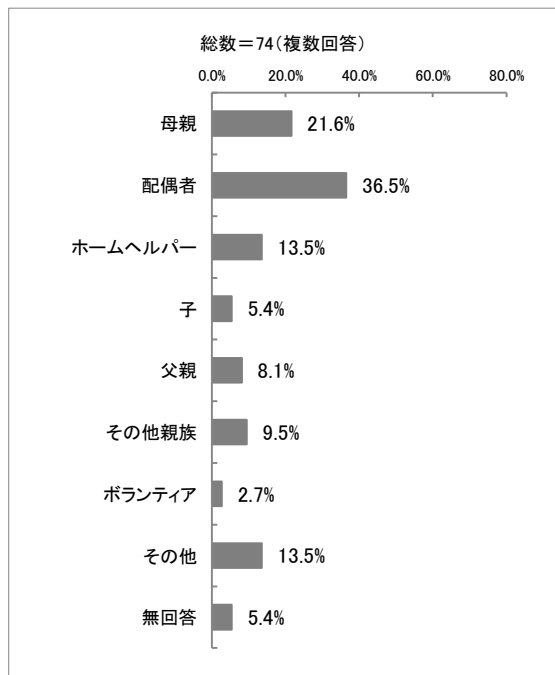
### ■精神障害



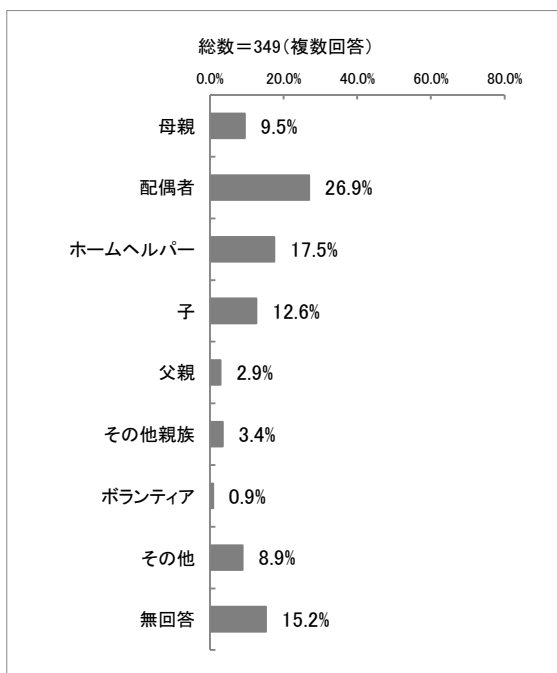
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 主な介助者と年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」では「母親」が特に多くなっています。

	父親	母親	配偶者	子	その他親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
18～39歳	79 22.9%	229 66.4%	17 4.9%	1 0.3%	14 4.1%	24 7.0%	5 1.4%	36 10.4%	41 11.9%
40～64歳	29 5.7%	119 23.3%	108 21.2%	30 5.9%	33 6.5%	72 14.1%	5 1.0%	64 12.5%	120 23.5%
65～74歳	0 0.0%	1 0.5%	81 36.7%	23 10.4%	24 10.9%	42 19.0%	2 0.9%	24 10.9%	52 23.5%
75歳以上	1 0.2%	0 0.0%	131 28.7%	152 33.3%	32 7.0%	123 27.0%	10 2.2%	50 11.0%	62 13.6%
無回答	1 4.2%	4 16.7%	4 16.7%	2 8.3%	2 8.3%	6 25.0%	2 8.3%	2 8.3%	6 25.0%

## 主な介助者と同居家族

同居している家族別の結果を見ると、「家族」では、「母親」が40.9%、「配偶者」が25.8%となっており、同居している家族による介助を受けている人が多くなっています。「ひとり暮らし」では、「ホームヘルパー」が33.6%となっています。

	父親	母親	配偶者	子	その他親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
家族	240 13.3%	735 40.9%	464 25.8%	212 11.8%	126 7.0%	168 9.3%	21 1.2%	117 6.5%	208 11.6%
ひとり暮らし	3 0.8%	13 3.5%	2 0.5%	50 13.6%	26 7.0%	124 33.6%	10 2.7%	73 19.8%	116 31.4%
グループホーム等での集団生活	3 5.4%	13 23.2%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	16 28.6%	2 3.6%	19 33.9%	12 21.4%
その他	0 0.0%	5 8.6%	6 10.3%	15 25.9%	5 8.6%	10 17.2%	1 1.7%	23 39.7%	10 17.2%
無回答	1 3.7%	3 11.1%	4 14.8%	5 18.5%	2 7.4%	7 25.9%	2 7.4%	3 11.1%	8 29.6%

※「家族」には、父親、母親、配偶者、子、兄弟姉妹、その他親族を含みます。

## 主な介助者と身体障害の種類

身体障害の種類別の結果を見ると、「配偶者」が多くなっています。「視覚障害」では、「ホームヘルパー」がやや多くなっています。

	父親	母親	配偶者	子	その他親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
肢体不自由	19 5.4%	56 16.0%	112 32.0%	61 17.4%	25 7.1%	91 26.0%	5 1.4%	28 8.0%	40 11.4%
音声・言語・そしゃく障害	3 3.9%	8 10.4%	25 32.5%	12 15.6%	7 9.1%	18 23.4%	1 1.3%	13 16.9%	10 13.0%
視覚障害	5 3.6%	10 7.3%	29 21.2%	36 26.3%	9 6.6%	45 32.8%	6 4.4%	24 17.5%	18 13.1%
聴覚・平衡機能障害	4 3.5%	8 7.0%	30 26.3%	24 21.1%	9 7.9%	14 12.3%	4 3.5%	20 17.5%	24 21.1%
内部障害	6 3.6%	11 6.5%	46 27.2%	30 17.8%	18 10.7%	32 18.9%	3 1.8%	24 14.2%	35 20.7%
無回答	12 4.8%	34 13.6%	64 25.6%	35 14.0%	10 4.0%	50 20.0%	5 2.0%	23 9.2%	52 20.8%

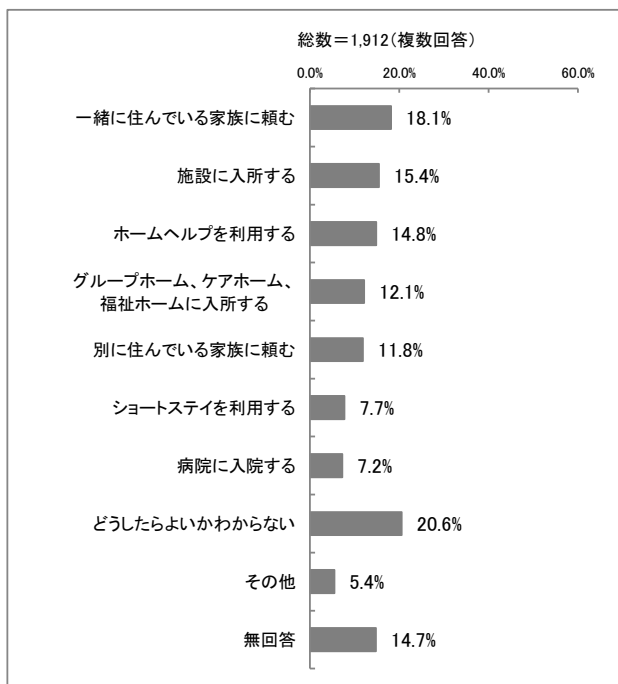
## (12) 介助できなくなった場合

問 20 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

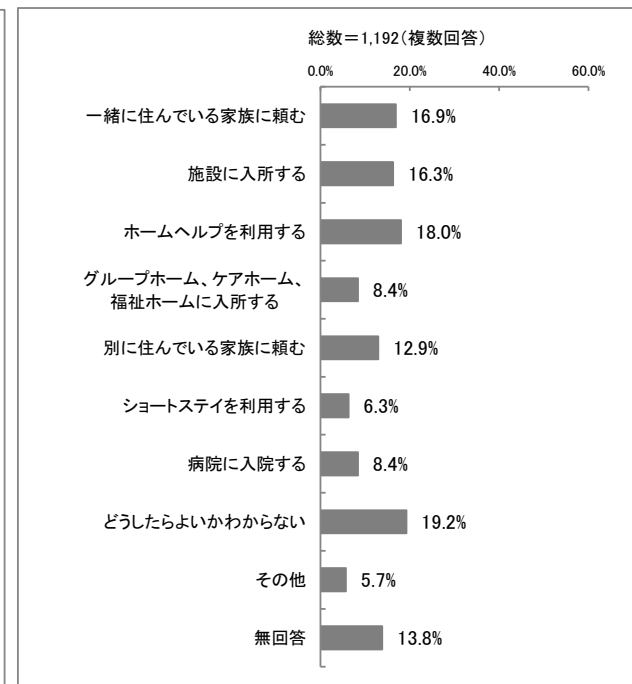
主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。

全体では「一緒に住んでいる家族に頼む」が 18.1%、「施設に入所する」が 15.4%、「ホームヘルプを利用する」が 14.8%となっています。障害別に見ると、知的障害では「グループホーム、ケアホーム、福祉ホームに入所する」が、高次脳機能障害では「施設に入所する」が最も多くなっています。精神障害、発達障害では「どうしたらよいかわからない」が特に多くなっています。

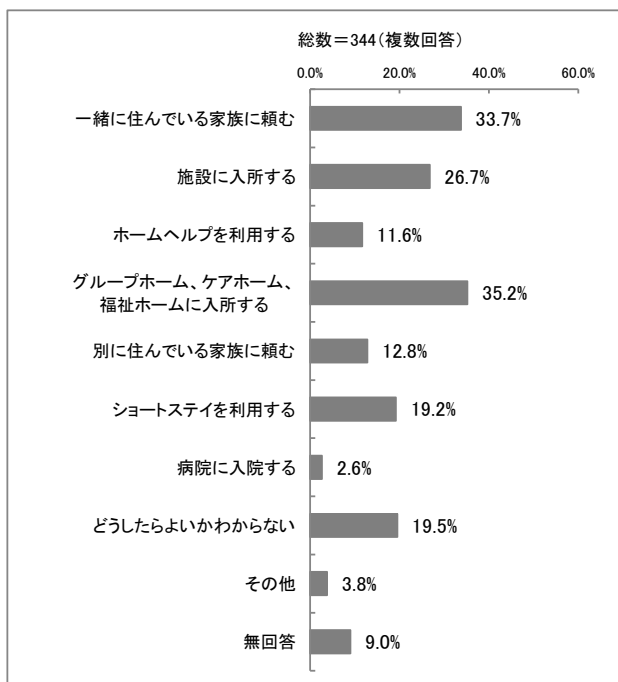
### ■全体



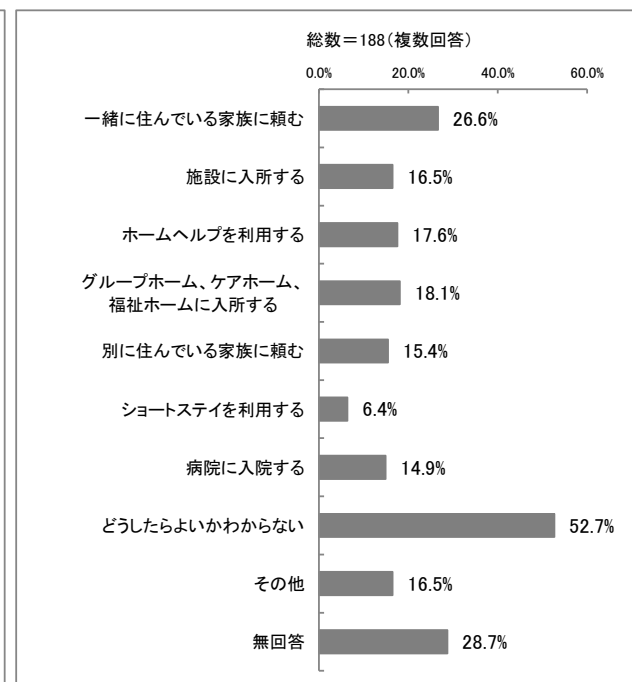
### ■身体障害



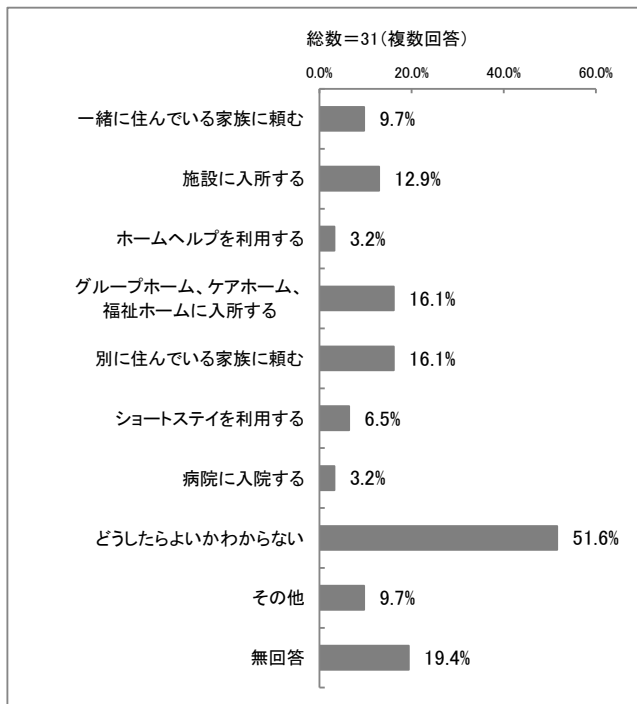
### ■知的障害



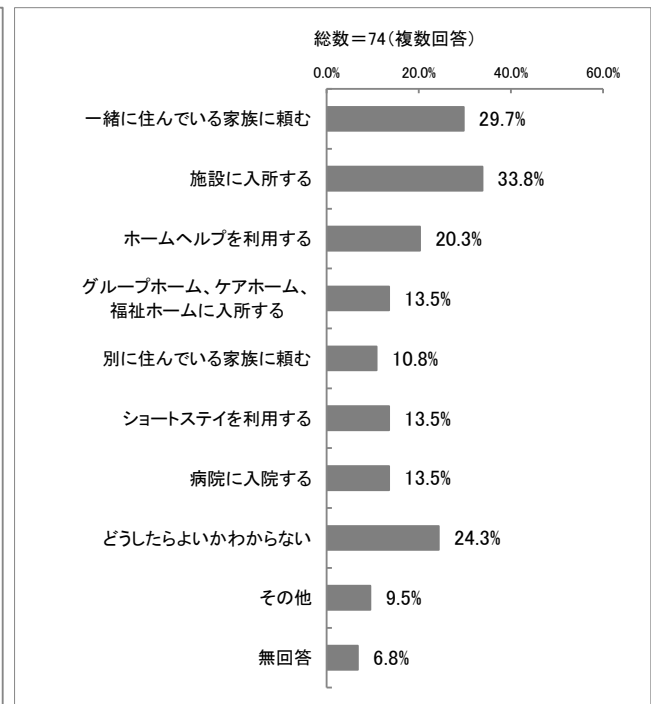
### ■精神障害



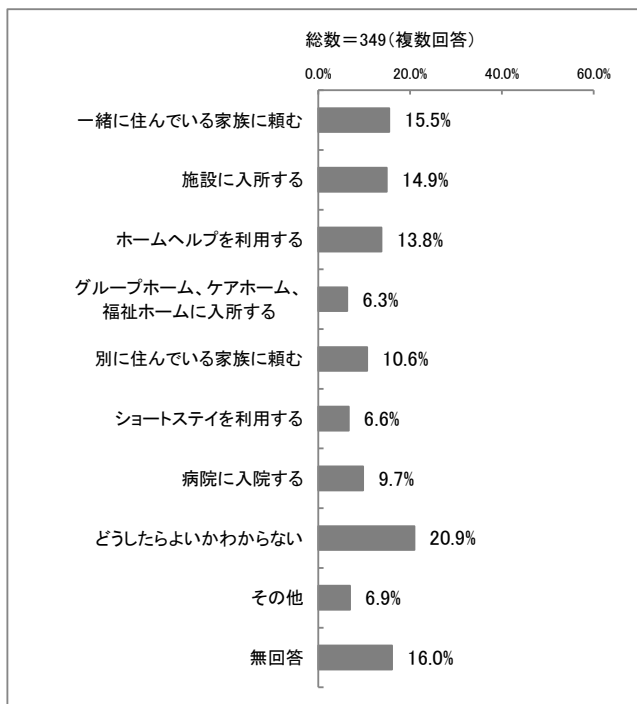
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患





## 介助できなくなった場合と主な介助者

主な介助者別の結果を見ると、「父親」、「母親」と回答した人では、「グループホーム、ケアホーム、福祉ホームに入所する」がやや多くなっています。

	一緒に住んでいる家族に頼む	別に住んでいる家族に頼む	ホームヘルプを利用する	ショートステイを利用する	施設に入所する	グループホーム、ケアホーム、福祉ホームに入所する	病院に入院する	どうしたらよいかわからない	その他	無回答
父親	46 41.8%	16 14.5%	17 15.5%	24 21.8%	31 28.2%	40 36.4%	6 5.5%	30 27.3%	11 10.0%	2 1.8%
母親	151 42.8%	52 14.7%	56 15.9%	69 19.5%	71 20.1%	107 30.3%	15 4.2%	119 33.7%	22 6.2%	9 2.5%
配偶者	93 27.3%	69 20.2%	81 23.8%	25 7.3%	72 21.1%	33 9.7%	51 15.0%	101 29.6%	18 5.3%	10 2.9%
子	63 30.3%	57 27.4%	42 20.2%	28 13.5%	56 26.9%	28 13.5%	29 13.9%	49 23.6%	12 5.8%	5 2.4%
その他親族	32 30.5%	22 21.0%	22 21.0%	14 13.3%	36 34.3%	22 21.0%	12 11.4%	31 29.5%	4 3.8%	8 7.6%
家族	385 34.5%	216 19.3%	218 19.5%	160 14.3%	266 23.8%	230 20.6%	113 10.1%	330 29.5%	67 6.0%	34 3.0%
ホームヘルパー	31 11.6%	40 15.0%	111 41.6%	26 9.7%	71 26.6%	50 18.7%	36 13.5%	70 26.2%	23 8.6%	10 3.7%
ボランティア	3 12.5%	5 20.8%	10 41.7%	6 25.0%	8 33.3%	8 33.3%	5 20.8%	10 41.7%	2 8.3%	1 4.2%
その他	11 6.3%	20 11.4%	25 14.2%	9 5.1%	29 16.5%	18 10.2%	20 11.4%	61 34.7%	41 23.3%	25 14.2%
無回答	14 5.0%	4 1.4%	9 3.2%	5 1.8%	13 4.6%	9 3.2%	7 2.5%	21 7.5%	10 3.6%	215 76.5%

### 3) 相談や福祉の情報について

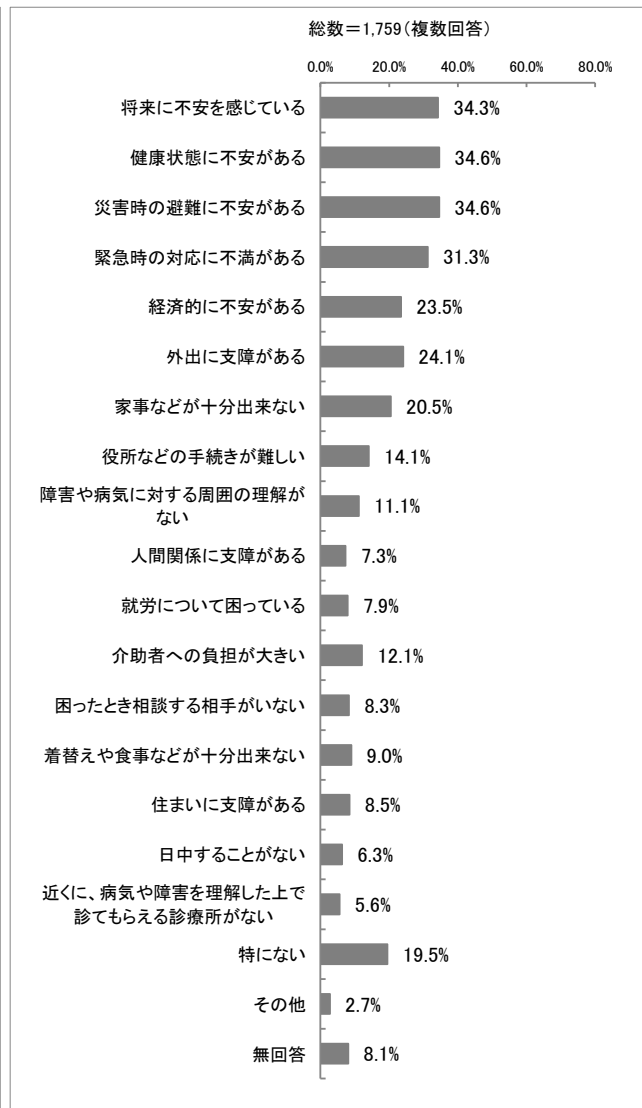
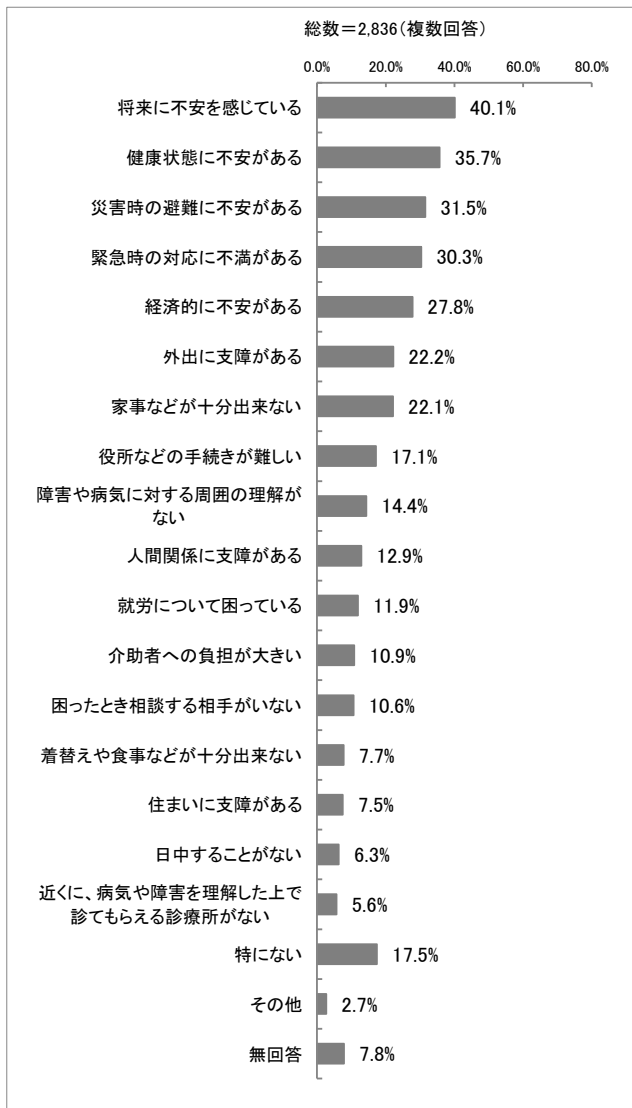
#### (1) 日常生活で困っていること

問 21 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。

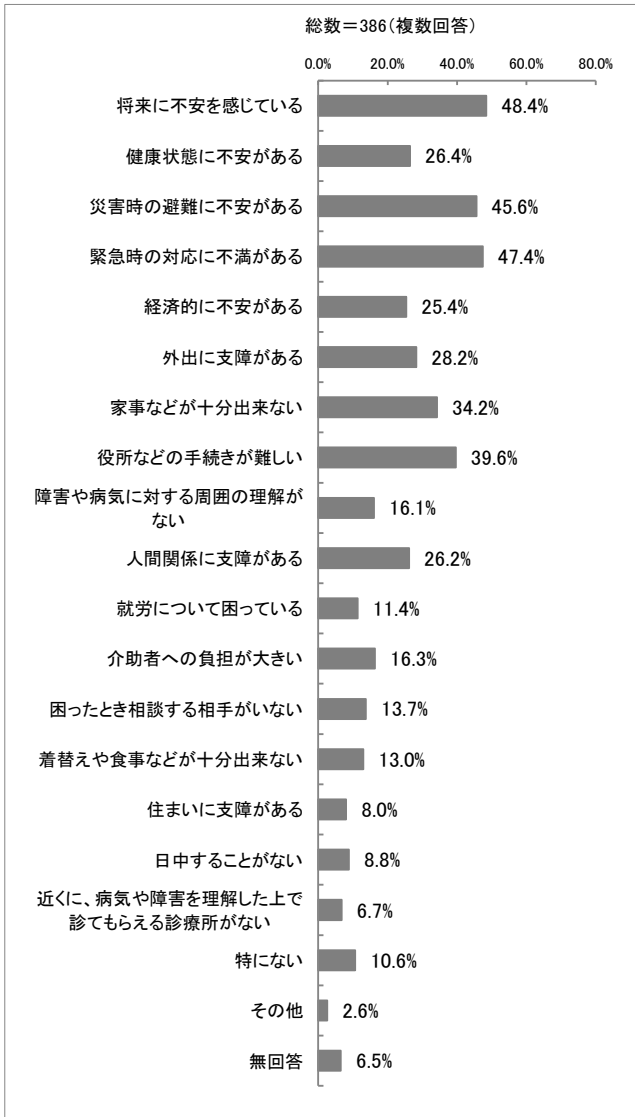
「将来に不安を感じている」が 40.1%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」が 35.7%、「災害時の避難に不安がある」が 31.5%となっています。

#### ■全体

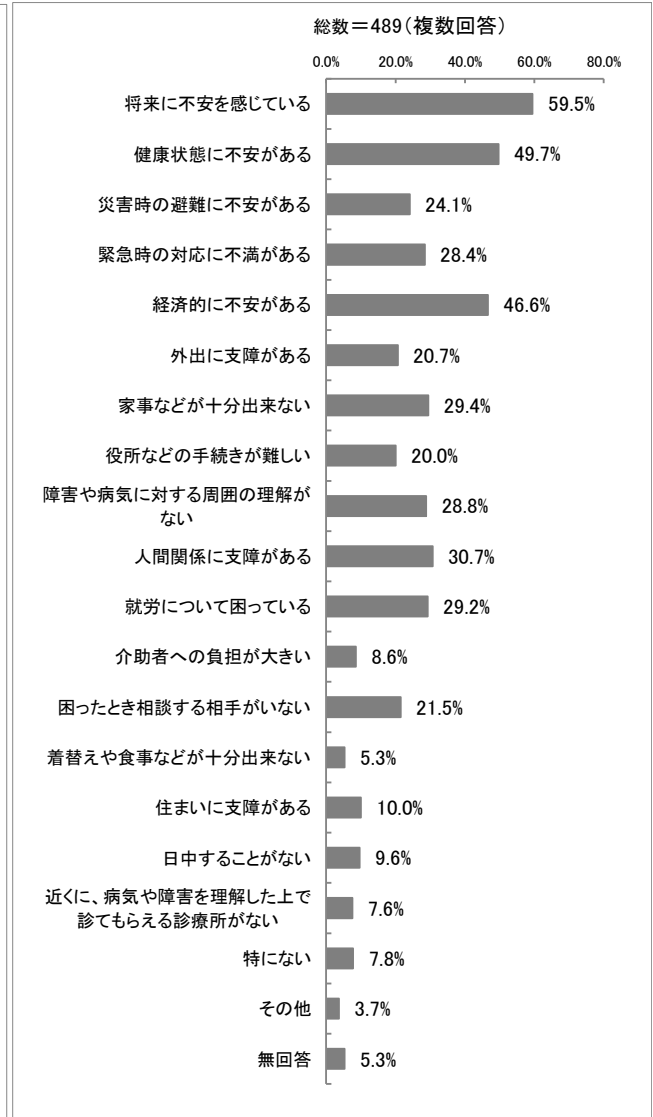
#### ■身体障害



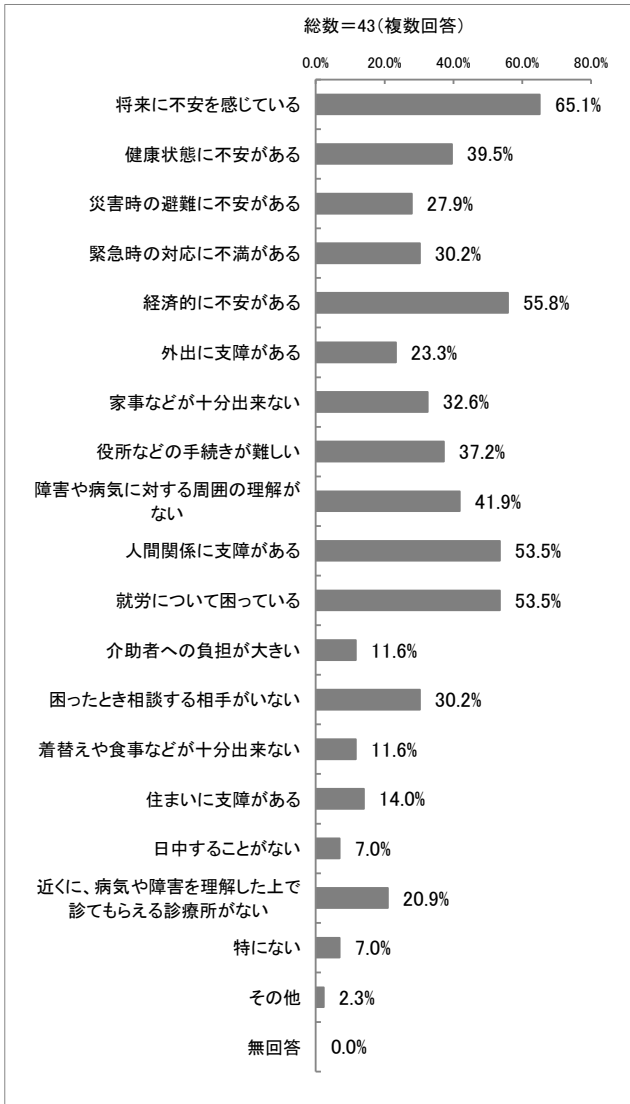
## 知的障害



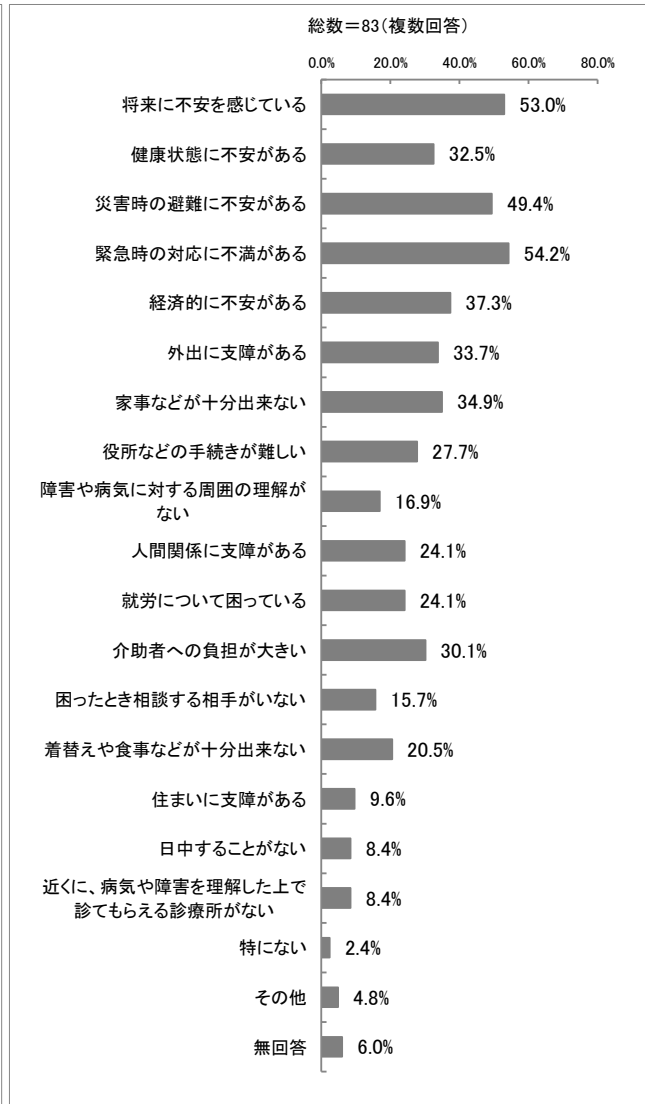
## 精神障害



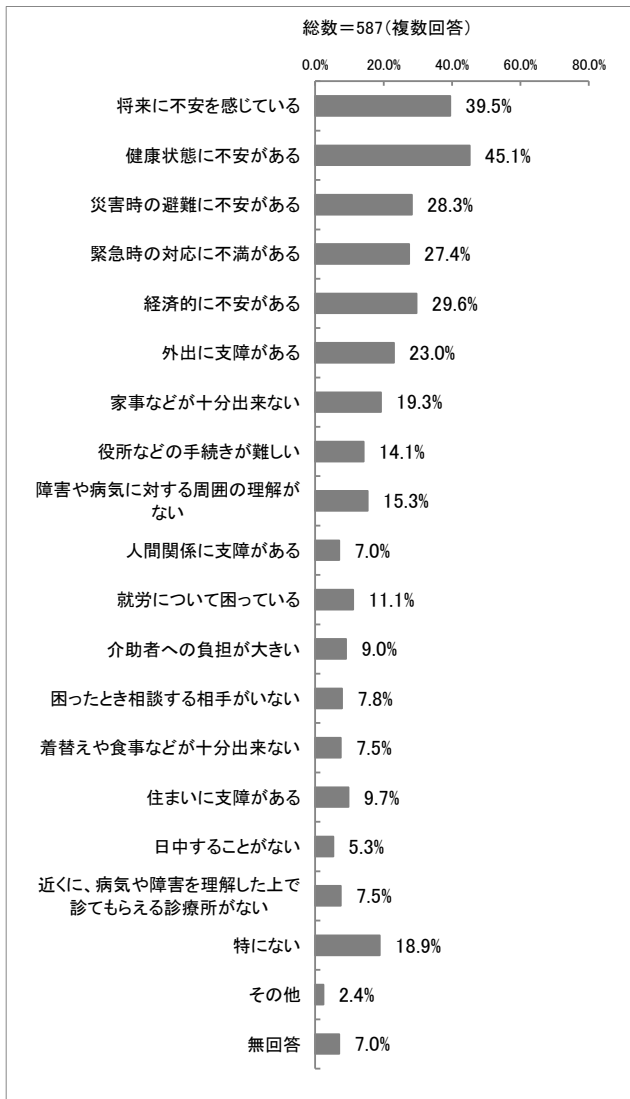
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 日常生活で困っていることと年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」では「将来に不安を感じている」が特に多くなっています。

	健康状態に不安がある	着替えや食事などが十分出来ない	家事などが十分出来ない	介助者への負担が大きい	外出に支障がある	住まいに支障がある	就労について困っている	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	人間関係に支障がある
18～39歳	219 37.6%	47 8.1%	150 25.7%	71 12.2%	145 24.9%	35 6.0%	136 23.3%	221 37.9%	208 35.7%	158 27.1%
40～64歳	392 35.7%	58 5.3%	208 18.9%	73 6.6%	160 14.6%	78 7.1%	174 15.8%	289 26.3%	285 25.9%	146 13.3%
65～74歳	131 30.5%	29 6.8%	81 18.9%	44 10.3%	87 20.3%	36 8.4%	11 2.6%	113 26.3%	124 28.9%	21 4.9%
75歳以上	252 36.9%	81 11.9%	182 26.6%	116 17.0%	228 33.4%	60 8.8%	11 1.6%	225 32.9%	263 38.5%	33 4.8%
無回答	18 42.9%	4 9.5%	6 14.3%	4 9.5%	9 21.4%	4 9.5%	5 11.9%	12 28.6%	14 33.3%	8 19.0%

	障害や病気に対する周囲の理解がない	困ったとき相談する相手がいない	役所などの手続きが難しい	近くに、診てもらえる診療所がない	近くに、病気や障害を理解した上で	経済的に不安がある	将来に不安を感じている	日中することがない	特にない	その他	無回答
18～39歳	146 25.0%	91 15.6%	146 25.0%	51 8.7%	201 34.5%	320 54.9%	27 4.6%	72 12.3%	21 3.6%	24 4.1%	
40～64歳	193 17.6%	137 12.5%	145 13.2%	59 5.4%	362 32.9%	485 44.1%	67 6.1%	213 19.4%	27 2.5%	68 6.2%	
65～74歳	34 7.9%	31 7.2%	58 13.5%	14 3.3%	88 20.5%	128 29.8%	29 6.8%	99 23.1%	10 2.3%	42 9.8%	
75歳以上	26 3.8%	38 5.6%	127 18.6%	32 4.7%	123 18.0%	188 27.5%	52 7.6%	109 16.0%	17 2.5%	84 12.3%	
無回答	8 19.0%	4 9.5%	10 23.8%	4 9.5%	14 33.3%	16 38.1%	4 9.5%	2 4.8%	2 4.8%	4 9.5%	

## 日常生活で困っていることと身体障害の種類

身体障害の種類別に見ると、「視覚障害」では、「外出に支障がある」、「災害時の避難に不安がある」がやや多く、「音声・言語・そしゃく障害」では「緊急時の対応に不安がある」がやや多くなっています。

	健康状態に不安がある	着替えや食事などが十分出来ない	家事などが十分出来ない	介助者への負担が大きい	外出に支障がある	住まいに支障がある	就労について困っている	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	人間関係に支障がある
肢体不自由	181 33.3%	88 16.2%	160 29.4%	109 20.0%	173 31.8%	64 11.8%	49 9.0%	211 38.8%	245 45.0%	34 6.3%
音声・言語・そしゃく障害	26 24.3%	16 15.0%	29 27.1%	20 18.7%	34 31.8%	7 6.5%	9 8.4%	49 45.8%	43 40.2%	7 6.5%
視覚障害	72 35.5%	24 11.8%	54 26.6%	26 12.8%	81 39.9%	21 10.3%	16 7.9%	76 37.4%	93 45.8%	14 6.9%
聴覚・平衡機能障害	57 28.8%	15 7.6%	29 14.6%	22 11.1%	31 15.7%	12 6.1%	6 3.0%	77 38.9%	79 39.9%	24 12.1%
内部障害	182 43.1%	15 3.6%	60 14.2%	34 8.1%	72 17.1%	28 6.6%	39 9.2%	108 25.6%	106 25.1%	30 7.1%
無回答	159 34.6%	35 7.6%	88 19.2%	46 10.0%	103 22.4%	34 7.4%	32 7.0%	107 23.3%	124 27.0%	33 7.2%

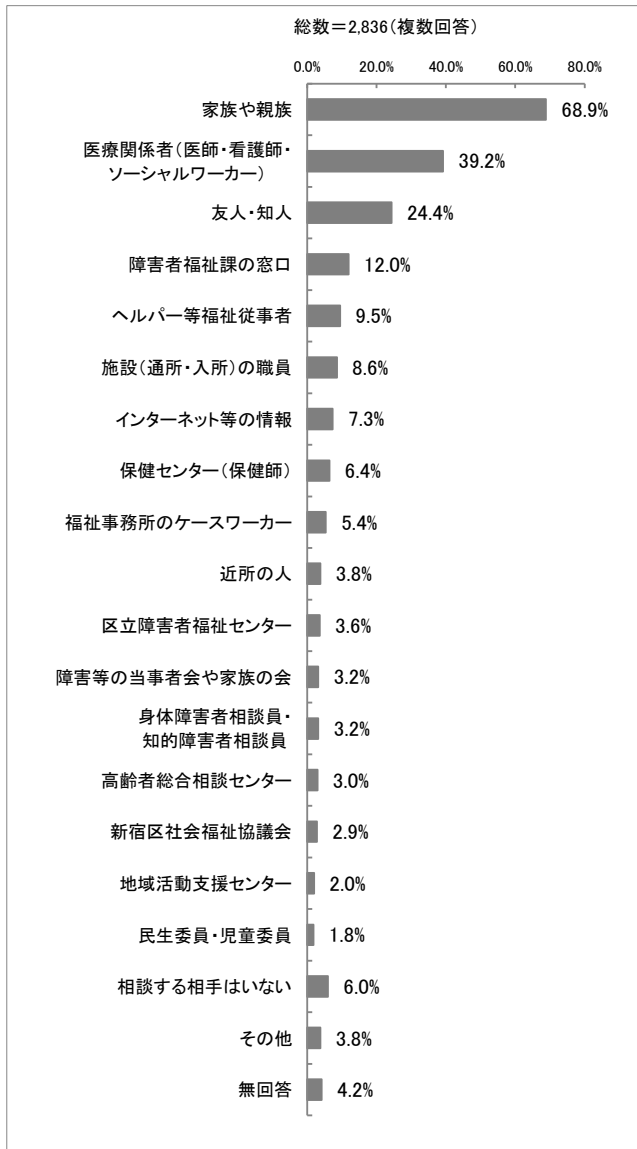
	障害や病気に対する周囲の理解がない	困ったとき相談する相手がいない	役所などの手続きが難しい	近くに、診てもらえる診療所がない	経済的に不安がある	将来に不安を感じている	日中することがない	特にない	その他	無回答
肢体不自由	56 10.3%	46 8.5%	81 14.9%	36 6.6%	140 25.7%	201 36.9%	35 6.4%	88 16.2%	14 2.6%	45 8.3%
音声・言語・そしゃく障害	8 7.5%	7 6.5%	21 19.6%	7 6.5%	24 22.4%	36 33.6%	5 4.7%	19 17.8%	3 2.8%	7 6.5%
視覚障害	30 14.8%	20 9.9%	58 28.6%	13 6.4%	52 25.6%	79 38.9%	20 9.9%	27 13.3%	6 3.0%	20 9.9%
聴覚・平衡機能障害	22 11.1%	18 9.1%	30 15.2%	12 6.1%	23 11.6%	50 25.3%	15 7.6%	34 17.2%	8 4.0%	19 9.6%
内部障害	77 18.2%	41 9.7%	42 10.0%	24 5.7%	128 30.3%	158 37.4%	21 5.0%	96 22.7%	6 1.4%	24 5.7%
無回答	30 6.5%	28 6.1%	58 12.6%	19 4.1%	94 20.5%	150 32.7%	25 5.4%	96 20.9%	15 3.3%	41 8.9%

## (2) 困ったときの相談相手

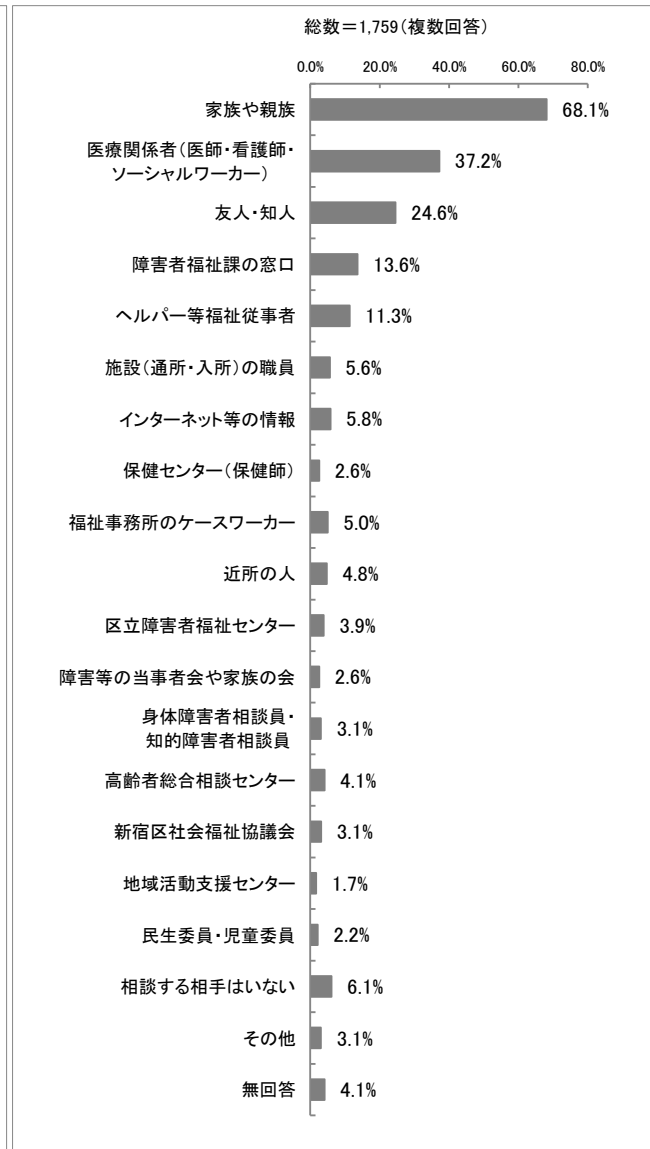
問 22 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。

「家族や親族」が 68.9%と最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が 39.2%、「友人・知人」が 24.4%となっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では相談相手が様々となっています。

### ■全体

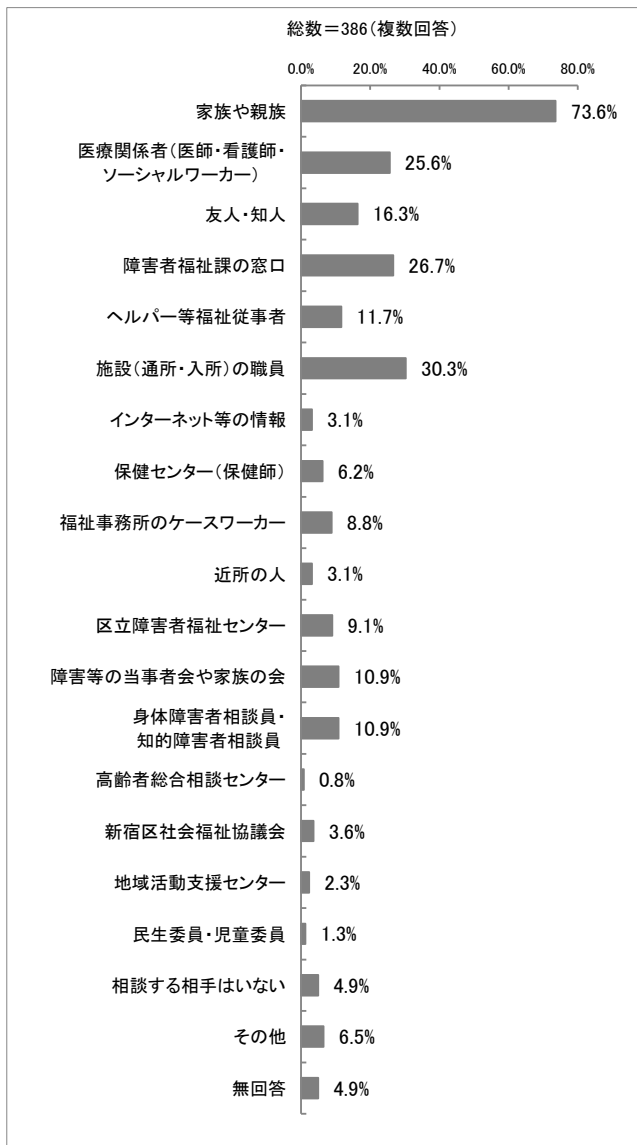


### ■身体障害

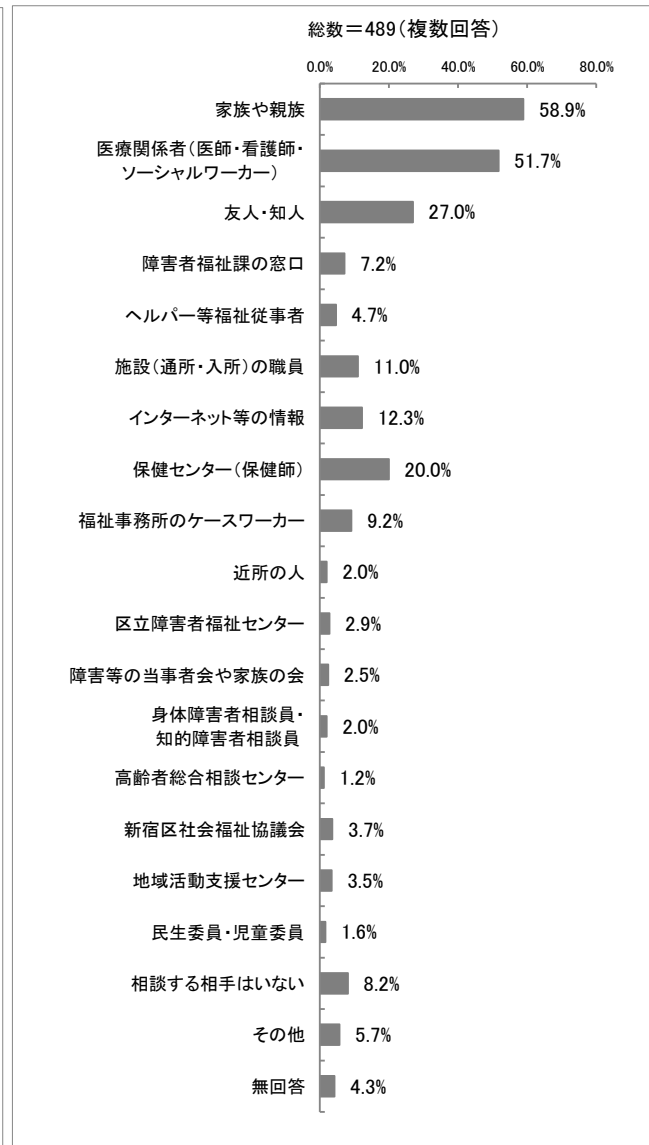




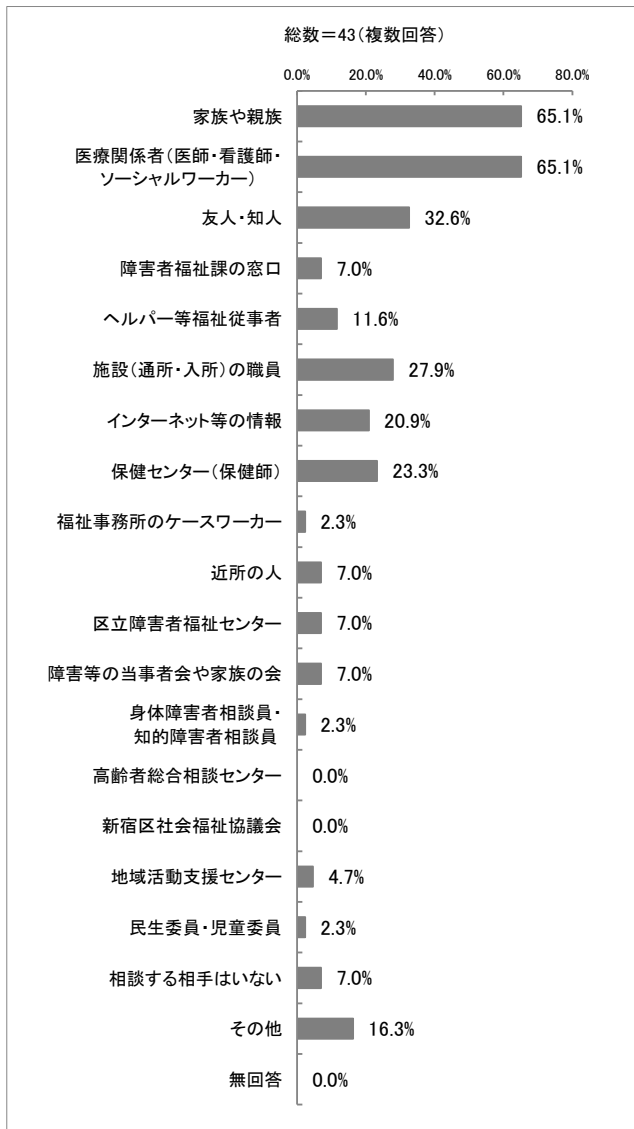
## ■知的障害



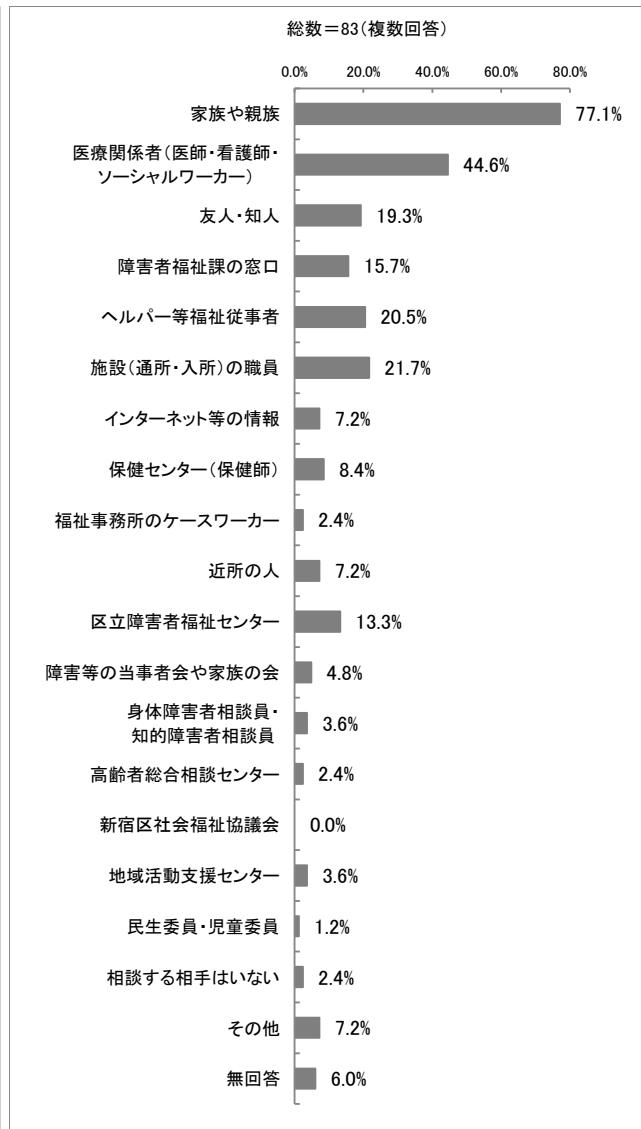
## ■精神障害



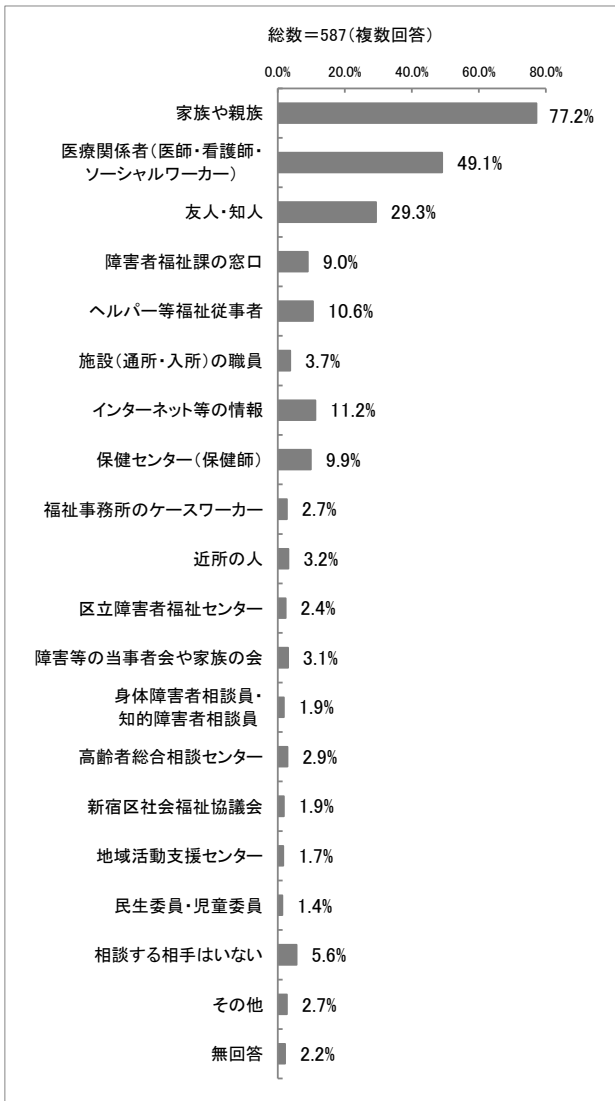
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 困ったときの相談相手と年齢

年代別の結果を見ると、「75歳以上」では、「ヘルパー等福祉従事者」がやや多くなっています。

	家族や親族	近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	障害等の当事者会や家族の会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	ヘルパー等福祉従事者	施設（通所・入所）の職員	医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）	障害者福祉課の窓口
18～39歳	438 75.1%	17 2.9%	200 34.3%	2 0.3%	48 8.2%	28 4.8%	38 6.5%	105 18.0%	262 44.9%	89 15.3%
40～64歳	686 62.4%	28 2.5%	308 28.0%	7 0.6%	32 2.9%	36 3.3%	66 6.0%	76 6.9%	461 41.9%	142 12.9%
65～74歳	294 68.5%	9 2.1%	82 19.1%	10 2.3%	5 1.2%	11 2.6%	44 10.3%	17 4.0%	155 36.1%	46 10.7%
75歳以上	514 75.3%	53 7.8%	90 13.2%	31 4.5%	4 0.6%	14 2.0%	117 17.1%	41 6.0%	218 31.9%	57 8.3%
無回答	21 50.0%	0 0.0%	11 26.2%	1 2.4%	2 4.8%	2 4.8%	4 9.5%	4 9.5%	16 38.1%	5 11.9%

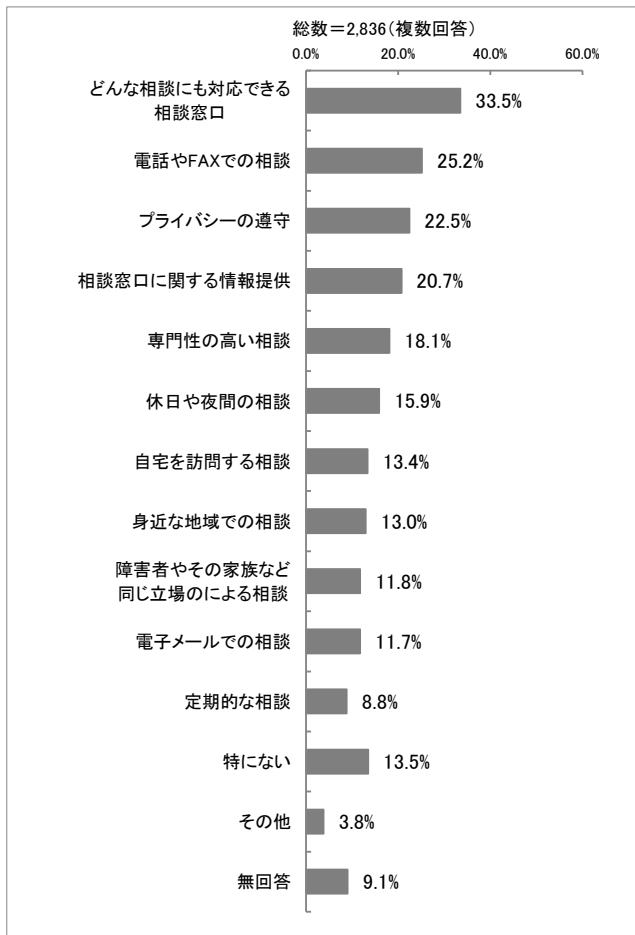
	保健センター（保健師）	区立障害者福祉センター	福祉事務所のケースワーカー	新宿区社会福祉協議会	地域活動支援センター	高齢者総合相談センター	インターネット等の情報	相談する相手はいない	その他	無回答
18～39歳	59 10.1%	30 5.1%	18 3.1%	6 1.0%	10 1.7%	0 0.0%	82 14.1%	32 5.5%	32 5.5%	12 2.1%
40～64歳	88 8.0%	43 3.9%	82 7.5%	31 2.8%	18 1.6%	5 0.5%	107 9.7%	80 7.3%	38 3.5%	43 3.9%
65～74歳	14 3.3%	13 3.0%	25 5.8%	13 3.0%	8 1.9%	18 4.2%	10 2.3%	29 6.8%	11 2.6%	22 5.1%
75歳以上	16 2.3%	13 1.9%	26 3.8%	27 4.0%	17 2.5%	59 8.6%	9 1.3%	27 4.0%	23 3.4%	38 5.6%
無回答	5 11.9%	3 7.1%	2 4.8%	4 9.5%	3 7.1%	2 4.8%	0 0.0%	2 4.8%	3 7.1%	4 9.5%

### (3) 気軽に相談するために必要なこと

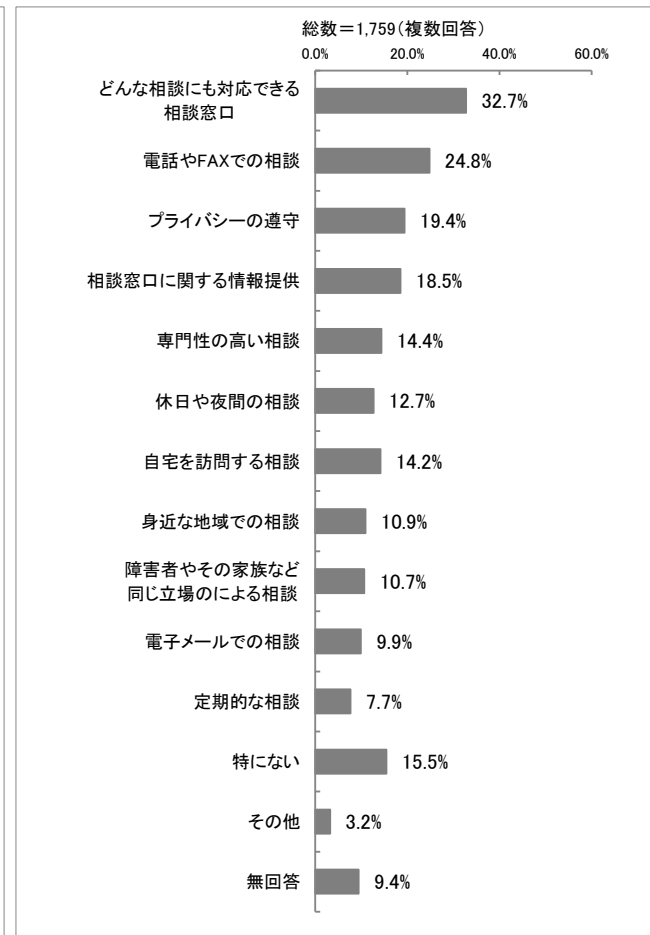
問 23 あなたは、区役所などに気軽に相談するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

「どんな相談にも対応できる相談窓口」が 33.5%、「電話や FAX での相談」が 25.2%、「プライバシーの遵守」が 22.5%となっています。障害別に見ると、精神障害、発達障害では「プライバシーの遵守」、「専門性の高い相談」が多くなっています。

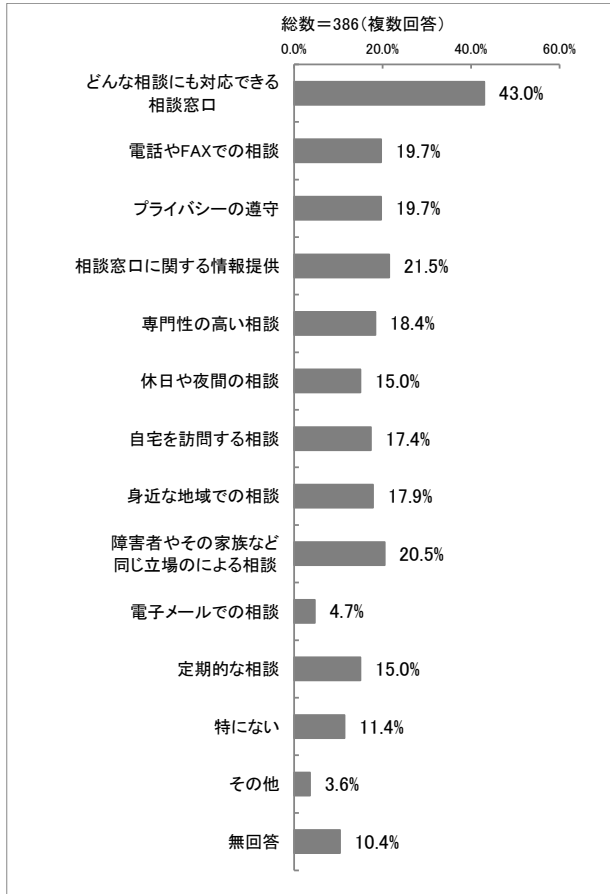
#### ■全体



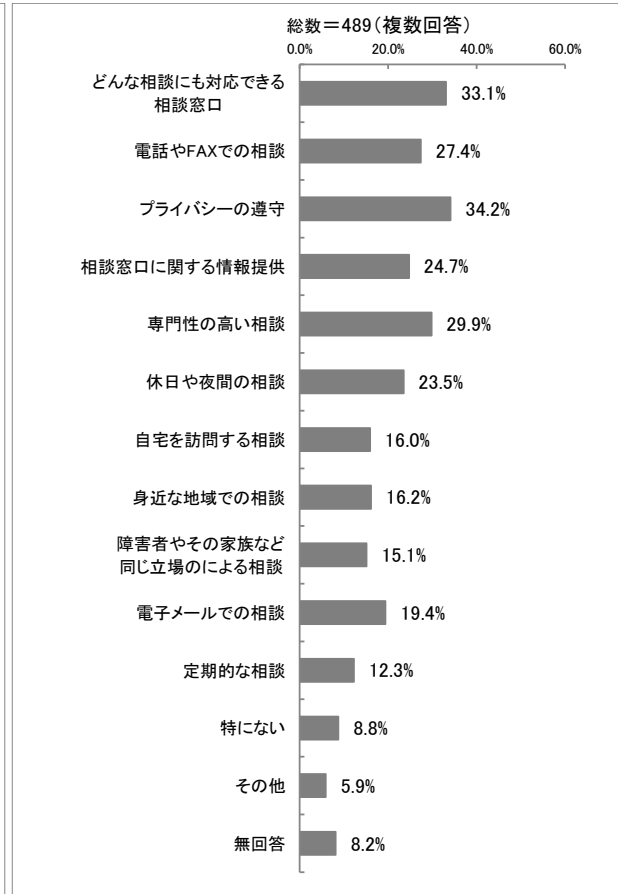
#### ■身体障害



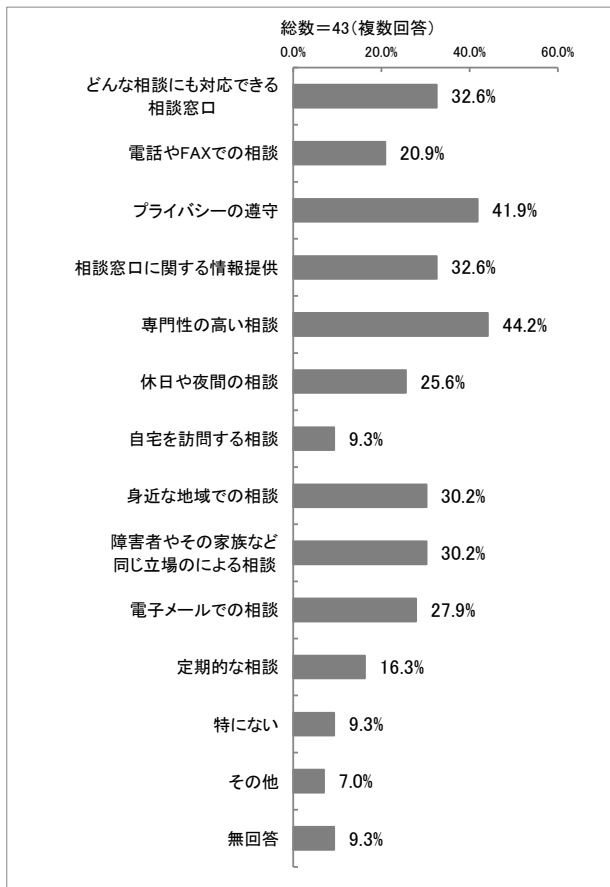
## 知的障害



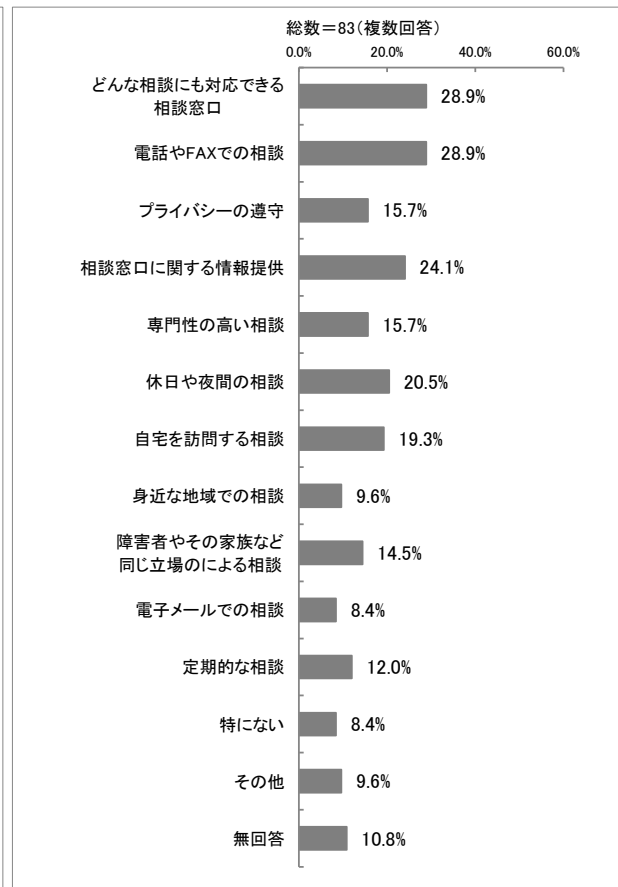
## 精神障害



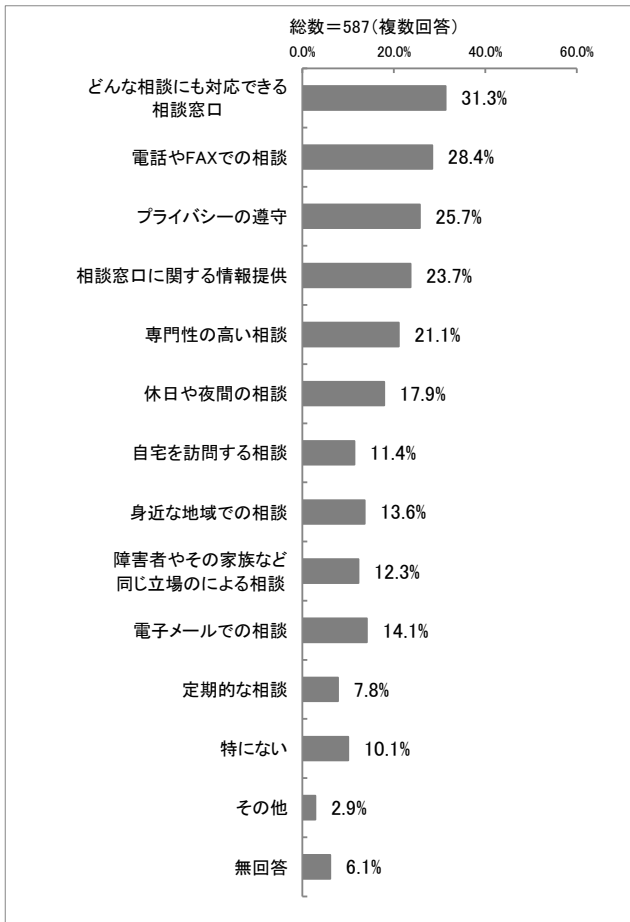
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



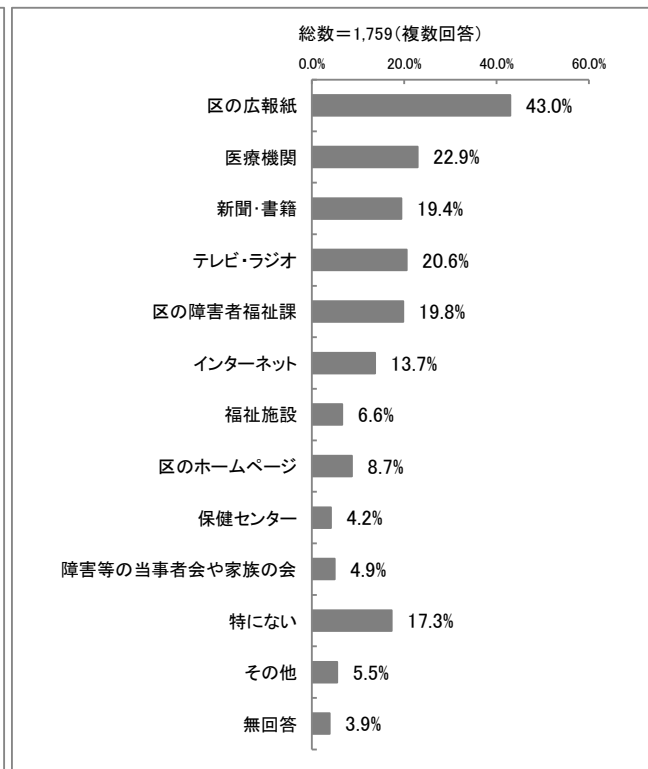
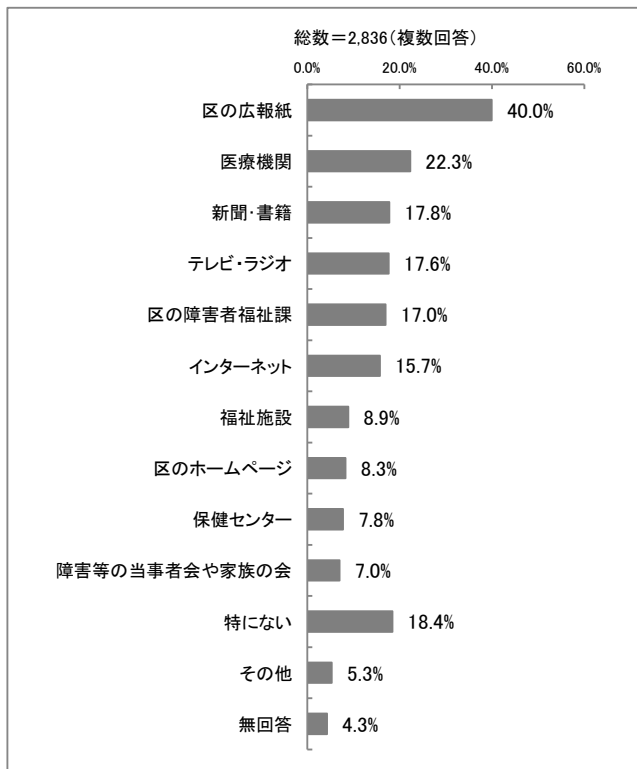
## (4)福祉情報の入手先

問 24 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

全体では、「区の広報紙」が 40.0%と最も多く、次いで「医療機関」が 22.3%、「新聞・書籍」が 17.8%となっています。障害別に見ると、知的障害では「区の障害者福祉課」、「福祉施設」、「障害等の当事者会や家族の会」が、精神障害では「インターネット」、「保健センター」が、発達障害では「インターネット」が特に多くなっています。

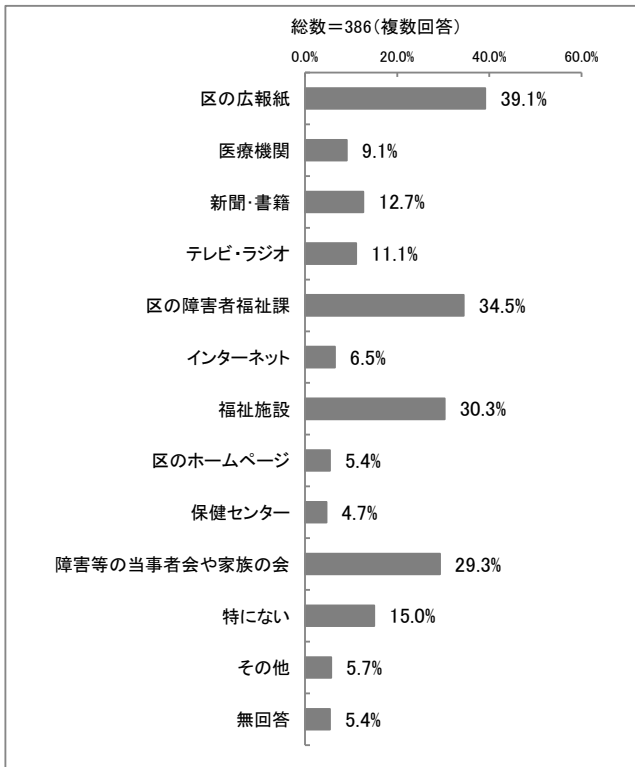
### ■全体

### ■身体障害

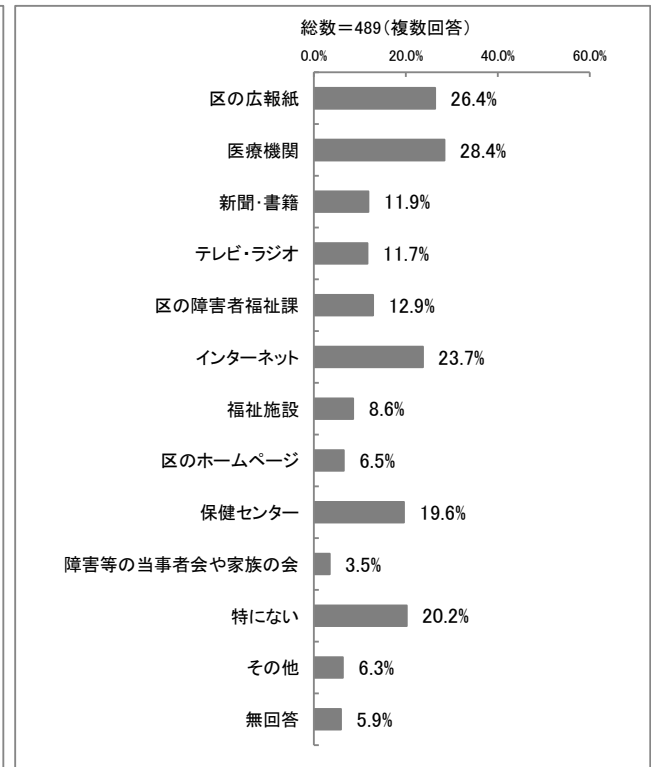




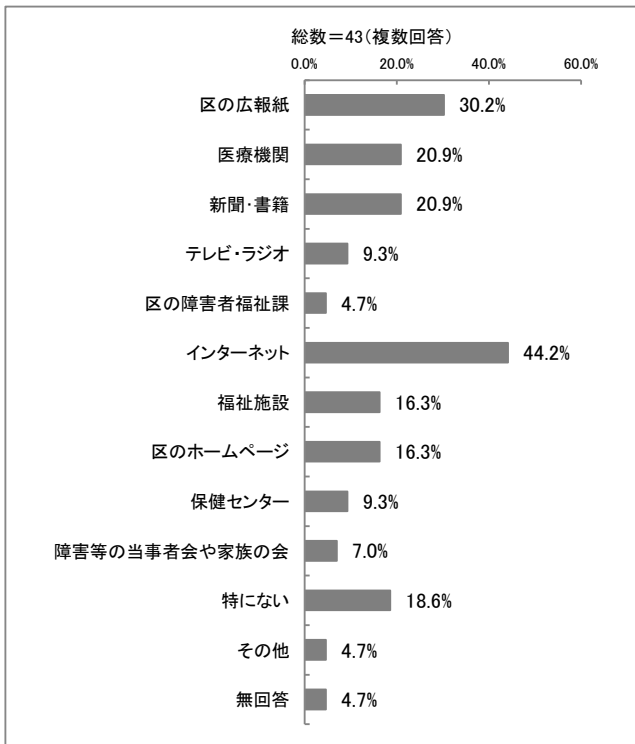
## 知的障害



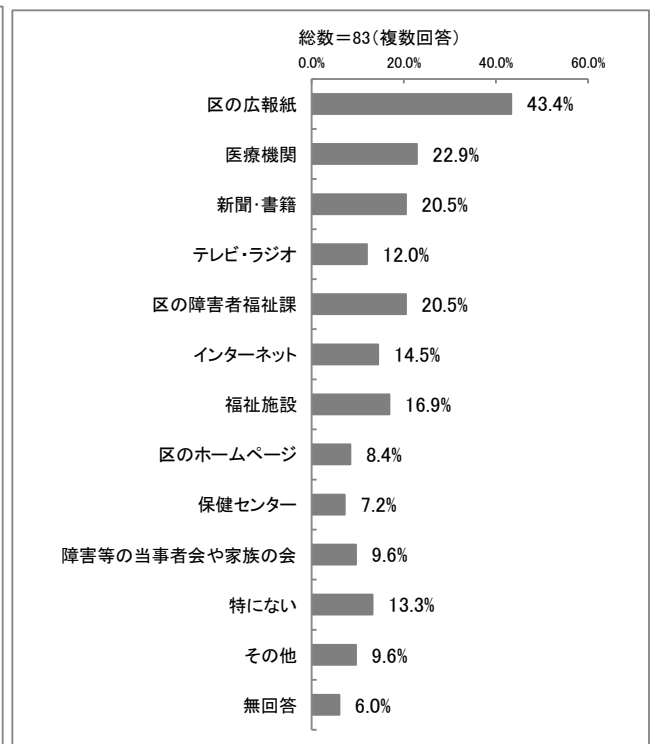
## 精神障害



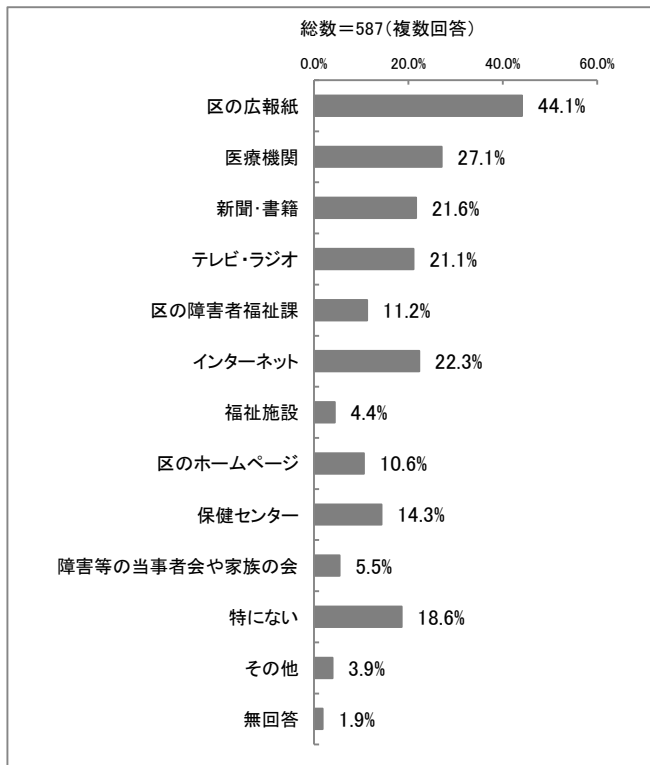
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 4) 日中活動や仕事について

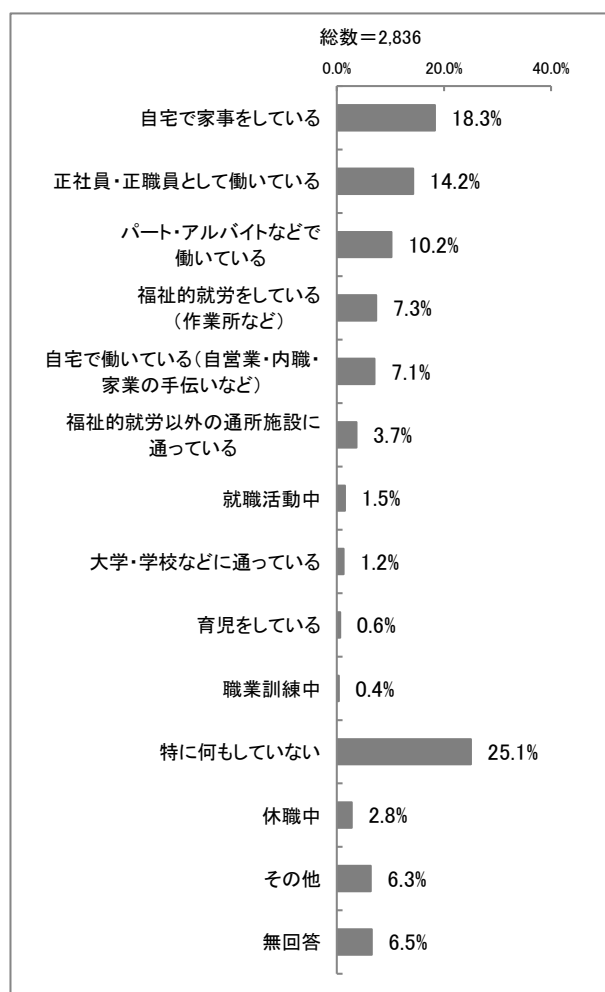
### (1) 日中の過ごし方

問 25 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。

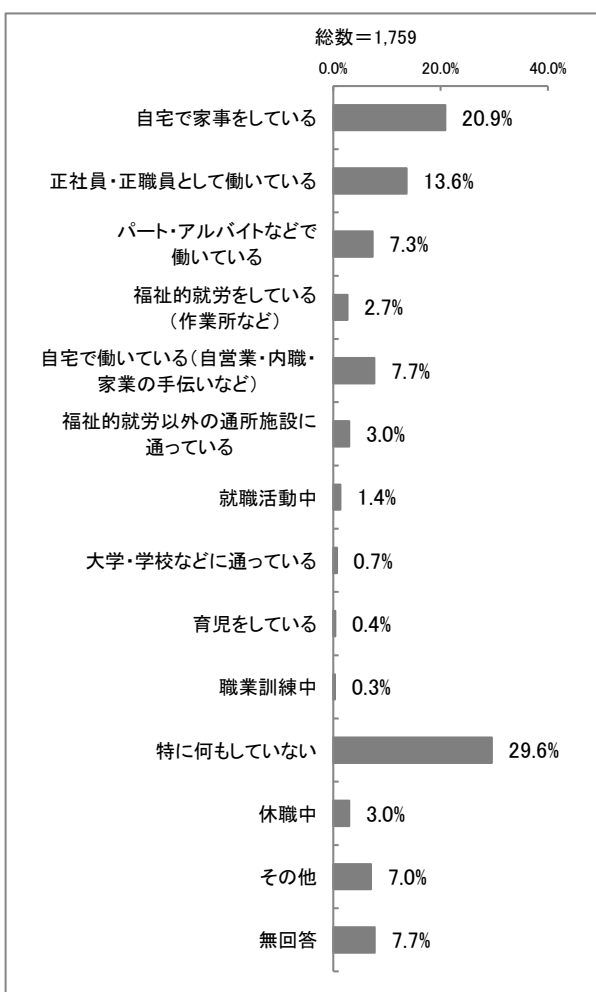
全体では、「自宅で家事をしている」が18.3%、「正社員・正職員として働いている」が14.2%、「パート・アルバイトなどで働いている」が10.2%となっています。障害別に見ると、知的障害では「福祉的就労をしている（作業所など）」が多くなっています。「特に何もしていない」と回答した人の割合は、全体では25.1%ですが、高次脳機能障害では32.5%と、特に高くなっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

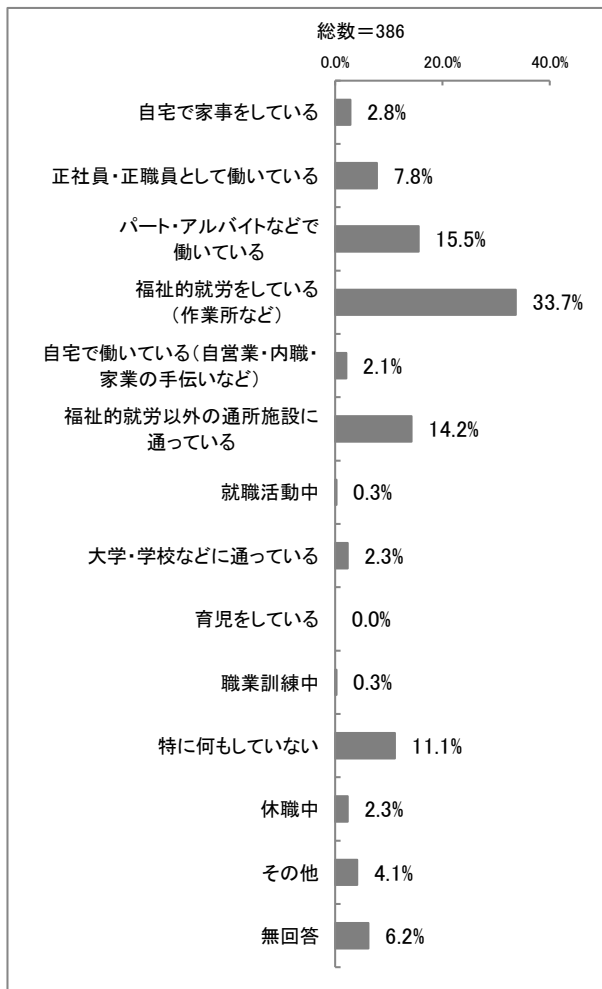
#### ■全体



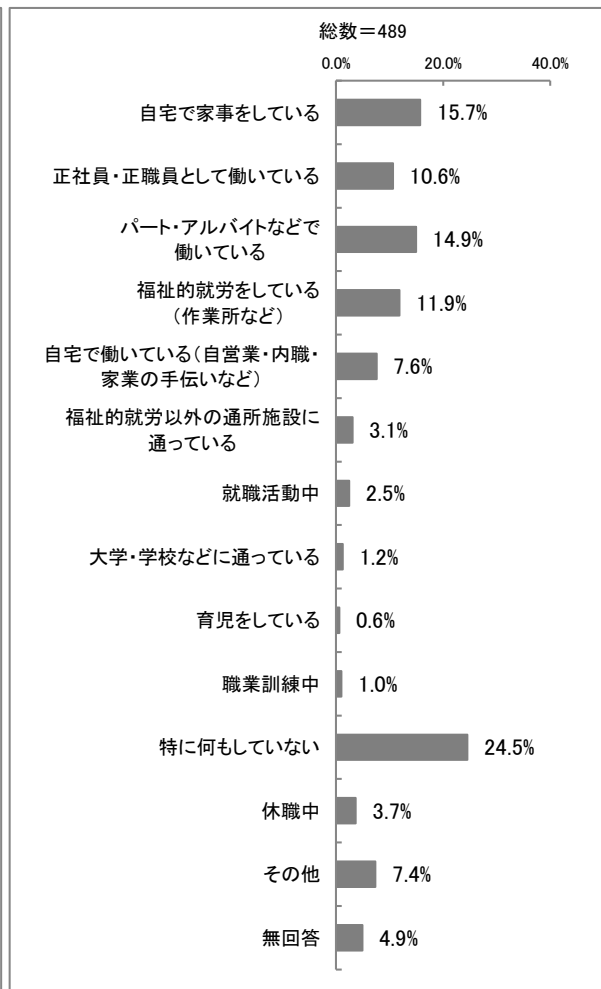
#### ■身体障害



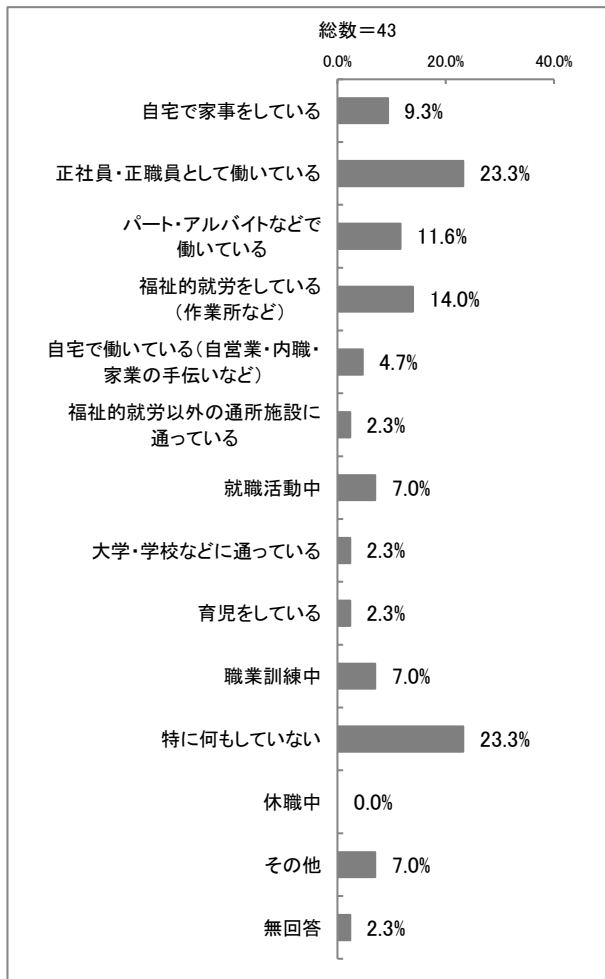
## 知的障害



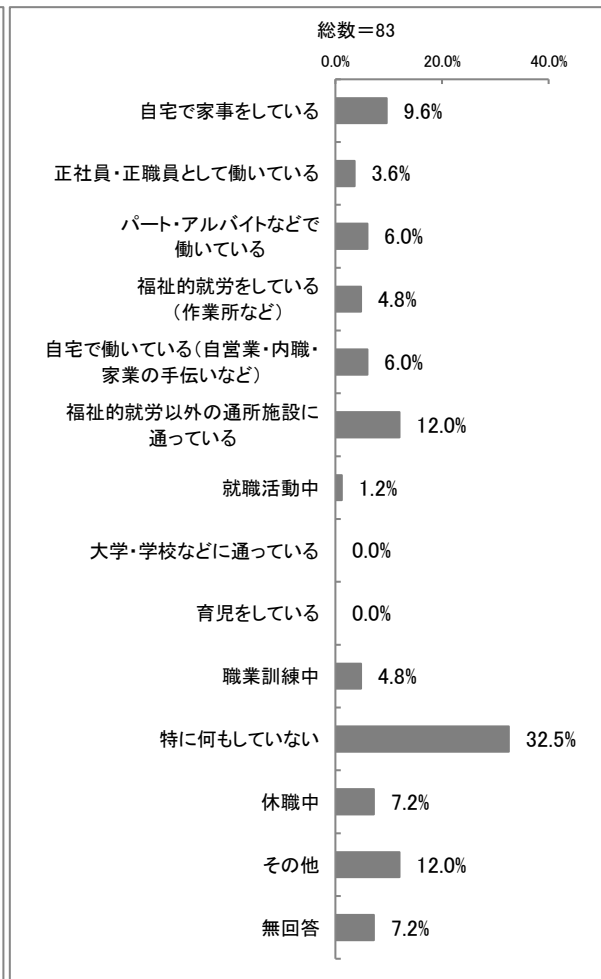
## 精神障害



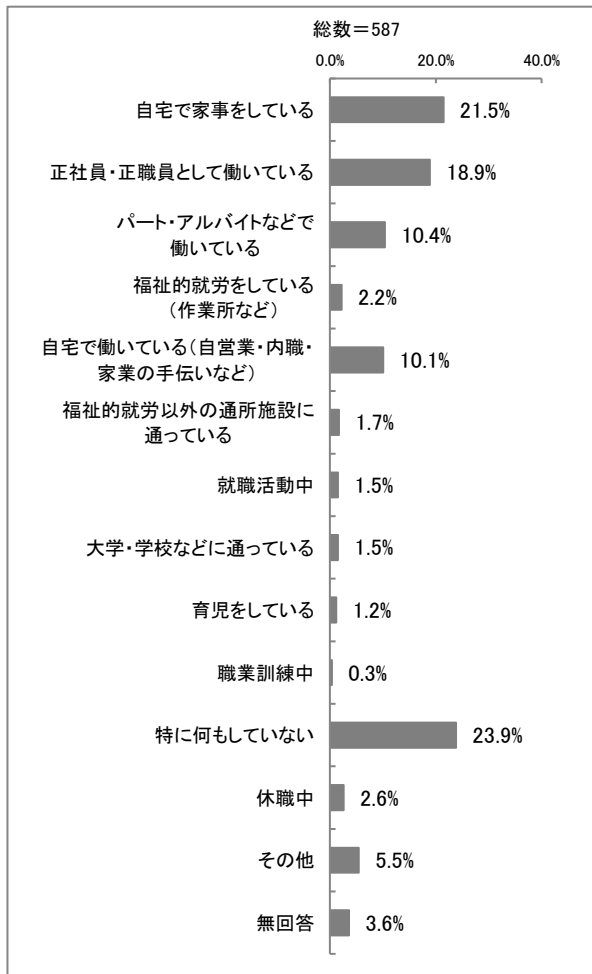
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 平日の日中の過ごし方と年齢

	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
正社員・正職員として働いている	146 36.1%	231 57.2%	15 3.7%	9 2.2%	3 0.7%
パート・アルバイトなどで働いている	107 36.9%	141 48.6%	28 9.7%	11 3.8%	3 1.0%
自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝いなど）	19 9.5%	98 49.0%	41 20.5%	38 19.0%	4 2.0%
福祉的就労をしている（作業所など）	97 46.6%	94 45.2%	12 5.8%	2 1.0%	3 1.4%
福祉的就労以外の通所施設に通っている	47 45.2%	30 28.8%	8 7.7%	16 15.4%	3 2.9%
大学・学校などに通っている	30 85.7%	2 5.7%	0 0.0%	2 5.7%	1 2.9%
職業訓練中	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
就職活動中	9 21.4%	28 66.7%	2 4.8%	1 2.4%	2 4.8%
自宅で家事をしている	26 5.0%	170 32.8%	127 24.5%	187 36.0%	9 1.7%
育児をしている	11 64.7%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特に何もしていない	59 8.3%	198 27.8%	149 21.0%	297 41.8%	8 1.1%
休職中	15 19.0%	52 65.8%	4 5.1%	5 6.3%	3 3.8%
その他	26 14.4%	61 33.9%	26 14.4%	63 35.0%	4 2.2%
無回答	15 8.1%	48 25.9%	37 20.0%	82 44.3%	3 1.6%

## 平日の日中の過ごし方と身体障害の種類

	肢体不自由	そ 音 し や く 言 語 障 害	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害	内 部 障 害	無 回 答
正社員・正職員として働いている	60 24.3%	3 1.2%	17 6.9%	27 10.9%	93 37.7%	47 19.0%
パート・アルバイトなどで働いている	34 26.2%	5 3.8%	16 12.3%	8 6.2%	40 30.8%	27 20.8%
自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝いなど）	36 26.1%	3 2.2%	11 8.0%	11 8.0%	35 25.4%	42 30.4%
福祉的就労をしている（作業所など）	13 23.2%	5 8.9%	11 19.6%	6 10.7%	7 12.5%	14 25.0%
福祉的就労以外の通所施設に通っている	35 51.5%	10 14.7%	5 7.4%	4 5.9%	3 4.4%	11 16.2%
大学・学校などに通っている	5 38.5%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	5 38.5%	0 0.0%
職業訓練中	5 71.4%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
就職活動中	8 29.6%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	7 25.9%	2 7.4%
自宅で家事をしている	114 28.9%	15 3.8%	39 9.9%	49 12.4%	76 19.2%	102 25.8%
育児をしている	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%
特に何もしていない	161 27.7%	40 6.9%	70 12.0%	62 10.7%	109 18.7%	140 24.1%
休職中	17 28.8%	4 6.8%	6 10.2%	3 5.1%	14 23.7%	15 25.4%
その他	45 31.7%	11 7.7%	19 13.4%	15 10.6%	21 14.8%	31 21.8%
無回答	46 27.7%	12 7.2%	17 10.2%	20 12.0%	24 14.5%	47 28.3%

平日の日中の過ごし方と年収額

	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体	567 19.9%	434 15.3%	529 18.6%	420 14.8%	390 13.7%	173 6.1%	48 1.7%	282 9.9%
正社員・正職員として働いている	2 0.5%	4 1.0%	30 7.4%	43 10.6%	163 40.3%	120 29.7%	29 7.2%	13 3.2%
パート・アルバイトなどで働いている	5 1.7%	64 22.0%	94 32.3%	78 26.8%	24 8.2%	6 2.1%	1 0.3%	19 6.5%
自宅で働いている□自営業・内職・窓業の手伝いなど)	20 10.0%	36 17.9%	38 18.9%	29 14.4%	35 17.4%	16 8.0%	8 4.0%	19 9.5%
福祉的就労をしている□作業所など)	23 11.1%	97 46.6%	55 26.4%	7 3.4%	2 1.0%	0 0.0%	1 0.5%	23 11.1%
福祉的就労以外の通所施設に通っている	34 32.7%	14 13.5%	27 26.0%	14 13.5%	6 5.8%	1 1.0%	0 0.0%	8 7.7%
大学・学校などに通っている	23 65.7%	0 0.0%	7 20.0%	1 2.9%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.7%
職業訓練中	4 40.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
就職活動中	21 50.0%	4 9.5%	8 19.0%	1 2.4%	2 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 14.3%
自宅で家事をしている	133 25.5%	100 19.2%	104 20.0%	82 15.7%	32 6.1%	6 1.2%	1 0.2%	63 12.1%
育児をしている	11 64.7%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特に何もしていない	217 30.4%	90 12.6%	125 17.5%	118 16.5%	81 11.4%	13 1.8%	6 0.8%	63 8.8%
休職中	38 48.1%	10 12.7%	9 11.4%	4 5.1%	8 10.1%	2 2.5%	0 0.0%	8 10.1%
その他	48 26.7%	23 12.8%	25 13.9%	32 17.8%	23 12.8%	8 4.4%	2 1.1%	19 10.6%
無回答	38 20.4%	13 7.0%	31 16.7%	20 10.8%	19 10.2%	4 2.2%	1 0.5%	60 32.3%



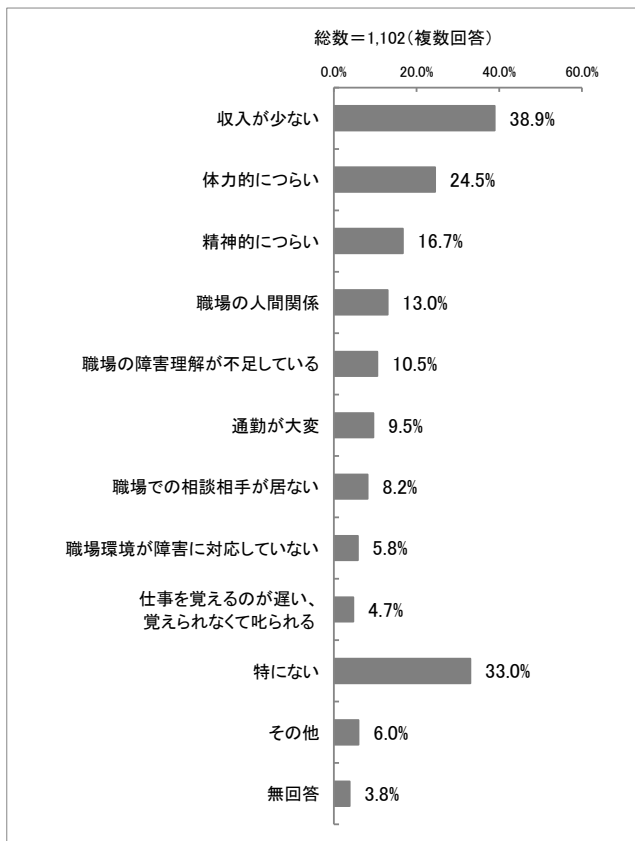
## (2) 仕事をする上で困っていること

問 26 問 25 で「働いている」と回答した方(「正社員・正職員として働いている」、「パート・アルバイトとして働いている」、「自宅で働いている」、「福祉的就労をしている」のいずれかに○を付けた方)にお聞きします。

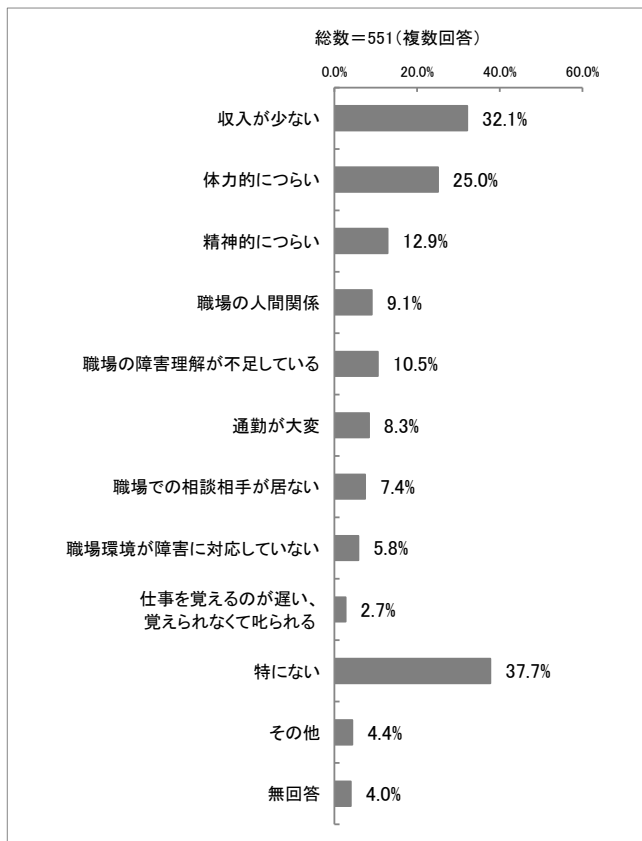
仕事をする上で困っていることはありますか。

全体では、「収入が少ない」が 38.9%と最も多く、次いで「体力的につらい」が 24.5%、「精神的につらい」が 16.7%となっています。障害別に見ると、身体障害では「特にない」が 37.7%と最も多く、高次脳機能障害では「仕事を覚えるのが遅い、覚えられなくて叱られる」が、35.5%と多くなっています。

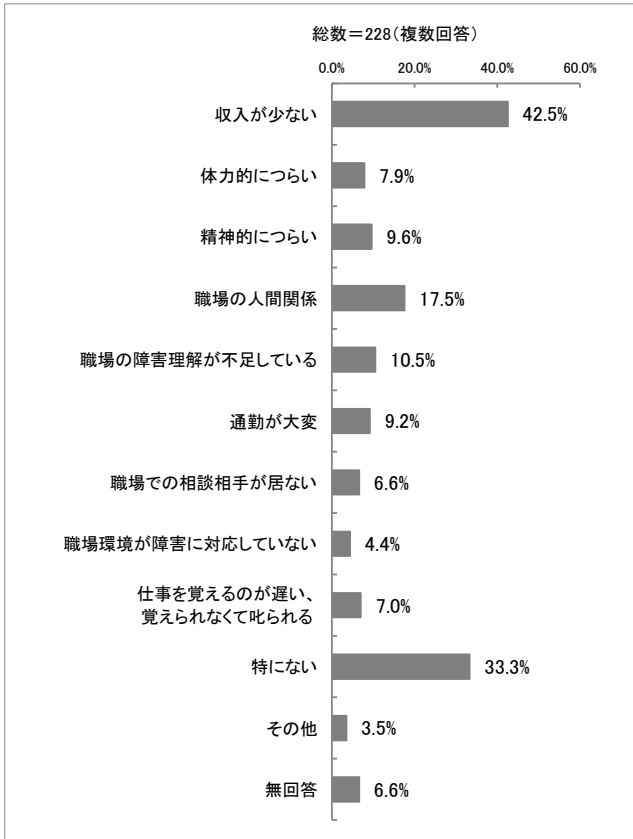
### ■全体



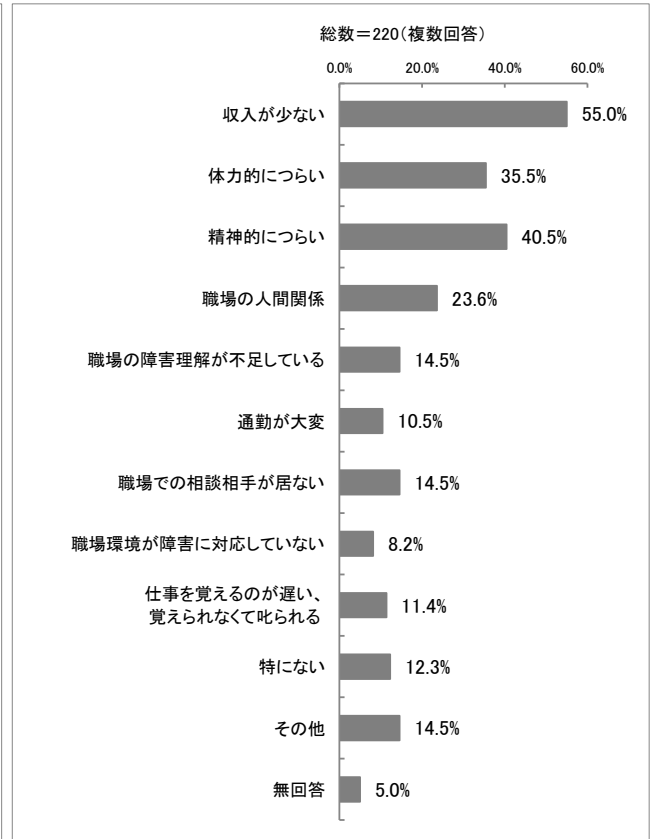
### ■身体障害



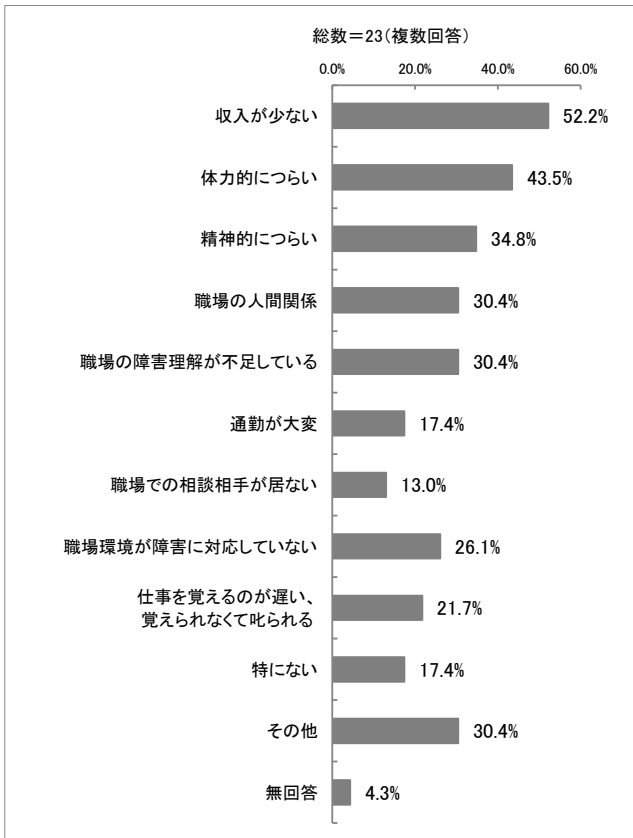
## 知的障害



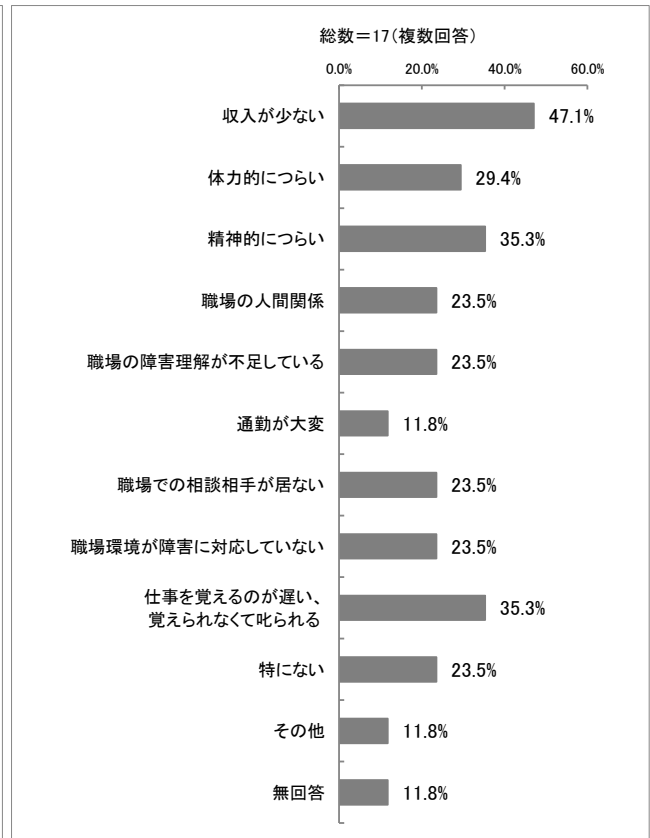
## 精神障害



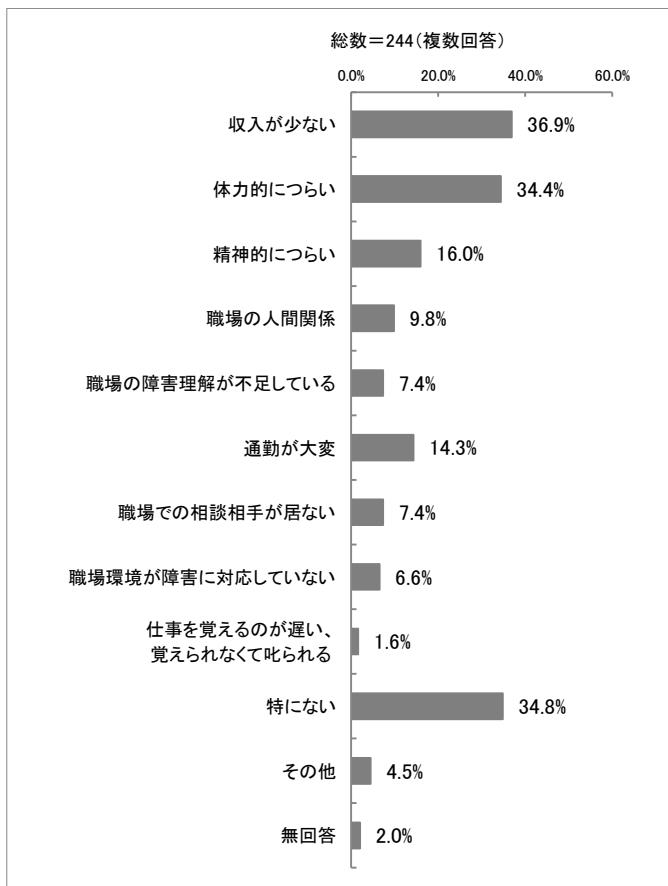
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 仕事をする上で困っていることと年齢

	18~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答
収入が少ない	154 35.8%	221 51.4%	32 7.4%	19 4.4%	4 0.9%
体力的につらい	89 33.0%	139 51.5%	27 10.0%	13 4.8%	2 0.7%
精神的につらい	71 38.6%	102 55.4%	5 2.7%	5 2.7%	1 0.5%
通勤が大変	44 41.9%	54 51.4%	5 4.8%	2 1.9%	0 0.0%
職場の人間関係	82 56.9%	56 38.9%	5 3.5%	0 0.0%	1 0.7%
職場での相談相手が居ない	46 51.1%	43 47.8%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
職場の障害理解が困足している	56 48.3%	58 50.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
職場環境が障害に対応していない	35 54.7%	28 43.8%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%
仕事を覚えるのが遅い、覚えられなくて叱られる	27 51.9%	23 44.2%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%
特にない	102 28.0%	194 53.3%	35 9.6%	28 7.7%	5 1.4%
その他	24 36.4%	35 53.0%	1 1.5%	4 6.1%	2 3.0%
無回答	6 14.3%	25 59.5%	6 14.3%	5 11.9%	0 0.0%

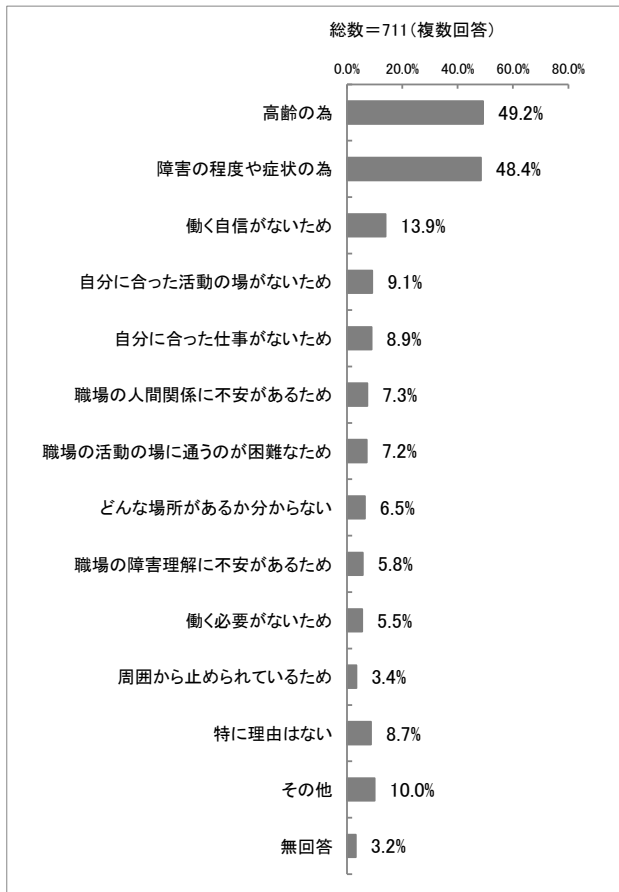
### (3) 就労や通所などをしていない理由

問 27 問 25 で「特になにもしていない」と回答した方にお聞きします。

あなたが就労や通所などをしていない理由は何ですか。

全体では、「高齢のため」が 49.2%、「障害の程度や症状のため」が 48.4%、「働く自信がないため」が 13.9%となっています。身体障害以外では「障害の程度や症状のため」が最も多くなっています。

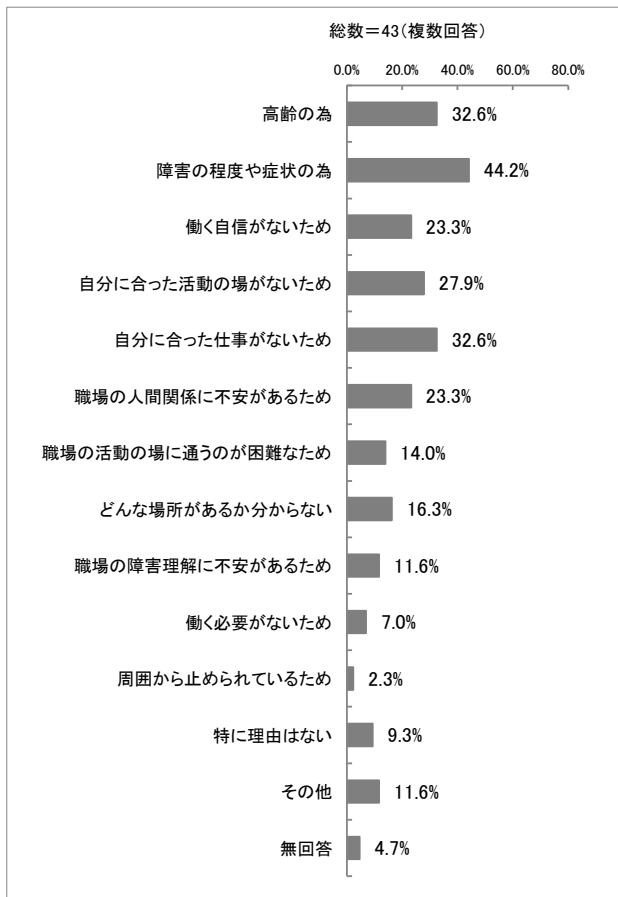
#### ■全体



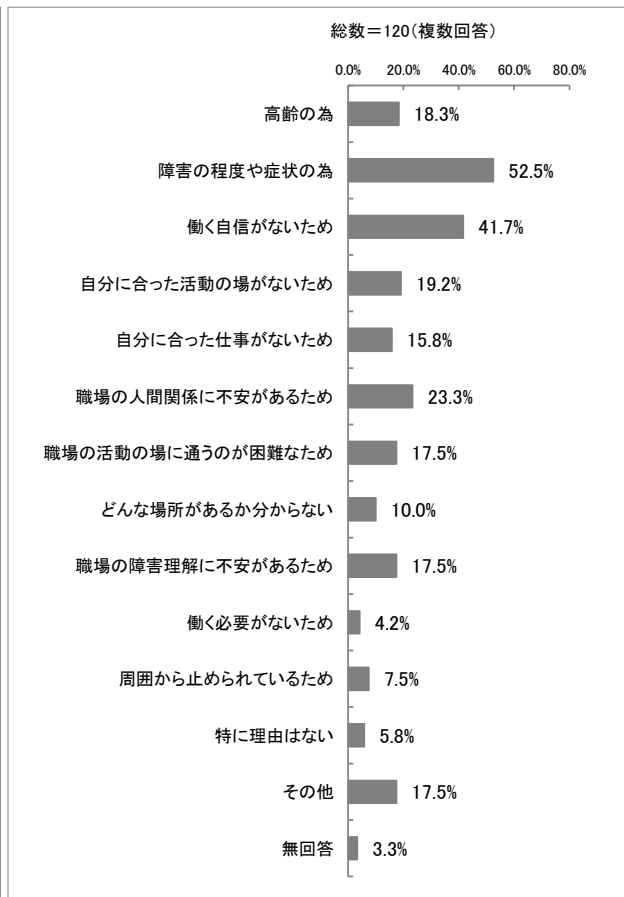
#### ■身体障害



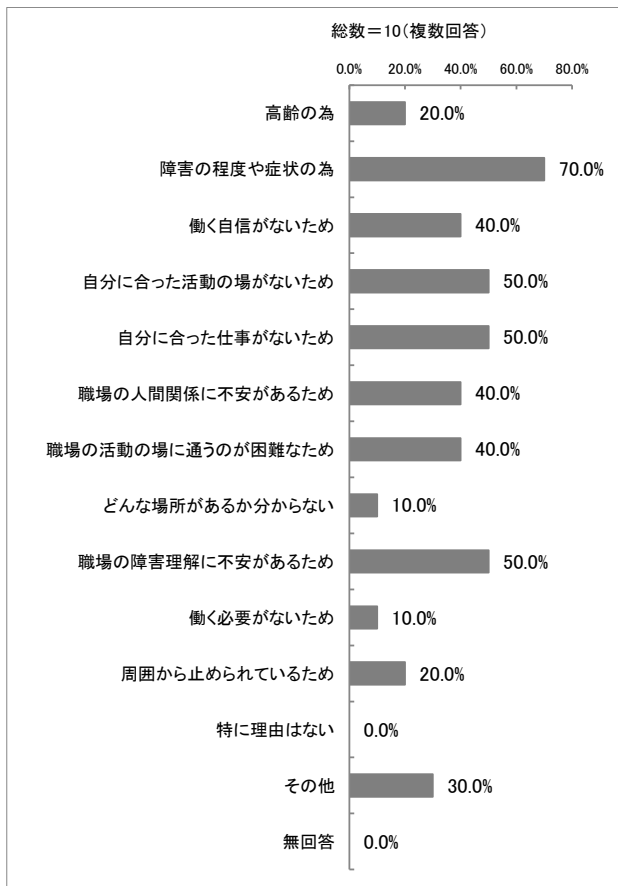
## 知的障害



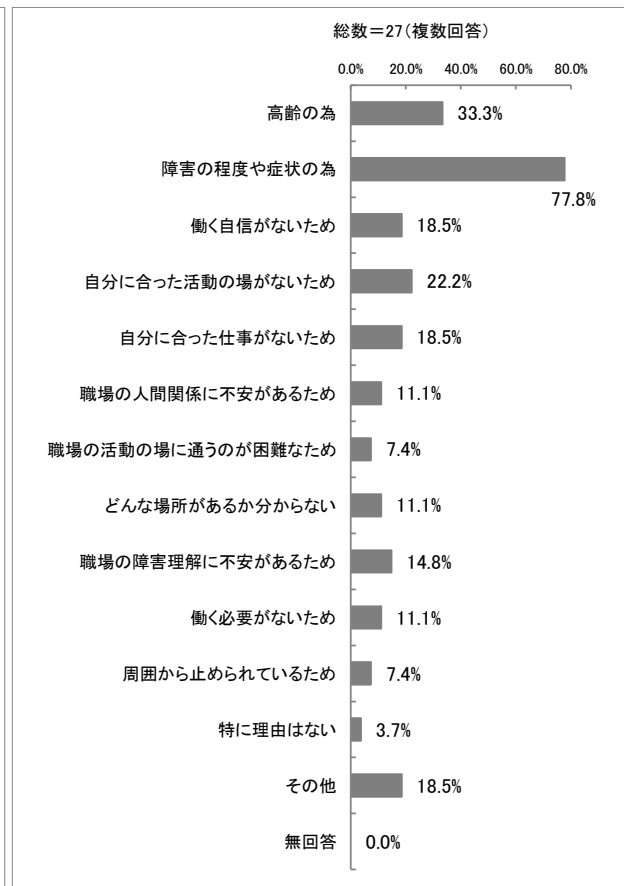
## 精神障害



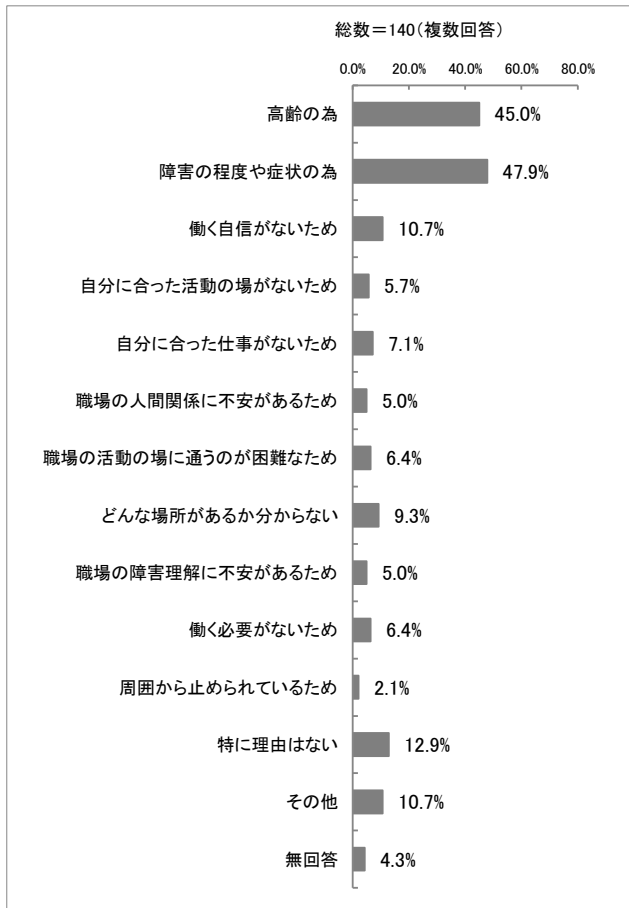
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 通所や就労をしていない理由と年齢

「18～39歳」では、「職場の人間関係に不安があるため」、「自分に合った活動の場がないため」、「働く自信がないため」がやや多くなっています。

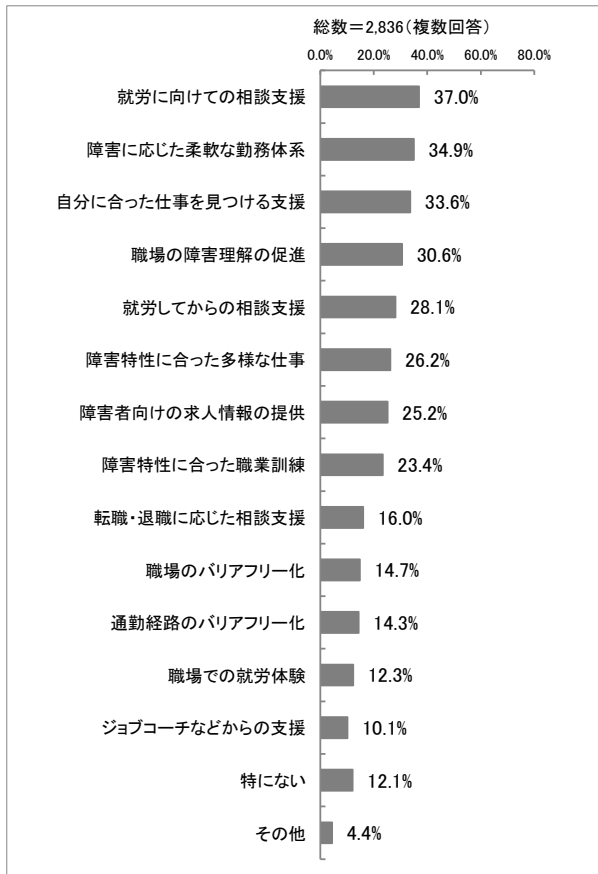
	障害の程度や症状の為	高齢の為	職場の人間関係に不安があるため	職場の障害理解に不安があるため	職場の活動の場に通うのが困難なため	周囲から止められているため	自分に合った仕事がないため	自分に合った活動の場がないため	働く自信がないため	働く必要がないため	どんな場所があるか分からない	特に理由はない	その他	無回答
18～39歳	39 66.1%	0 0.0%	19 32.2%	11 18.6%	16 27.1%	6 10.2%	12 20.3%	16 27.1%	26 44.1%	1 1.7%	7 11.9%	1 1.7%	14 23.7%	1 1.7%
40～64歳	113 57.1%	27 13.6%	30 15.2%	27 13.6%	22 11.1%	11 5.6%	30 15.2%	29 14.6%	51 25.8%	7 3.5%	25 12.6%	16 8.1%	26 13.1%	5 2.5%
65～74歳	79 53.0%	74 49.7%	1 0.7%	2 1.3%	6 4.0%	2 1.3%	12 8.1%	13 8.7%	12 8.1%	9 6.0%	8 5.4%	21 14.1%	9 6.0%	3 2.0%
75歳以上	108 36.4%	246 82.8%	1 0.3%	1 0.3%	7 2.4%	5 1.7%	9 3.0%	7 2.4%	9 3.0%	22 7.4%	6 2.0%	24 8.1%	22 7.4%	13 4.4%
無回答	5 62.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

#### (4) 一般就労するために必要なこと

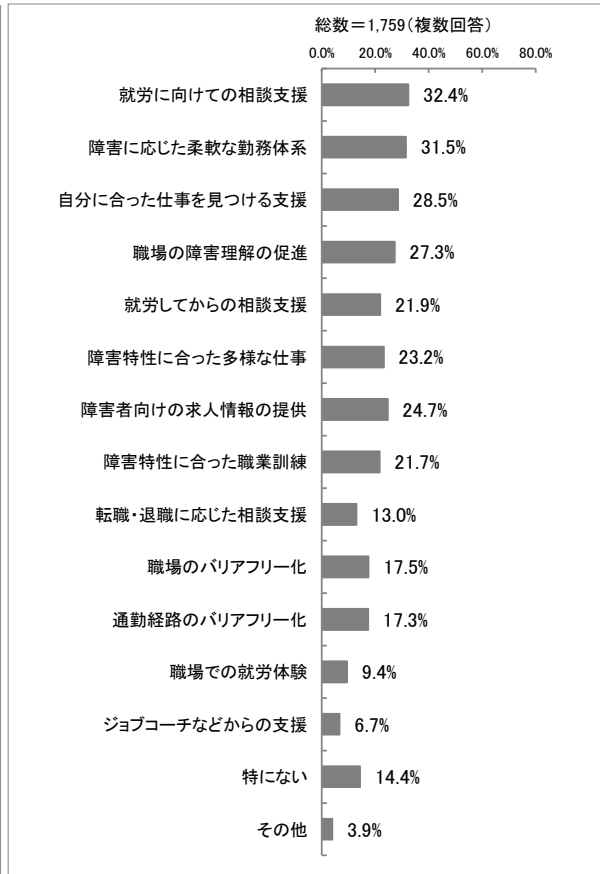
問 28 障害者が一般就労するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「就労に向けての相談支援」が37.0%と最も多く、次いで「障害に応じた柔軟な勤務体系」が34.9%、「自分に合った仕事を見つける支援」が33.6%となっています。

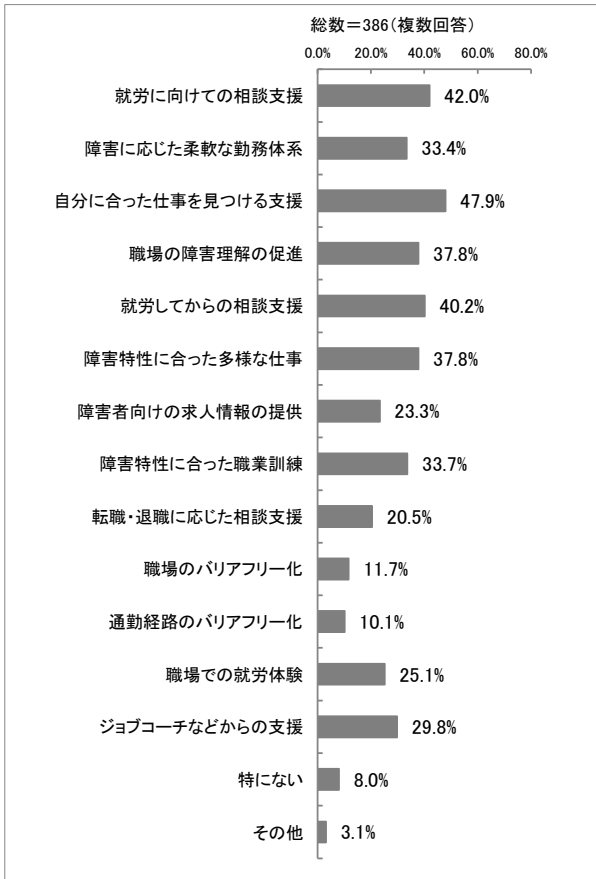
##### ■全体



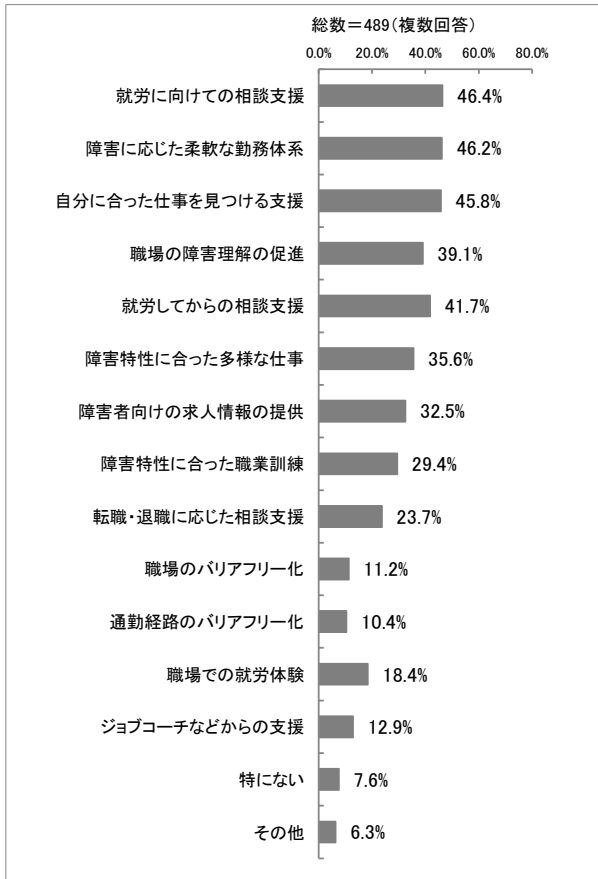
##### ■身体障害



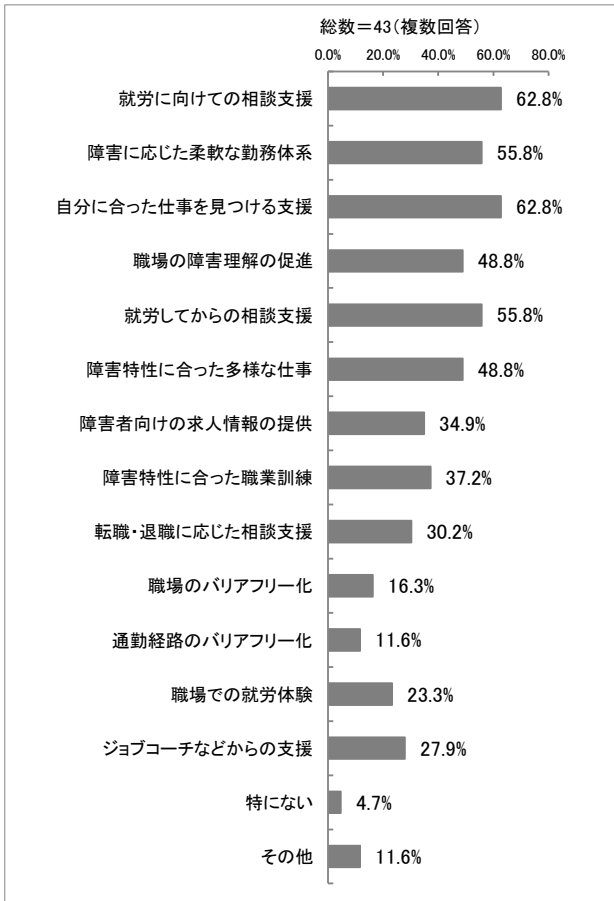
## 知的障害



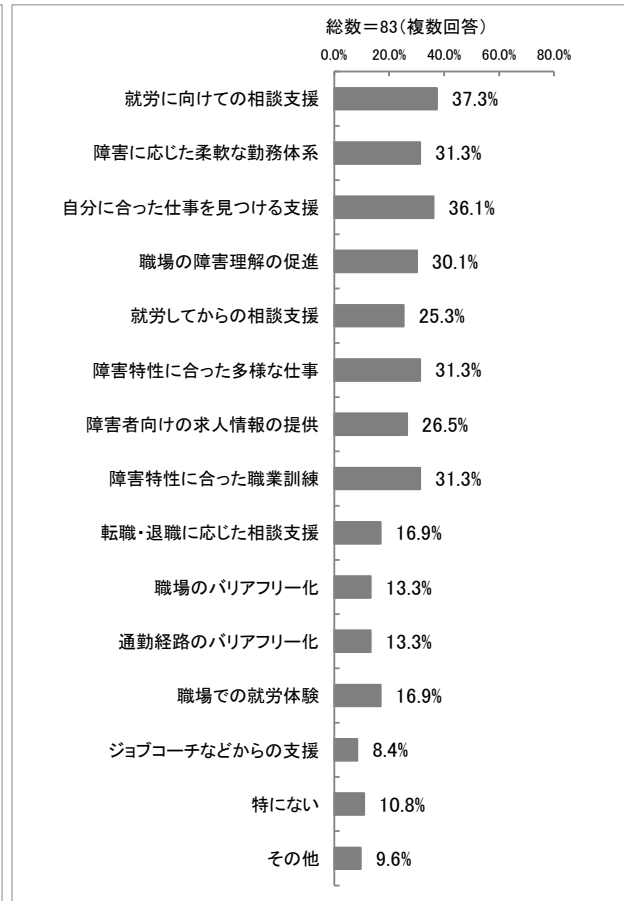
## 精神障害



## 発達障害

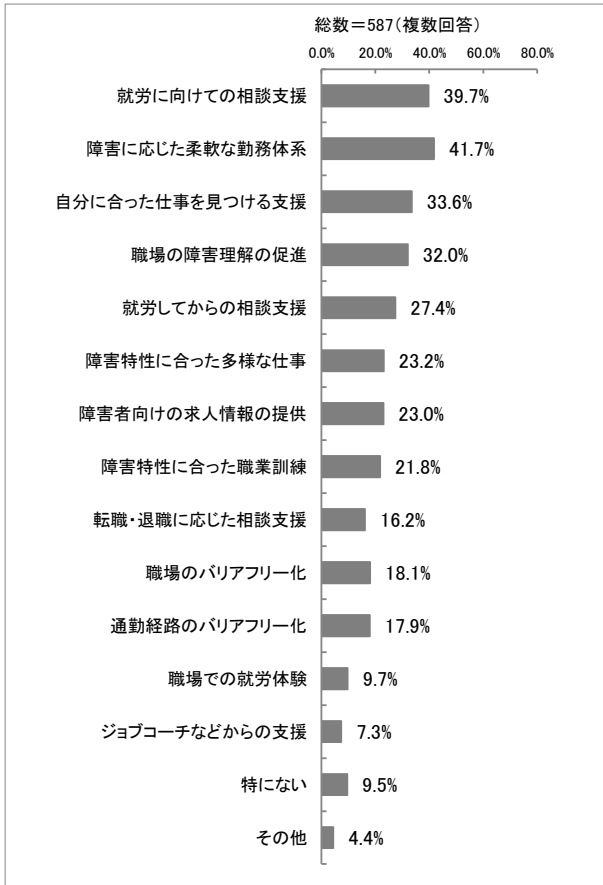


## 高次脳機能障害





## ■ 難病・特定疾患

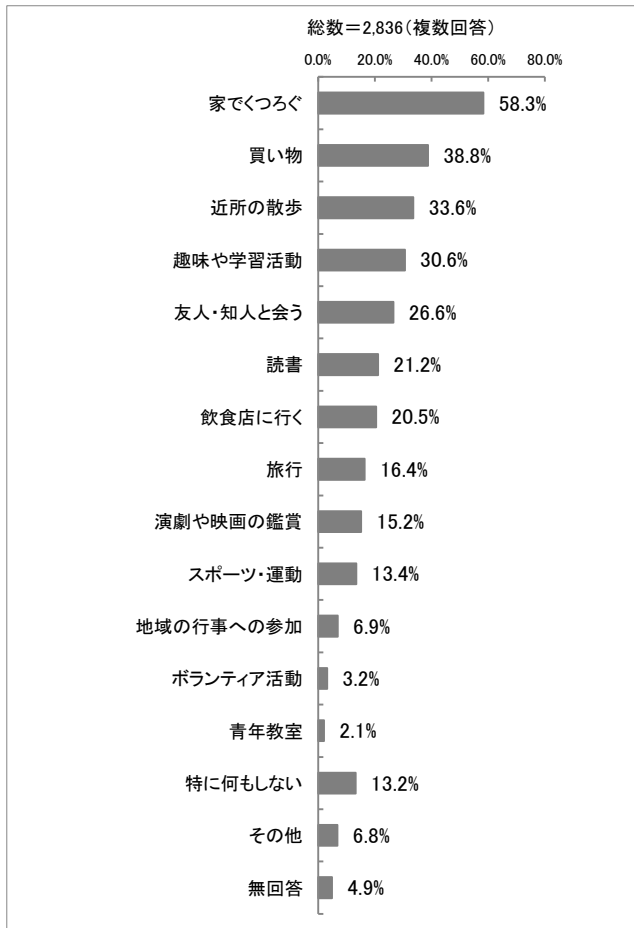


## (5) 余暇の過ごし方

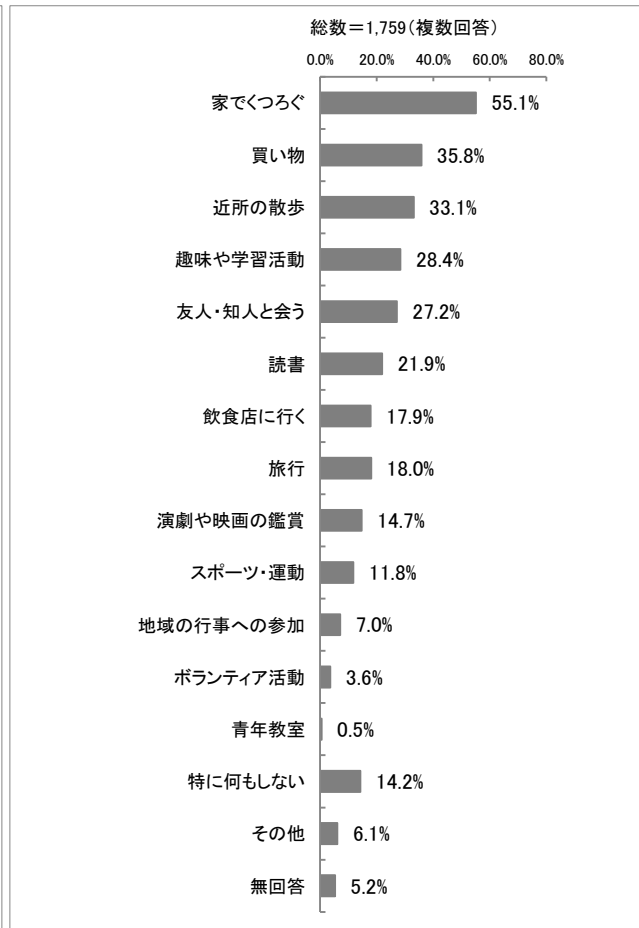
問 29 あなたは、休日や余裕のあるときに、どのように過ごしていますか。

全体では、「家でくつろぐ」が 58.3%と最も多く、次いで「買い物」が 38.8%、「近所の散歩」が 33.6%となっています。障害別に見ると、発達障害では「趣味や学習活動」が最も多くなっています。

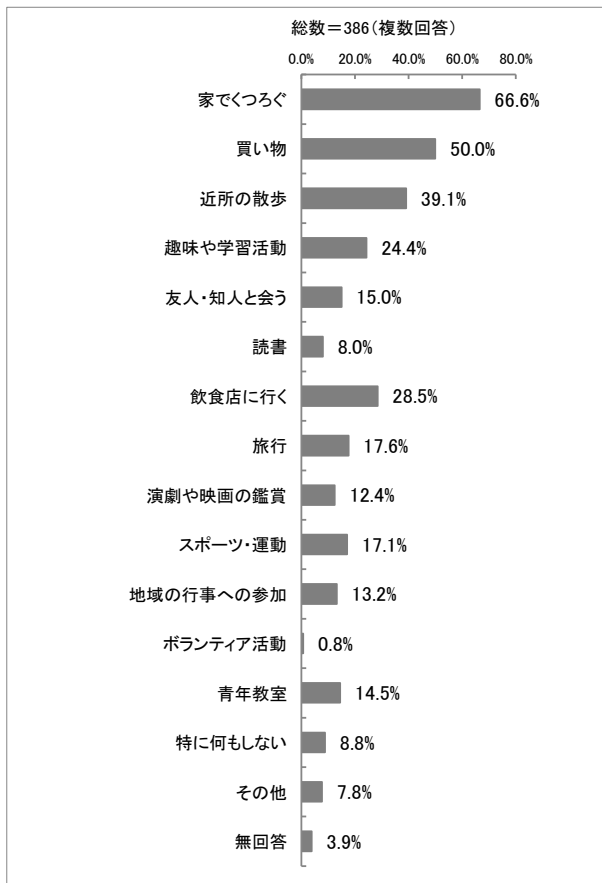
### ■全体



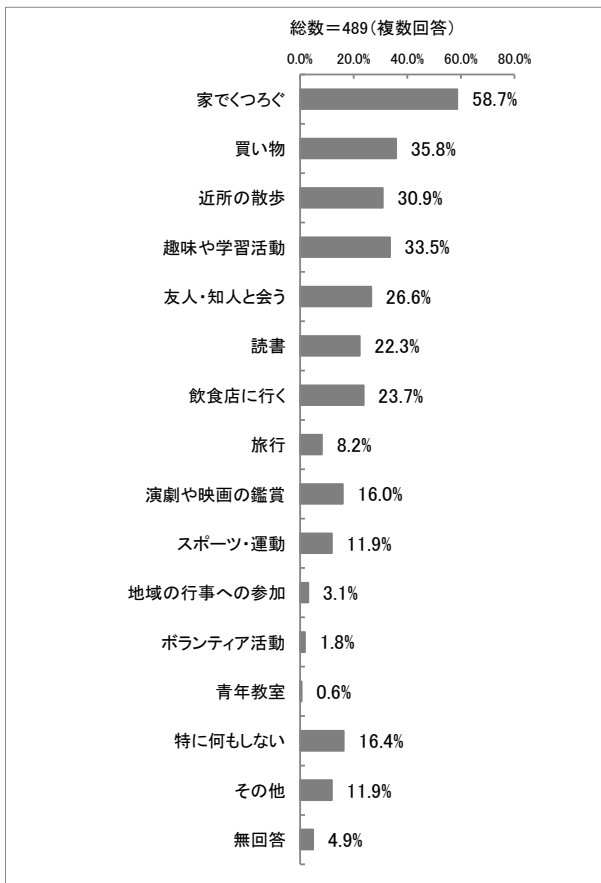
### ■身体障害



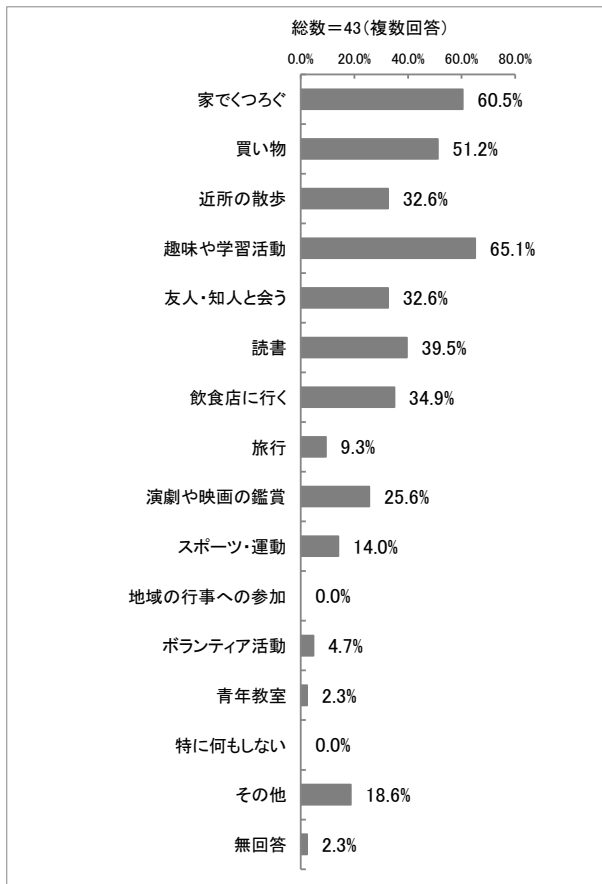
## 知的障害



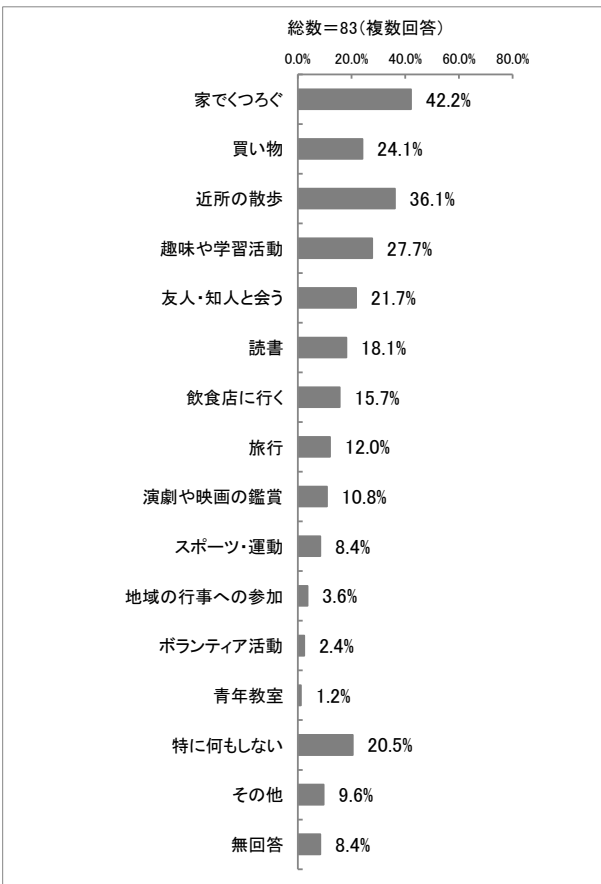
## 精神障害



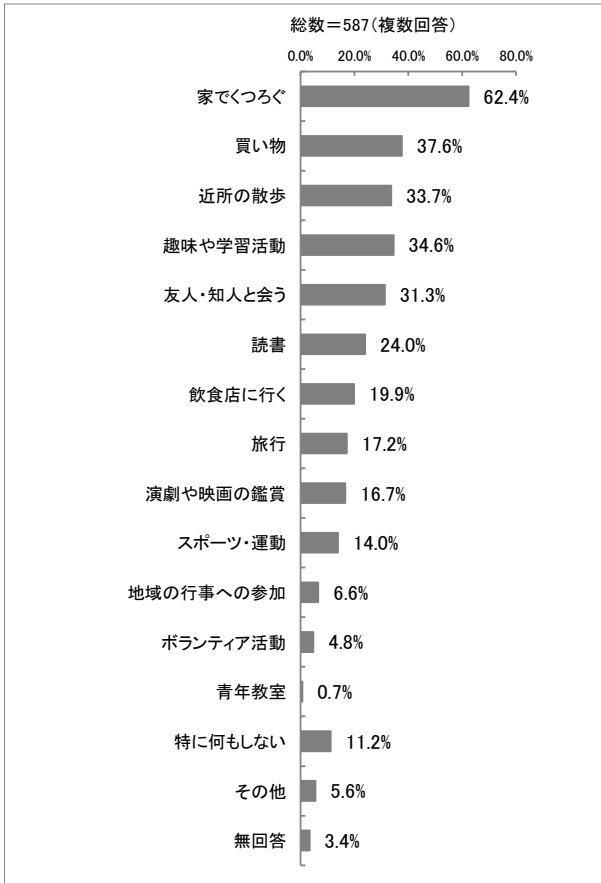
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 5) 外出やバリアフリーについて

### (1) 外出の頻度

問 30 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。

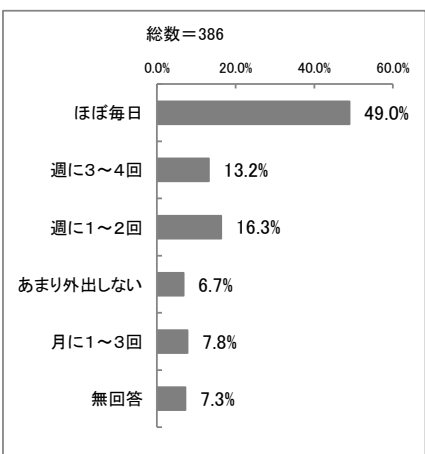
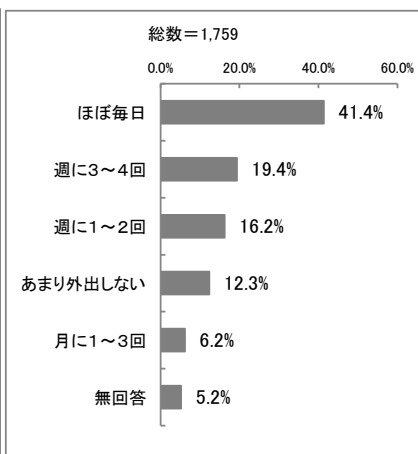
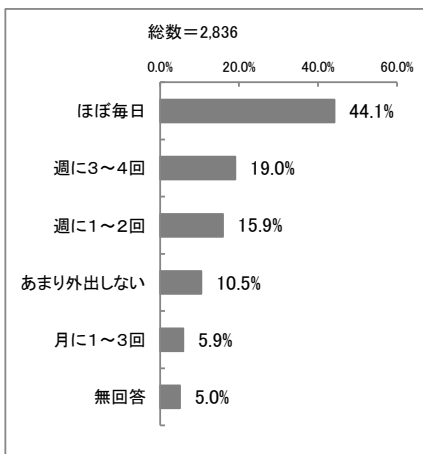
全体では、「ほぼ毎日」が44.1%と最も多く、次いで「週に3～4回」が19.0%、「週に1～2回」が15.9%となっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

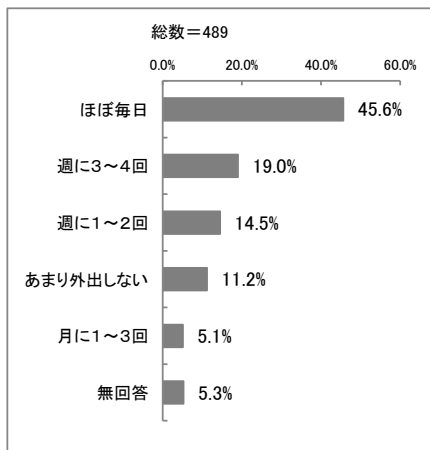
#### ■全体

#### ■身体障害

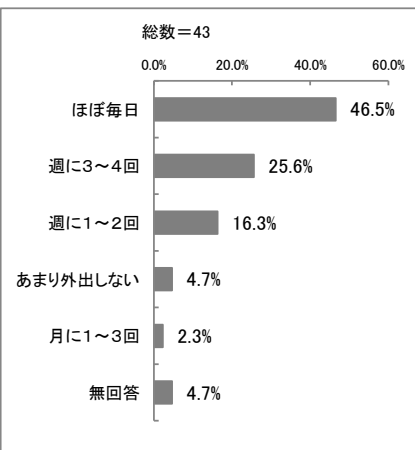
#### ■知的障害



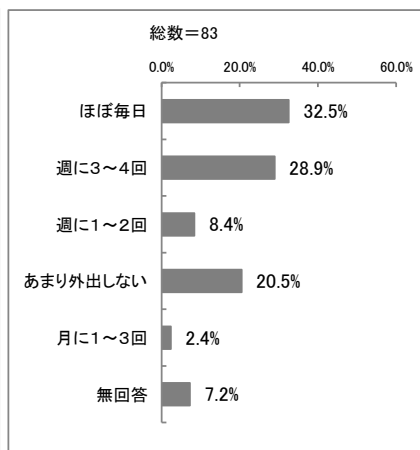
## ■精神障害



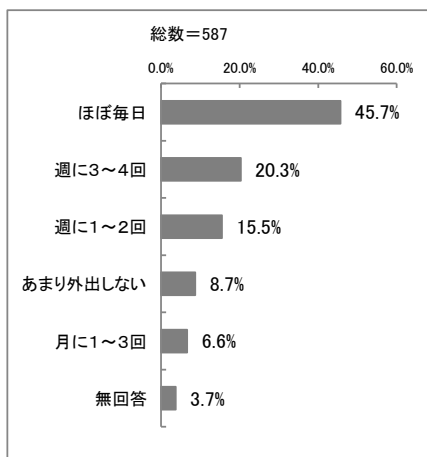
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患

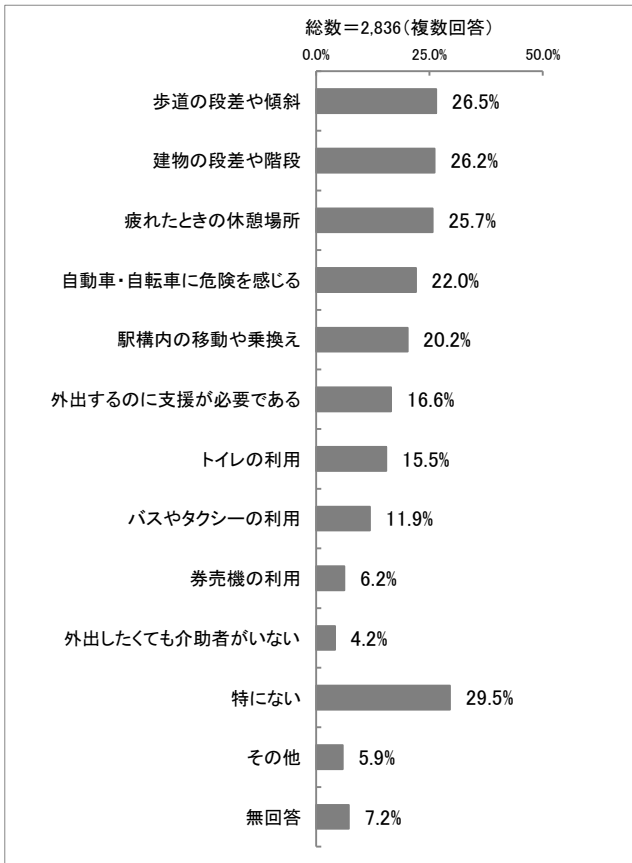


## (2) 外出に関して困っていること

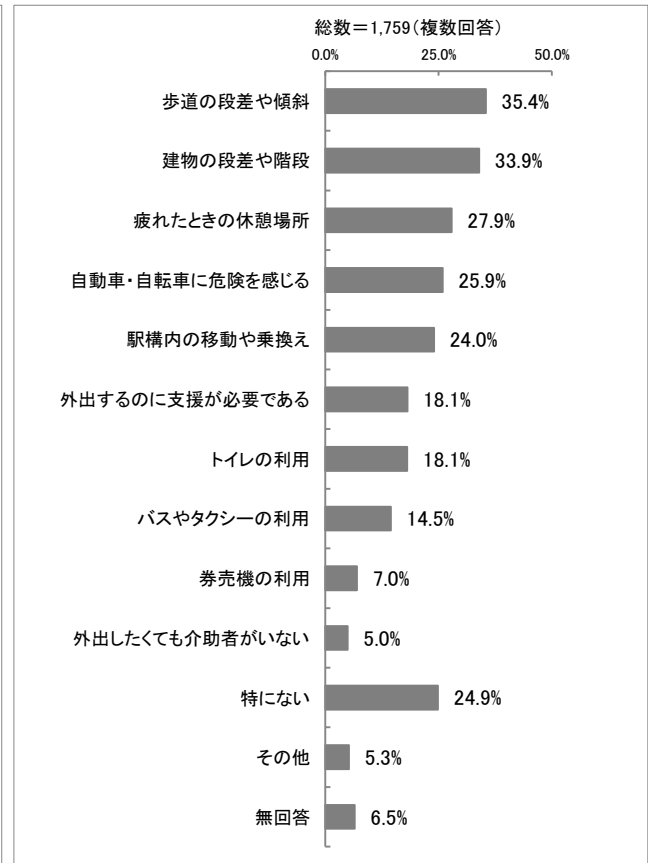
問 31 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。

身体障害では「歩道の段差や傾斜」が 35.4%、「建物の段差や階段」が 33.9%、「駅構内の移動や乗り換え」が 24.0%と、他の障害に比べてやや多くなっています。知的障害では「外出するのに支援が必要である」が 33.9%と多くなっています。精神障害、発達障害では「特にない」と回答した人の割合が最も高く、次いで「疲れたときの休憩場所」が多くなっています。

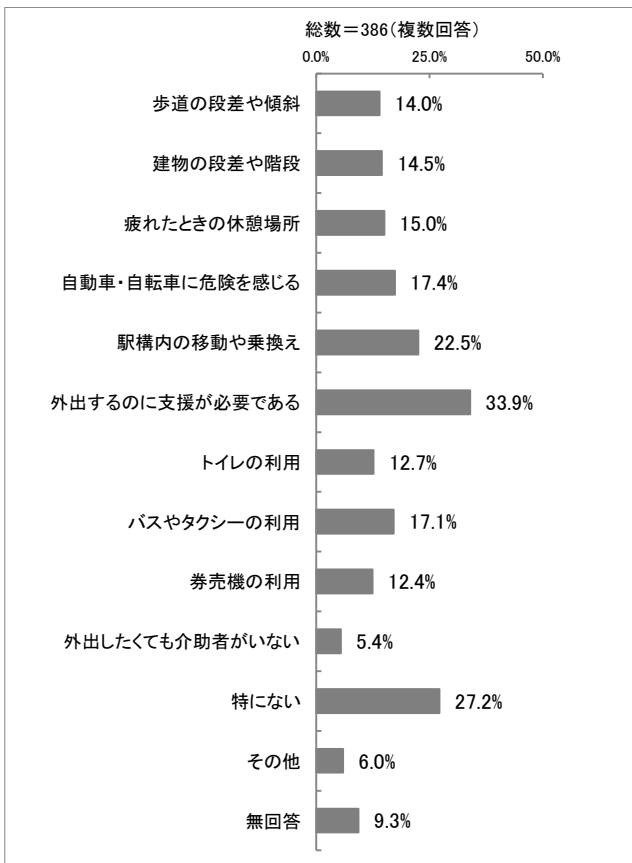
## ■全体



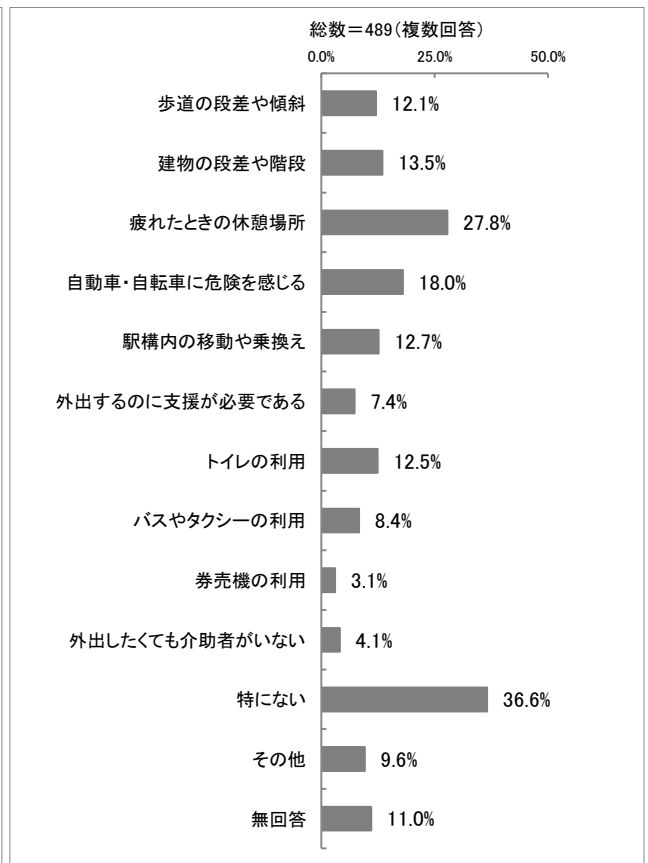
## ■身体障害



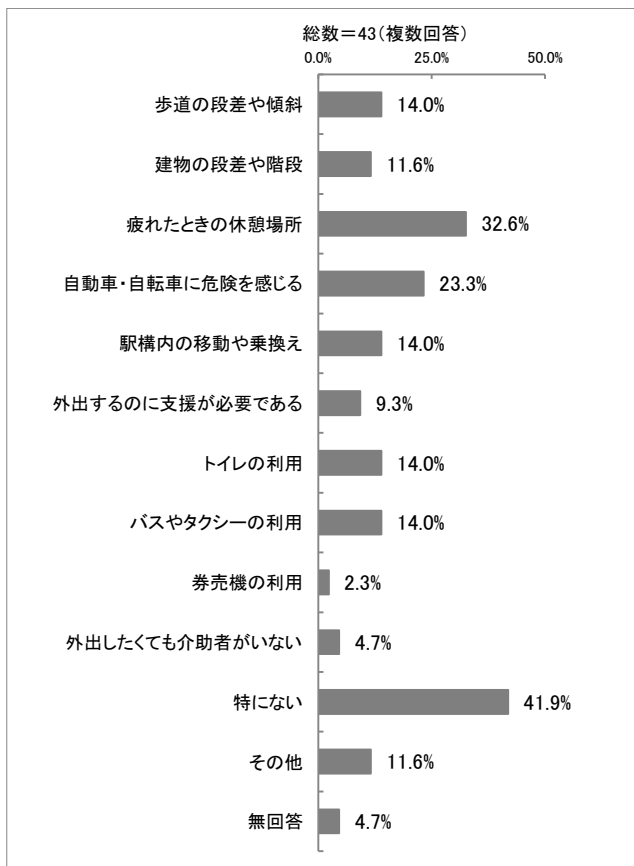
## ■知的障害



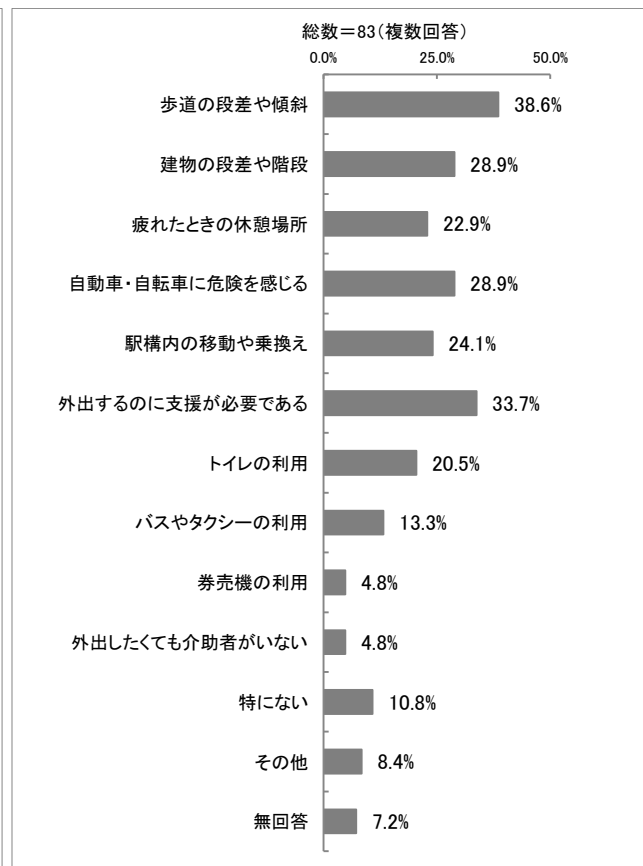
## ■精神障害



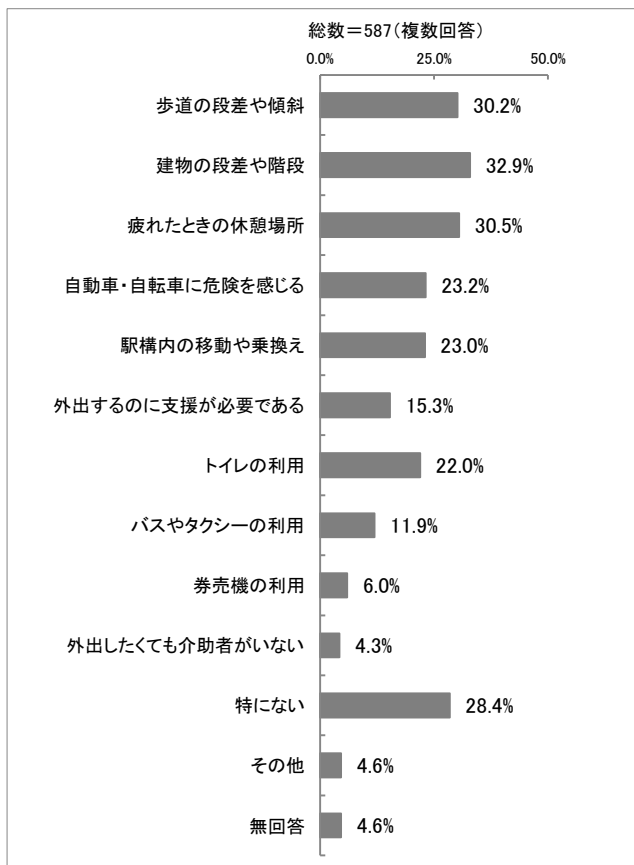
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



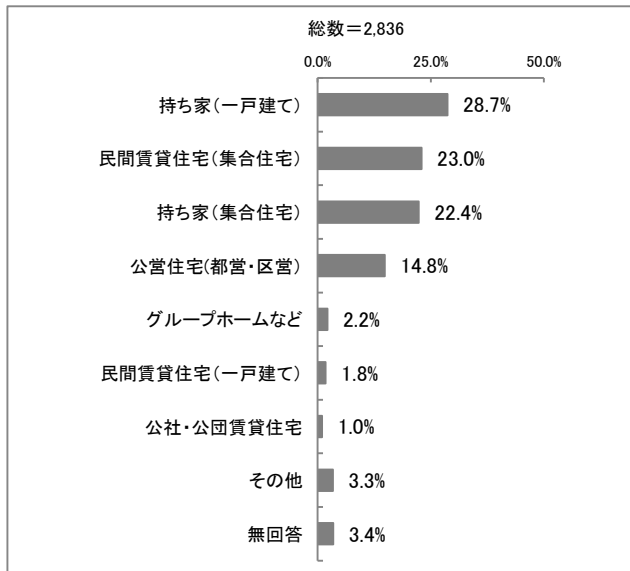
### (3) 住まいの種類

問 32 あなたのお住まいをお聞きます。

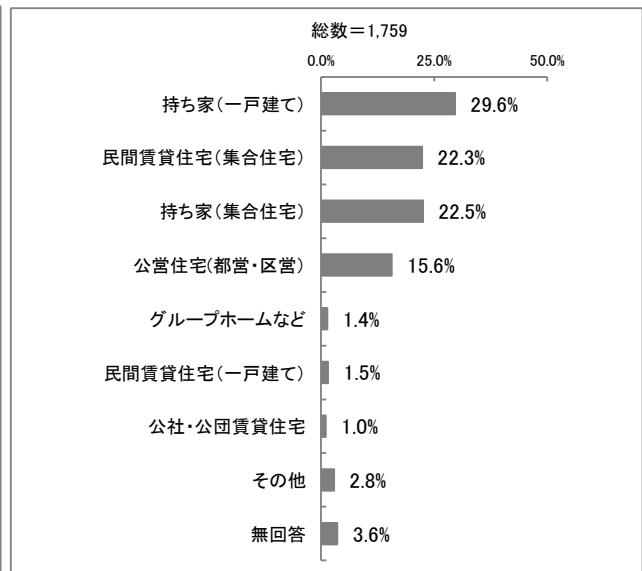
全体では、「持ち家（一戸建て）」が 28.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 23.0%、「持ち家（集合住宅）」が 22.4%となっています。

（※グラフは、一部重複回答を含みます）

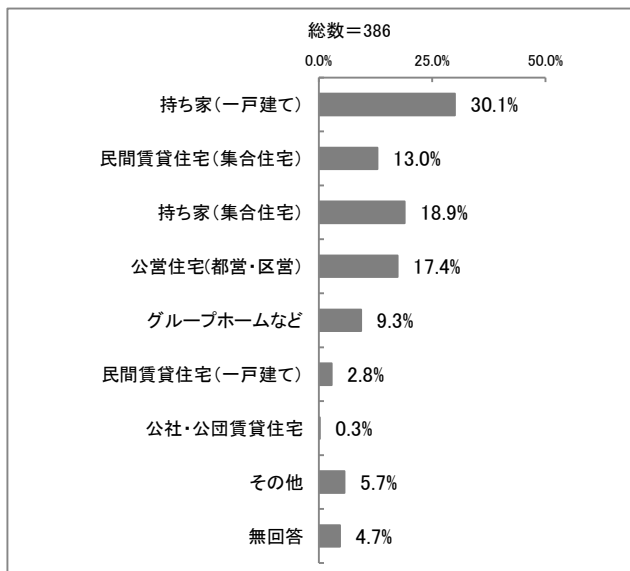
#### ■全体



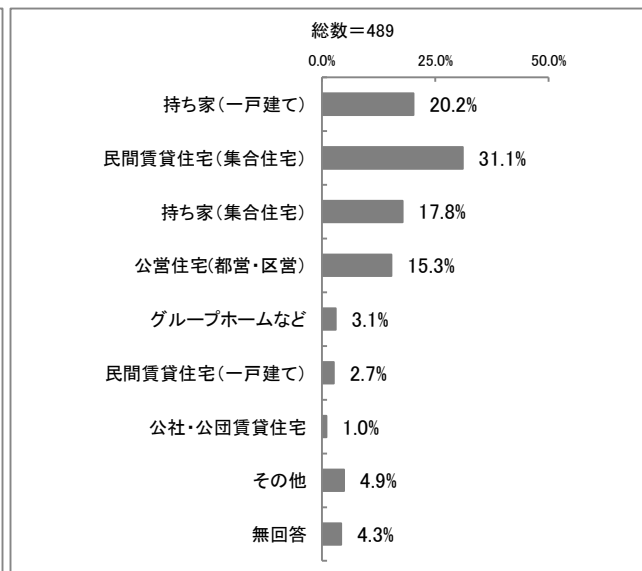
#### ■身体障害



#### ■知的障害

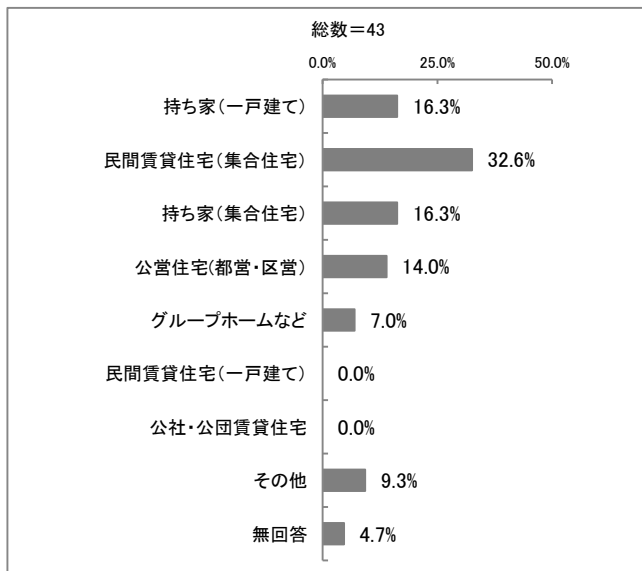


#### ■精神障害

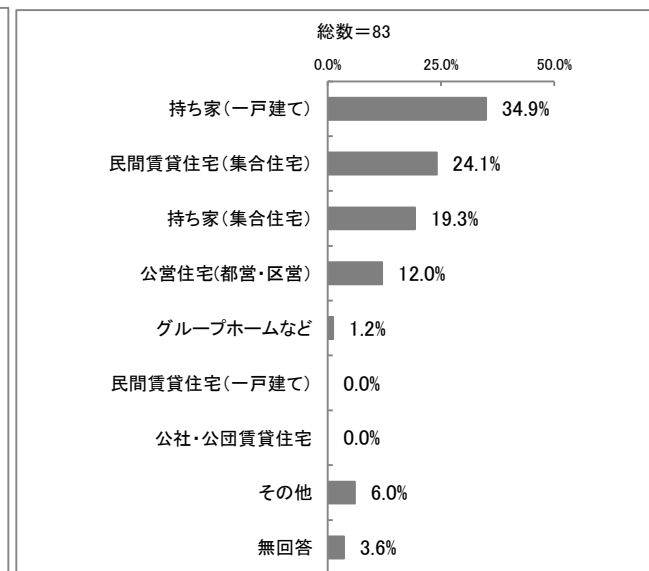




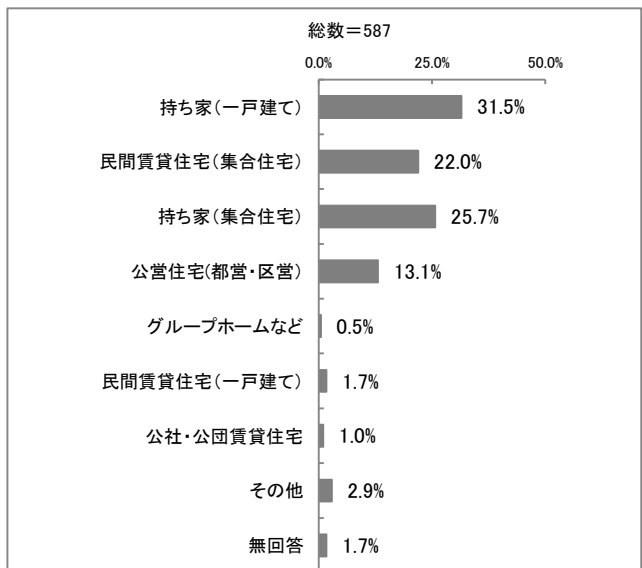
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 住まいの種類と同居家族

同居している家族別の結果を見ると、「家族」では、「持ち家（一戸建て）」が42.5%と最も多くなっています。「ひとり暮らし」では、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が48.7%と最も多くなっています。

	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営住宅（都営・区営）	公社・公団賃貸住宅	グループホームなど	その他	無回答
家族	1268 42.5%	695 23.3%	66 2.2%	328 11.0%	429 14.4%	34 1.1%	31 1.0%	78 2.6%	74 2.5%
ひとり暮らし	71 8.7%	152 18.7%	15 1.8%	396 48.7%	112 13.8%	8 1.0%	5 0.6%	31 3.8%	27 3.3%
グループホーム等での集団生活	5 7.9%	4 6.3%	0 0.0%	2 3.2%	1 1.6%	0 0.0%	50 79.4%	3 4.8%	1 1.6%
その他	30 27.3%	19 17.3%	2 1.8%	22 20.0%	11 10.0%	0 0.0%	2 1.8%	16 14.5%	9 8.2%
無回答	11 19.6%	12 21.4%	0 0.0%	14 25.0%	6 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.4%	10 17.9%

※「家族」には、父親、母親、配偶者、子、兄弟姉妹、その他親族を含みます。

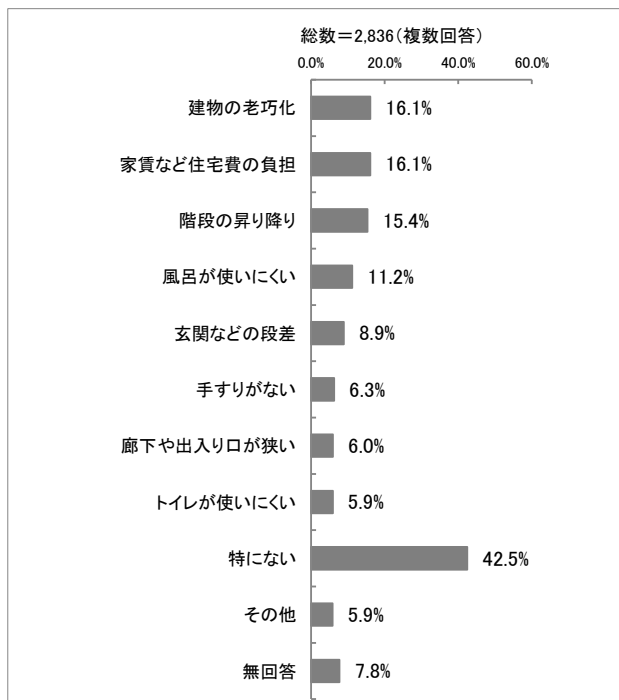
## (4) 住まいに関して困っていること

問 33 あなたは、住まいに関してどのようなことで困っていますか。

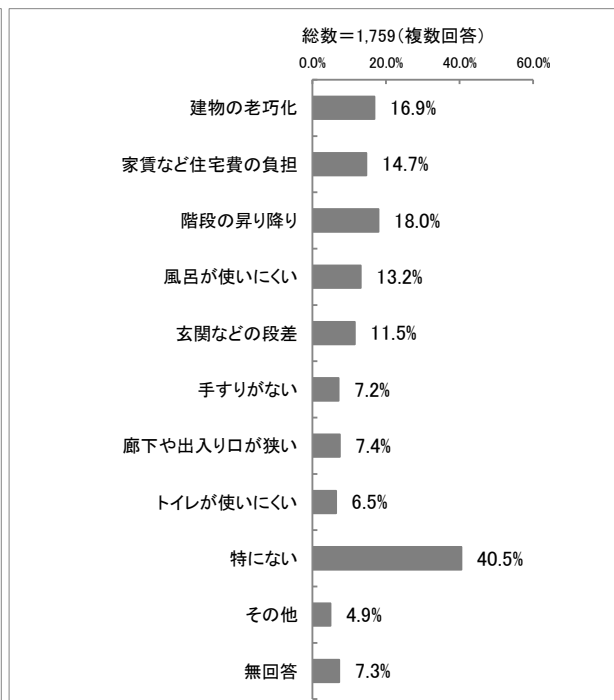
全体では、「建物の老朽化」が16.1%、「家賃など住宅費の負担」が16.1%となっています。

「特にない」と回答した人の割合は、全体では42.5%となっています。

### ■全体

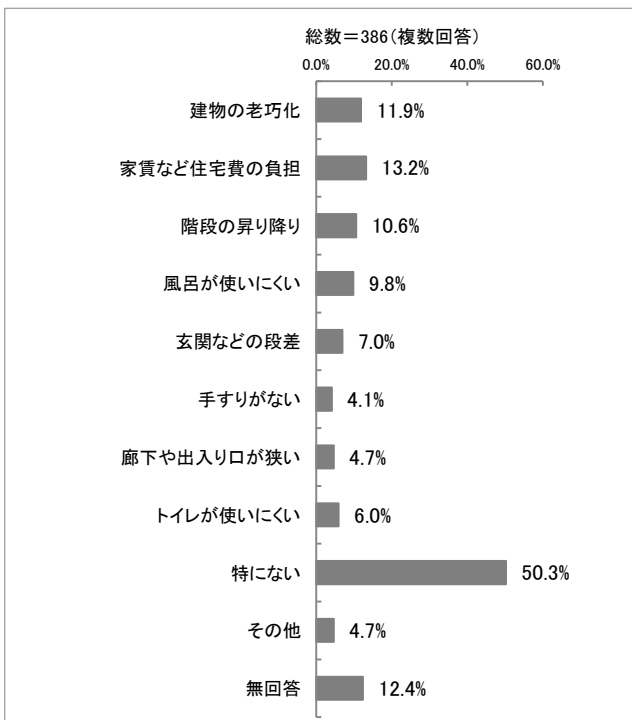


### ■身体障害

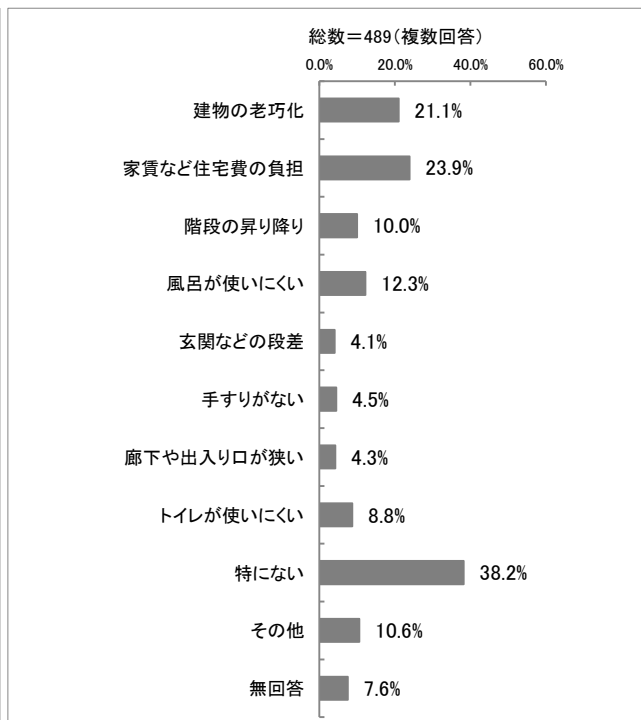


問 32 において「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合の高かった、精神障害、発達障害では「家賃など住宅費の負担」が多くなっています。知的障害では「特にない」が 50%以上となっています。

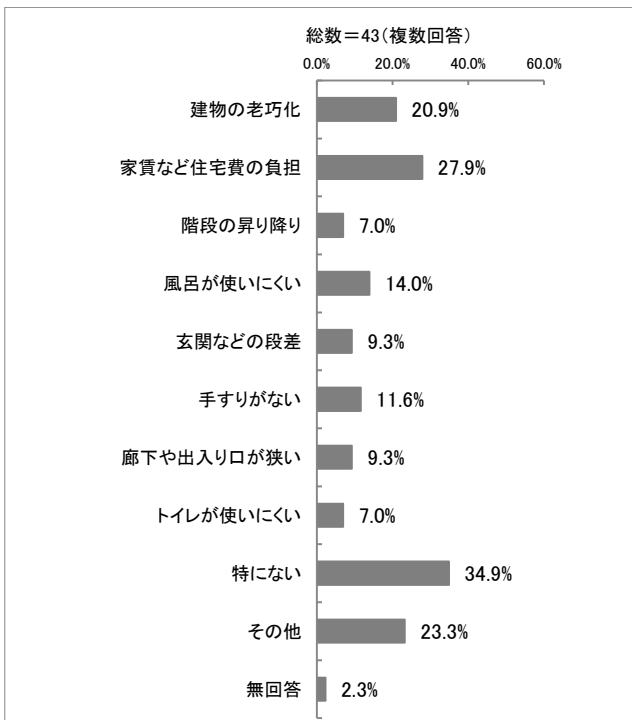
### ■知的障害



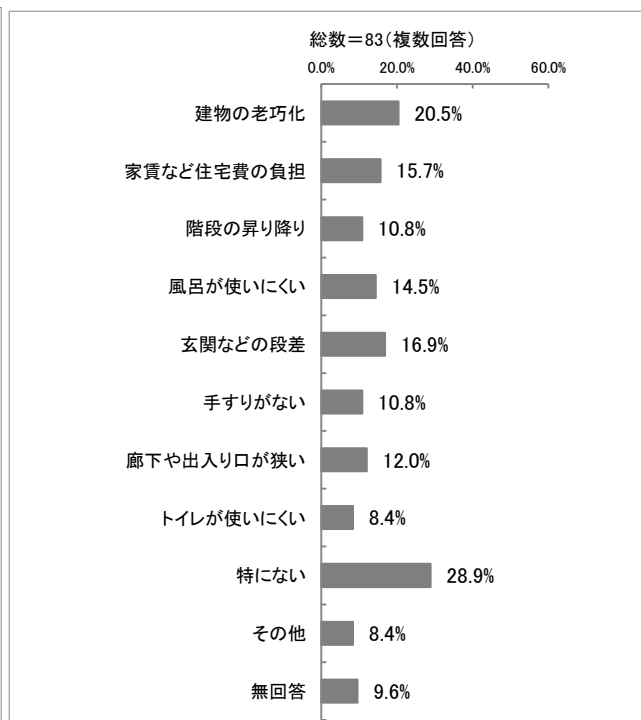
### ■精神障害



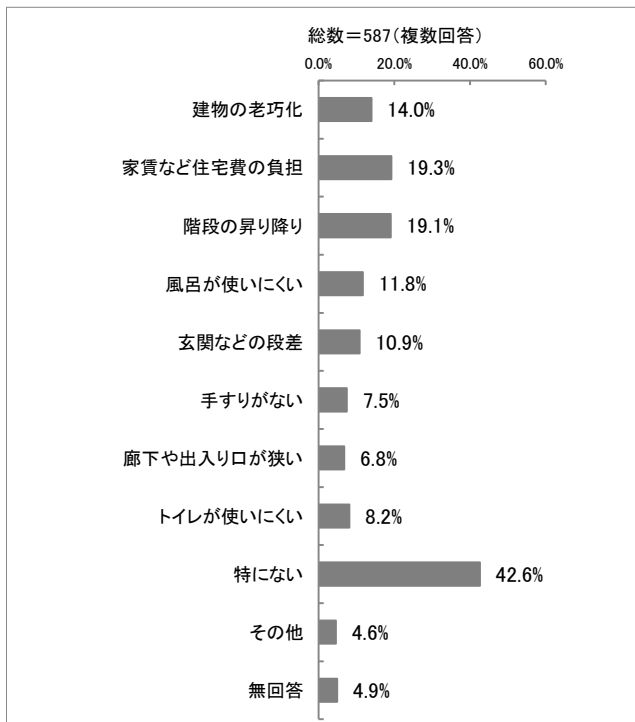
### ■発達障害



### ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 住まいに関して困っていることと住まいの種類

住まいの種類別の結果を見ると、「民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）」では、「家賃など住宅費の負担」がやや多くなっています。

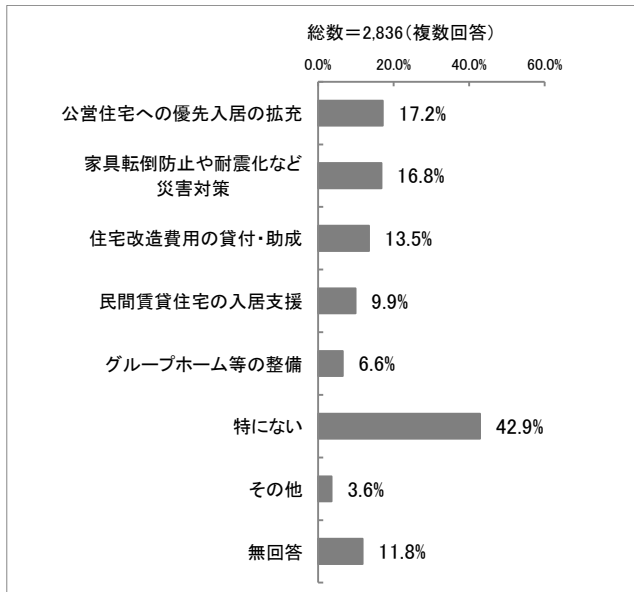
	玄関などの段差	階段の昇り降り	廊下や出入り口が狭い	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	手すりがない	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特にない	その他	無回答
持ち家（一戸建て）	112 13.8%	198 24.3%	56 6.9%	69 8.5%	34 4.2%	47 5.8%	170 20.9%	17 2.1%	394 48.4%	31 3.8%	45 5.5%
持ち家（集合住宅）	41 6.5%	65 10.3%	31 4.9%	44 6.9%	20 3.2%	35 5.5%	68 10.7%	40 6.3%	348 54.9%	39 6.2%	38 6.0%
民間賃貸住宅（一戸建て）	6 12.0%	13 26.0%	3 6.0%	2 4.0%	4 8.0%	4 8.0%	17 34.0%	17 34.0%	16 32.0%	4 8.0%	1 2.0%
民間賃貸住宅（集合住宅）	50 7.7%	86 13.2%	41 6.3%	93 14.3%	55 8.4%	49 7.5%	109 16.7%	277 42.5%	188 28.8%	48 7.4%	24 3.7%
公営住宅(都営・区営)	25 5.9%	42 10.0%	31 7.4%	89 21.1%	44 10.5%	26 6.2%	64 15.2%	59 14.0%	164 39.0%	32 7.6%	45 10.7%
公社・公団賃貸住宅	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	4 14.8%	0 0.0%	3 11.1%	4 14.8%	6 22.2%	11 40.7%	2 7.4%	2 7.4%
グループホームなど	6 9.8%	7 11.5%	2 3.3%	6 9.8%	5 8.2%	3 4.9%	1 1.6%	12 19.7%	29 47.5%	3 4.9%	9 14.8%
その他	8 8.4%	20 21.1%	7 7.4%	9 9.5%	5 5.3%	9 9.5%	21 22.1%	23 24.2%	34 35.8%	9 9.5%	7 7.4%
無回答	6 6.2%	7 7.2%	0 0.0%	5 5.2%	3 3.1%	3 3.1%	7 7.2%	8 8.2%	25 25.8%	0 0.0%	49 50.5%

## (5) 住まいに関して必要な支援

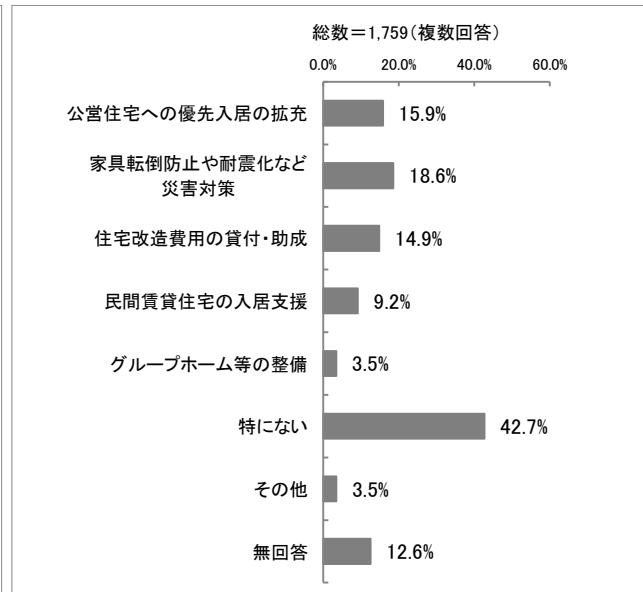
問 34 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。

全体では、「公営住宅への優先入居の拡充」が 17.2%、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が 16.8%となっています。「特にない」と回答した人の割合は、42.9%となっています。障害別に見ると、知的障害では、「グループホーム等の整備」が 25.6%と、多くなっています。

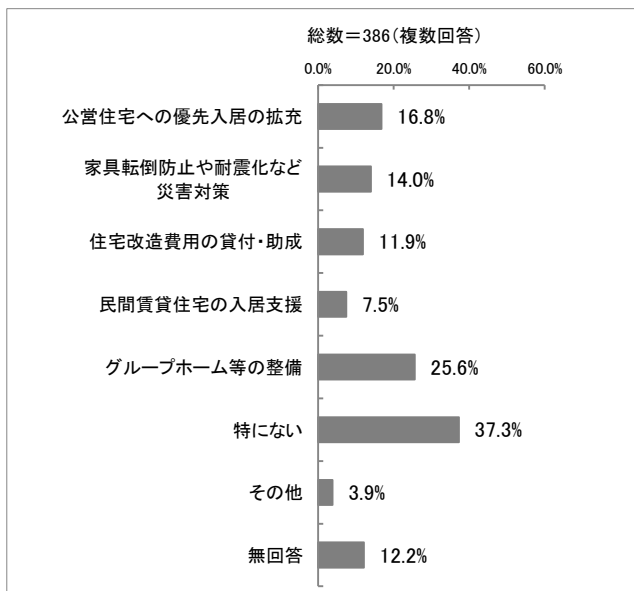
### ■全体



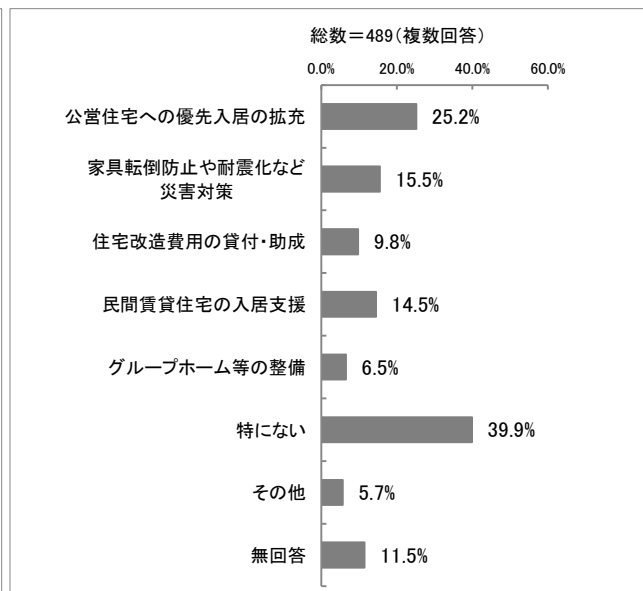
### ■身体障害



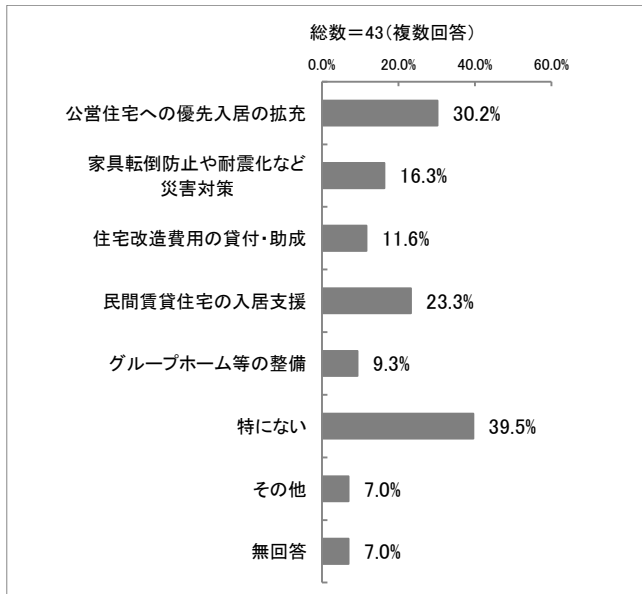
### ■知的障害



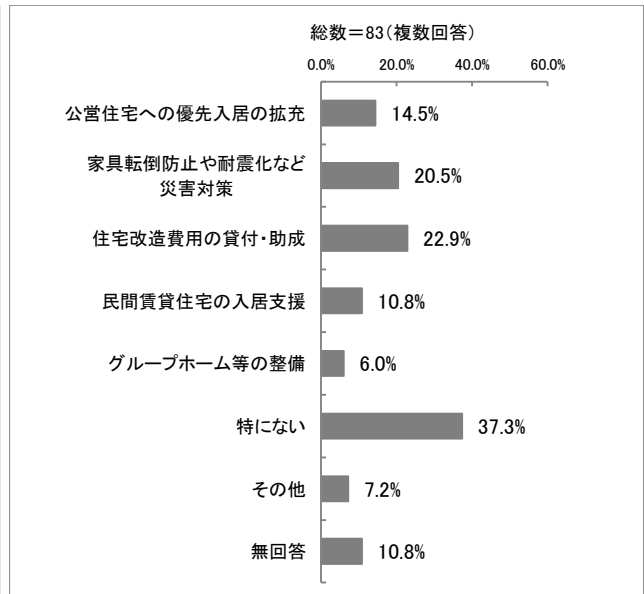
### ■精神障害



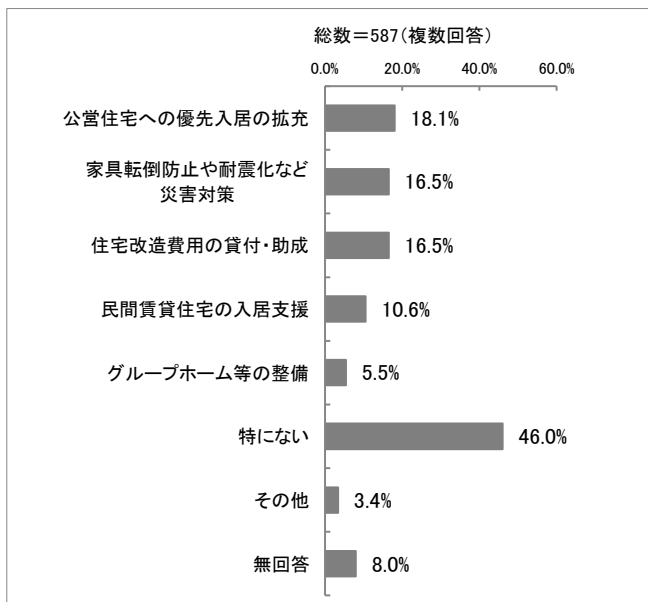
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患

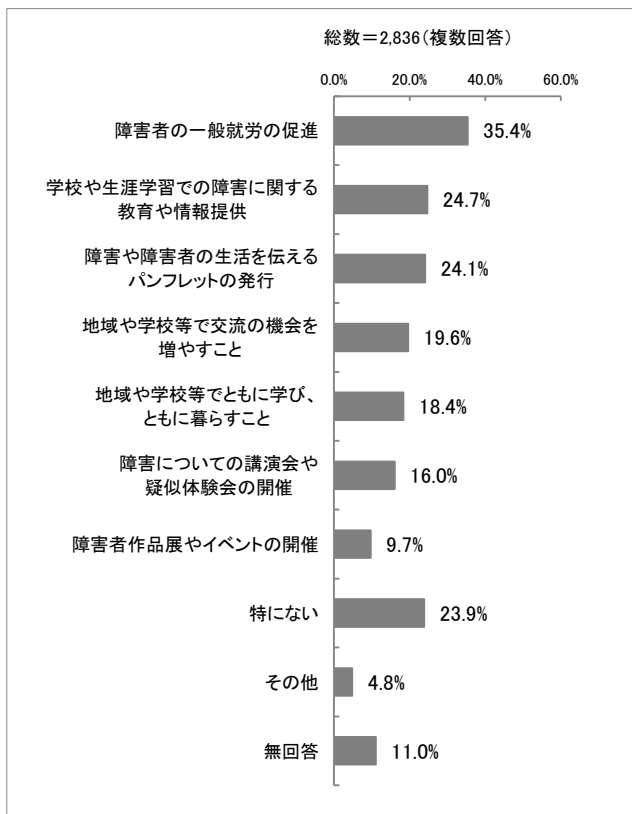


## (6) こころのバリアフリーについて

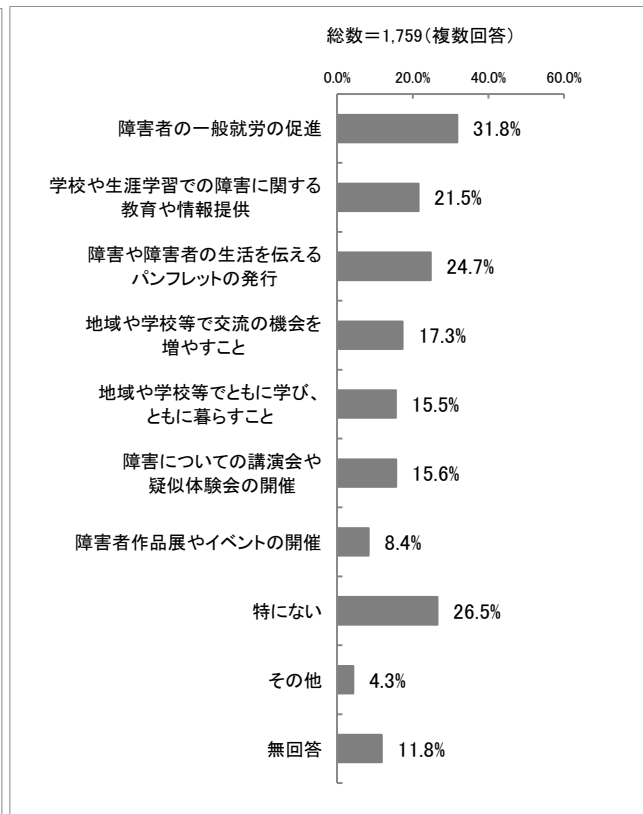
問 35 あなたは、区が「こころのバリアフリー」を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

全体では、「障害者の一般就労の促進」が 35.4%と最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」が 24.7%、「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」が 24.1%となっています。

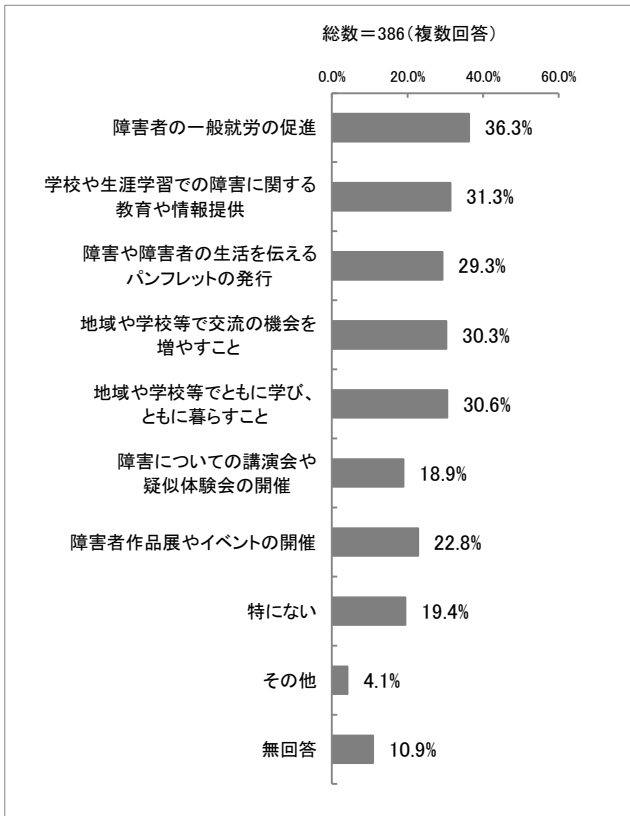
### ■全体



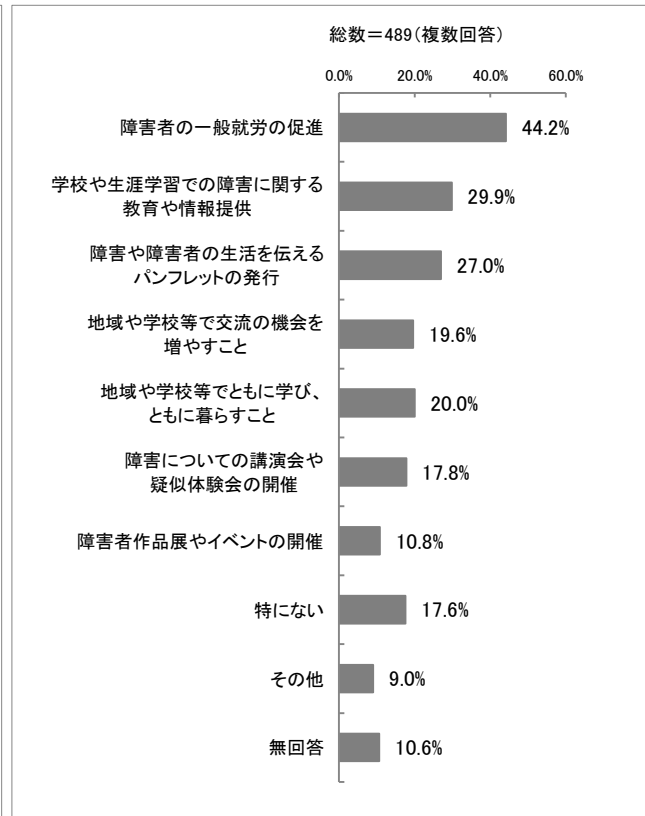
### ■身体障害



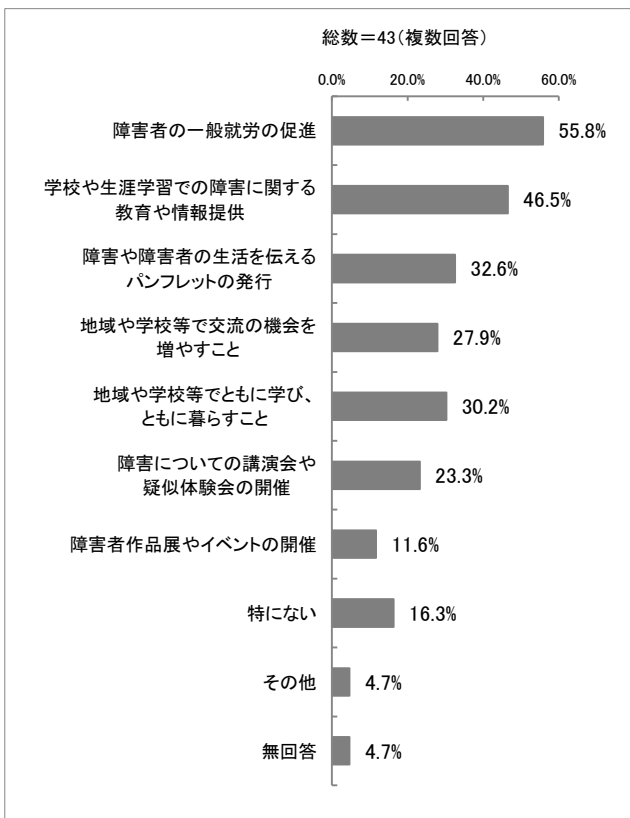
## 知的障害



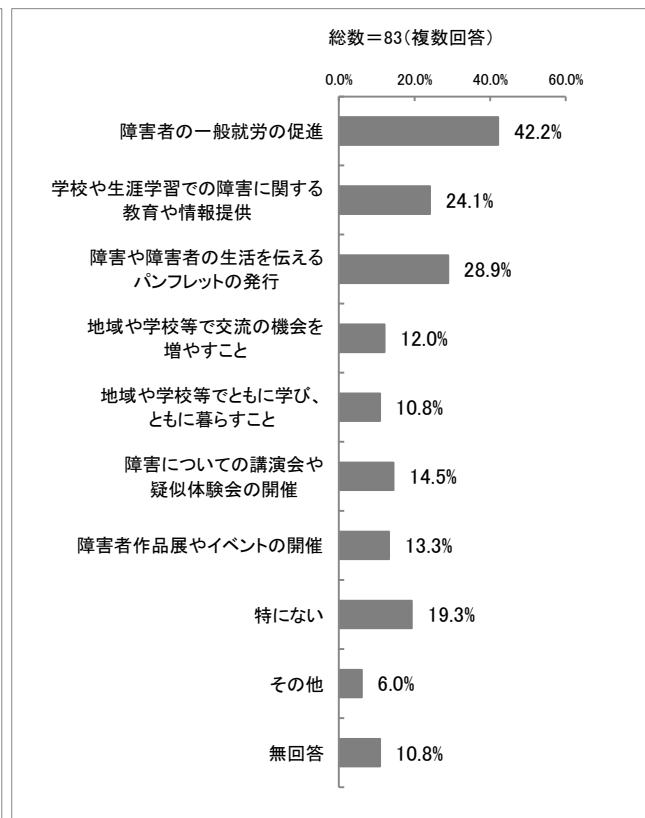
## 精神障害



## 発達障害

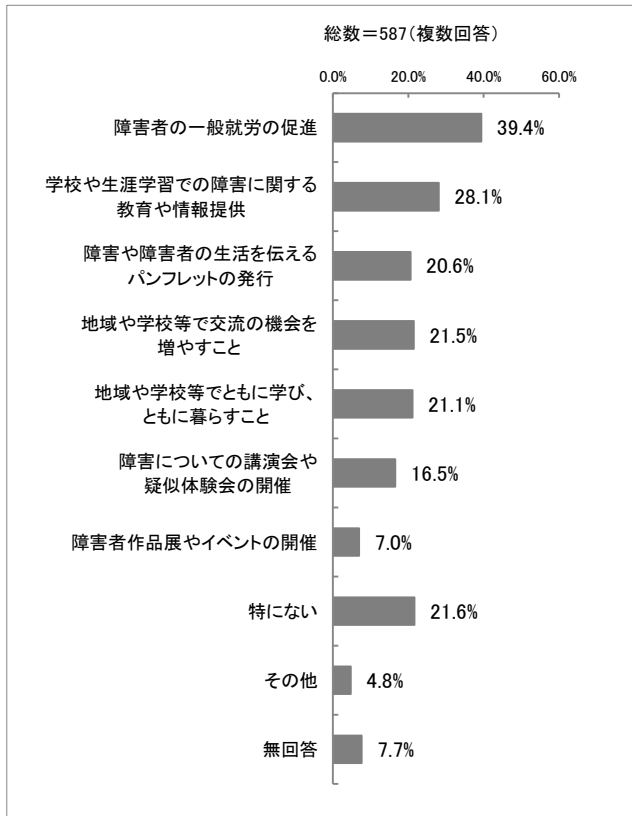


## 高次脳機能障害





## ■難病・特定疾患



## 6) 福祉サービスについて

### (1) 福祉サービスの利用意向

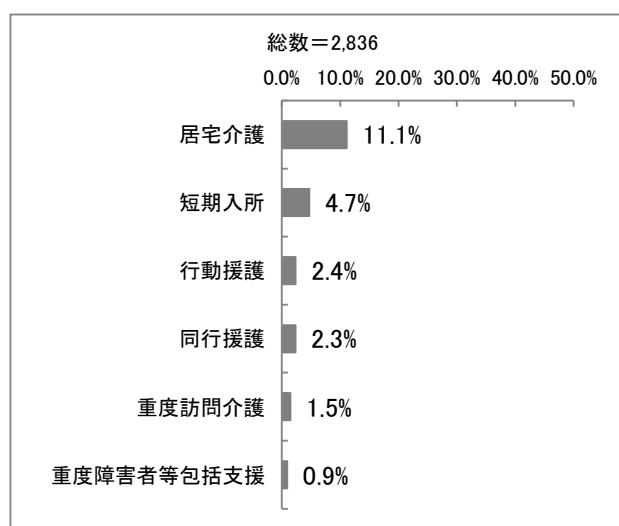
問 36 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いませんか。

#### ①訪問系サービス

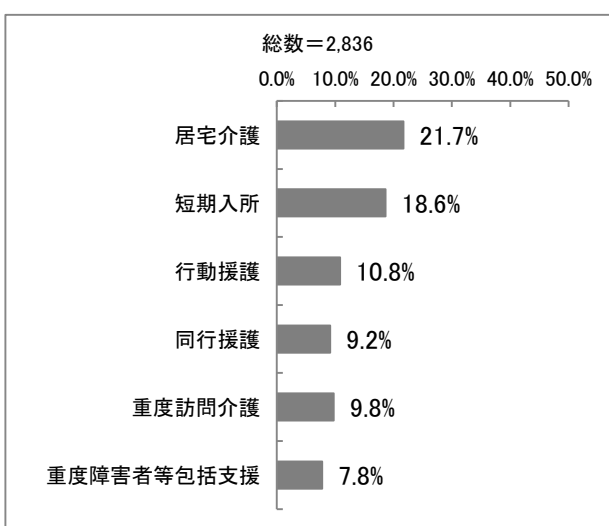
「現在利用している」が最も多いのは「居宅介護（ホームヘルプ）」で11.1%となっています。「今後利用したい」は、「居宅介護（ホームヘルプ）」が21.7%となっています。

サービス名	サービスの内容
居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
重度訪問介護	重度の障害者に総合的な介護を行います。
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。
同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。
短期入所（ショートステイ）	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。

#### ■現在利用している

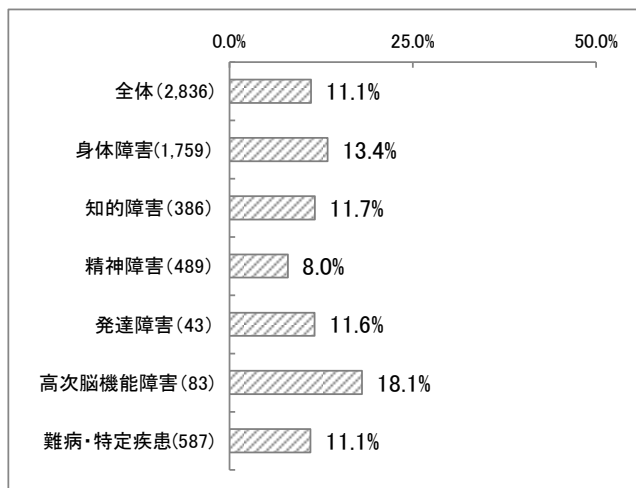


#### ■今後利用したい

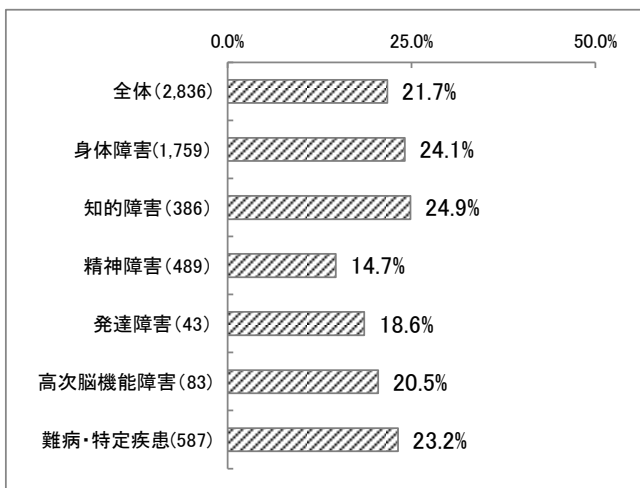


## 居宅介護の利用状況・利用意向

### ■現在利用している

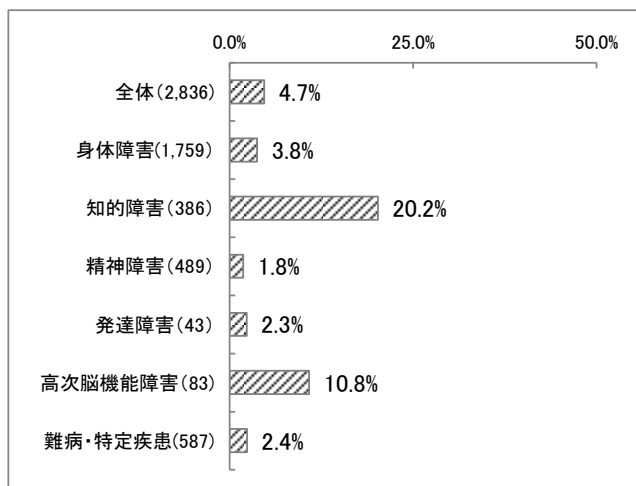


### ■今後利用したい

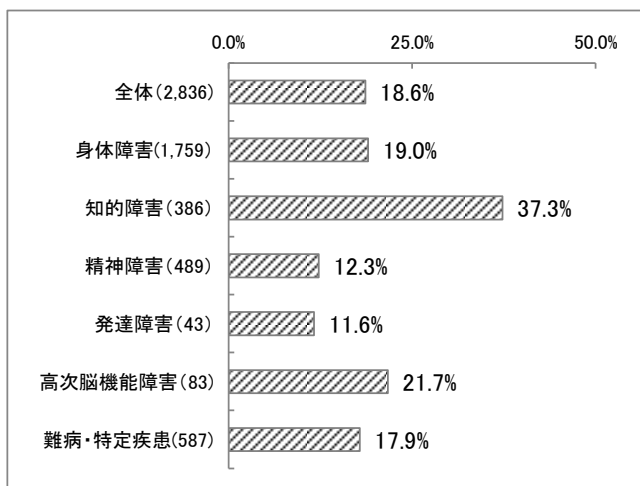


## 短期入所の利用状況・利用意向

### ■現在利用している



### ■今後利用したい

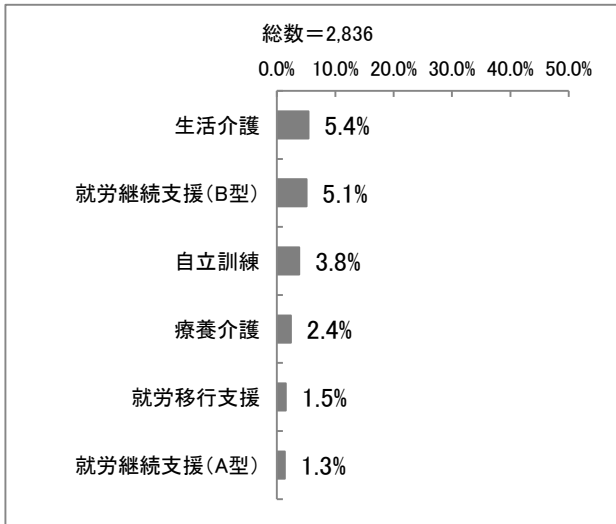


## ②日中活動系サービス

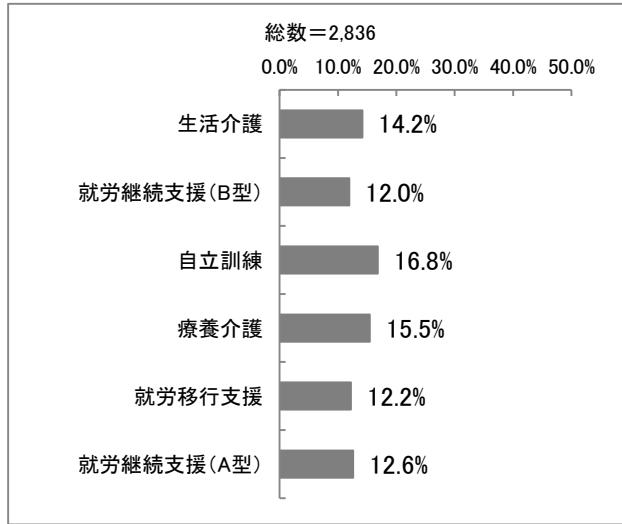
「現在利用している」が最も多いのは、「生活介護」で5.4%となっています。「今後利用したい」は、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が16.8%となっています。

サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設等で介護や活動機会を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援（A型）	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援（B型）	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。

■現在利用している

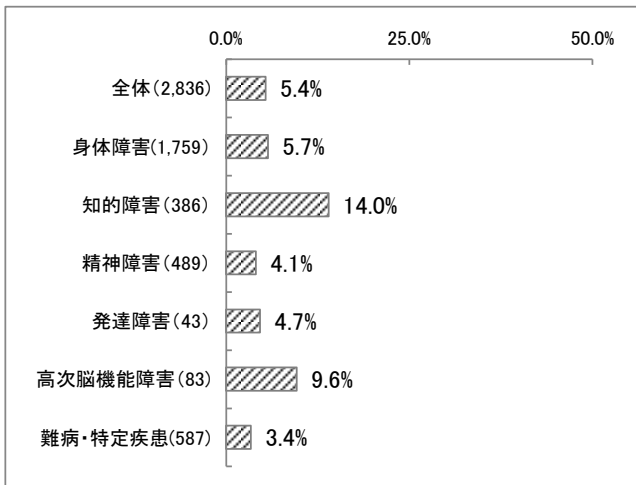


■今後利用したい

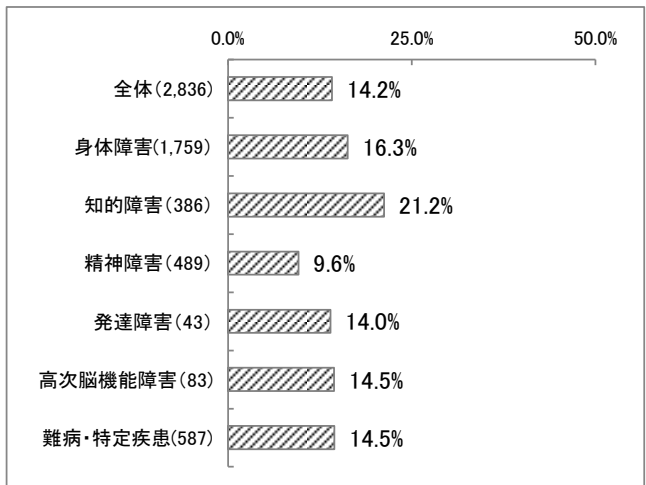


生活介護の利用状況・利用意向

■現在利用している

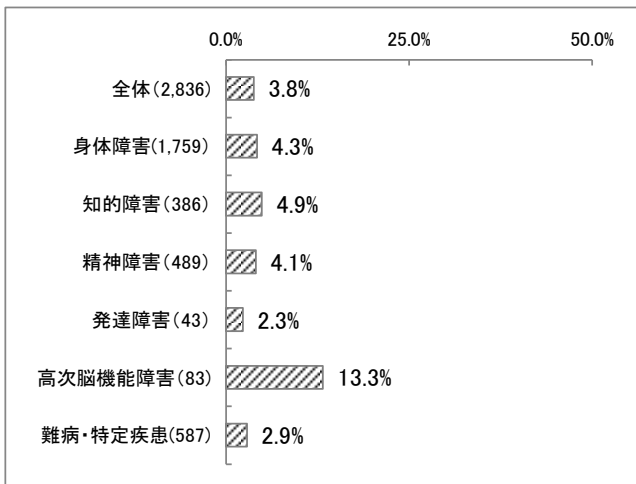


■今後利用したい

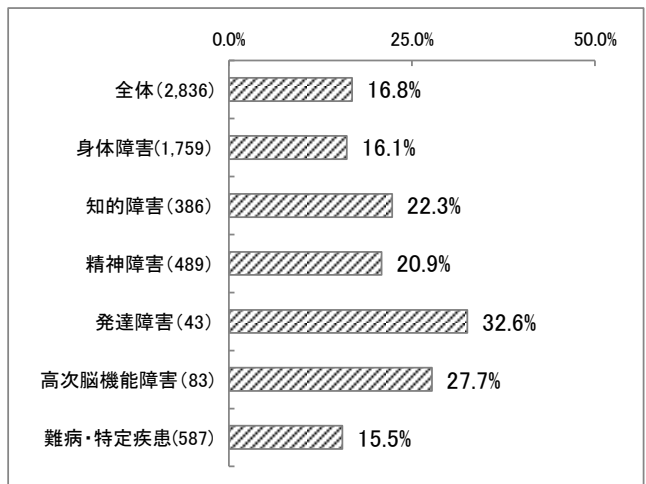


自立訓練の利用状況・利用意向

■現在利用している

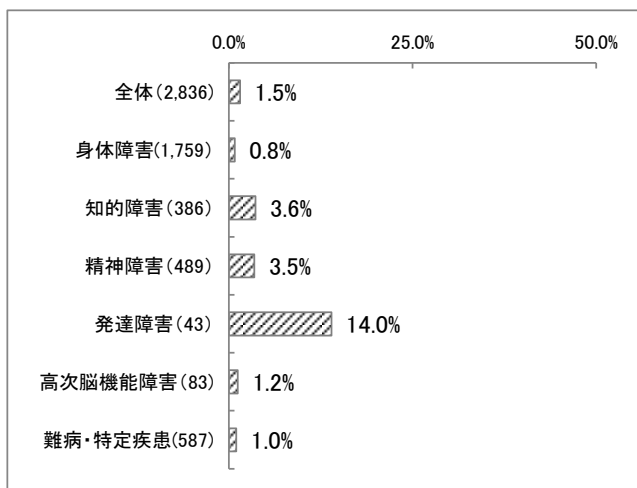


■今後利用したい

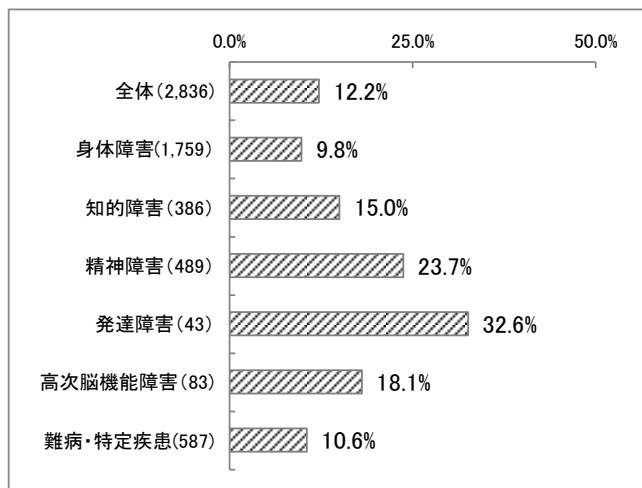


## 就労移行支援の利用状況・利用意向

### ■現在利用している

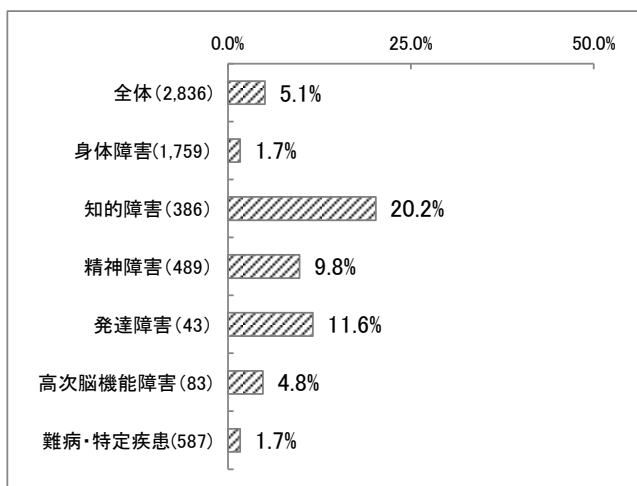


### ■今後利用したい

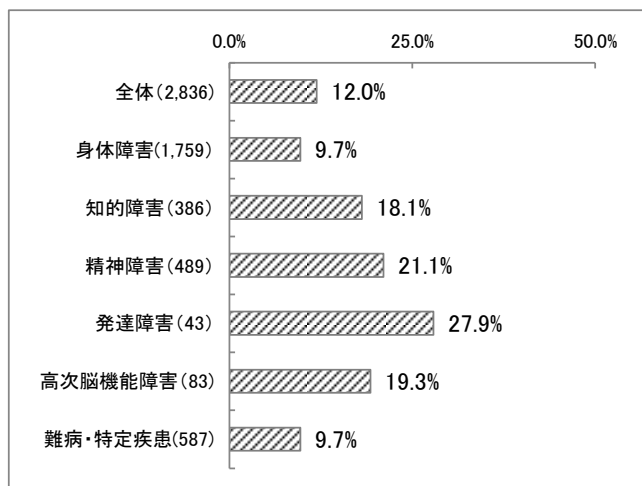


## 就労継続支援(B型)の利用状況・利用意向

### ■現在利用している



### ■今後利用したい



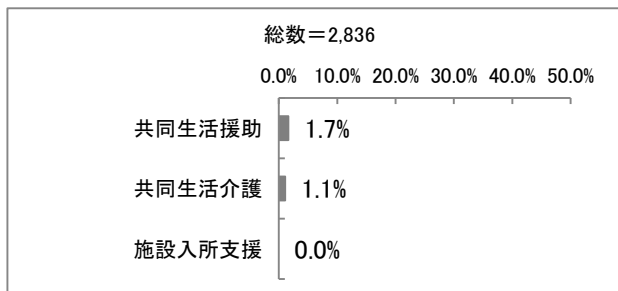
## ③居住系サービス

「今後利用したい」は、「施設入所支援」が13.9%と最も多くなっています。

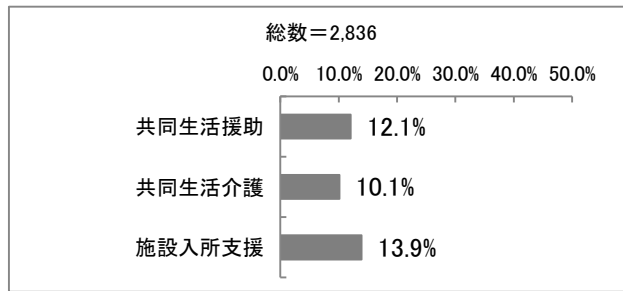
サービス名	サービスの内容
共同生活援助 (グループホーム) ※	地域生活に支障のない障害者が共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。
共同生活介護(ケアホーム) ※	介護を必要とする障害者が共同生活を営む住居で介護等の支援を提供します。
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護等の支援を提供します。

※平成26年4月、障害者総合支援法の改正により、共同生活介護は共同生活援助に一元化され、サービス名としては、「共同生活援助」に統一されます。

■現在利用している

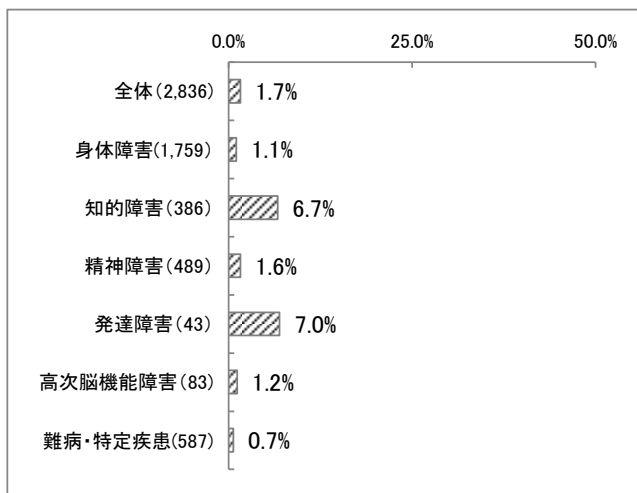


■今後利用したい

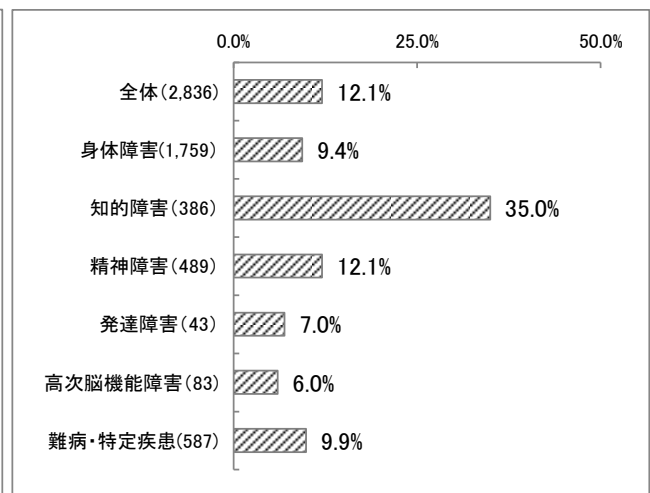


共同生活援助の利用状況・利用意向

■現在利用している

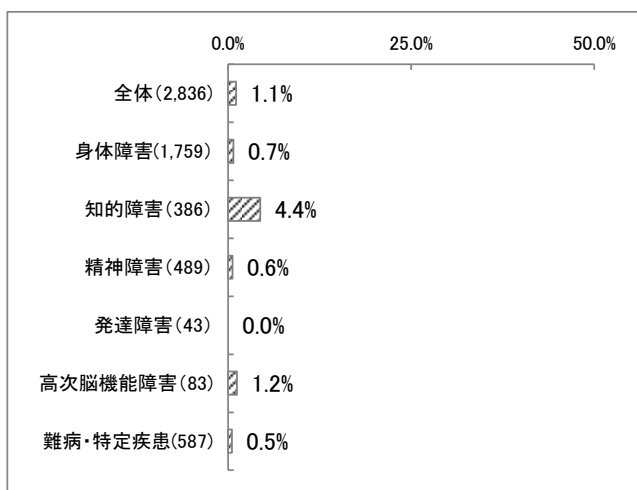


■今後利用したい

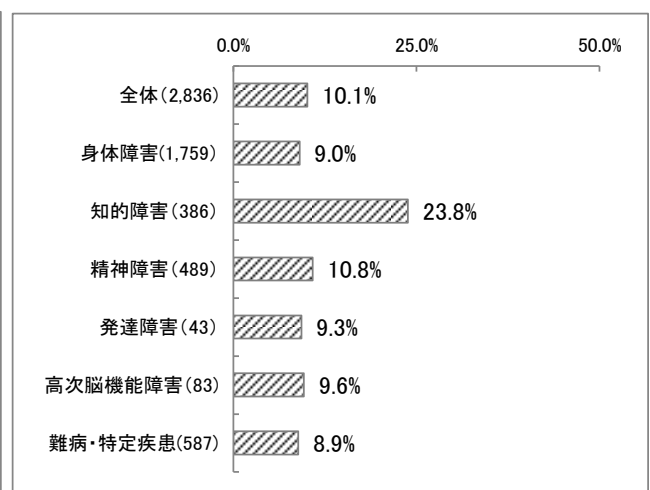


共同生活介護の利用状況・利用意向

■現在利用している

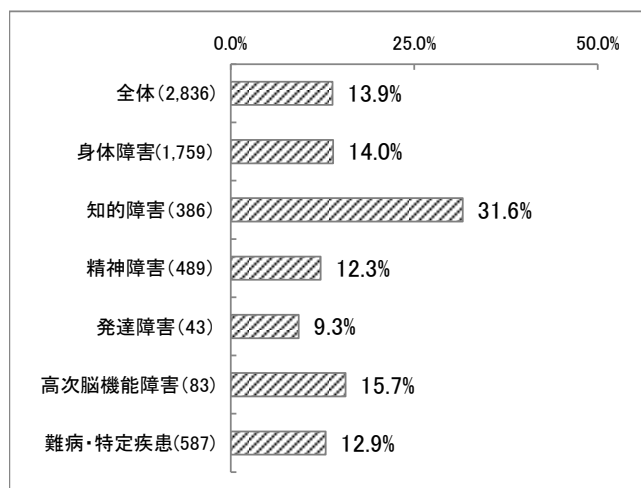


■今後利用したい



## 施設入所支援の利用状況・利用意向

### ■ 今後利用したい

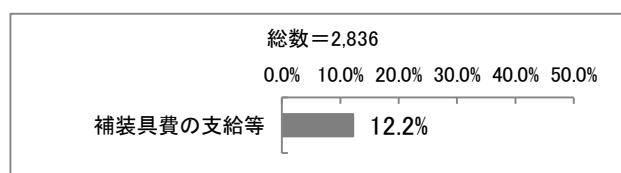


### ④ 補装具費の支給等

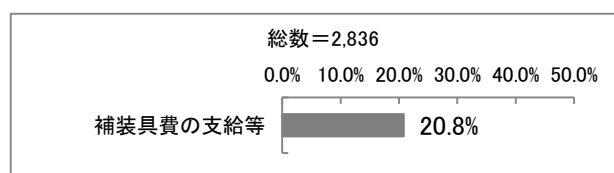
「現在利用している」と回答した人は、12.2%、「今後利用したい」は20.8%となっています。

サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。

#### ■ 現在利用している



#### ■ 今後利用したい

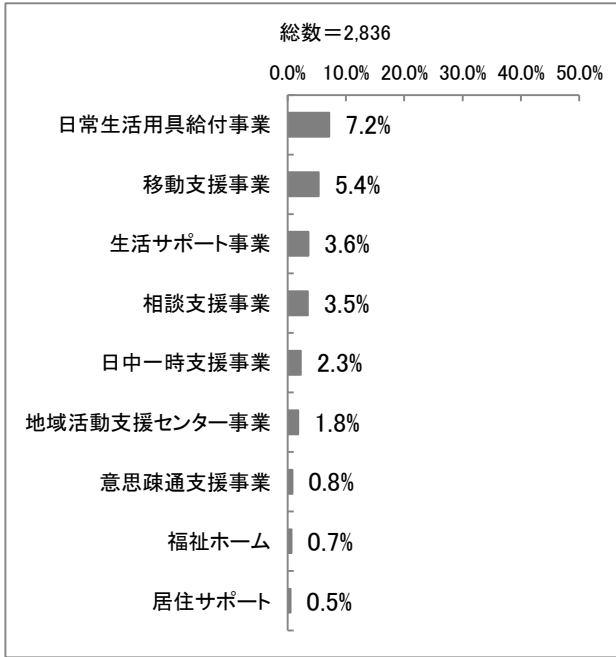


### ⑤ 地域生活支援事業

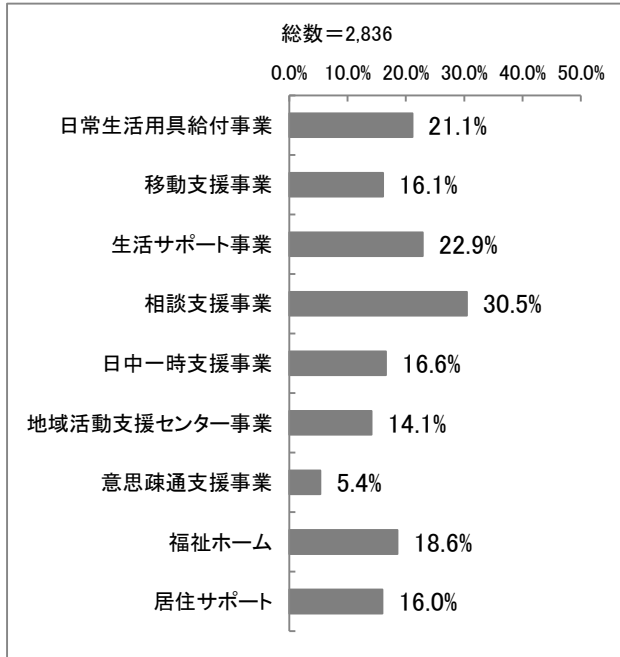
「現在利用している」が最も多いのは、「日常生活用具給付事業」で、7.2%となっています。「今後利用したい」は「相談支援事業」が30.5%となっています。

サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
移動支援事業	社会参加のための移動時にヘルパーの支援が受けられます。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付貸与を行います。
日中一時支援事業	家族が介護できない日中に、事業所が本人を預かります。
地域活動支援センター事業	日中活動を支援するセンターを利用できます。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣によりコミュニケーションを支援します。
生活サポート事業	必要に応じて、家事等の支援を受けられます。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。
居住サポート	保証人がいない等の理由で入居が困難な方に入居に必要な支援を行います。

■現在利用している

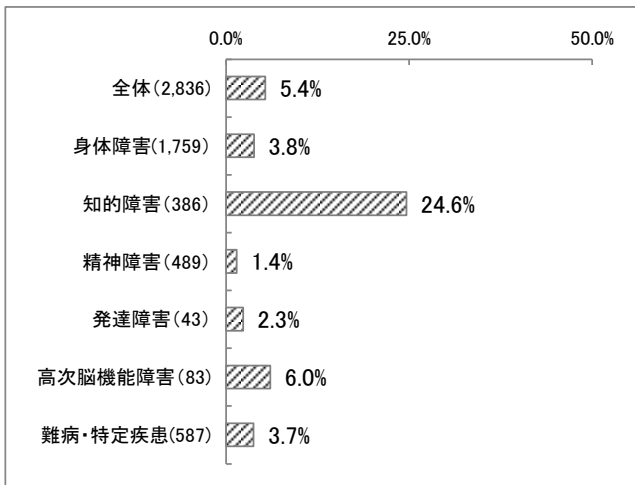


■今後利用したい

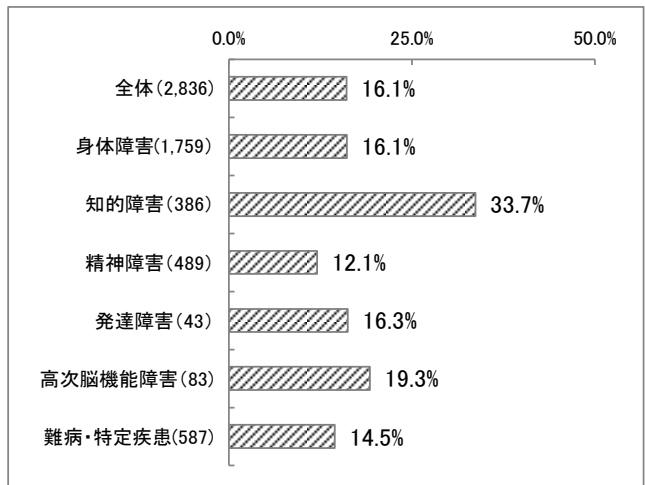


移動支援事業の利用状況・利用意向

■現在利用している



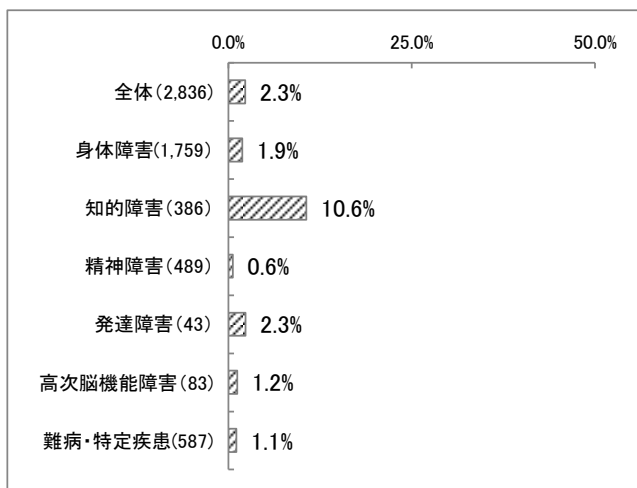
■今後利用したい



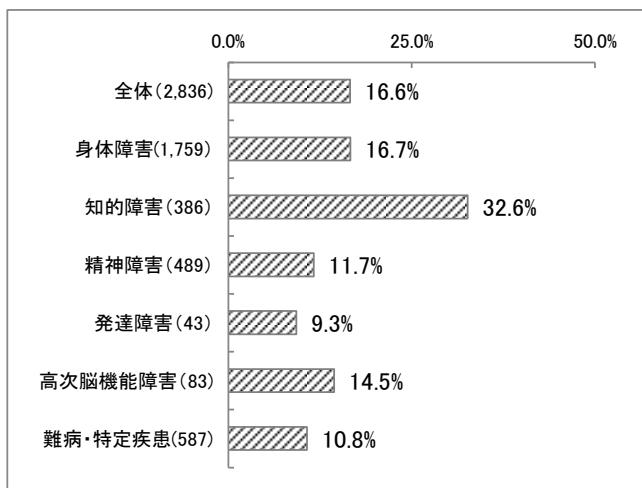


## 日中一時支援事業の利用状況・利用意向

### ■現在利用している



### ■今後利用したい



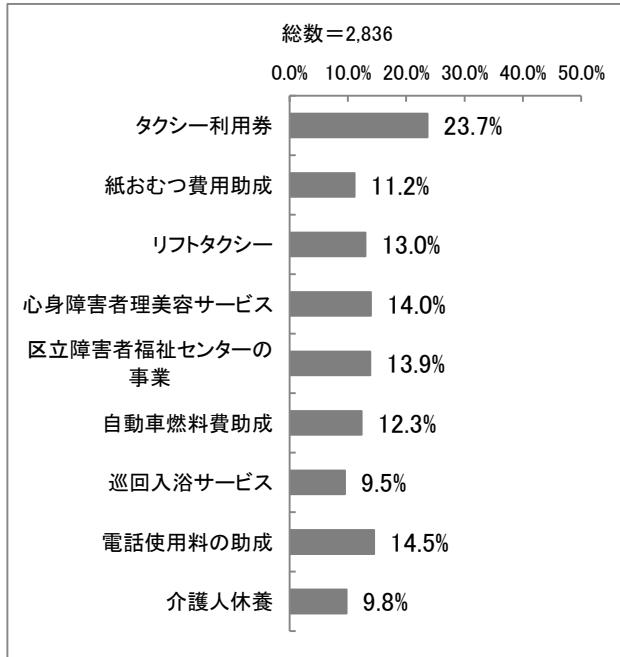
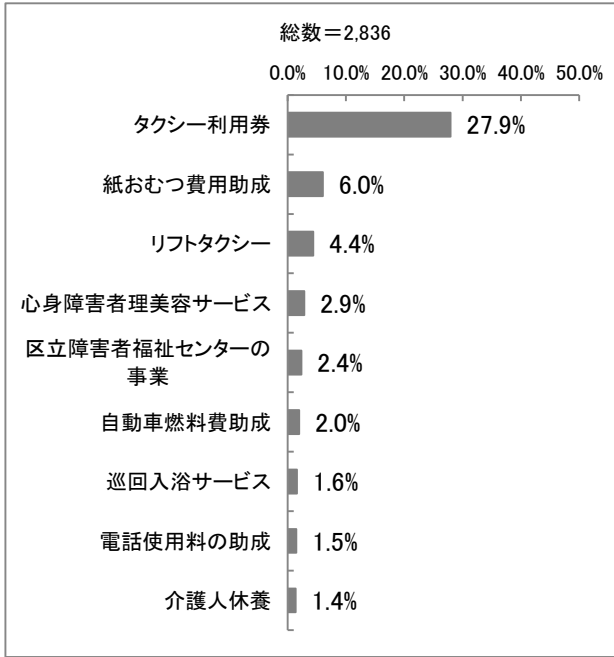
## ⑥日常生活のサービス

「現在利用している」が最も多いのは、「タクシー利用券」で、27.9%となっています。「今後利用したい」は、「タクシー利用券」が23.7%となっています。

サービス名	サービスの内容
リフトタクシー	車いすやストレッチャーで乗車できるタクシーを運行します。
タクシー利用券	下肢不自由者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。
自動車燃料費助成	自動車等の燃料費を助成します。
心身障害者理美容サービス	外出が困難な方等に、理容師等が自宅に出張して調髪するための費用を助成します。
介護人休養	重度心身障害者を常時介護している方に、介護人を派遣して休養の機会を提供します。
紙おむつ費用助成	重度心身障害者に、紙おむつ費用を助成します。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。
電話使用料の助成	外出が困難な方に、電話使用料を助成します。
区立障害者福祉センターの事業	視覚障害者通所訓練、講座講習会、入浴、給食、機能訓練、言語機能訓練、相談支援等を実施します。

■現在利用している

■今後利用したい



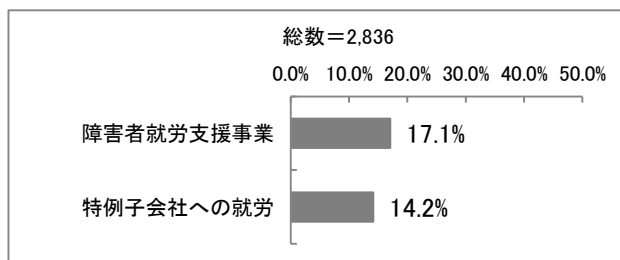
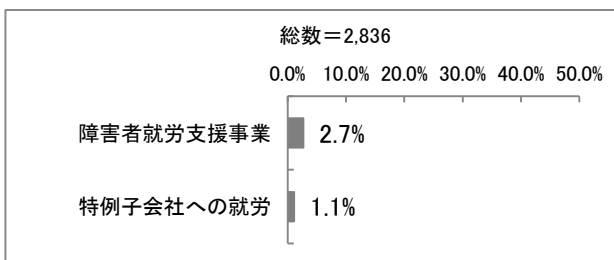
⑦就労に関する支援

「障害者就労支援事業」、「特例子会社への就労」を現在利用している人はそれぞれ2.7%、1.1%となっています。「今後利用したい」と回答した人は、それぞれ17.1%、14.2%となっています。

サービス名	サービスの内容
障害者就労支援事業	障害者の一般就労に向けた支援、職場定着への支援、日常生活への支援等を専門のコーディネーターにより実施します。
特例子会社への就労	事業主（企業）が設立する障害者の雇用に特別の配慮をした子会社での就労です。企業の法定雇用率に算定されます。

■現在利用している

■今後利用したい

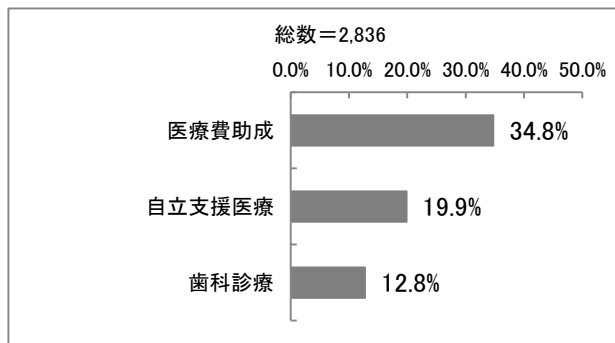


## ⑧医療に関する支援

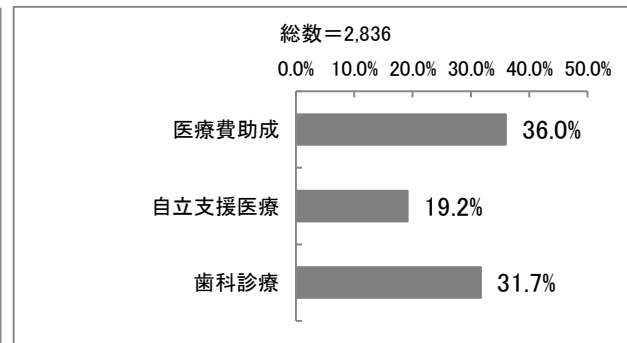
「今後利用したい」は、「歯科診療」が最も大きくのびています。

サービス名	サービスの内容
歯科診療	専門の医療機関で診察を行います。
医療費助成	身体障害者手帳、愛の手帳所持者及び特定疾病の患者で該当する方が、医療保険で診察等を受けた場合、自己負担分の費用を助成します。
自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。

### ■現在利用している



### ■今後利用したい

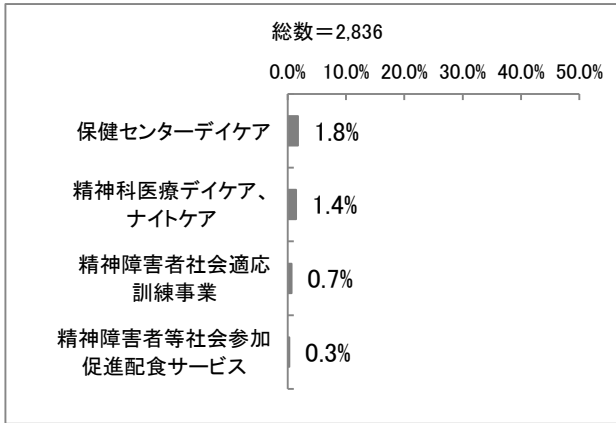


## ⑨精神障害者を対象とした支援

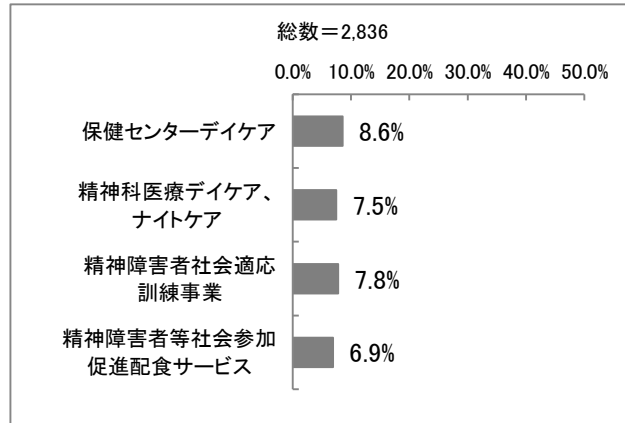
いずれのサービスも、「現在利用している」は2%未満ですが、「今後利用したい」は、6%～8%台となっています。

サービス名	サービスの内容
保健センターデイケア	グループでの活動を通じて生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。
精神科医療デイケア、ナイトケア	精神科治療（医療保険）の一環。グループ活動を通して、生活習慣や対人関係の練習等、社会復帰の準備を行う場です。
精神障害者等社会参加促進配食サービス	単身生活の精神障害者等に業者が配食をし、安否確認を行うとともに、保健師や相談員による訪問指導を行います。
精神障害者社会適応訓練事業	一般の協力事業所で一定期間、通所による就労訓練を行います。訓練手当の支給があります。

■現在利用している



■今後利用したい

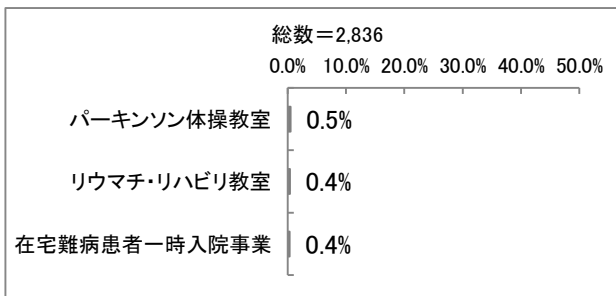


⑩難病患者に関する支援

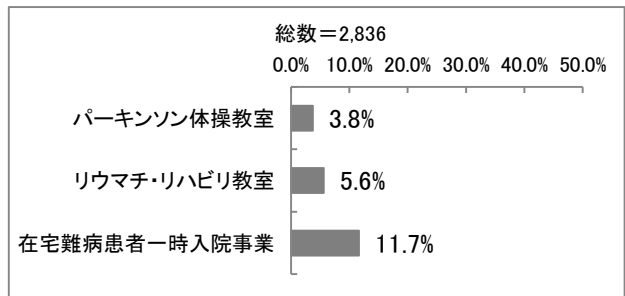
「今後利用したい」が最も多かったのは「在宅難病患者一時入院事業」で11.7%となっています。

サービス名	サービスの内容
在宅難病患者一時入院事業	難病医療費等助成事業の対象の方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することができます。
パーキンソン体操教室	パーキンソン病対象疾患の患者及び家族の方に、理学療法士による運動の指導を行います。
リウマチ・リハビリ教室	関節リウマチの患者及び家族の方に、理学療法士によるリハビリの指導を行います。

■現在利用している



■今後利用したい



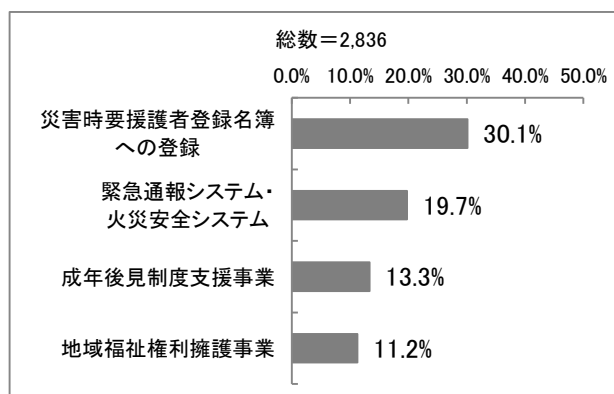
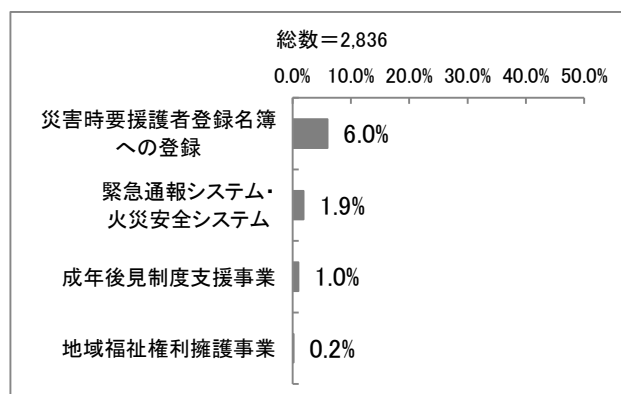
## ⑪その他

「現在利用している」が最も多かったのは「災害時要援護者登録名簿への登録」で6.0%となっています。「今後利用したい」と回答した人は、「災害時要援護者登録名簿への登録」が30.1%、「緊急通報システム・火災安全システム」が19.7%となっており、必要性が意識されているのがわかります。

サービス名	サービスの内容
成年後見制度支援事業	判断能力が不十分で、自分の財産や権利を守ることが困難な方に対して援助を行います。
地域福祉権利擁護事業	障害等の理由で判断能力が十分ではない方の金銭管理やサービス利用等をお手伝いする制度です。
災害時要援護者登録名簿への登録	災害発生時に自分の身を守ることが困難な方々を本人の申し出により事前に把握して、災害時に迅速な援助を行います。
緊急通報システム・火災安全システム	一人暮らし等の在宅重度心身障害者等が緊急事態に陥ったとき、無線発報器等により救護を行います。

### ■現在利用している

### ■今後利用したい

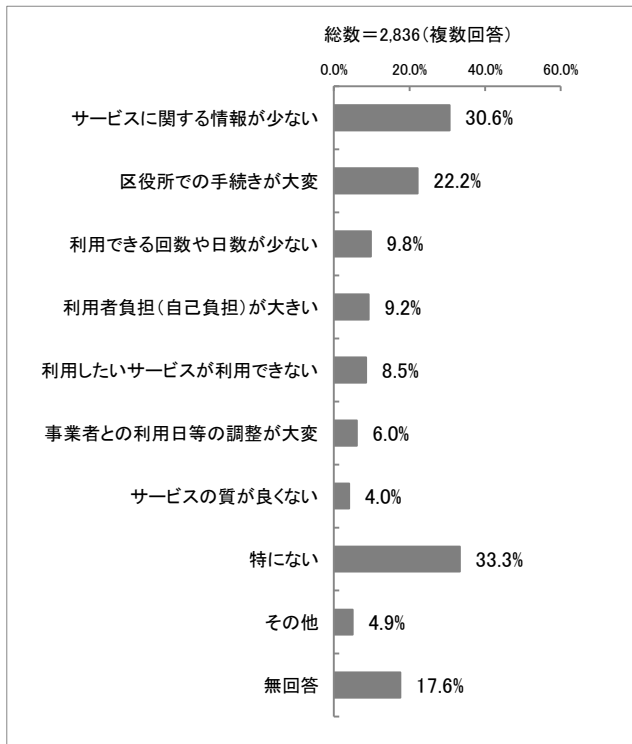


## (2) サービス利用に関して困っていること

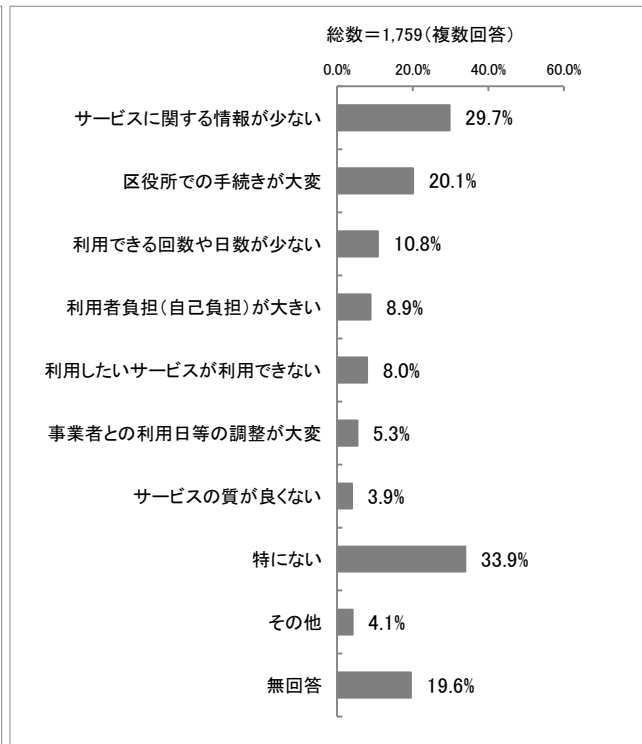
問 37 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。

「サービスに関する情報が少ない」が 30.6%、「区役所での手続きが大変」が 22.2%、「利用できる回数や日数が少ない」が 9.8%となっています。障害別に見ると、精神障害、高次脳機能障害では「サービスに関する情報が少ない」が特に多くなっています。

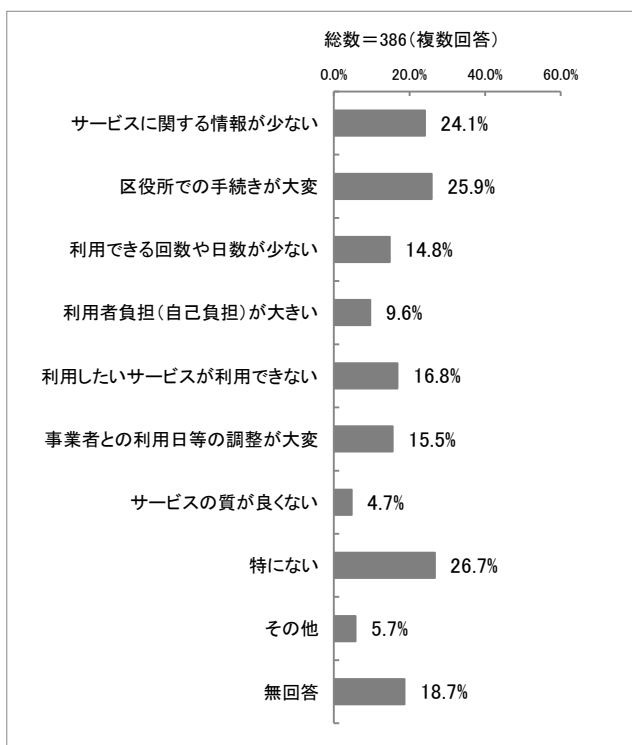
### ■全体



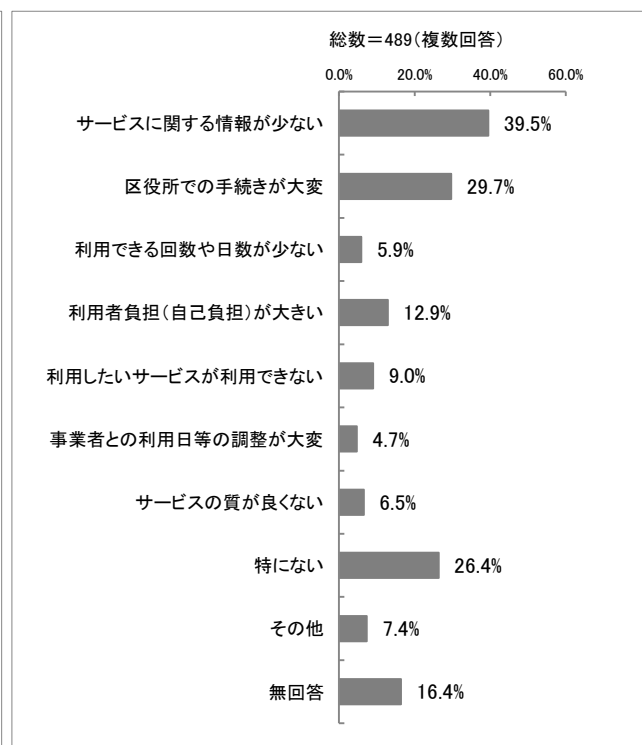
### ■身体障害



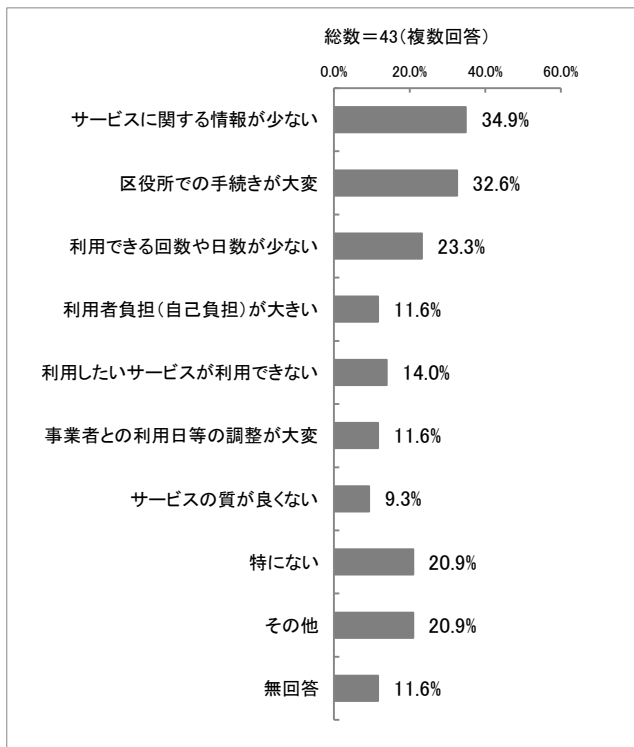
### ■知的障害



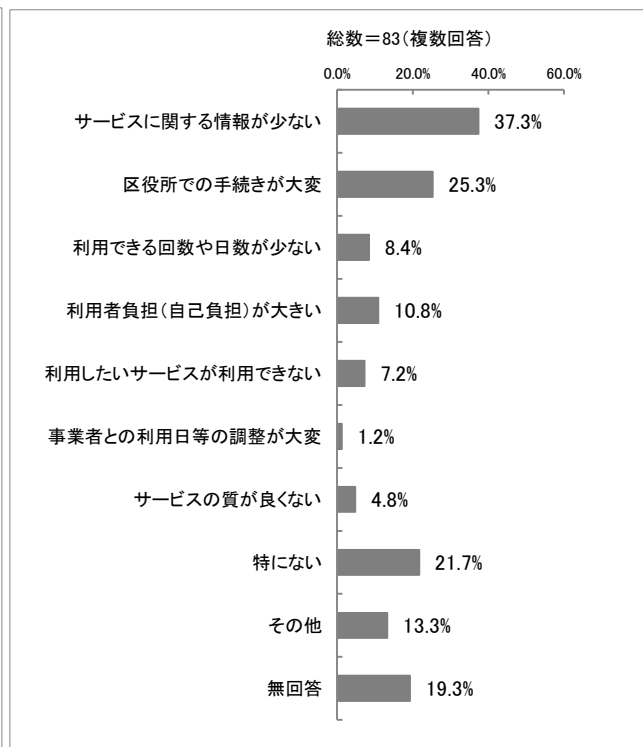
### ■精神障害



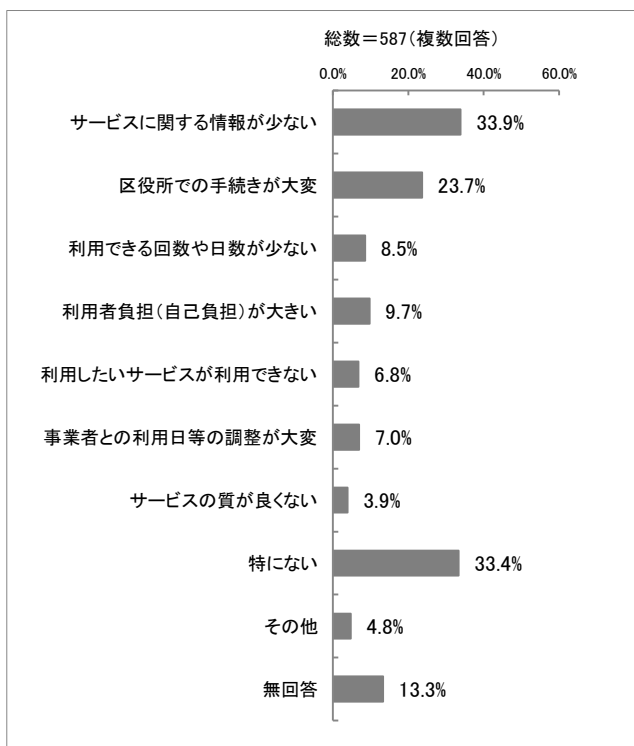
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



### (3) 介護保険の要支援・要介護認定状況

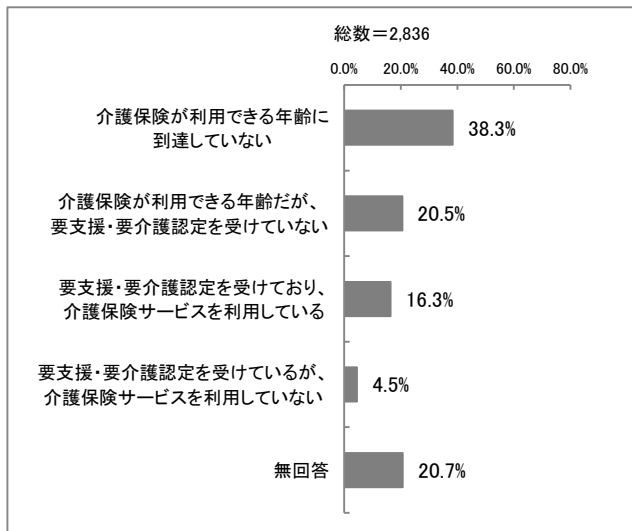
問 38 あなたは、介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。

全体では、「介護保険が利用できる年齢に到達していない」が38.3%と最も多く、次いで「介護保険が利用できる年齢だが、要支援・要介護認定を受けていない」が20.5%、「要支援・要介護認定を受けており、介護保険サービスを利用している」が16.3%となっています。

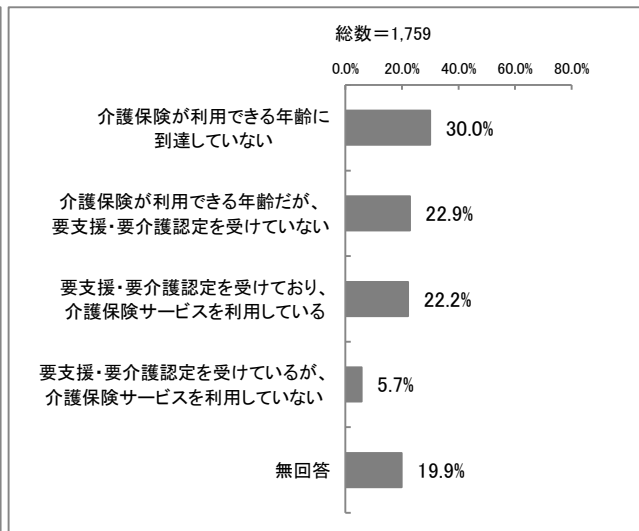
障害別に見ると、身体障害、高次脳機能障害では「介護保険が利用できる年齢に達している」が50%を超え、特に高次脳機能障害では「介護保険サービスを利用している」が多くなっています。知的障害、精神障害、発達障害では、「介護保険が利用できる年齢に到達していない」が50%以上となっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

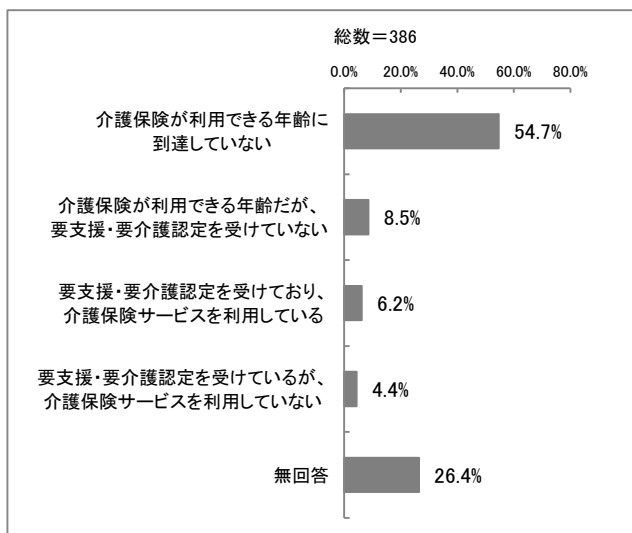
#### ■全体



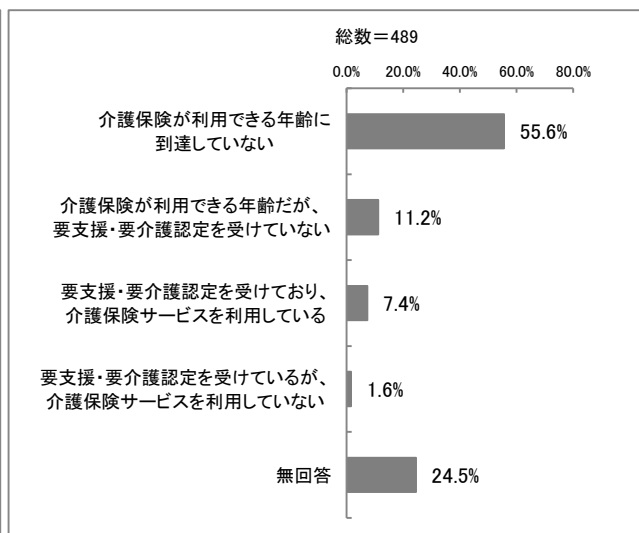
#### ■身体障害



#### ■知的障害

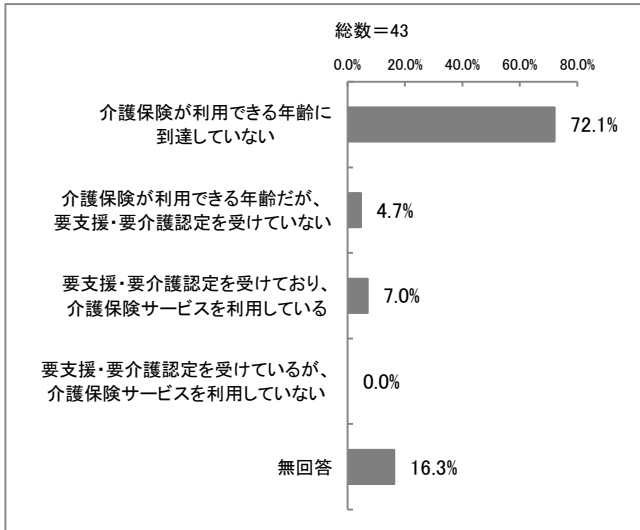


#### ■精神障害

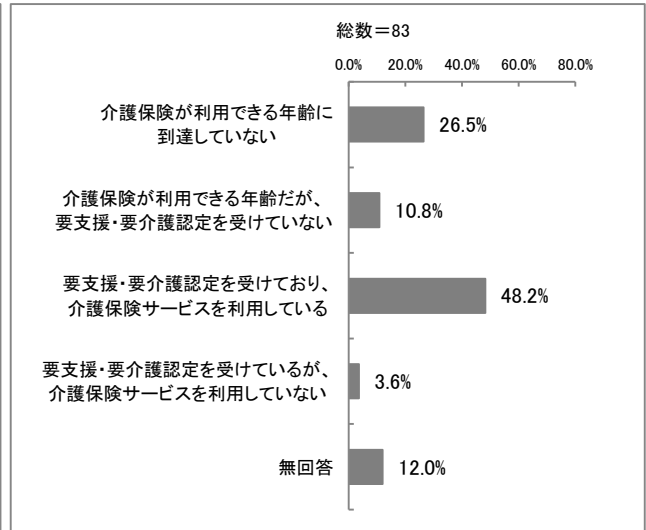




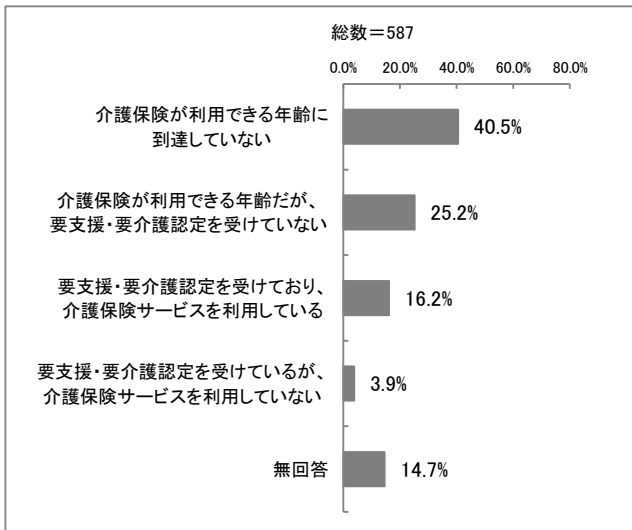
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



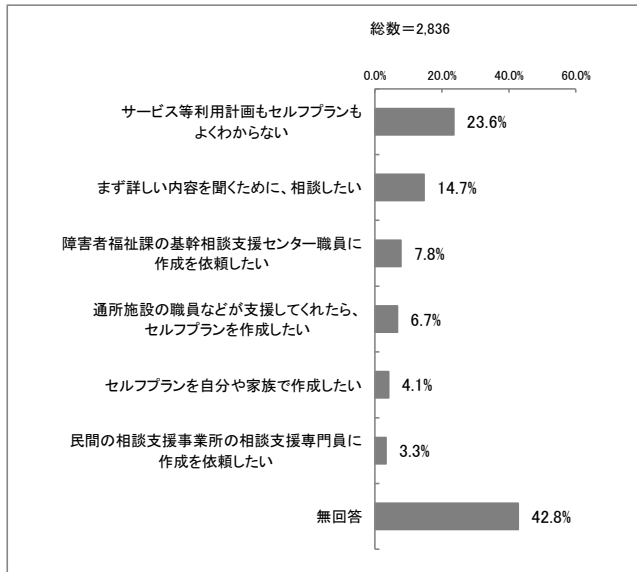
#### (4) サービス等利用計画の作成意向

問 39 問 36 にある障害福祉サービスを利用している方や今後利用したい方にお聞きします。  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

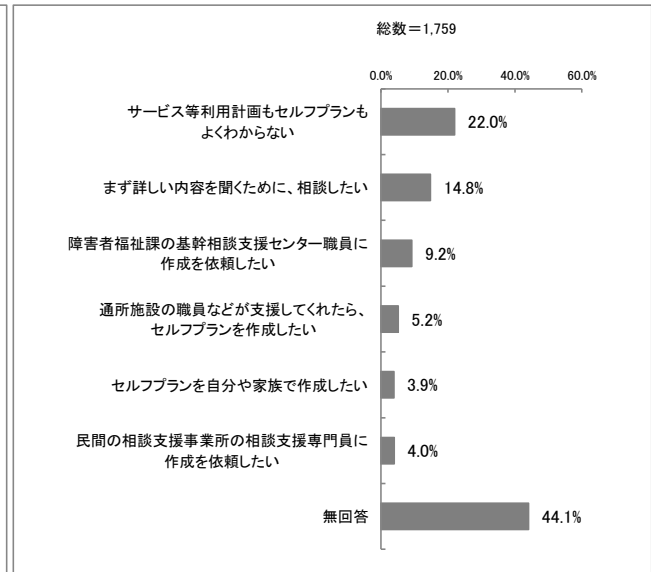
全体では、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 23.6%、「まず詳しい内容を聞くために相談したい」が 14.7%となっており、より詳細な情報提供が求められています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

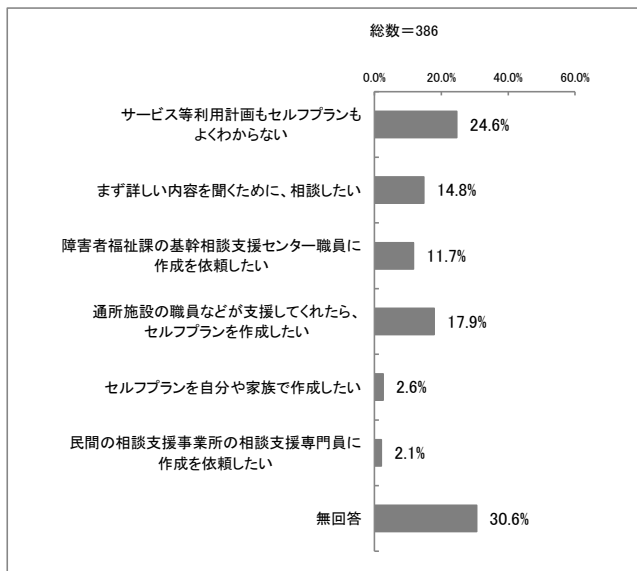
##### ■全体



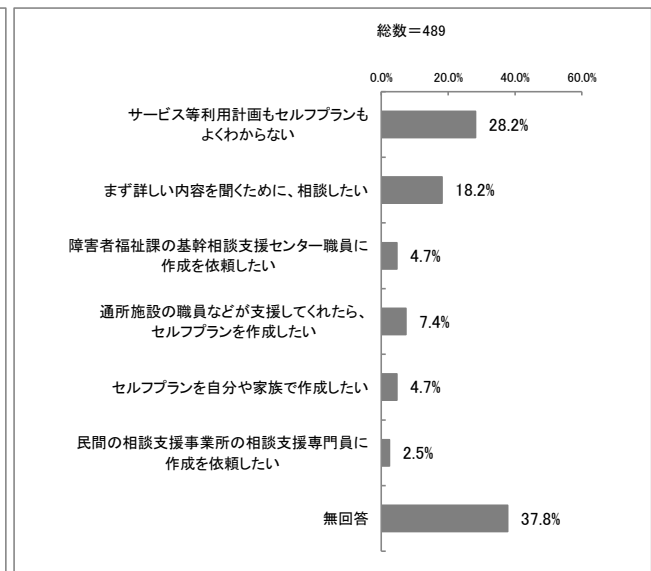
##### ■身体障害



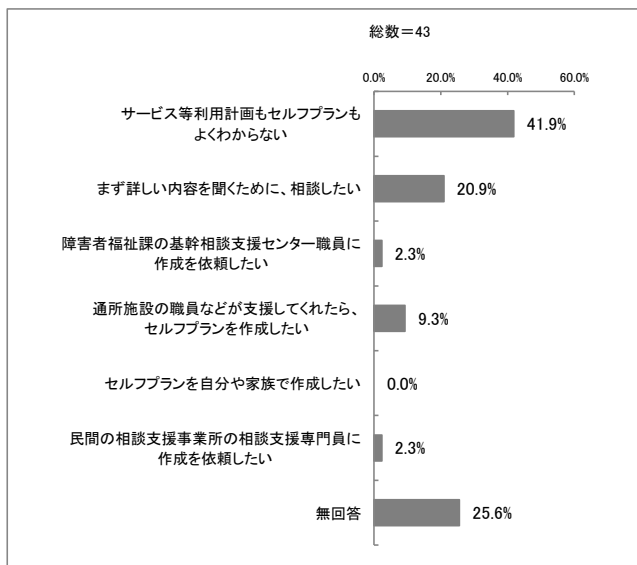
##### ■知的障害



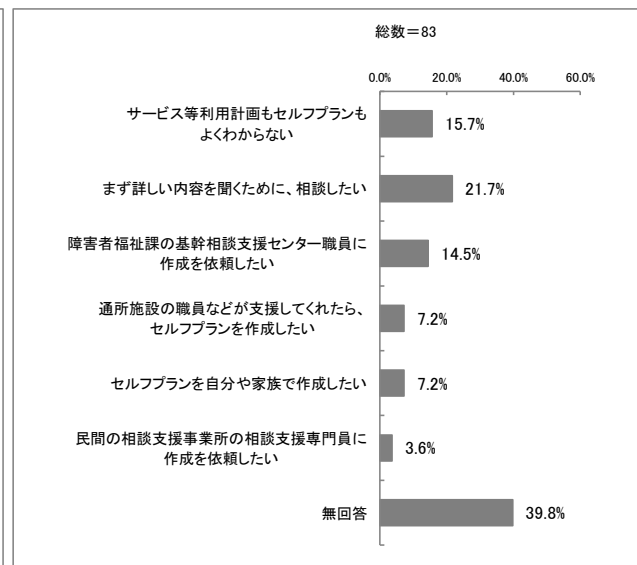
##### ■精神障害



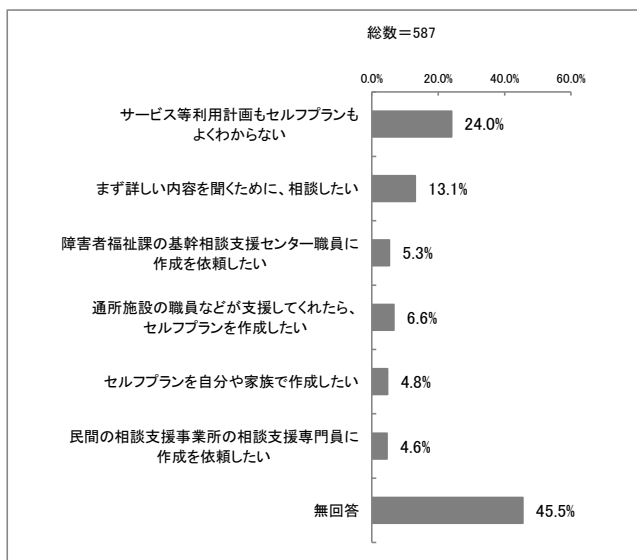
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## サービス等利用計画の作成意向と年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」では、「通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい」がやや多くなっており、若い世代ほど、サービス等利用計画の作成に前向きであることがわかります。

	基幹相談支援センター職員に作成を依頼したい	民間の相談支援専門員に作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員などが支援してくれたら、セルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
18～39歳	53 9.1%	12 2.1%	20 3.4%	77 13.2%	102 17.5%	168 28.8%	169 29.0%
40～64歳	71 6.5%	28 2.5%	60 5.5%	60 5.5%	151 13.7%	294 26.8%	467 42.5%
65～74歳	30 7.0%	11 2.6%	13 3.0%	17 4.0%	66 15.4%	78 18.2%	219 51.0%
75歳以上	65 9.5%	41 6.0%	23 3.4%	33 4.8%	93 13.6%	120 17.6%	336 49.2%
無回答	1 2.4%	2 4.8%	1 2.4%	3 7.1%	5 11.9%	9 21.4%	24 57.1%

## サービス等利用計画の作成意向と身体障害の種類

身体障害の種類別の結果を見ると、「聴覚・平衡機能障害」、「内部障害」では、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」がやや多くなっています。

	基幹相談支援センター職員に作成を依頼したい	民間の相談支援専門員に作成を依頼したい	自分や家族で作成したい	通所施設の職員などが支援してくれたら、セルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
肢体不自由	59 10.8%	25 4.6%	26 4.8%	43 7.9%	84 15.4%	116 21.3%	206 37.9%
音声・言語・そしゃく障害	12 11.2%	7 6.5%	2 1.9%	10 9.3%	15 14.0%	19 17.8%	50 46.7%
視覚障害	23 11.3%	14 6.9%	9 4.4%	4 2.0%	33 16.3%	40 19.7%	87 42.9%
聴覚・平衡機能障害	24 12.1%	4 2.0%	12 6.1%	5 2.5%	30 15.2%	53 26.8%	80 40.4%
内部障害	35 8.3%	16 3.8%	11 2.6%	19 4.5%	51 12.1%	110 26.1%	185 43.8%
無回答	34 7.4%	17 3.7%	14 3.1%	24 5.2%	68 14.8%	83 18.1%	241 52.5%

## 7) 収入について

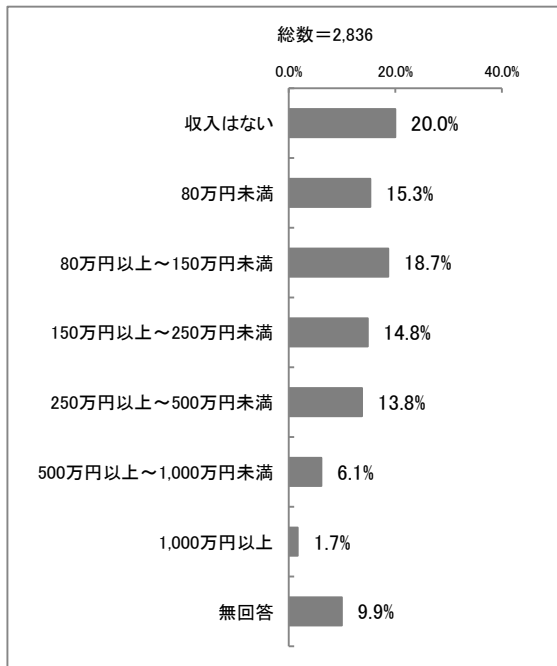
### (1) ご本人の年収額

問 40 あなたご本人の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。

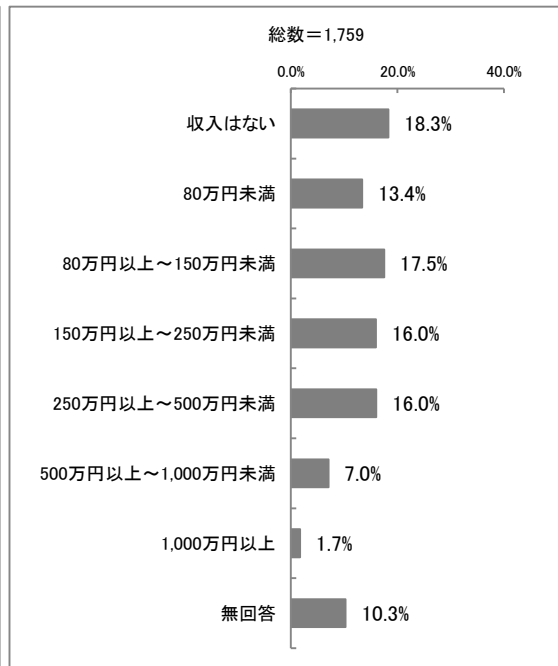
全体では、「収入はない」が20.0%と最も多く、次いで「80万円以上～150万円未満」が18.7%、「80万円未満」が15.3%となっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

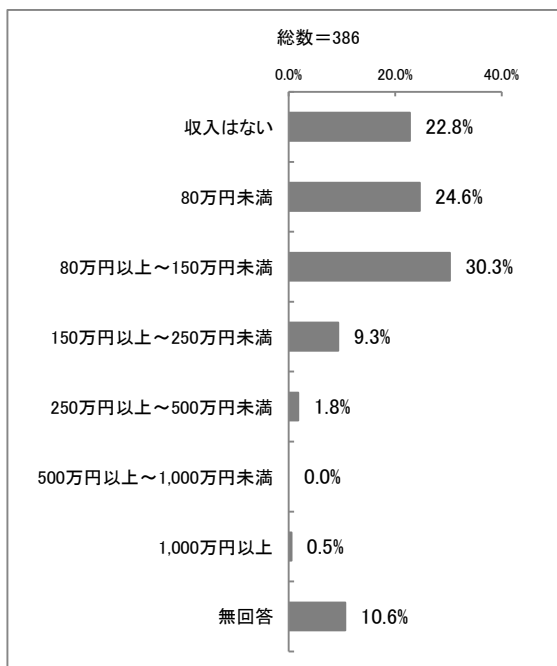
#### ■全体



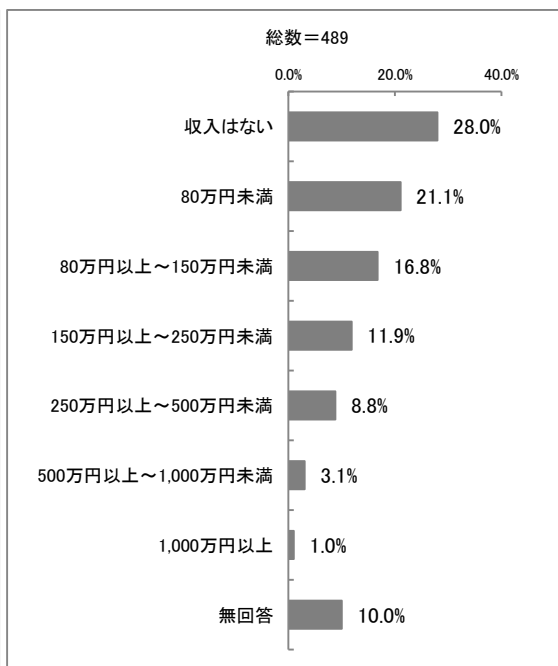
#### ■身体障害



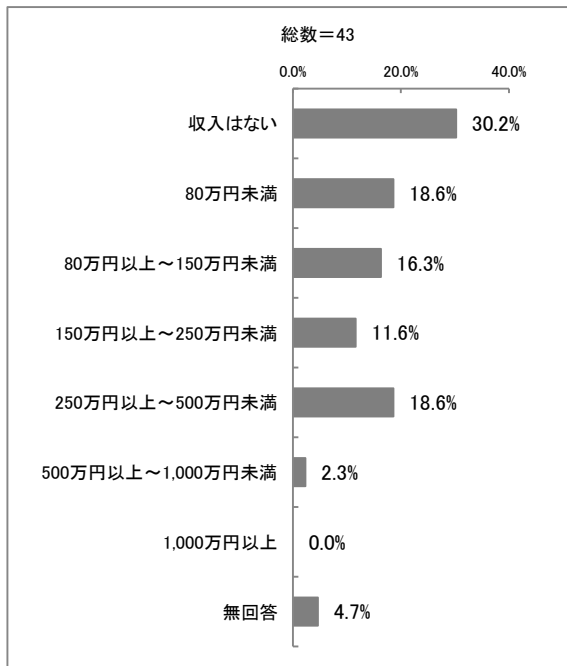
#### ■知的障害



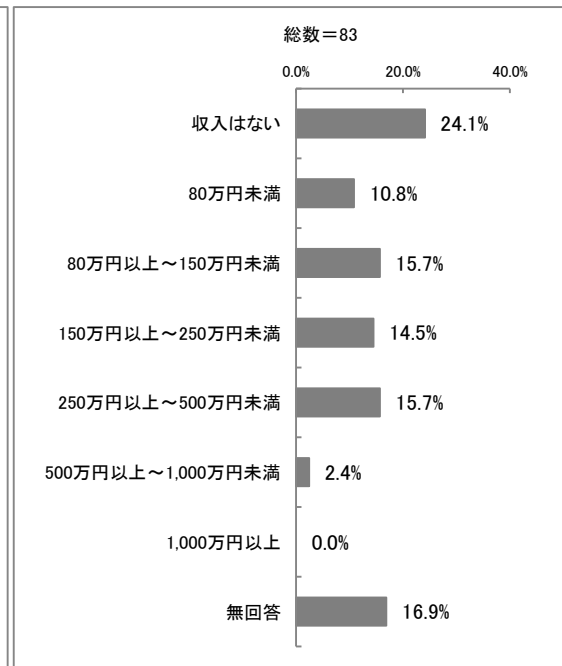
#### ■精神障害



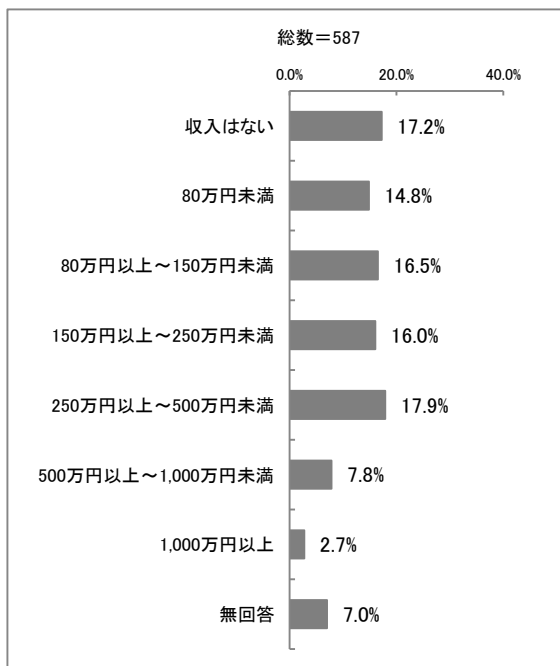
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 年収額と年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」では、「収入はない」が最も多くなっています。

	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
18～39歳	142 24.4%	95 16.3%	119 20.4%	71 12.2%	85 14.6%	34 5.8%	2 0.3%	35 6.0%
40～64歳	256 23.3%	160 14.6%	196 17.8%	131 11.9%	145 13.2%	98 8.9%	26 2.4%	90 8.2%
65～74歳	74 17.2%	61 14.2%	85 19.8%	86 20.0%	51 11.9%	10 2.3%	8 1.9%	54 12.6%
75歳以上	85 12.4%	111 16.3%	123 18.0%	128 18.7%	107 15.7%	29 4.2%	12 1.8%	92 13.5%
無回答	10 23.8%	7 16.7%	6 14.3%	4 9.5%	2 4.8%	2 4.8%	0 0.0%	11 26.2%

## 年収額と身体障害の種類

身体障害の種類別の結果を見ると、「内部障害」では、「250万円以上～500万円未満」、「500万円以上～1,000万円未満」の割合が他の障害と比べて多くなっています。

	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
肢体不自由	109 20.0%	82 15.1%	109 20.0%	85 15.6%	81 14.9%	34 6.3%	6 1.1%	41 7.5%
音声・言語・そしゃく障害	29 27.1%	12 11.2%	21 19.6%	16 15.0%	13 12.1%	3 2.8%	0 0.9%	12 11.2%
視覚障害	30 14.8%	21 10.3%	48 23.6%	30 14.8%	29 14.3%	11 5.4%	0 0.0%	35 17.2%
聴覚・平衡機能障害	29 14.6%	26 13.1%	28 14.1%	33 16.7%	42 21.2%	10 5.1%	2 1.0%	29 14.6%
内部障害	69 16.4%	46 10.9%	56 13.3%	75 17.8%	93 22.0%	49 11.6%	11 2.6%	24 5.7%
無回答	94 20.5%	71 15.5%	79 17.2%	70 15.3%	46 10.0%	22 4.8%	13 2.8%	65 14.2%

## 年収額と同居家族

	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
家族	641 21.5%	546 18.3%	591 19.8%	383 12.8%	359 12.0%	168 5.6%	54 1.8%	248 8.3%
ひとり暮らし	170 20.9%	83 10.2%	154 18.9%	138 17.0%	126 15.5%	53 6.5%	9 1.1%	82 10.1%
グループホーム等での集団生活	10 15.9%	15 23.8%	13 20.6%	13 20.6%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.2%	9 14.3%
その他	17 15.5%	14 12.7%	17 15.5%	16 14.5%	18 16.4%	11 10.0%	1 0.9%	17 15.5%
無回答	10 17.9%	7 12.5%	7 12.5%	4 7.1%	10 17.9%	2 3.6%	1 1.8%	16 28.6%

※「家族」には、父親、母親、配偶者、子、兄弟姉妹、その他親族を含みます。



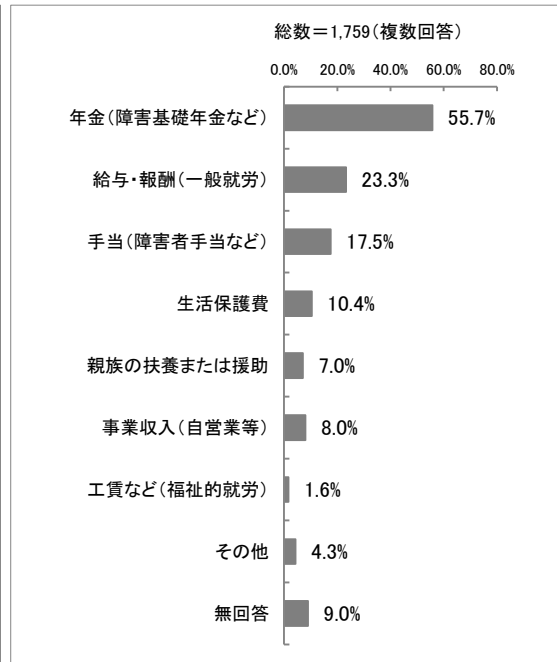
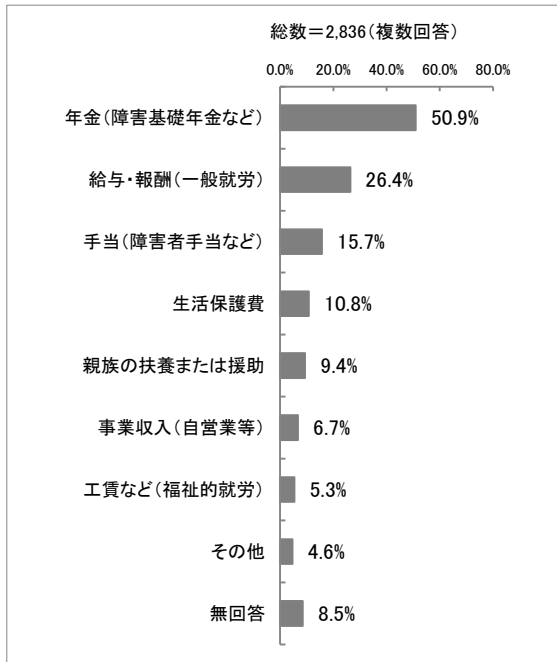
## (2) 収入の内訳

問 41 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。

全体では、「年金（障害者基礎年金など）」が 50.9%と最も多く、次いで「給与・報酬（一般就労）」が 26.4%、「手当（障害者手当など）」が 15.7%となっています。

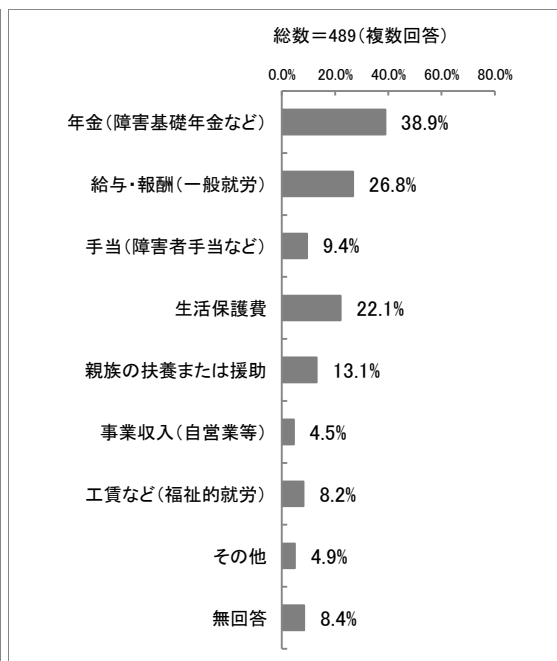
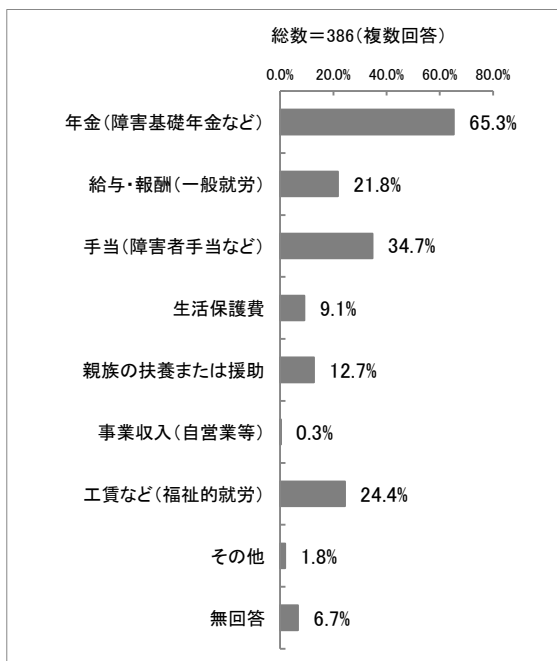
### ■全体

### ■身体障害

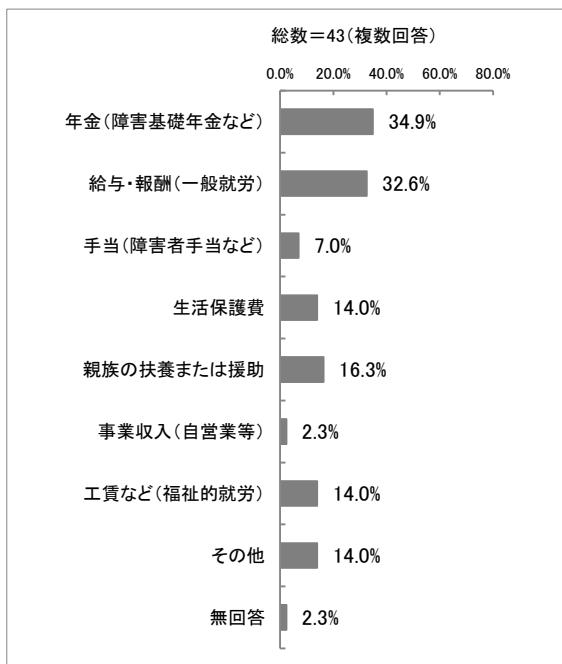


### ■知的障害

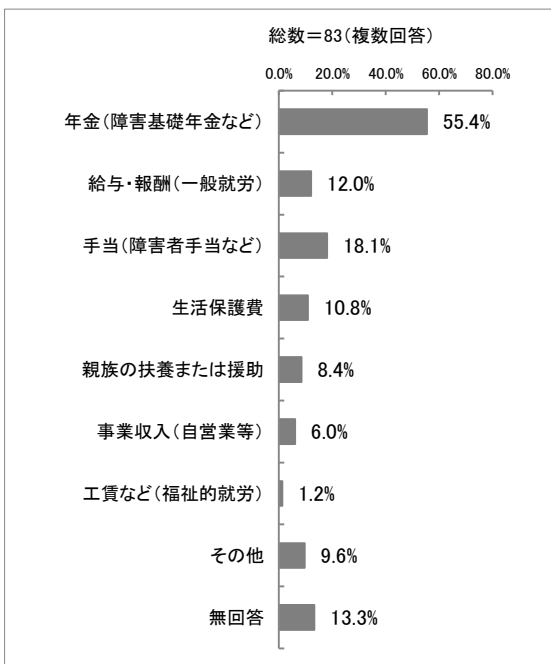
### ■精神障害



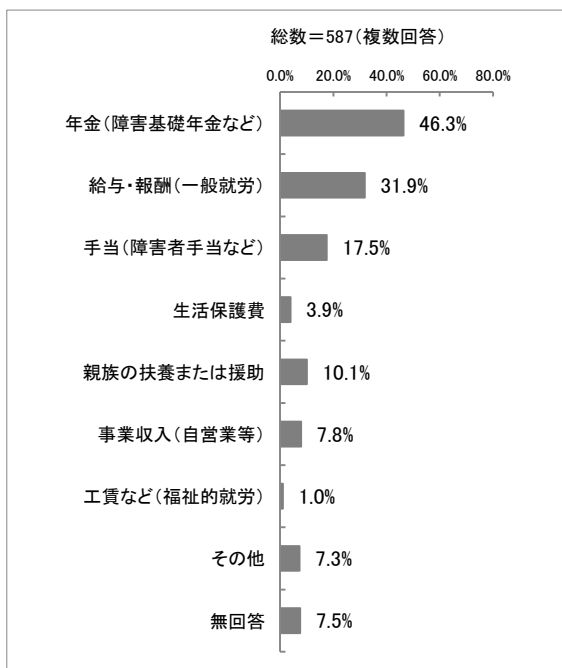
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



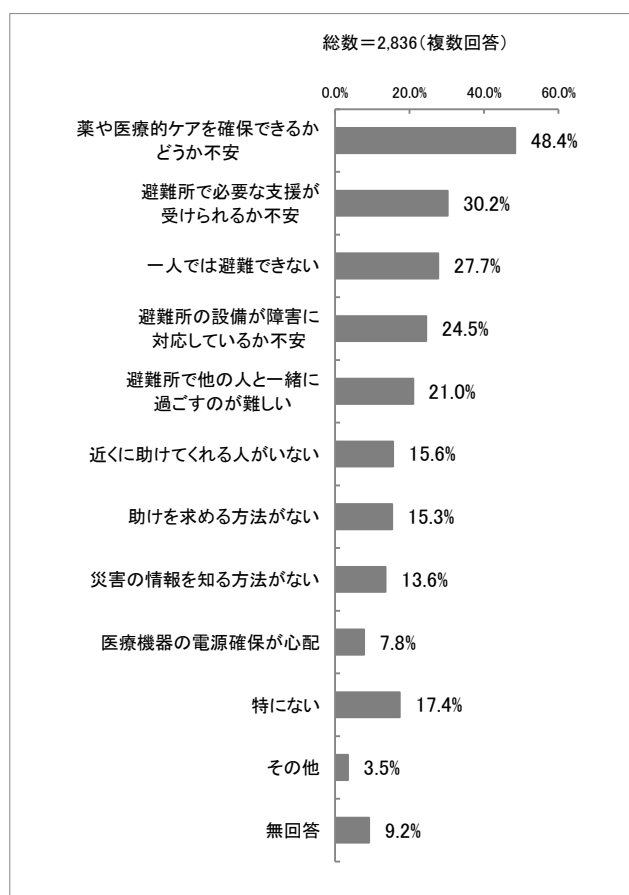
## 8) 災害対策について

### (1) 災害時に不安なこと

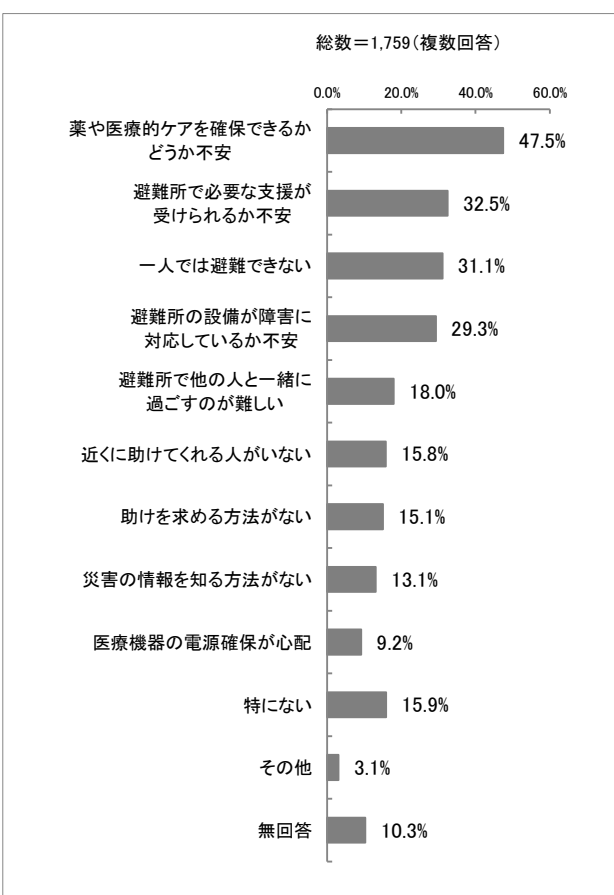
問 42 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。

全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が48.4%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援を受けられるか不安」が30.2%、「一人では避難できない」が27.7%となっています。知的障害では「一人では避難できない」が、精神障害、発達障害では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。

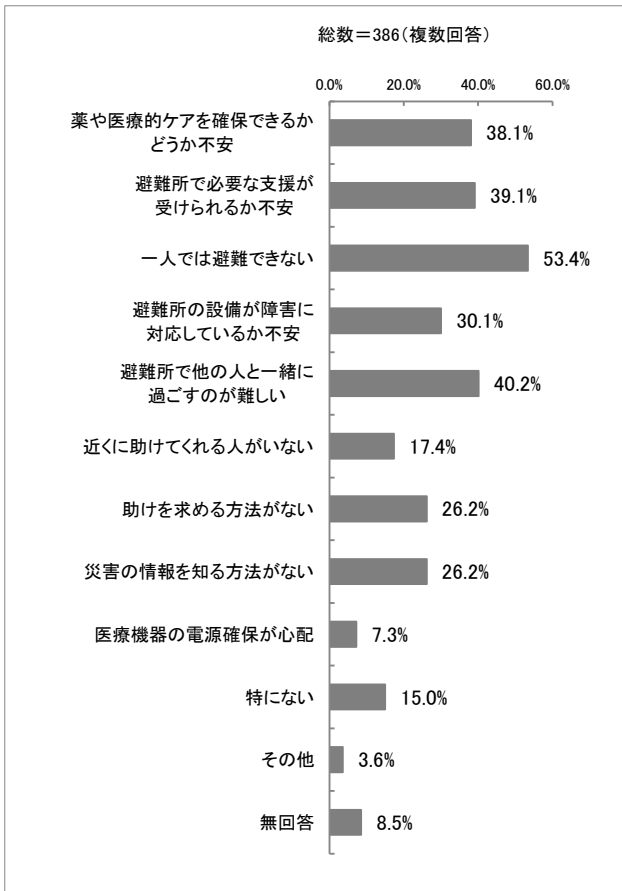
#### ■全体



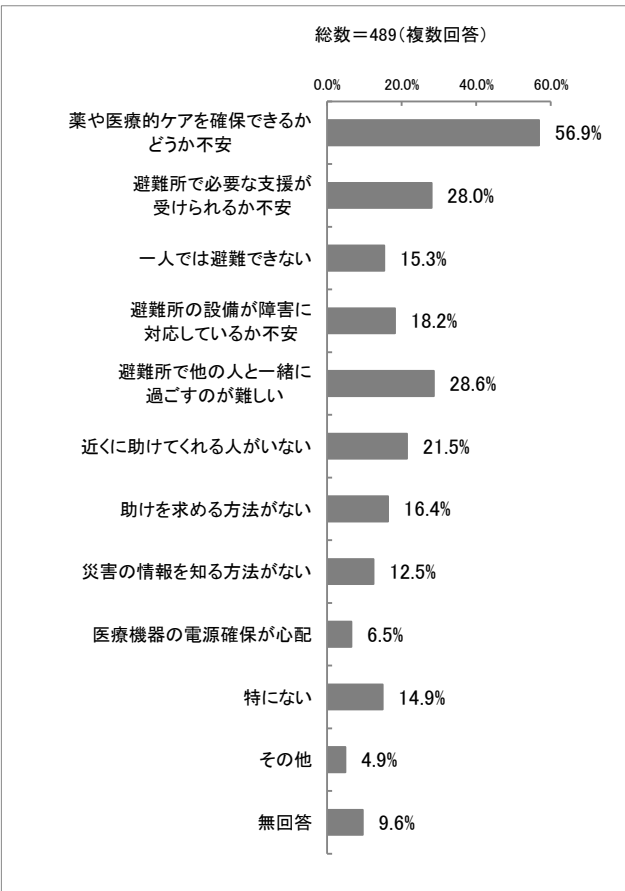
#### ■身体障害



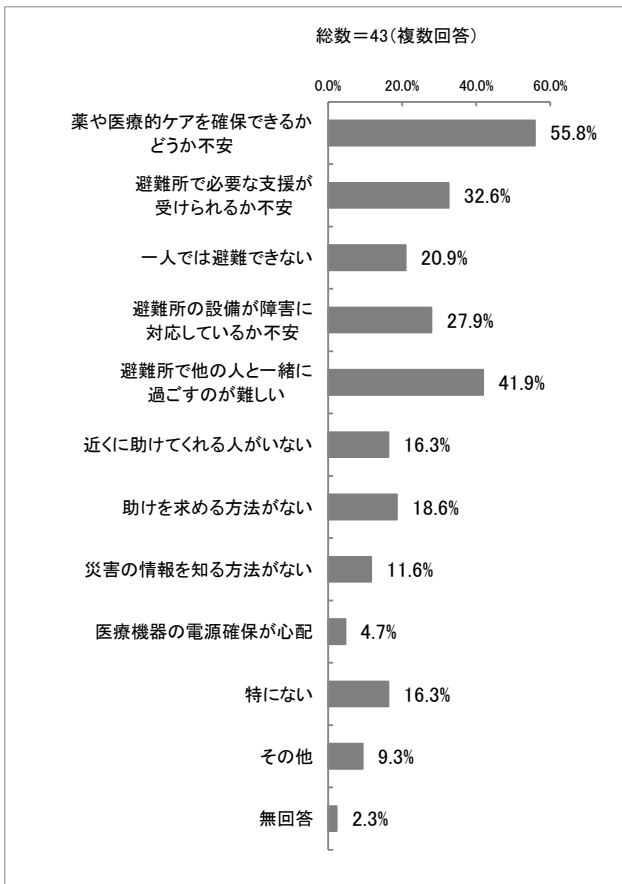
## 知的障害



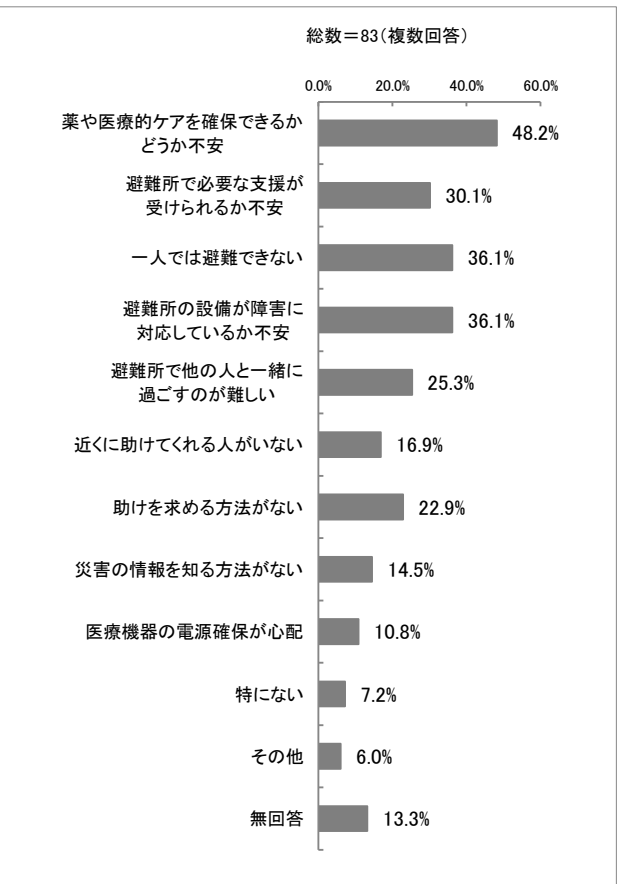
## 精神障害



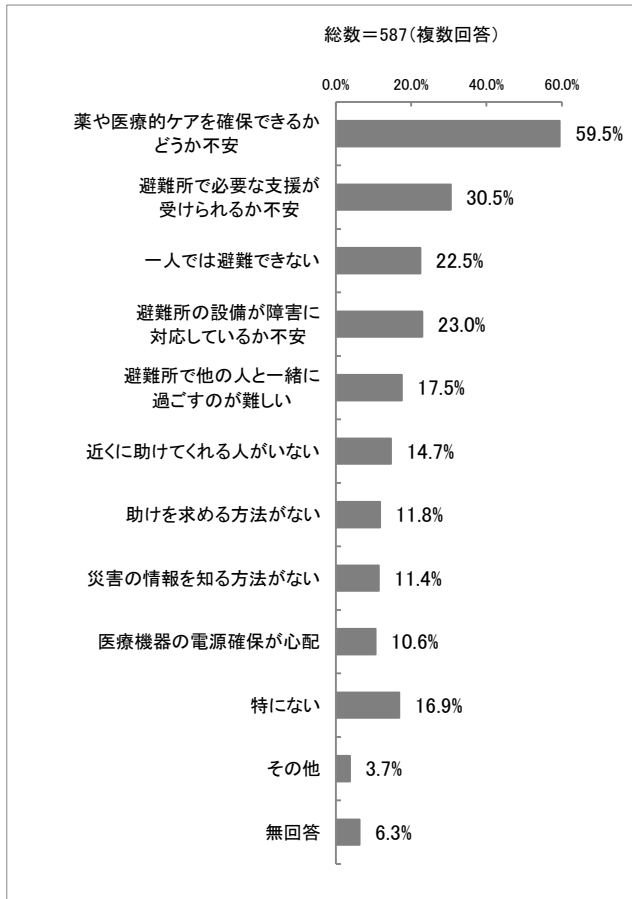
## 発達障害



## 高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 災害時に不安なことと年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」では、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が、「75歳以上」では、「一人では避難できない」がやや多くなっています。

	災害の情報を 知ることがない	助けを 求める方法がない	近くに 助けてくれる 人がいない	一人では 避難できない	避難所の 設備が障害に 対応しているか 不安	避難所で 必要な支援が 受けられるか 不安	避難所で 他の人と一緒に 過ごすのが 難しい	薬や医療的 ケアを確保できる かどうか不安	医療機器の 電源確保が 心配	特 に ない	そ の 他	無 回 答
18～39歳	87 14.9%	97 16.6%	92 15.8%	169 29.0%	146 25.0%	186 31.9%	164 28.1%	295 50.6%	35 6.0%	105 18.0%	33 5.7%	24 4.1%
40～64歳	130 11.8%	156 14.2%	174 15.8%	217 19.7%	259 23.6%	324 29.5%	221 20.1%	565 51.4%	96 8.7%	210 19.1%	37 3.4%	79 7.2%
65～74歳	52 12.1%	58 13.5%	66 15.4%	110 25.6%	103 24.0%	118 27.5%	68 15.9%	172 40.1%	38 8.9%	92 21.4%	7 1.6%	56 13.1%
75歳以上	106 15.5%	114 16.7%	106 15.5%	279 40.8%	174 25.5%	219 32.1%	134 19.6%	328 48.0%	49 7.2%	83 12.2%	22 3.2%	93 13.6%
無回答	10 23.8%	9 21.4%	5 11.9%	11 26.2%	13 31.0%	10 23.8%	8 19.0%	12 28.6%	3 7.1%	4 9.5%	1 2.4%	9 21.4%

## 災害時に不安なことと身体障害の種類

身体障害の種類別の結果を見ると、「肢体不自由」では、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が、「内部障害」では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」がやや多くなっています。

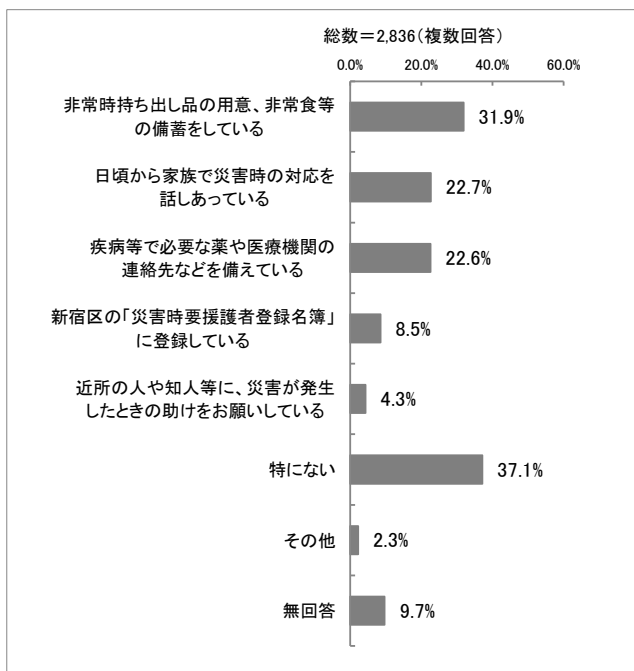
	災害の情報を 知ることがない	助けを 求める方法がない	近くに 助けてくれる 人がいない	一人では 避難できない	避難所の 設備が障害に 対応しているか 不安	避難所で 必要な支援が 受けられるか 不安	避難所で 他の人と一緒に 過ごすのが 難しい	薬や医療的 ケアを確保できる かどうか不安	医療機器の 電源確保が 心配	特 に ない	そ の 他	無 回 答
肢体不自由	61 11.2%	111 20.4%	102 18.8%	242 44.5%	219 40.3%	206 37.9%	130 23.9%	254 46.7%	52 9.6%	83 15.3%	20 3.7%	42 7.7%
音声・言語・そしゃく障害	15 14.0%	28 26.2%	18 16.8%	44 41.1%	29 27.1%	34 31.8%	31 29.0%	36 33.6%	14 13.1%	14 13.1%	3 2.8%	20 18.7%
視覚障害	40 19.7%	40 19.7%	38 18.7%	99 48.8%	72 35.5%	75 36.9%	40 19.7%	86 42.4%	7 3.4%	32 15.8%	7 3.4%	21 10.3%
聴覚・平衡機能障害	56 28.3%	34 17.2%	42 21.2%	58 29.3%	48 24.2%	66 33.3%	40 20.2%	60 30.3%	11 5.6%	40 20.2%	8 4.0%	22 11.1%
内部障害	38 9.0%	47 11.1%	56 13.3%	69 16.4%	99 23.5%	136 32.2%	59 14.0%	290 68.7%	67 15.9%	51 12.1%	14 3.3%	27 6.4%
無回答	48 10.5%	45 9.8%	66 14.4%	124 27.0%	112 24.4%	128 27.9%	67 14.6%	202 44.0%	39 8.5%	78 17.0%	8 1.7%	75 16.3%

## (2) 災害に対する備え

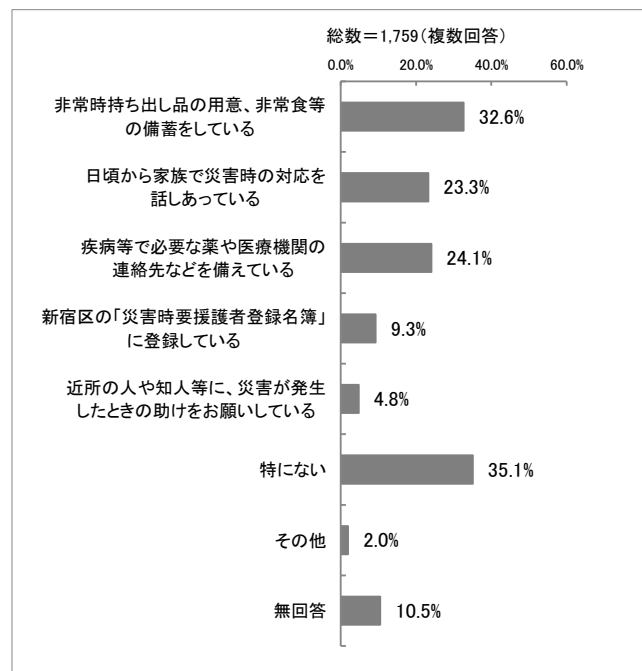
問 43 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が31.9%と最も多く、次いで「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が22.7%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が22.6%となっています。「特にない」と回答した人の割合は、37.1%となっています。発達障害では「特にない」が51.2%と、特に多くなっています。

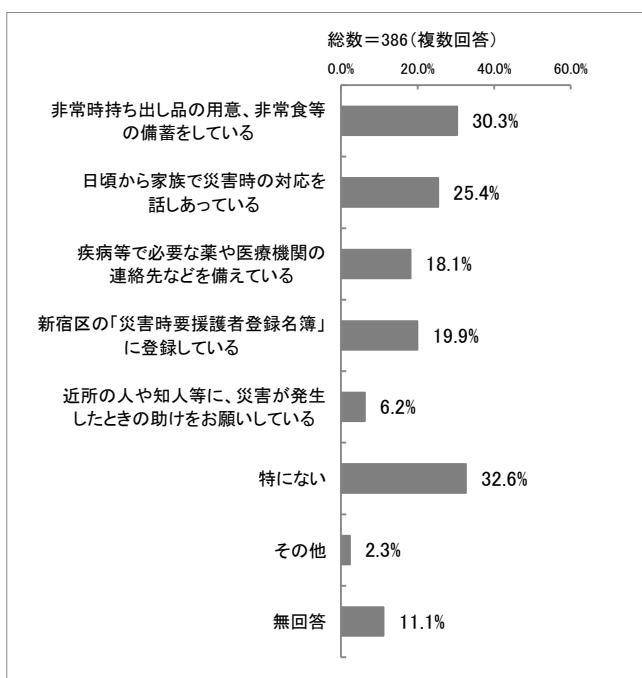
### ■全体



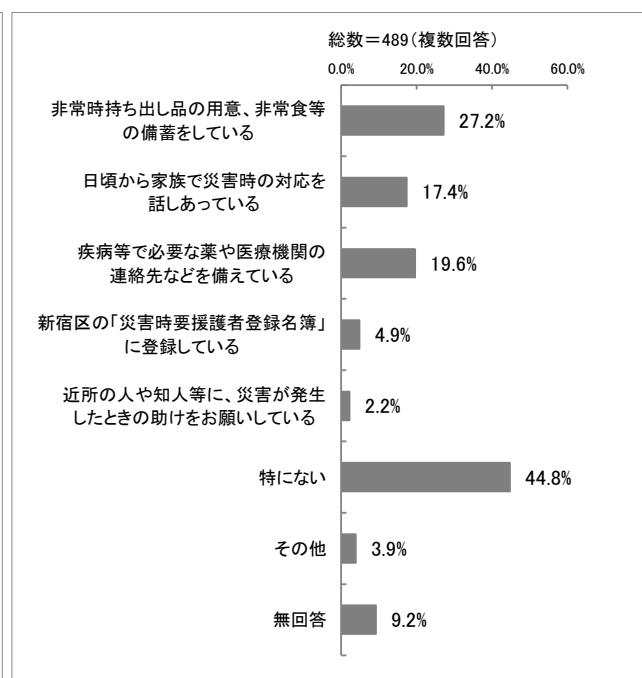
### ■身体障害



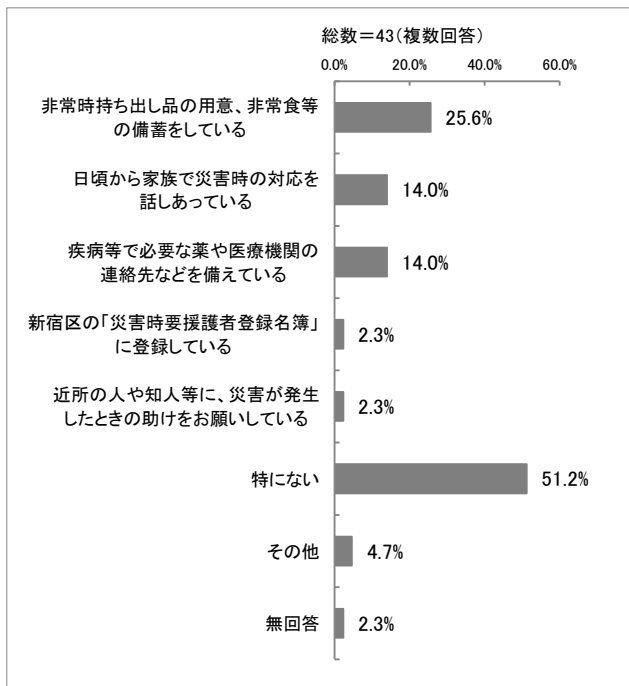
### ■知的障害



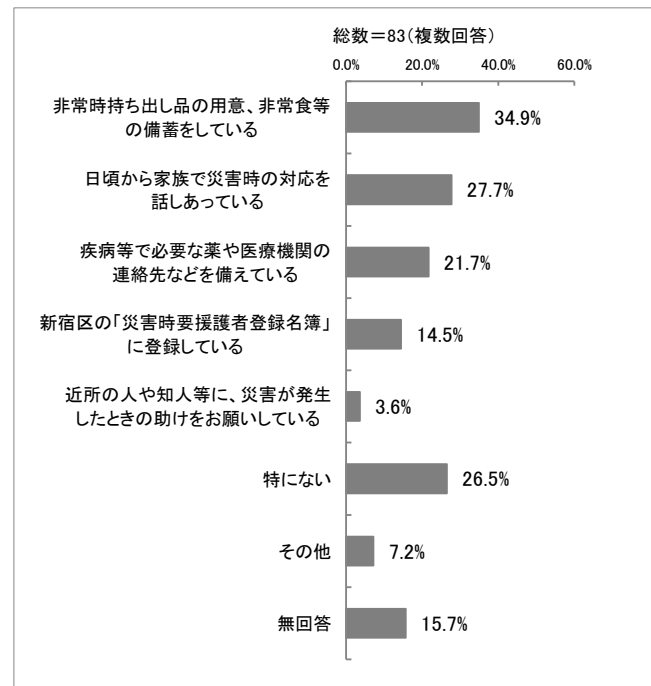
### ■精神障害



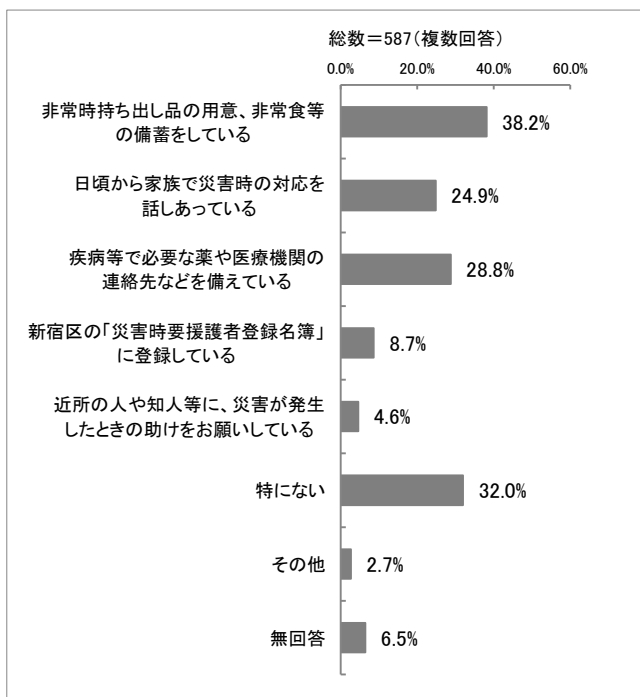
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患





## 9) 将来について

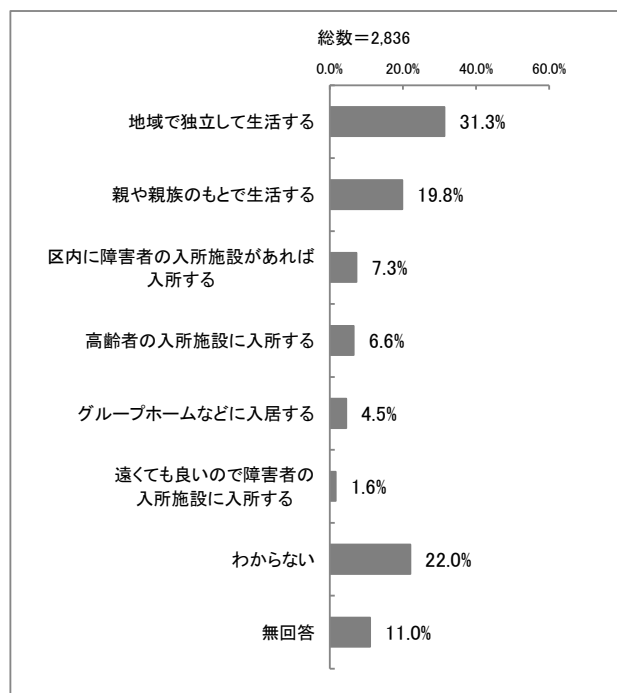
### (1) 今後の生活の希望

問 44 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。

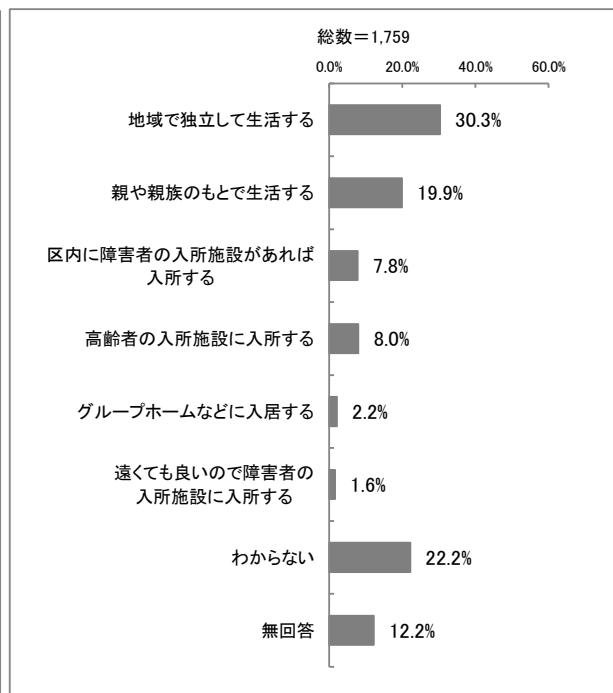
全体では、「地域で独立して生活する」が31.3%と最も多く、次いで「親や親族のもとで生活する」が19.8%、「区内に障害者の入所施設があれば入所する」が7.3%となっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

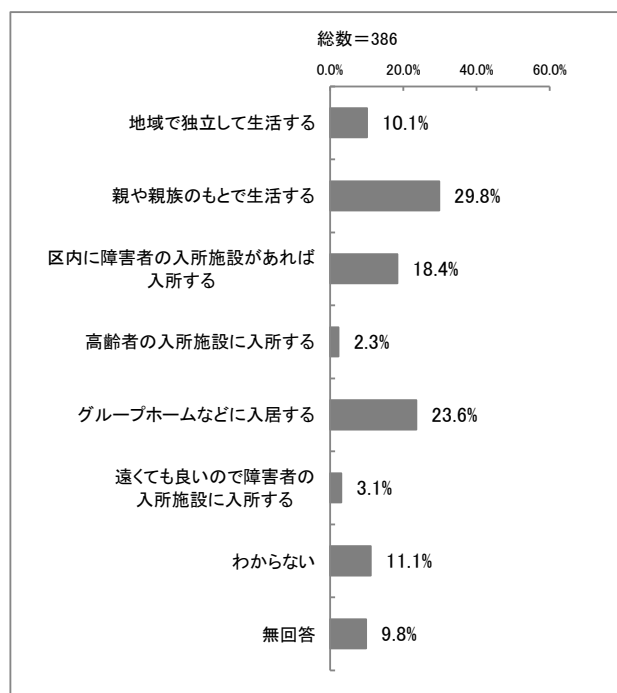
#### ■全体



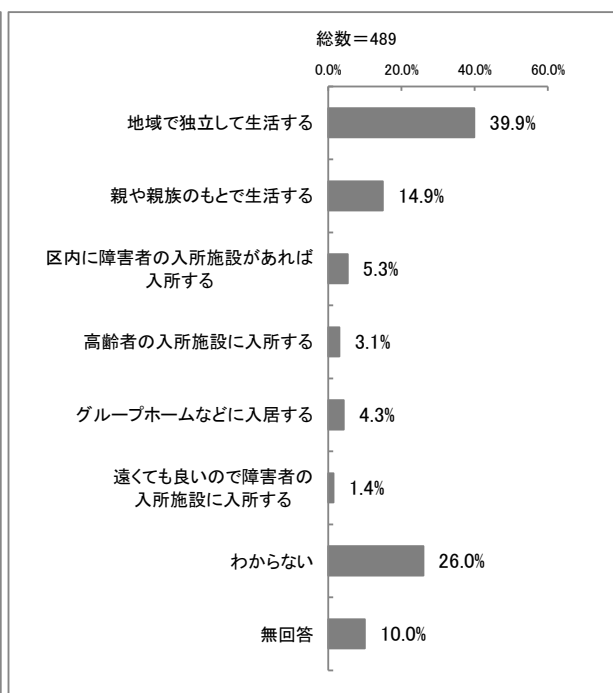
#### ■身体障害



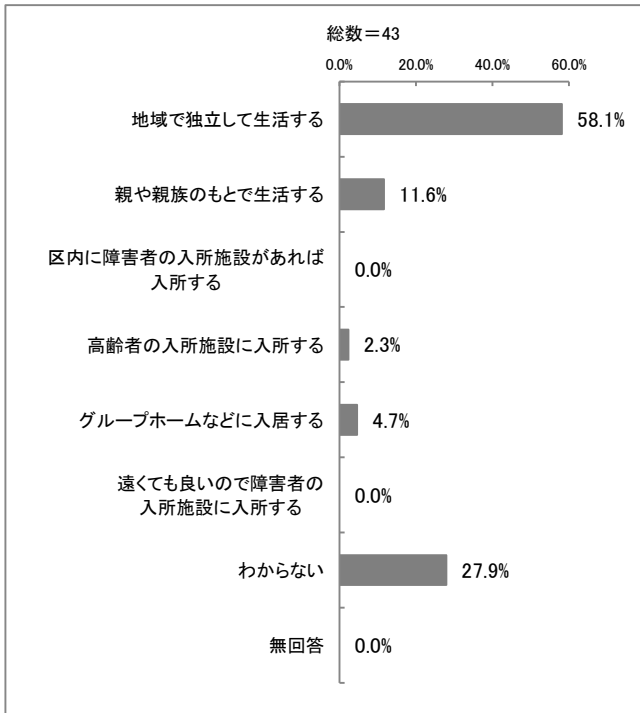
#### ■知的障害



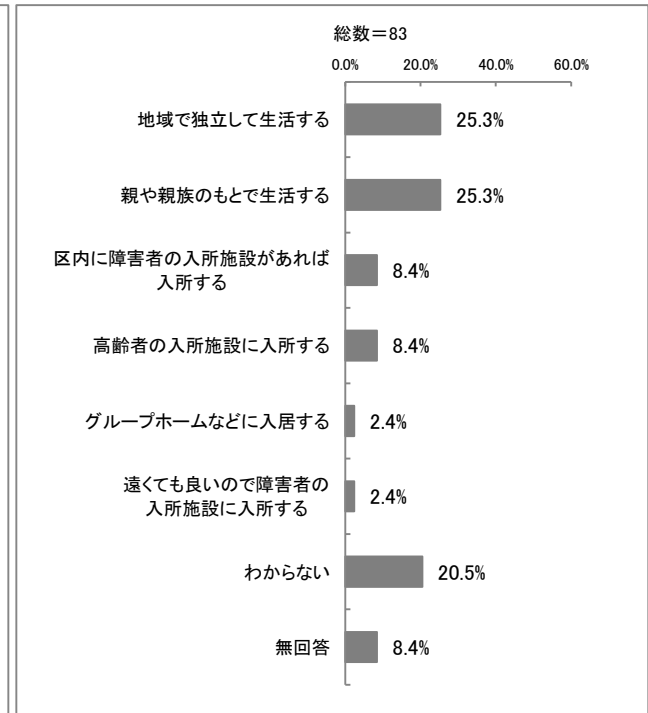
#### ■精神障害



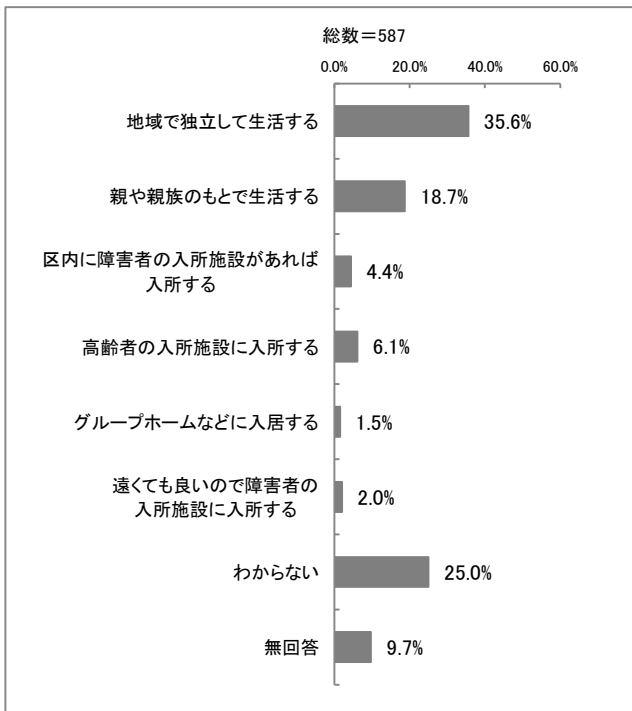
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



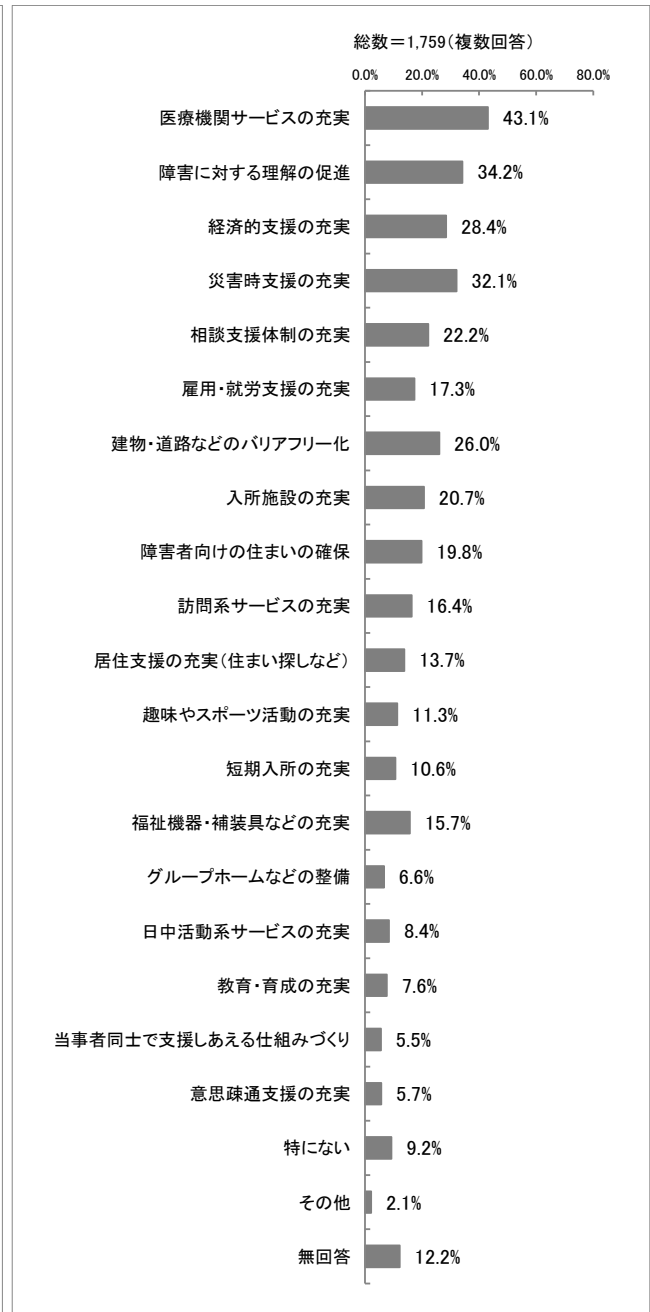
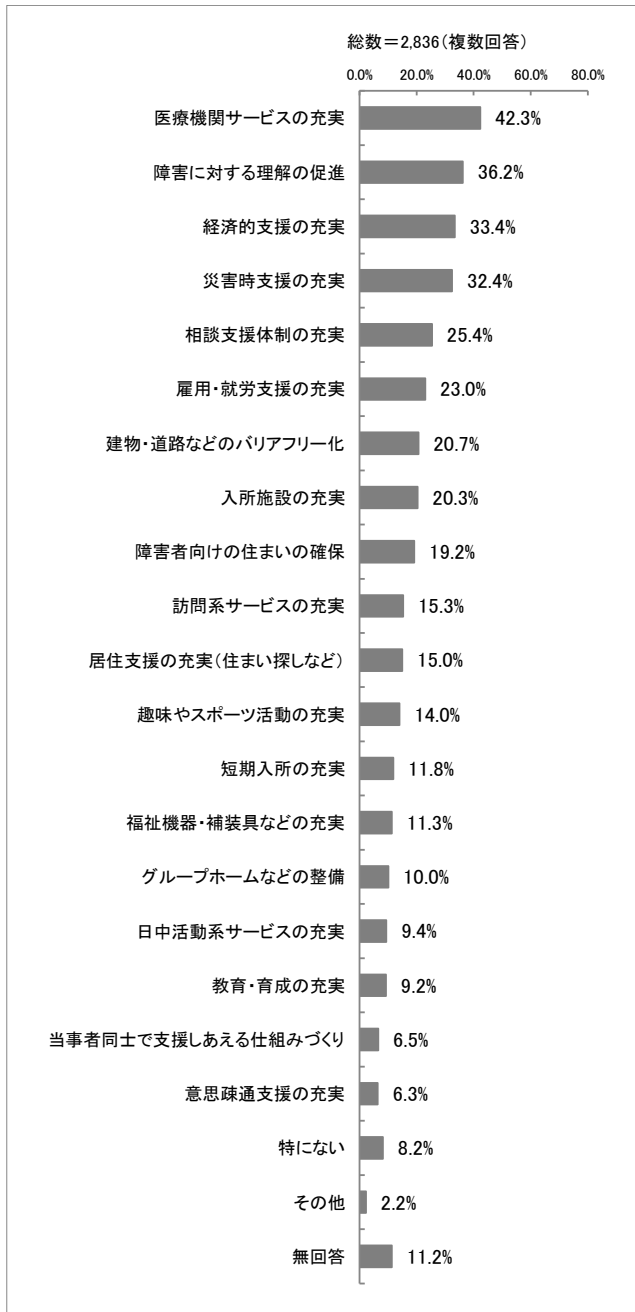
## (2) 重要だと思ふ施策

問 45 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。

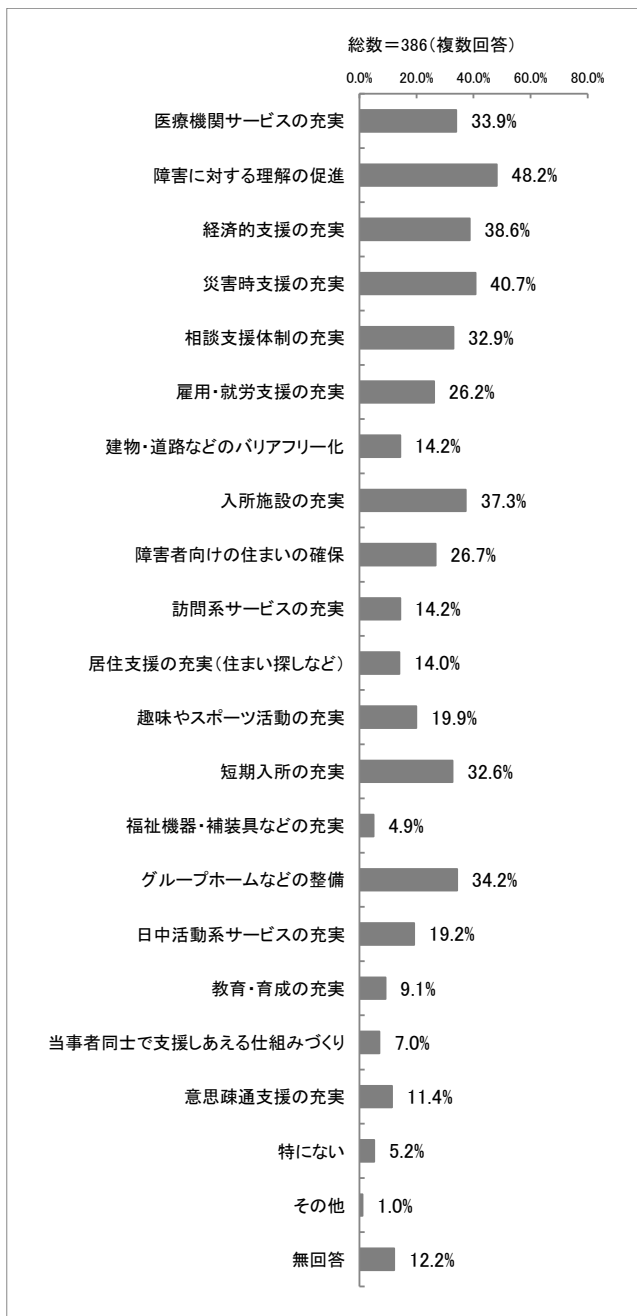
全体では、「医療機関サービスの充実」が42.3%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が36.2%、「経済的支援の充実」が33.4%となっています。障害別に見ると、精神障害では「雇用・就労支援の充実」が、発達障害では「障害に対する理解の促進」が多くなっています。

### ■全体

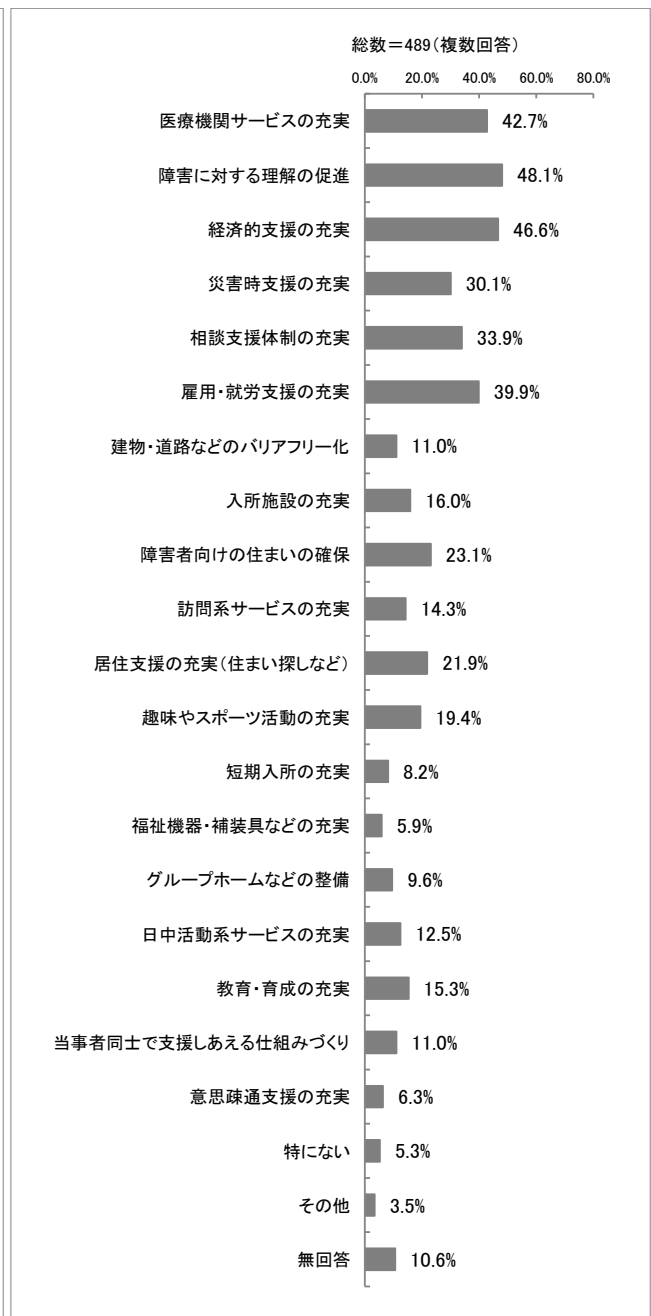
### ■身体障害



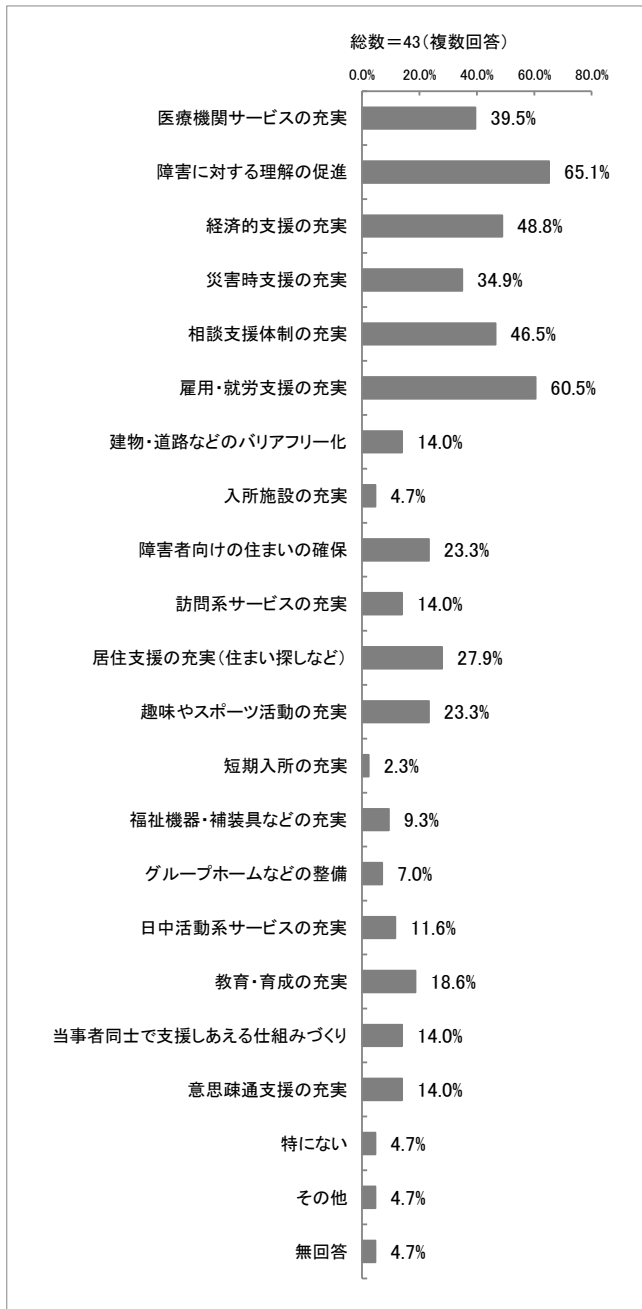
## 知的障害



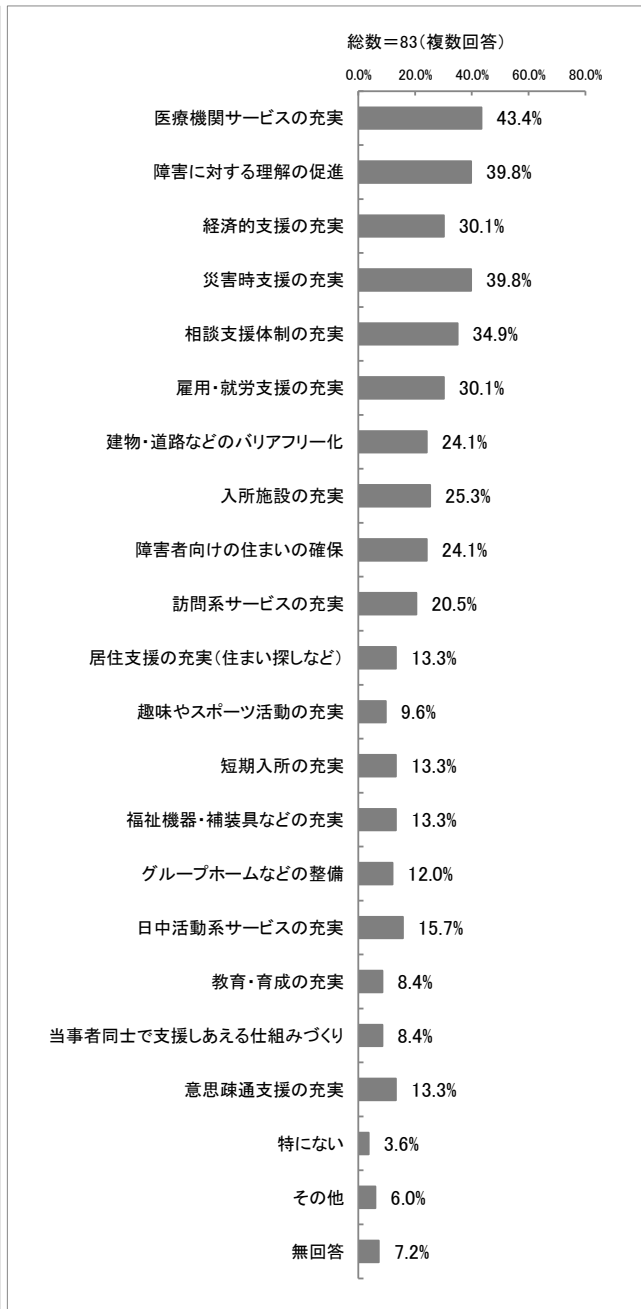
## 精神障害



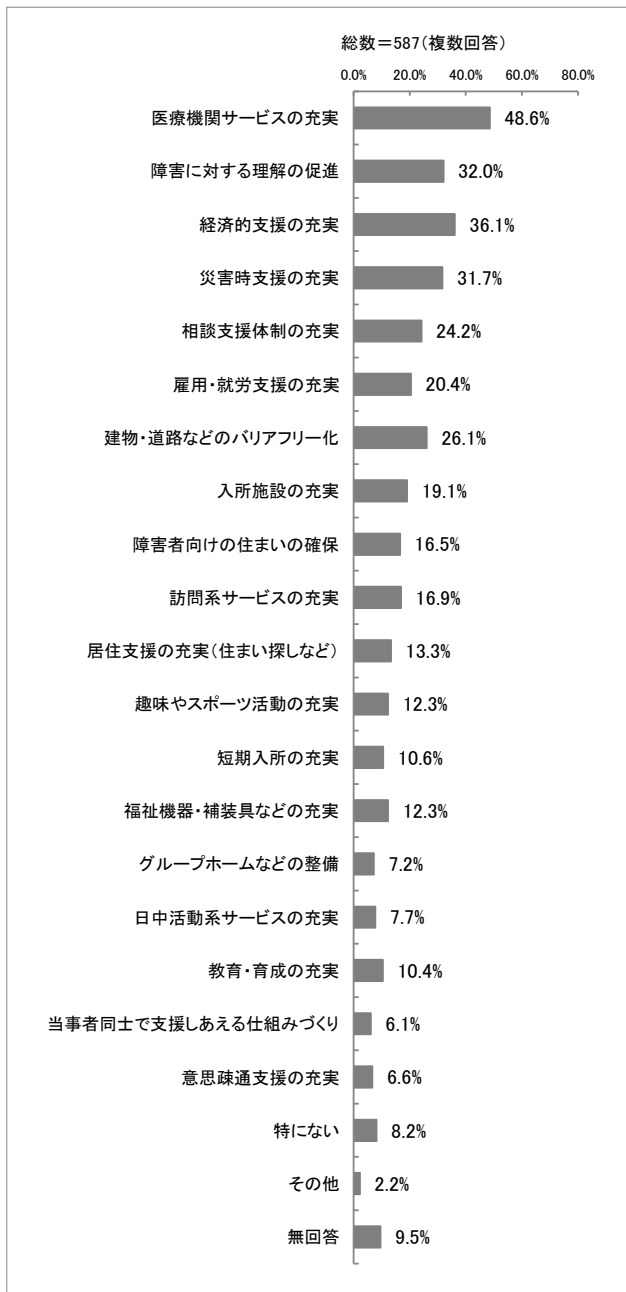
## ■発達障害



## ■高次脳機能障害



## ■難病・特定疾患



## 10) 自由意見

問 46 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では、696 件の意見が寄せられています。分野別に見ると、「行政・制度」についての意見が最も多く、220 件となっています。次いで、「福祉サービス」についての意見が 123 件、「アンケート」についての意見が 69 件と続いています。

	全体	① 行政・ 制度	② 福祉サ ービス	③ 医療・ 健康	④ 雇用・ 就労	⑤ 将来に ついて	⑥ 障害へ の理解	⑦ 経済的 事情	⑧ 情報・ 相談	⑨ 生活環 境	⑩ 防災	⑪ アンケ ート
全体	696 100%	220 31.6%	123 17.7%	30 4.3%	25 3.6%	49 7.0%	37 5.3%	54 7.8%	68 9.8%	75 10.8%	8 1.1%	69 9.9%
身体障害	393 100%	123 31.3%	77 19.6%	15 3.8%	11 2.8%	27 6.9%	11 2.8%	24 6.1%	38 9.7%	55 14.0%	7 1.8%	44 11.2%
知的障害	99 100%	31 31.3%	33 33.3%	1 1.0%	3 3.0%	16 16.2%	6 6.1%	3 3.0%	8 8.1%	3 3.0%	0 0.0%	10 10.1%
精神障害	143 100%	53 37.1%	17 11.9%	12 8.4%	10 7.0%	7 4.9%	13 9.1%	24 16.8%	13 9.1%	15 10.5%	1 0.7%	8 5.6%
発達障害	16 100%	1 6.3%	5 31.3%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%
高次脳機能障害	27 100%	8 29.6%	6 22.2%	1 3.7%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%
難病・特定疾患	142 100%	44 31.0%	25 17.6%	9 6.3%	2 1.4%	10 7.0%	6 4.2%	17 12.0%	14 9.9%	14 9.9%	2 1.4%	16 11.3%

※複数の分野にまたがる回答については、それぞれの分野の集計数に含まれています。